

西部地区小学校災害復旧工事

意匠図	: 106枚
構造図	: 22枚
電気設備図	: 68枚
機械設備図	: 43枚

西部地区小学校災害復旧工事									
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称		
A-01	特記仕様書-1	A-31	平面図（増築棟）	A-61	既存改修 普通教室（既存1階職員室） 展開図-2	A-91	外構計画詳細図		
A-02	特記仕様書-2	A-32	屋根伏図（増築棟）	A-62	既存改修 普通教室（既存1階職員室） 展開図-3	A-92	EV詳細図-1		
A-03	特記仕様書-3	A-33	増築棟ピット平面図	A-63	既存改修 1階 会議室（既存1階和室） 平面詳細図・断面詳細図	A-93	EV詳細図-2		
A-04	特記仕様書-4	A-34	立面図（増築棟）	A-64	既存改修 1階 会議室（既存1階和室） 展開図	A-94	EV詳細図-3		
A-05	特記仕様書-5	A-35	断面図（増築棟）	A-65	既存改修 1階生徒昇降口平面詳細図	A-95	EV詳細図-4		
A-06	特記仕様書-6	A-36	矩計図-1（増築棟）	A-66	既存改修 普通教室（既存2階会議室） 平面詳細図				
A-07	改修工事特記仕様書-1	A-37	矩計図-2（増築棟）	A-67	既存改修 普通教室（既存2階会議室） 展開図-1				
A-08	改修工事特記仕様書-2	A-38	矩計図-3（増築棟）	A-68	既存改修 普通教室（既存2階会議室） 展開図-2				
A-09	改修工事特記仕様書-3	A-39	矩計図-4（増築棟）	A-69	既存改修 WC改修図-1	法-01	各室面積表・防火区画面積表-1 （増築棟完成時）		
A-10	改修工事特記仕様書-4	A-40	矩計図-5（増築棟）	A-70	既存改修 WC改修図-2	法-02	各室面積表・防火区画面積表-2 （増築棟完成時）		
A-11	付近見取図	A-41	矩計図-6（増築棟）	A-71	既存改修 WC改修図-3	法-03	各室面積表（既存改修部）		
A-12	工事工程概要書	A-42	天井伏図（増築棟）	A-72	既存改修 WC改修図-4	法-04	1階 防災計画図（増築棟完成時）		
A-13	現況配置図	A-43	平面詳細図-1（増築棟）	A-73	既存改修 WC改修図-5	法-05	2階 防災計画図（増築棟完成時）		
A-14	計画配置図	A-44	平面詳細図-2（増築棟）	A-74	既存改修 WC改修図-6	法-06	1階 防災計画図（最終）		
A-15	敷地求積図	A-45	平面詳細図-3（増築棟）	A-75	既存改修 WC改修図-7	法-07	2階 防災計画図（最終）		
A-16	面積表-1（既存校舎）	A-46	平面詳細図-4（増築棟）	A-76	既存改修 WC天井改修図	法-08	LVS計算表-1（増築棟）		
A-17	面積表-2（既存校舎）	A-47	展開図-1（増築棟）	A-77	既存改修 WC改修部分詳細図	法-09	LVS計算表-2（既存改修部）		
A-18	面積表-3（既存校舎）	A-48	展開図-2（増築棟）	A-78	天井伏図-1（既存校舎）	法-10	平均地盤算定図		
A-19	面積表-4（増築棟）	A-49	展開図-3（増築棟）	A-79	天井伏図-2（既存校舎）				
A-20	増築棟 仕上表-1	A-50	展開図-4（増築棟）	A-80	既存改修 バスケットゴール改修図				
A-21	増築棟 仕上表-2	A-51	展開図-5（増築棟）	A-81	既存建具撤去、改修図（1）				
A-22	既存改修 仕上表-1	A-52	建具リスト（増築棟）	A-82	既存建具撤去、改修図（2）				
A-23	既存改修 仕上表-2	A-53	建具図-1（増築棟）	A-83	既存建具撤去、改修図（3）				
A-24	既存1階全体平面図	A-54	建具図-2（増築棟）	A-84	既存建具撤去、改修図（4）				
A-25	既存2階全体平面図	A-55	家具リスト（増築棟）	A-85	家具図（既存校舎）				
A-26	既存全体屋根伏図	A-56	家具図-1（増築棟）	A-86	部分詳細図-1				
A-27	既存ピット平面図	A-57	家具図-2（増築棟）	A-87	部分詳細図-2				
A-28	1階全体平面図	A-58	既存改修 矩計図（開口部改修）	A-88	現況外構配置図				
A-29	2階全体平面図	A-59	既存改修 普通教室（既存1階職員室） 平面詳細図	A-89	現況外構解体詳細図				
A-30	全体屋根伏図	A-60	既存改修 普通教室（既存1階職員室） 展開図-1	A-90	外構計画配置図				

最終改訂 令和7年10月1日

建築工事仕様書

I 工事概要

1 工事場所 輪島市 門前町 清水 地内

2 工事内容 (1)・本 体 工 事 (種別、棟別、構造、階、面積)
増築工事、職員棟、RC造、平屋、556.61 m2

(2)・屋 外 付 帯 工 事
外構工事

(3)・電 気 設 備 工 事

(4)・給排水衛生設備工事

3 完成期日 令和 年 月 日 (概成工期 令和 年 月 日)
(余裕期間制度試行工事適用の場合は、上記を完成日の期限とする。)
(積算工期 : ○○か月)

4 別契約関連工事 ・ 屋 外 付 帯 工 事 ・ 植 栽 工 事
・ 電 気 設 備 工 事 ・ 給排水衛生設備工事
・ 暖 房 設 備 工 事 ・ 冷 房 設 備 工 事
・ 換 気 設 備 工 事 ・ 空 調 設 備 工 事
・ 昇 降 機 設 備 工 事 ・ 電 話 設 備 工 事
・ 浄 化 槽 設 備 工 事 ・

II 建築工事仕様書

1 共通仕様書

1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「標仕」という。) による。
2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は(/)図、機械設備工事は(/)図による。

2 特記仕様書

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、「標仕」の該当項目、当該図又は当該表を示す。
4) 特記事項に記載の(別図 -) は、「標仕」の別図「各部配筋」の当該番号を示す。
5) 特記事項に記載の[] 内表示番号は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「改修標仕」という。)の当該項目、当該図又は当該表を示す。
6) [G] 印は、「国内等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(グリーン購入法)の特定調達品目を示す。該当する項目については、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。
7) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また() 内は製品名を示す。
8) 斜線で消去した章は適用しない。

1 章 一 般 共 通 事 項

項目

特記事項

① 適用基準等

設計図書の他に、下記の図書の該当事項を適用する。
○ 建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版)
・ 建築構造設計基準の資料 (国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和3年通知) のうち第3章
○ 営繕工事写真撮影要領 (令和3年版) (国土交通省大臣官房官庁営繕部)
・ 営繕工事電子納品要領 (国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和3年度版)
・ 建築物解体工事共通仕様書 (令和4年度版) (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
・ 公共建築木造工事標準仕様書 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成31年版)
・ 屋根瓦工事共通仕様書 (石川県土木部営繕課監修 令和5年版)
・ 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (石川県土木部営繕課監修)
・ 壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (石川県土木部営繕課監修)
・ 鉄骨構造標準図 (石川県土木部営繕課監修)
○ 石川県バリアフリー社会の推進に関する条例に基づく整備基準 (施設整備の手引き)
・ 石川県公共事業景観形成ガイドライン

② 工事実績情報の登録

※登録する(但し工事請負代金額500万円以上の工事。)(1.1.4)

3 発生材の処理

1) 産業廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく許可業者により運搬し、同法に基づく許可を得た処分場で処分する。
また、処分に際しては産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認するとともに、マニフェスト一覧表を監督員に提出し、確認を受けなければならない。
2) 発生材のうち引渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に引き渡す。(1.3.11)
イ) 引渡しを要するもの及び引渡し場所 ・ 引渡しを要するもの
・ 引渡し場所
ロ) 特別管理産業廃棄物の有無 ・ 有 ・ 無
ハ) 特別管理産業廃棄物の処理方法 ※図番 図参照
3) 発生材のうち、現場で再利用を図るもの及び再資源化を図るものは、下記による。
・ 現場で再利用を図るもの ・
・ 再資源化を図るもの ・
4) 建設リサイクル法第11条に基づく「通知書」及び同法第18条に基づく「再資源化等報告書」の提出の有無
・ 有 ・ 無

4 電気保安技術者

※ 適用する (1.3.3)

⑤ 施工条件

○ 執務並行工事

⑥ 建築材料等

1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの、又はこれらと同等のものとする。(1.4.1)(1.4.2)(1.4.4)
①「評価名簿による」と特記されたものについては、「建築材料・設備機械等品質性能評価事業評価名簿(最新年版)」(社)公共建築協会)によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、次の②に準じ監督員の承諾を受ける。また、同上評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとみなす。
②JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造所等は、次のイ)からへ)の事項を満たすものとする。また、製造所名、製品名等が記載された材料は、当該製品又は同等品以上を使用するものとし、監督員の承諾を受けるものとする。
イ) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
ロ) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
ハ) 安定的な供給が可能であること。
ニ) 法令等で定める許可、認定、又は免許等を取得していること。
ホ) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
ヘ) 販売保守等の営業体制が整えられていること。

7 特別な材料の工法

⑧ 技能士等

⑨ 完成図等

1) 完成図 (1.7.1~3)(表1.7.1)
工事完成図は、A3版製本(※1部 2部)を提出する。
2) 屋外付帯工事実測図 ※提出する(1部) 提出しない
3) 保全に関する資料 ※提出する(1部) 提出しない
保全に関する資料のうち「建物等の利用に関する説明書」は、「管理者のための建築物保全の手引き(改訂版)」「(一財)建築保全センター」に建物の構造、機器、保全業務等の説明及び清掃の要点、使用材料の製造品名、連絡先等を記載したものに代えることができる。
別契約の関連する設備工事等がある場合は、連携のうえ作成する。
※写真帳

区分

分類

大きさ

撮影枚数

部数

着工前

※カラー

※100×148程度

※20景以上

※1部

工事中

※カラー

※85×115程度

※「営繕工事写真撮影要領」による

※1部

完成時

※カラー

※100×148程度

※30景以上

※1部

写真パネル

区分

分類

大きさ

撮影枚数

部数

完成時

※カラー

※127×178程度

※30景以上

※1部

写真パネル

区分

分類

大きさ

仕様

部数

完成時

※カラー

※457×560程度

※木製枠77×付き

※1部

⑩ 工事写真等の記録

1) 工事記録写真等は、営繕工事写真撮影要領(令和3年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部)により整備し、下記により提出する。また、本仕様書の「第1章29電子納品」を行う場合は、更に当該特記事項に基づいて作成し提出する。
各区分の写真はA4版スクラップブックに順序よく説明事項を記入の上、所定の部数を提出する。
※写真帳

区分

分類

大きさ

撮影枚数

部数

着工前

※カラー

※100×148程度

※20景以上

※1部

工事中

※カラー

※85×115程度

※「営繕工事写真撮影要領」による

※1部

完成時

※カラー

※100×148程度

※30景以上

※1部

写真パネル

区分

分類

大きさ

仕様

部数

完成時

※カラー

※457×560程度

※木製枠77×付き

※1部

⑪ 責任施工

特記事項中、責任施工の指示のあるものは、受注者及び下負請入の連帯責任とし保証書を提出する。

⑫ 工事報告書

工事の進捗度表、作業員の出面報告、工事箇所図及び工事現況写真等を記載した工事報告書を毎月15日及び月末毎に提出する。

⑬ 設備工事との取合い

1) 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。
2) 設備工事の貫通孔、開口部の型枠、スリーブ等の補強筋は本工事に含むものとする。なお箇所数等は下記による。
位置、大きさ、箇所数等

位置／大きさ	100mm	125mm	150mm	175mm	200mm	600mm			
補強筋箇所数	梁			1		9	6		
	壁								
	床								

3) 鉄骨部のスリーブ及び補強は本工事に含むものとする。
4) 軽鉄地下で天井、壁等の補強は本工事に含むものとする。なお箇所数は、下記による。
イ) 天井部分 85箇所 ロ) 壁部分 箇所
設備関連工事との取合いは下記による。

他工事との取合い	建築工事	電気工事	機械工事	備考
機器の基礎、換気扇取付用枠			○	
梁、床、壁貫通部の補強	○			
梁、床、壁貫通部のスリーブ、型枠		○	○	
外気取付ガ拉里、床下水槽マンホール蓋	○			ガラリは立面図に図示
ステンレス流し台等	○			排水トラップ共
排気フード、レンジフードファン	○			建築図に図示
取付付け枠(鋼製)とも				ダクト接続は設備工事
天井、壁、床、点検口、プロパンボンベ庫	○			
下流し、足湯場の給水、排水、玄関の排水			○	
小便器仕切板(陶器製)、タオル掛(下地共)		○	○	下地補強は建築工事
洗面所・手洗所等の鏡	○	○	○	特殊なものは建築工事
ボイラーの煙突	○		○	銅板製は機械設備工事
実験台に付属する設備機器	○			
実験台の配管等の接続		○	○	○
埋込み分電盤、端子盤等の壁補強	○			
埋込み分電盤、端子盤等の型枠		○		
天井、壁ボード類の下地補強	○			図出し、ボード断切り込みは設備工事
簡易間仕切り(内装パネ)内の位置ボックス及び配管の取付	○			
屋内・屋外に設置する発電機、配電盤、制御盤、受水槽、ポンプ等の基礎、防油堤	○			
屋上に設置するテレビアンテナ、避雷針等の設備基礎	○			屋根伏図に図示
配線ビッド及び蓋	○			
照明器具幹線等の吊りボルト用インサート		○		
身体障害者用の手すり	○			
洗濯機用防水パン及びトラップ			○	
F F暖房機・クーラー等の配管用スリーブ	○			
電話・テレビ等の配線用スリーブ		○		
クーラー取付ボルト用インサート	○			建築図に図示
ユニットバス本体・付属品(シャワー金具・手すり・鏡・照明)	○			配管接続以降は設備工事
ユニットバス用換気扇			○	
消火器	○			公共住宅に適用
自動車、電動シ、電動ルバー、防火設備の閉鎖制御機、感知器		○	○	機器は建築工事
地下タンク室	○			

⑭ 設計G L

※図示 ・ 設計G L = 現状G L

⑮ 建築基準法に基づき指定する条件

・ 地区の区分に応じた風速 (V (m/sec)) 30 (県内全域)
・ 地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV
・ 多雪地域の指定 垂直積雪量

⑯ 工事現場の掲示板

工事現場には、下記掲示板を設置する。(記入例)(2.3.1)

90cm

工事名

工期自年月日～至年月日

発注者(監修)設計監理

上段の地色は、白色
文字は、青色
下段の地色は、青色
文字は、白色

60cm (75cm)

(注意事項)
①(監修)内は、監修を委託した場合。
②業者名が多くなった場合でも、縦75cm以内とする。
③工事名は、各工事とも共通な名称とし、各文字は、角ゴシック体とする。

⑰ 総合評価時における技術提案

「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、受注者は「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出の上、履行状況の確認を受ける。なお、受注者の責任以外の理由等により、変更等の必要が生じた場合は、事前に監督員に協議する。

⑱ 施工の検査等

監督員等の検査を受ける工種は次のものとする。(1.5.5)
※敷地状況確認及び縄張り ※ベンチマーク ※遠方 ※掘切り掘削完了時
※主要構造部の配筋 ・ 型枠の組立て ・ 鉄骨原寸図 ※鉄骨ボルト締付け ※鉄骨建方
その他監督員等の指示するもの

⑲ 施工の立会い等

請負契約約款第14条第2項に定める監督員等の立会いのうえ施工するものは次のものとする。
※杭打ち ・ コンクリートのスランプ確認及び打込み ・ 屋外タイル接着力試験
・ 地盤改良部試験体採取 その他監督員等の指示するもの(1.5.7)

⑳ 中間検査

中間検査の実施 ※有 ・ 無 (1.6.2)
実施時期 ※躯体工事完了時 ・

㉑ 公共事業労務費調査等に対する協力

・ 受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次の各号に掲げる協力を行わなければならない。工期経過後においても同様とする。
1) 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力を行わなければならない。
2) 調査票等を提出した事業所が、事後に発注者が行う調査・指導の対象になった場合には、その実施に協力しなければならない。
3) 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い、就業規則を作成すると共に賃金台帳を整整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければならない。
4) 対象工事の一部について下請け契約を締結する場合には、当該下請け工事の受注者(当該下請け工事の一部に係る二次以降の下請け人を含む。)が前各号と同様の義務を負う旨を定めなければならない。
5) 本工事が「建設副産物実態調査」の対象となった場合、県の求めに対して速やかに調査票を作成し、県に提出しなければならない。

②2 保 險

②3 室内空気汚染対策

工事目的物、工事材料等に生ずる損害を補償する保険は、下記による。
※建設工事保険または組立保険(工事対象物を全て解体する工事を除く)
加入期間 引渡しまで(引き渡しを要しない工事の場合は、工事完了まで)
※実施する ・ 実施しない (1.5.9)
1) 測定の有無等
イ) 測定の有無 ※有 ・ 無
測定する場合は、下記のとおり揮発性有機化合物について室内温度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。
ロ) 測定対象室
測定は原則として、内装仕上り材料の仕様が大きく異なる居室毎に行う。ただし、居室の規模が著しく異なる場合は、それぞれ実施する。
内装工事を行った居室について測定を行う。
ハ) 1室当たりの測定箇所数

室の床面積 A (㎡)	A ≤50	50< A ≤200	200< A ≤500	500< A
測定箇所数	1	2	3	4

全ての測定箇所において、二)の測定対象化学物質全ての濃度を同時に測定する。
二) 測定対象化学物質及び測定方法
測定対象化学物質は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレンとし、同時に測定する。測定方法は、パッシブ型採取機器を用い、国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課長通知(平成24年4月5日 国営整第4号)「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」により行う。
ホ) 測定時期
測定は下記のとおり時期に行うものとする。
①測定対象化学物質が、関連工事による測定対象室への流入や急激な拡散がほぼなくなり、引き渡し後の室内空気環境と同程度になった時期。
②別途工事又は家具の設置等が行われる前。
③内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること。
④中央式空調設備のように換気を行いつながら空調調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していること。
ヘ) 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合の措置
測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定を行う。
ト) その他採取、測定及び分析の方法は、上記二)の国土交通省通知によるほか、監督員の指示による。
2) 施工中・施工後の通風、換気
接着剤、塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分管理し、適切な乾燥時間をとるようにする。また、施工中、施工後の通風、換気を十分に行い、室内に散放した溶剤成分等の希釈を図るものとする。
3) 引き渡し時
室内空気中に化学物質を発生するおそれのある建築材料等を使用している場合は、監督員の指示により、その使用状況の一覧表を提出する。
4) 揮発性有機化合物を放散させる建築材料等本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次のイ)からホ)の事項を満たすものとする。
イ) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上り塗材は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ロ) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ハ) 接着剤は、フタル酸ジノープテル及びフタル酸ジエー2ーエチルヘキセンを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ニ) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
ホ) 上記のイ)、ハ)、ニ)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。
※「規制対象外」のもの
①JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるJAS規格品
ア) 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
イ) 接着剤等不使用
ウ) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料を使用
エ) ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
オ) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
カ) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
・ 「第三種」のもの
①JIS又はJASのF☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
③JISのE0規格品
④JISのF0規格品

24 名札の着帯

現場代理人及び主任(監理)技術者は、工事期間中は次に定める様式例等による顔写真入り名札を着帯すること。(ただし、請負額1,000万円以上の工事)

55cm

17mm

40mm

8mm

13mm

42mm

2mm

30mm

2mm

91mm

〇〇建設(株)社員証

氏名△△太郎

発行日 令和〇年〇月〇日

代表者 □ □ 建一 代表印

(顔写真)カラー写真貼付

(注意事項)
①名札として使用する用紙(台紙)は白色、寸法は上図(名刺サイズ、縦5.5cm×横9.1cm)のとおりにする。
②顔写真(カラー写真)の寸法は縦4.0cm×横3.0cmとし、撮影する部分は胸から上の上半身とする。
③ケースの寸法は上記①の用紙(台紙)が入る大きさとする。

②5 施工体制台帳の作成等

当該台帳を現場に備え付け、施工体系図を工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲げること。

②6 排出ガス対策型建設機械

次に掲げる指定建設機械は、排気ガス対策型とする。
1) バックホウ
2) トラクターショベル
3) 発動発電機
4) 空気圧縮機
5) ローラ類
6) ホイールクレーン

設計

工事名 西部地区小学校災害復旧工事

図面名 建築工事仕様書 その1

図面番号 A-01

27	創意工夫等	工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。	3章 土 工 事	6章 コンクリート工事	7	完全溶込み溶接部の試験	1) 現場溶接 ※全て (7.6.12) 2) 工場溶接 A O Q L ※ 4.0% ・ 2.5% 検査水準 ※第6水準 ・ 図示 (7.6.12)(表7.6.2~3)
28	保険の付与及び事故の補償	1) 受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。 2) 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。(法定外の労災保険を含む) 3) 受注者は、建設業退職金共済制度の対象労働者数及び就労予定日数を的確に把握し、その掛金収納書の写しを工事請負契約締結1ヶ月以内及び工事完成時に、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。	① 埋戻し及び盛土 種別・A種 ※B種・C種・D種・建設汚泥から再生した処理土 図 (3.2.3)(表3.2.1) なお、処理に当たっては「建設発生土情報交換システム」等を活用する。 ② 建設発生土の処理 ・現場内で処理 ・構内指示の場所に堆積 ・構内指示の場所に敷き均し (3.2.5) ・構外搬出適正処理 (「再生資源利用促進計画書及び実施書」を監督員に提出のこと) ・指定(想定)搬出先 受入場所：門前町地内 受入時間帯： 時 分～ 時 分 仮置き等： 3 六価クロム溶出試験 (1)「六価クロム溶出試験」の対象工事の有無 ・有 ・無 (2)本工事が「六価クロム溶出試験」の対象工事である場合は、下記の変領で「六価クロム溶出試験」を実施し、厚生労働省の定める指針値(0.05mg/l)以下であることを確認し、試験結果(計量証明書)を提出すること。 参照：「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領(案)」(国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課長ほか H13.4.20改正) 1)「六価クロム溶出試験」対象工種名及び検体数 イ) 工 工法 ・配合設計段階 検体 ・施工後段階 検体 ロ) 工 工法 ・配合設計段階 検体 ・施工後段階 検体 2)タンクリーチング試験対象工種名及び検体 イ) 工 工法 検体 ロ) 工 工法 検体 ④ 山留め ・存置する ○存置しない	① 1 既製コンクリート杭地業 1)種類 ※遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (4.3.1)(4.3.3) ・ 試験杭 杭径(mm) 杭長(m)及び種別 継手数 セット数 備考 本 杭 イ)杭頭の処理 ※切断しない ・ (4.3.8) ロ)先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形 (4.3.3) ハ)杭の継手 ・アーク溶接 ・機械式継手 (4.3.6) 2)施 工 法 (4.3.5) ・特定埋込杭工法(杭材料条件に適合するもの) 2 場所打ちコンクリート杭地業 コンクリートの種別、設計基準強度及びスランプ (4.5.4)(表4.5.1) ()種かつ()N/mm ² 以上 スランプ() イ)鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.4) ロ)掘削工法 ・アースドリル工法(・安定液使用 ・無水掘削) (4.5.5) ・リバース工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張 ・行う ・行わない) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4.5.6) ・拡底杭工法(※安定液使用 ・) ハ)セメントの種類 ※高炉セメントB種 図 (4.5.4) ニ)孔壁測定 ・行う() ・行わない (4.5.5) ③ 砂利地業 ※再生クラッシャーラン 図 ・切込み砂利及び切込み砕石 (4.6.3) ④ 床下防湿層 施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) (4.6.5)	① 1 鉄骨の製作工場 ・監督職員の承諾する製作工場 (7.1.3) ※建築基準法第77条の56第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた㈱日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構により下記グレードとして国土交通省から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。 ・Sグレード以上 ・Hグレード以上 ・Mグレード以上 ・Rグレード以上 2 施工管理技術者 ※適用する (7.1.3~4)(7.6.2)(7.12.2) 3 鋼材 鋼材の材質 (7.2.1)(7.2.10)(表7.2.1) 種類の記号 使用箇所 規格等 ※JIS規格による ※JIS規格による ※JIS規格による ※JIS規格による 4 普通ボルト ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 (7.2.3)(7.3.2) 5 高力ボルト 1)ボルトの区分 (7.2.2)(7.3.2)(7.4.1~9) ※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト 2)ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 3)すべり係数試験 ※行わない ・行う 試験方法等() 6 溶融亜鉛めっき高力ボルト 1)ボルトの径、縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示 (7.2.2)(7.3.2)(7.12.4) 2)摩擦面の処理 ※ プラスト処理(表面粗度50μmRz以上) ・リン酸塩処理 3)すべり耐力等の確認方法 ※ すべり耐力等の確認方法等 ※図示	8 耐火被覆 9 アンカーボルトの保持及び埋込み工法 ・構造用アンカーボルト() ・建方用アンカーボルト(・A種 ※B種 ・C種) (7.10.3)(表7.10.1) 10 柱底均しモルタル工法 ※A種 ・B種 (7.10.3)(表7.10.2) 11 溶融亜鉛めっき工法 垂鉛めっきの種類 材 料 適用部位 A種 最低板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板 B種 最低板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 C種 最低板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 普通ボルト、アンカーボルト 12 スカラップ ・改良型スカラップ ・ノンスカラップ (7.6.7) 13 溶接条件 1)入熱、バス間温度の溶接条件 適用箇所 ・図示 ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 2)鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 鋼材の種類 溶接材料の規格 溶接材料の種類 入 熱 バス間温度 400N級炭素鋼 JIS Z 3312 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 450℃以下 JIS Z 3313 T490Tx-yCA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T490Tx-yMA-U T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 30kJ/cm以下 450℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-11, YGW-15 40kJ/cm以下 350℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃以下 T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3211 引張強さが570MPa以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3214 引張強さが570N/mm2以上のものを除く。 40kJ/cm以下 350℃以下 JIS Z 3315 YGA-50W, YGA-50P 30kJ/cm以下 250℃以下 YGW-18, YGW-19 30kJ/cm以下 250℃	

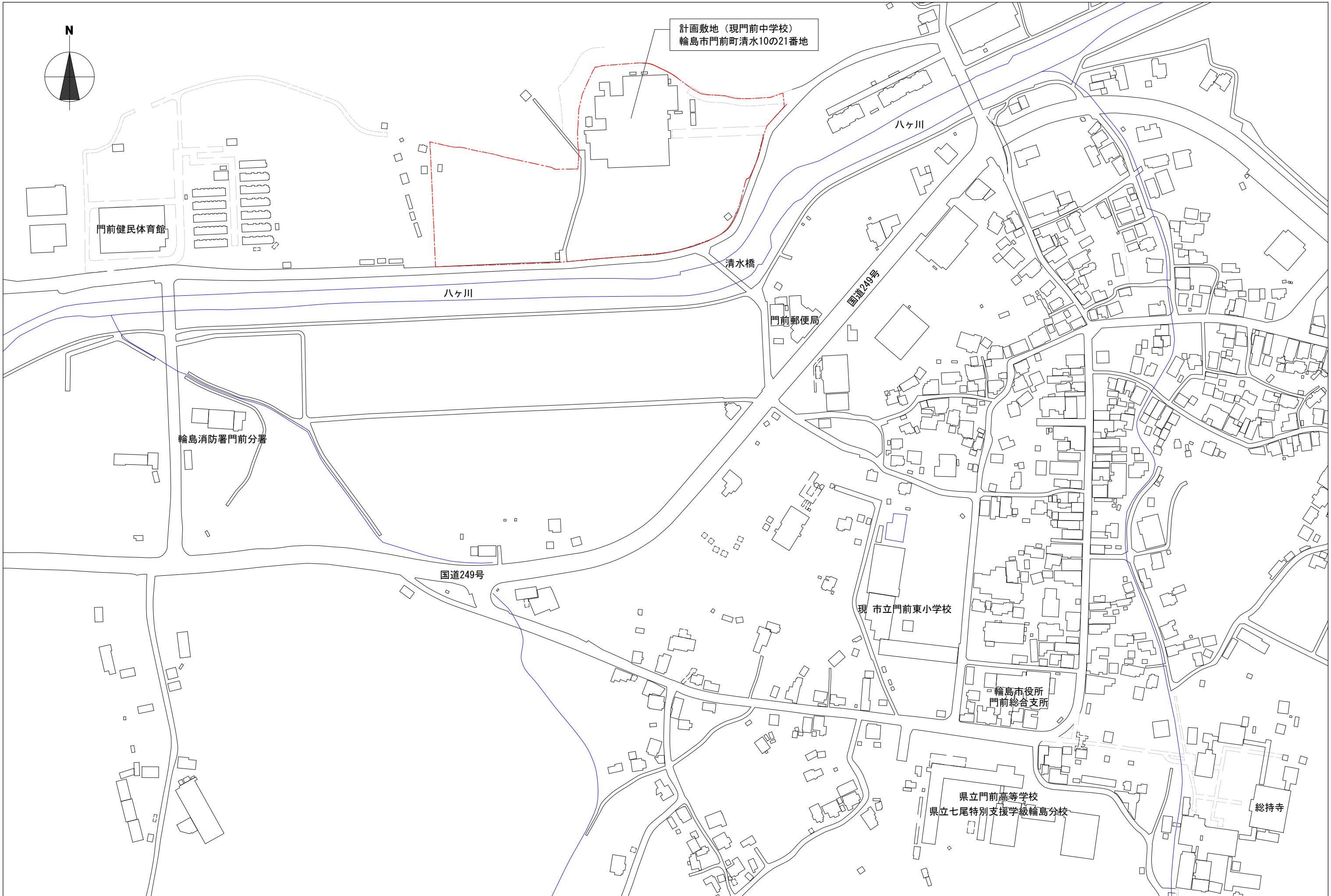
[illegible]

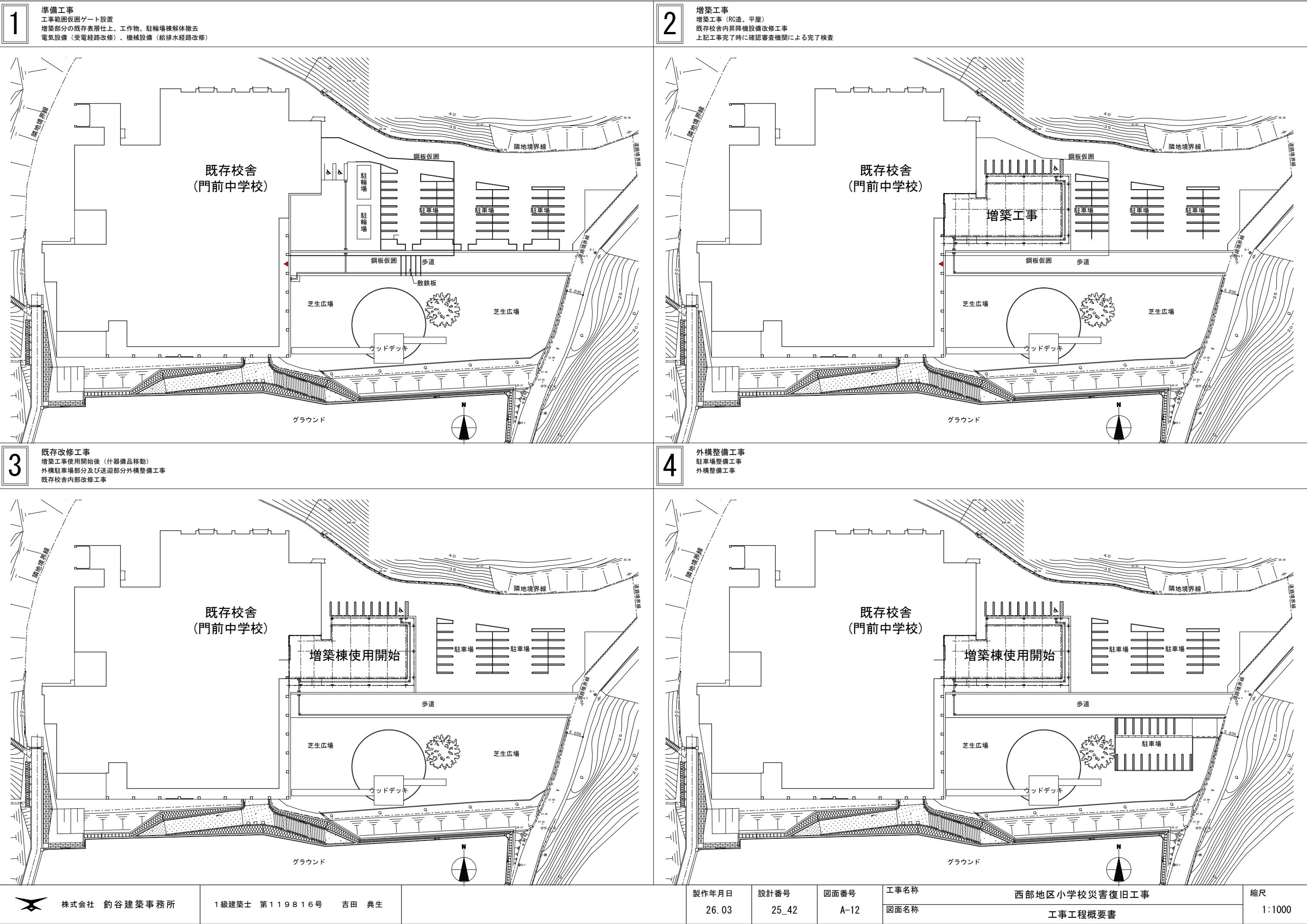
16 章 建 具 工 事				17 章 カーテンウォール工事				18 章 塗 装 工 事			
項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項	
1	見本の製作等	・特殊な建具の仮組等（建具番号： ）（16.1.4）		2	メタルカーテンウォール	設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASSI4による。（17.2.2）		1	材料	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いたホルムアルデヒドの放散量（18.1.3） ※規制対象外 ・第三種 屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。	
2	防犯建物部品	※建具表による（16.1.6）				種 類 規格等		②	素地ごしらえ	木部の素地ごしらえ 不透明塗料塗り ※A種 ・B種（18.2.2）(表18.2.1) 透明塗料塗り ・A種 ※B種 鉄鋼面の素地ごしらえ ・A種 ・B種 ※C種（表18.2.2） 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ ・A種 ・B種 ・C種（表18.2.3） モルタル及びプラスター面の素地ごしらえ ・A種 ※B種（表18.2.4） コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ（表18.2.5～6） せっこうボード及びその他ボード面の素地ごしらえ ※A種 ※B種（表18.2.7） 縦目処理工法の場合 ※A種 ・B種 その他の場合 ・A種 ※B種	
③	アルミニウム製建具	1）外部に面する建具の性能値等（16.2.2）(16.2.4）(表16.2.1） 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み（mm） 施工箇所 ・A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70（注）共） ・B種 S-5 ・ ・C種 S-6 ・A-4 ・W-5 ・100 (注)引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスの時は、100mmとする。 2）表面処理（16.2.4）(表14.2.1） 施工箇所 種 別 色合い等 外部建具 ※B B-1種 無着色 ・B B-2種 ※標準色（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） ・B A-1種 無着色 内部建具 ※AC-1種又はBB-2種 無着色 ・AC-2種又はBB-2種 ※標準色（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） 3）防音ドアセット ※適用は建具表による 4）断熱ドアセット ※適用は建具表による 5）耐震ドアセット ※適用は建具表による				カーテンウォール方式 ・方立方式 ・バックマリオン方式（・単純2辺支持構法 ・SSG構法） ・スバンドレル方式 ・パネル方式 ・小型パネル組み合わせ方式（・ノックダウン方式 ・ユニット方式） シーリング材及びガラス取付け材料 下記以外は「標仕」表9.7.1による。（17.2.2）(9.7.2）(表9.7.1） 被着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 耐久性による区分 金属 ガラス 石、タイル ガラス ガラス 構造ガasket ※適用しない（17.2.2） ・適用する（施工箇所： ） 断熱材 図 ※適用しない（17.2.2） ・適用する（種類： 厚さ（mm）： 施工箇所※図示） 製品の寸法許容差 ※下記以外は「標仕」表17.2.1による。（17.2.3）(表17.2.1） ・製造所標準製作規定寸法許容差による。 アルミニウムの表面処理（17.2.3）(表17.2.1） 種 別 色合い等 ・A B-1種 ・B B-1種 無着色 ・A B-2種 ・B B-2種 ※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー ・ ・着色塗膜 塗装材料（ ）焼付け方法（ ）コート（ ）ペーク 耐風圧性能 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。（17.1.3） 性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。 ・正圧 N/㎡以上及び負圧 N/㎡以上に対して安全であること。 主要部材のたわみ たわみ量 状 態 支点間距離（h） ※±（1/150）×h ※4 m以下 かつ絶対量20mm以下 ※各部の破損、残留変形 有害な変形が起らないこと ・4 mを超える 耐震性能 設計用震度 水平方向（K _h ） ※1.0 ・ 垂直方向（K _v ） ※0.5 ・ 構造種別 許容層間変位量（h=支点間距離） 変位後の状態 鉄骨造 ※±（1/100）×h以上 ※部材・ガラス等の損傷、破損及び 鉄筋コンクリート造 ※±（1/200）×h以上 脱落が起らないこと 鉄骨鉄筋コンクリート造 シーリングの損傷は破損程度 水密性 ・W-4 ・W-5（17.1.3）(表16.2.1） 気密性 ・A-3 ・A-4（17.1.3）(表16.2.1） 耐火性能 ※適用しない ・適用する（ 時間、施工箇所： 図示） 映像調整 ※行わない ・行う（建具表による） 設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASSI4による。（17.3.2） コンクリートの種類及び品質 ※「標仕」17.3.2による。 ・下表による。ただし下表以外は17.3.2による。 コンクリートの種類 設計基準強度（F _o ） 所要スランプ（cm） 鉄筋 ※SD295 取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質 下記以外はカーテンウォール製作所の仕様による。（17.3.2）(14.2.2）(表14.2.2） 金物種類及び部位 内 部 外 部 PC板打込み金物 ※E種 ・ ※A種 ・ PC板打込み取付けボルト ※E種 ・ ※ステンレスボルト 2次ファスナー ※E種 ・ ※A種 ・ 取付けボルト ※E種 ・ ※A種 ・ レベル調整ボルト ※E種 ・ ※A種 ・ シーリング材料 下記以外は「標仕」表9.7.1による。（17.2.2）(9.7.2）(表9.7.1） 施工箇所 シーリング材の種類 記号 主成分による区分 耐久性による区分 カーテンウォール板間目地 断熱材 図 ※適用しない（17.2.2） ・適用する（種類： 厚さ（mm）： 施工箇所※図示） 製品の寸法許容差 ※下記以外は「標仕」表17.3.1による。（17.3.3）(表17.3.1） ・製造所標準製作規定寸法許容差による。 表面仕上げ（ ） 耐火材料 施工部位 種 別 規格等 ・ファスナー部 ・取付けブラケット ・パネル目地部 ・層間ふさぎ 耐風圧性能（17.1.3） 性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。 ・正圧 N/㎡以上及び負圧 N/㎡以上に対して安全であること。 耐震性能 設計用震度 水平方向（K _h ） ※1.0 ・ 垂直方向（K _v ） ※0.5 ・ 構造種別 許容層間変位量（h=支点間距離） 変位後の状態 鉄骨造 ※±（1/100）×h以上 ※部材・ガラス等の損傷、破損及び 鉄筋コンクリート造 ※±（1/200）×h以上 脱落が起かないこと 鉄骨鉄筋コンクリート造 シーリングの損傷は破損程度		③	錆止め塗料塗り	錆止め塗料種別 ・鉄鋼面 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種（18.3.2）(表18.3.1） ・亜鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種 ・C種（表18.3.2） 錆止め塗料塗り（SOP、EP-Gの場合） ○鉄鋼面 見え掛り ※A種 ・B種（18.3.3）(表18.3.3） 見え隠れ ・A種 ※B種 ○亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 ※A種 ・B種（表18.3.5） その他 ・A種 ※B種	
4	樹脂製建具	1）外部に面する建具の性能値等（16.3.2）(16.3.4）(表16.3.1） 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み（mm） 施工箇所 ・A種 S-4 ※W-4 ・60 ・80 ・B種 S-5 ・A-4 ・W-5 ・100 ・C種 S-6 ・125 2）表面色 ※白色 ・（ ） 3）ガラス ※複層ガラス ・単層ガラス ・三重ガラス（16.3.3） 防虫網（16.2.3） イ）網の種類 ・合成樹脂製 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製（SUS316） ロ）形 式 ※外部可動式 ・固定式				ガラスの厚さ・構成等は建具表により、その他ガラス性能等は下記による。（16.14.2） 1）合わせガラス 特性による種類 ※Ⅱ-1類（JIS R 3205） 2）強化ガラス 材料板ガラスによる種類 衝撃特性による種類（JIS R 3206） ※フロート強化ガラス 皿類（曲面はⅠ類） ・型板強化ガラス 3）熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類 日射熱取得率 色 調 ・熱線吸収フロート板ガラス ※2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス ・グリーン 4）複層ガラス 種 類 断熱性、日射遮へい性による区分（JIS R 3209） ※断熱複層ガラス ※U3-1 ・U3-2 ・U1 ・U2 ・日射遮へい複層ガラス ・E4 ・E5 5）熱線反射板ガラス 品 質 反射皮膜面 材料板ガラスの種類 映像調整 ※熱線反射ガラス ※内面・外面 ・フロート板ガラス ※行わない ・高性能熱線反射ガラス 内面 ・熱線吸収フロート板ガラス ・行う ・強化ガラス ただし、メタル ・倍強度ガラス カーテンウォール 工事は17章による 6）倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色 調 ※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・ ガラス留め材及び 溝 建具の種類 材 種 アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材） 鋼製及び軽量鋼製 ※シーリング材 ステンレス製 ※シーリング材 樹脂製 ※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材） ただし、防火戸は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による。（16.14.3）(図16.14.1） 板ガラスをはめ込む溝の大きさ（16.14.3） ※「標仕」図16.14.1による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が 確認できる資料を監督員に提出し、承認を受ける。 ガラスブロック（16.14.5） 寸法（mm） 表面形状 性能等 呼び寸法 厚さ 色調 パターン 防火性能 耐火性能 ※クリア ・ ※無し ・ 壁用金属枠及び補強材（16.14.5） 壁用金属枠の種類 規格及び補強材等 ※アルミニウム製 ※「標仕」16.2.3のアルミニウム製建具の材料による 化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料 下記以外は「標仕」表9.7.1による。（9.7.2）(表9.7.1） 被着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 耐久性による区分 ただし、防火区画等に用いる場合は、建築基準法に基づく規定に定められたもの、又は認定を受けた条件による。 製造所等 JIS A 5212によるもの又は「評価名簿」による。 名 称 記 号 張り面 ・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム GⅠ ・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム GⅡ ※内張り ・外張り ・ 品質 J I S A 5 7 5 9による。 13 自動ドア開閉装置（16.9.2～3）(表16.9.1～6） 開閉方法 検出装置の種類 ※スライディングドア ※光線（反射）センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・スイングドア ・熱線センサー ・音波センサー ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・光電センサー 2）凍結防止措置 ※行わない ・行う（ ）（16.9.3） 3）製造所 大型回転自動ドア機構のみ「評価名簿」による。 14 自閉式上吊り引戸装置（16.10.2） 製造所「評価名簿」による 15 重量シャッター（16.11.2） 1）外部に面するシャッターの耐風圧強度 耐風圧性能（ ）N/㎡ 2）開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式（16.11.2）(表16.11.1） 3）危害防止機構 ※危害防止装置（16.11.2） 4）一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない（16.11.2） 16 軽量シャッター（16.12.2）(表16.12.1） 1）開閉形式 ※手動式 ○上部電動式（手動併用）（16.12.2）(表16.12.1） 2）外部に面するシャッターの耐風圧強度 耐風圧性能（ ）N/㎡ 3）スラット 厚さ（mm） ※0.5 ・0.8 ○1.2（表16.12.2） 材質 ※JISG3312（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JISG3322（塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） 形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形（16.12.4） 4）ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製 SUS304（表16.12.2） 厚さ ※1.0 ・1.5 17 オーバーヘッドドア（16.13.2～3） セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレール ※スチールタイプ ※バンス式 ・スタンダード形 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ※ステンレス鋼板 ・ファイバーグラスタイプ ・電動式 ・ハイルフト形（SUS304） ・バーチカル形 18 ガラス（16.13.2） 耐風圧性能（ ）N/㎡ ガラスの厚さ・構成等は建具表により、その他ガラス性能等は下記による。（16.14.2） 1）合わせガラス 特性による種類 ※Ⅱ-1類（JIS R 3205） 2）強化ガラス 材料板ガラスによる種類 衝撃特性による種類（JIS R 3206） ※フロート強化ガラス 皿類（曲面はⅠ類） ・型板強化ガラス 3）熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類 日射熱取得率 色 調 ・熱線吸収フロート板ガラス ※2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス ・グリーン 4）複層ガラス 種 類 断熱性、日射遮へい性による区分（JIS R 3209） ※断熱複層ガラス ※U3-1 ・U3-2 ・U1 ・U2 ・日射遮へい複層ガラス ・E4 ・E5 5）熱線反射板ガラス 品 質 反射皮膜面 材料板ガラスの種類 映像調整 ※熱線反射ガラス ※内面・外面 ・フロート板ガラス ※行わない ・高性能熱線反射ガラス 内面 ・熱線吸収フロート板ガラス ・行う ・強化ガラス ただし、メタル ・倍強度ガラス カーテンウォール 工事は17章による 6）倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色 調 ※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・ 19 ガラス留め材及び溝（16.14.2）(表9.7.1） 建具の種類 材 種 アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材） 鋼製及び軽量鋼製 ※シーリング材 ステンレス製 ※シーリング材 樹脂製 ※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材） ただし、防火戸は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による。（16.14.3）(図16.14.1） 板ガラスをはめ込む溝の大きさ（16.14.3） ※「標仕」図16.14.1による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が 確認できる資料を監督員に提出し、承認を受ける。 20 ガラスブロック積み（16.14.5） 寸法（mm） 表面形状 性能等 呼び寸法 厚さ 色調 パターン 防火性能 耐火性能 ※クリア ・ ※無し ・ 壁用金属枠及び補強材（16.14.5） 壁用金属枠の種類 規格及び補強材等 ※アルミニウム製 ※「標仕」16.2.3のアルミニウム製建具の材料による 化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料 下記以外は「標仕」表9.7.1による。（9.7.2）(表9.7.1） 被着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 耐久性による区分 ただし、防火区画等に用いる場合は、建築基準法に基づく規定に定められたもの、又は認定を受けた条件による。 製造所等 JIS A 5212によるもの又は「評価名簿」による。 21 ガラス用フィルム 名 称 記 号 張り面 ・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム GⅠ ・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム GⅡ ※内張り ・外張り ・ 品質 J I S A 5 7 5 9による。					
13	自動ドア開閉装置	1）自動ドアの開閉機構（16.9.2～3）(表16.9.1～6） 開閉方法 検出装置の種類 ※スライディングドア ※光線（反射）センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・スイングドア ・熱線センサー ・音波センサー ・押しボタンスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・光電センサー 2）凍結防止措置 ※行わない ・行う（ ）（16.9.3） 3）製造所 大型回転自動ドア機構のみ「評価名簿」による。				ガラスの厚さ・構成等は建具表により、その他ガラス性能等は下記による。（16.14.2） 1）合わせガラス 特性による種類 ※Ⅱ-1類（JIS R 3205） 2）強化ガラス 材料板ガラスによる種類 衝撃特性による種類（JIS R 3206） ※フロート強化ガラス 皿類（曲面はⅠ類） ・型板強化ガラス 3）熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類 日射熱取得率 色 調 ・熱線吸収フロート板ガラス ※2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス ・グリーン 4）複層ガラス 種 類 断熱性、日射遮へい性による区分（JIS R 3209） ※断熱複層ガラス ※U3-1 ・U3-2 ・U1 ・U2 ・日射遮へい複層ガラス ・E4 ・E5 5）熱線反射板ガラス 品 質 反射皮膜面 材料板ガラスの種類 映像調整 ※熱線反射ガラス ※内面・外面 ・フロート板ガラス ※行わない ・高性能熱線反射ガラス 内面 ・熱線吸収フロート板ガラス ・行う ・強化ガラス ただし、メタル ・倍強度ガラス カーテンウォール 工事は17章による 6）倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色 調 ※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・ 20 ガラスブロック積み（16.14.5） 寸法（mm） 表面形状 性能等 呼び寸法 厚さ 色調 パターン 防火性能 耐火性能 ※クリア ・ ※無し ・ 壁用金属枠及び補強材（16.14.5） 壁用金属枠の種類 規格及び補強材等 ※アルミニウム製 ※「標仕」16.2.3のアルミニウム製建具の材料による 化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料 下記以外は「標仕」表9.7.1による。（9.7.2）(表9.7.1） 被着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 耐久性による区分 ただし、防火区画等に用いる場合は、建築基準法に基づく規定に定められたもの、又は認定を受けた条件による。 製造所等 JIS A 5212によるもの又は「評価名簿」による。 21 ガラス用フィルム 名 称 記 号 張り面 ・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム GⅠ ・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム GⅡ ※内張り ・外張り ・ 品質 J I S A 5 7 5 9による。					
14	自閉式上吊り引戸装置	製造所「評価名簿」による（16.10.2）				ガラスの厚さ・構成等は建具表により、その他ガラス性能等は下記による。（16.14.2） 1）合わせガラス 特性による種類 ※Ⅱ-1類（JIS R 3205） 2）強化ガラス 材料板ガラスによる種類 衝撃特性による種類（JIS R 3206） ※フロート強化ガラス 皿類（曲面はⅠ類） ・型板強化ガラス 3）熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類 日射熱取得率 色 調 ・熱線吸収フロート板ガラス ※2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス ・グリーン 4）複層ガラス 種 類 断熱性、日射遮へい性による区分（JIS R 3209） ※断熱複層ガラス ※U3-1 ・U3-2 ・U1 ・U2 ・日射遮へい複層ガラス ・E4 ・E5 5）熱線反射板ガラス 品 質 反射皮膜面 材料板ガラスの種類 映像調整 ※熱線反射ガラス ※内面・外面 ・フロート板ガラス ※行わない ・高性能熱線反射ガラス 内面 ・熱線吸収フロート板ガラス ・行う ・強化ガラス ただし、メタル ・倍強度ガラス カーテンウォール 工事は17章による 6）倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色 調 ※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・ 20 ガラスブロック積み（16.14.5） 寸法（mm） 表面形状 性能等 呼び寸法 厚さ 色調 パターン 防火性能 耐火性能 ※クリア ・ ※無し ・ 壁用金属枠及び補強材（16.14.5） 壁用金属枠の種類 規格及び補強材等 ※アルミニウム製 ※「標仕」16.2.3のアルミニウム製建具の材料による 化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料 下記以外は「標仕」表9.7.1による。（9.7.2）(表9.7.1） 被着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 耐久性による区分 ただし、防火区画等に用いる場合は、建築基準法に基づく規定に定められたもの、又は認定を受けた条件による。 製造所等 JIS A 5212によるもの又は「評価名簿」による。 21 ガラス用フィルム 名 称 記 号 張り面 ・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム GⅠ ・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム GⅡ ※内張り ・外張り ・ 品質 J I S A 5 7 5 9による。					
15	重量シャッター	1）外部に面するシャッターの耐風圧強度 耐風圧性能（ ）N/㎡ 2）開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式（16.11.2）(表16.11.1） 3）危害防止機構 ※危害防止装置（16.11.2） 4）一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない（16.11.2） 16 軽量シャッター（16.12.2）(表16.12.1） 1）開閉形式 ※手動式 ○上部電動式（手動併用）（16.12.2）(表16.12.1） 2）外部に面するシャッターの耐風圧強度 耐風圧性能（ ）N/㎡ 3）スラット 厚さ（mm） ※0.5 ・0.8 ○1.2（表16.12.2） 材質 ※JISG3312（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JISG3322（塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） 形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形（16.12.4） 4）ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製 SUS304（表16.12.2） 厚さ ※1.0 ・1.5 17 オーバーヘッドドア（16.13.2～3） セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレール ※スチールタイプ ※バンス式 ・スタンダード形 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ※ステンレス鋼板 ・ファイバーグラスタイプ ・電動式 ・ハイルフト形（SUS304） ・バーチカル形 18 ガラス（16.13.2） 耐風圧性能（ ）N/㎡ ガラスの厚さ・構成等は建具表により、その他ガラス性能等は下記による。（16.14.2） 1）合わせガラス 特性による種類 ※Ⅱ-1類（JIS R 3205） 2）強化ガラス 材料板ガラスによる種類 衝撃特性による種類（JIS R 3206） ※フロート強化ガラス 皿類（曲面はⅠ類） ・型板強化ガラス 3）熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類 日射熱取得率 色 調 ・熱線吸収フロート板ガラス ※2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス ・グリーン 4）複層ガラス 種 類 断熱性、日射遮へい性による区分（JIS R 3209） ※断熱複層ガラス ※U3-1 ・U3-2 ・U1 ・U2 ・日射遮へい複層ガラス ・E4 ・E5 5）熱線反射板ガラス 品 質 反射皮膜面 材料板ガラスの種類 映像調整 ※熱線反射ガラス ※内面・外面 ・フロート板ガラス ※行わない ・高性能熱線反射ガラス 内面 ・熱線吸収フロート板ガラス ・行う ・強化ガラス ただし、メタル ・倍強度ガラス カーテンウォール 工事は17章による 6）倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色 調 ※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ ・ 19 ガラス留め材及び溝（16.14.2）(表9.7.1） 建具の種類 材 種 アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材） 鋼製及び軽量鋼製 ※シーリング材 ステンレス製 ※シーリング材 樹脂製 ※シーリング材 ・ガasket（FIX部はシーリング材） ただし、防火戸は建築基準法に基づく規定に定められたもの又は認定を受けた条件による。（16.14.3）(図16.14.1） 板ガラスをはめ込む溝の大きさ（16.14.3） ※「標仕」図16.14.1による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が 確認できる資料を監督員に提出し、承認を受ける。 20 ガラスブロック積み（16.14.5） 寸法（mm） 表面形状 性能等 呼び寸法 厚さ 色調 パターン 防火性能 耐火性能 ※クリア ・ ※無し ・ 壁用金属枠及び補強材（16.14.5） 壁用金属枠の種類 規格及び補強材等 ※アルミニウム製 ※「標仕」16.2.3のアルミニウム製建具の材料による 化粧目地モルタルの色 ※モルタル色 ・ シーリング材料 下記以外は「標仕」表9.7.1による。（9.7.2）(表9.7.1） 被着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 耐久性による区分 ただし、防火区画等に用いる場合は、建築基準法に基づく規定に定められたもの、又は認定を受けた条件による。 製造所等 JIS A 5212によるもの又は「評価名簿」による。 21 ガラス用フィルム 名 称 記 号 張り面 ・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム GⅠ ・層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム GⅡ ※内張り ・外張り ・ 品質 J I S A 5 7 5 9による。									
16	軽量シャッター	1）開閉形式 ※手動式 ○上部電動式（手動併用）（16.12.2）(表16.12.1） 2）外部に面するシャッターの耐風圧強度 耐風圧性能（ ）N/㎡ 3）スラット 厚さ（mm） ※0.5 ・0.8 ○1.2（表16.12.2） 材質 ※JISG3312（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JISG3322（塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） 形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形（16.12.4） 4）ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製 SUS304（表16.12.2） 厚さ ※1.0 ・1.5 17 オーバーヘッドドア（16.13.2～3） セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレール ※スチールタイプ ※バンス式 ・スタンダード形 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ※ステンレス鋼板 ・ファイバーグラスタイプ ・電動式 ・ハイルフト形（SUS304） ・バーチカル形 18 ガラス（16.13.2） 耐風圧性能（ ）N/㎡ ガラスの厚さ・構成等は建具表により、その他ガラス性能等は下記による。（16.14.2） 1）合わせガラス 特性による種類 ※Ⅱ-1類（JIS R 3205） 2）強化ガラス 材料板ガラスによる種類 衝撃特性による種類（JIS R 3206） ※フロート強化ガラス 皿類（曲面はⅠ類） ・型板強化ガラス 3）熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類 日射熱取得率 色 調 ・熱線吸収フロート板ガラス ※2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス ・グリーン 4）複層ガラス 種 類									

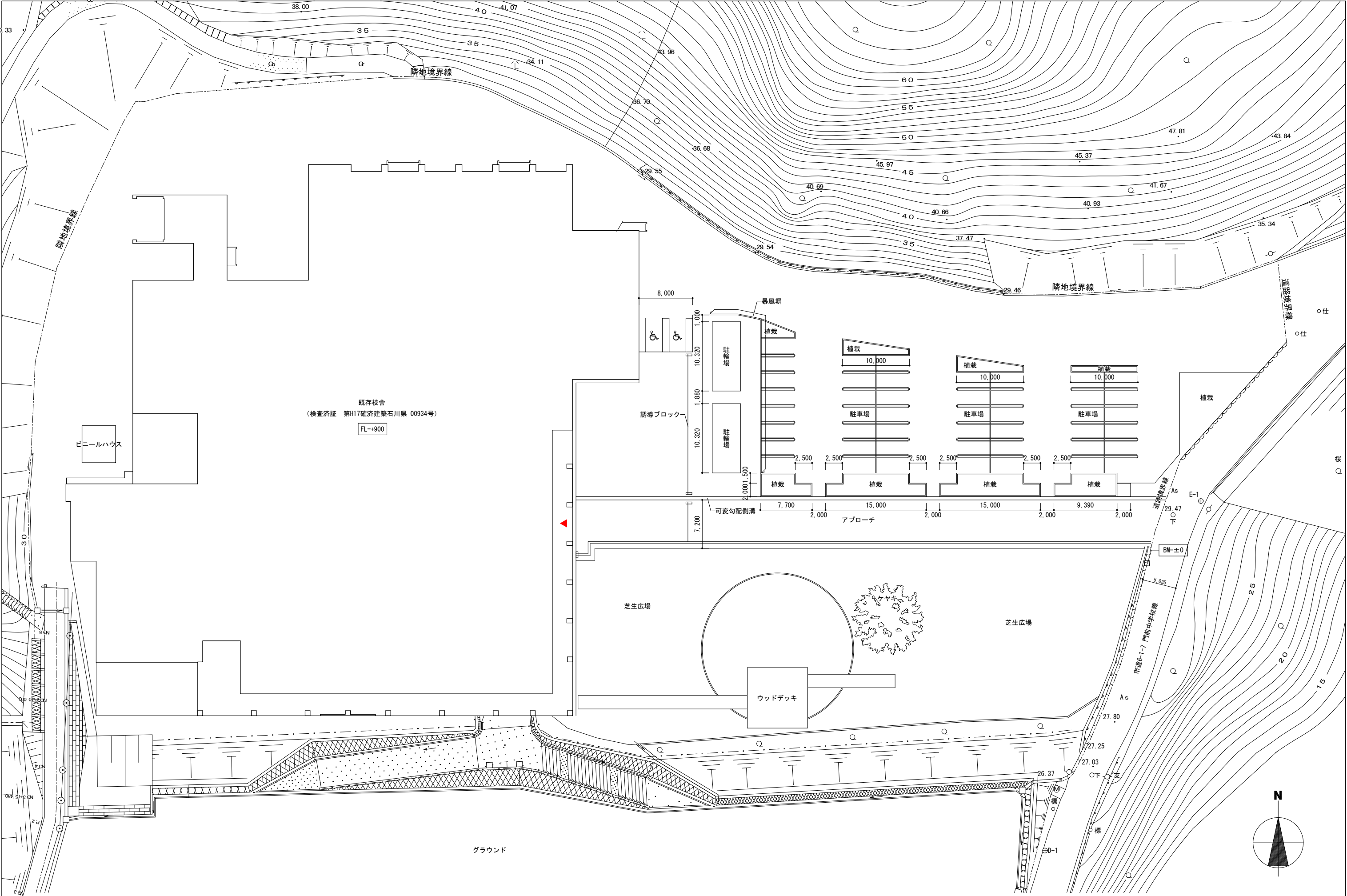
[illegible]

26	排出ガス対策型建設機械	次に掲げる指定建設機械は、排気ガス対策型とする。 1) バックホウ 2) トラクターショベル 3) 発動機電機 4) 空気圧縮機 5) ローラ類 6) ホイールクレーン	創意工夫等	工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。	27	創意工夫等	工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。	28	保険の付与及び事故の補償	1) 受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び中小企業退職金共済法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。 2) 受注者は、雇用者等の業務に関して生じた負傷、疾病、死亡及びその他の事故に対して責任をもって適正な補償をしなければならない。（法定外の労災保険を含む） 3) 受注者は、建設業退職金共済制度の対象労働者数及び就労予定日数を的確に把握し、その掛金収納書の写しを工事請負契約締結1ヶ月以内及び工事完成時に、監督員を通じて発注者に提出しなければならない。	29	電子納品	※行う（「電子納品仕様書」による。） ・行わない 電子納品仕様書 1 電子納品とは、出来形管理資料や工事写真等の工事完成図書を電子データで納品するものである。 ここでの電子データとは、下表に示す各種電子納品要領等で定めるフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 <table><tr><th colspan="2">名 称</th></tr><tr><td>営繕工事電子納品要領（令和3年版）</td><td></td></tr><tr><td>官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン〔営繕工事編〕（令和3年版）</td><td></td></tr></table> 基準・要領類のダウンロード http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk2_000017.html 2 工事関係書類の最終成果品を、従来の紙での納品と別にCD-R、DVD-R又はBR-Dで1部納品とする。 3 工事着手時には、事前協議チェックシートを用いて事前協議を行うものとする。 工事関係書類の内、電子データで提出するものは、事前協議にて決定する。 4 発注者が行うCALS/EC電子納品に関する調査について協力を行うものとする。	名 称		営繕工事電子納品要領（令和3年版）		官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン〔営繕工事編〕（令和3年版）		30	騒音振動の防止	低騒音（ G ）、低振動型建設機械を使用する。	31	隣接建物又は工作物の調査	※行う ・行わない	32	敷地の状況確認	着工に先立ち地下に埋設されたガス管、電線ケーブル、給排水管及び架設物がなければ関係機関の協力を得て確認し、報告するとともに事故を未然に防ぐよう留意する。	33	総合評価時における技術提案	「石川県建設工事総合評価方式試行要領」に基づく「技術提案」がある場合は、提案内容を本工事において確実に履行し、受注者は「技術提案履行状況報告書」を監督員に提出のうえ、履行状況の確認を受ける。なお、受注者の責任以外の理由等により、変更等の必要が生じた場合は、事前に監督員に協議する。	34	ダンプトラック等による過積載等の防止	1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 2) さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受けること等、過積載を助長することのないようにすること。 4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 5) 建設発生の処理及び資材の購入に当たって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 6) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年9月2日法律第131号。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等設立状況を踏まえ、同団体への加入者の使用を促進すること。 7) 1から6につき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。	35	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	36	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	37	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	38	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	39	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	40	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	41	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	42	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	43	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	44	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	45	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	46	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	47	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	48	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	49	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	50	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	51	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	52	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	53	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	54	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	55	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	56	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	57	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	58	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	59	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	60	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	61	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	62	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	63	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	64	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	65	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	66	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	67	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	68	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	69	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	70	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	71	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	72	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	73	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	74	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	75	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	76	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	77	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	78	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	79	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	80	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	81	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	82	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	83	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	84	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	85	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	86	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	87	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	88	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	89	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮した工事施工に努めること。	90	景観への配慮	当該工事は、石川県公共事業景観形成ガイドラインに基づく重点事業であり、景観に配慮
名 称																																																																																																																																																																																																										
営繕工事電子納品要領（令和3年版）																																																																																																																																																																																																										
官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン〔営繕工事編〕（令和3年版）																																																																																																																																																																																																										

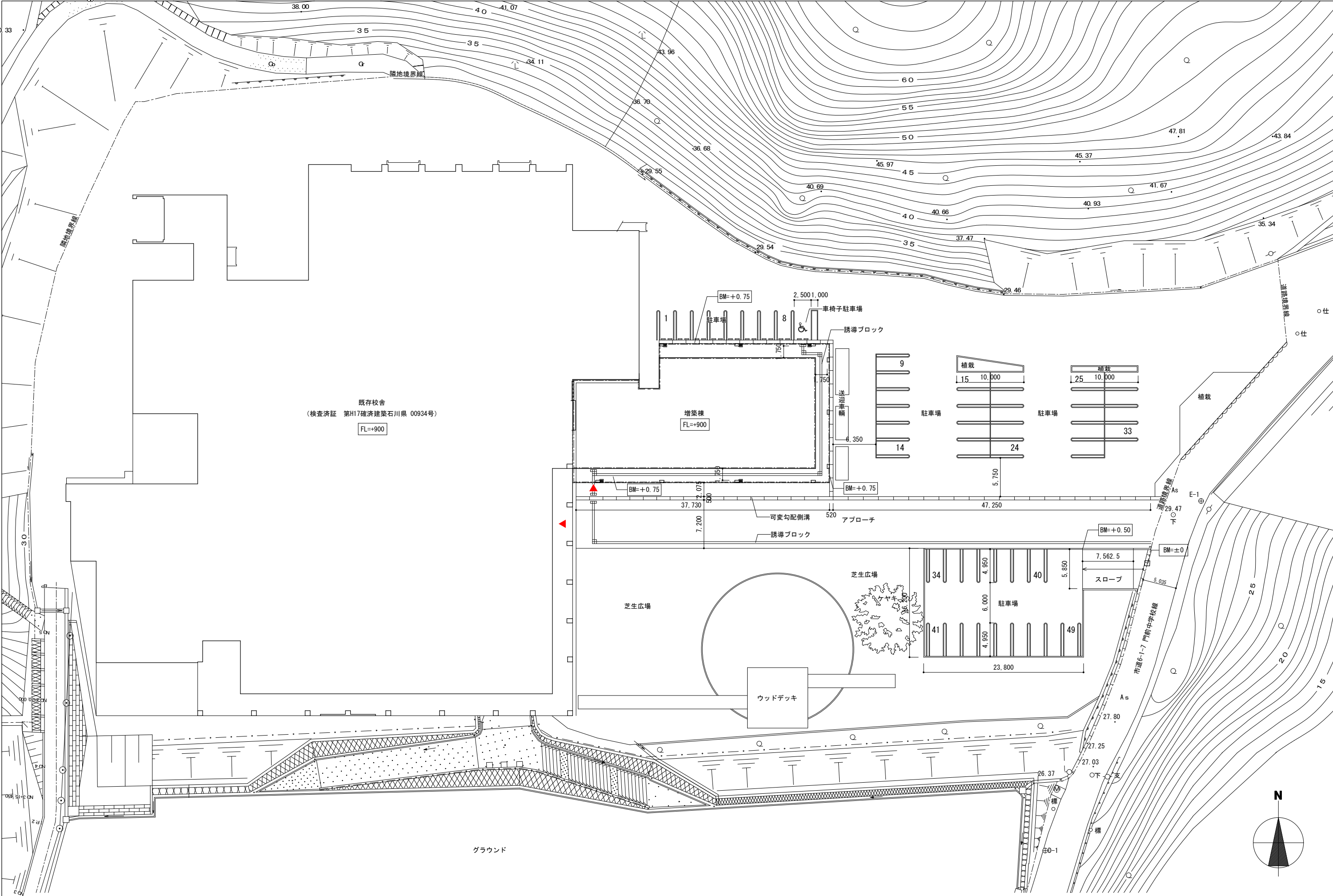
4	浮き部改修工法	モルタルを撤去しない場合	[4.1.4][4.3.5][4.3.11~16][表4.3.5~6]	④見本の製作等 ・建具見本の製作（建具番号） ・特殊な建具の仮組（建具番号） ⑤防水回り等の充填モルタル	[5.1.5]	軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） [5.12.2][表5.12.1] 外部に面するシャッターの耐風圧強度 耐風圧性能（ ）N/m ² [5.12.2] スラット 厚さ（mm） ※0.5 ・0.8 [5.12.3][表5.12.2] 材質 ※ JISG3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯） ・ JISG3322（塗装溶融55%ZnにNi-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯） [5.12.4] 形状 ※ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 [5.12.4] ガイドレール等 ※鋼板製 ・ ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm） [表5.12.2]	④ビニル床シート張り [G]	材料 種 類 JISの記号 色 柄 厚さ・高さ（mm） ※発泡層のないもの ※F S ・ ※無地 ・ マーブル柄 ※2.0 ※2.5 ・ 発泡層のあるもの ・ H S ※柄物 ・ 無地 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ビニル幅木 ・ ※60 ・ 工法 ※熱溶接工法 ・ 突付け（施工箇所： ） [6.8.3]	
		改修工法の種類	フカビンの本数（本/m ² ） 注入口の箇所数（箇所/m ² ） 充填量又は注入量（ml/箇所） 一般部 指定部 一般部 指定部 ・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※16 ※25 ※12 ※20 ※25 ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25 ・アンカーピンニング全面 ｶﾞﾗｰﾍﾞﾙﾄﾞﾌﾗｲｰ注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※50 ・注入口フカビンｼﾝｸﾞ部分 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※16 ※16 ※25 ・注入口フカビンｼﾝｸﾞ全面 エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25 ・注入口フカビンｼﾝｸﾞ全面 ｶﾞﾗｰﾍﾞﾙﾄﾞﾌﾗｲｰ注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50 アンカーピン 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの [4.3.5] 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外径6mm [4.3.5]						⑤ビニル床ﾀｲﾙ張り [G]	材料 ビニル床ﾀｲﾙ 種 類 JISの記号 厚さ・高さ（mm） ※コンポジションビニル床ﾀｲﾙ（半硬質） K T ※2 ・ ・ 複層ビニル床ﾀｲﾙ F T ・ ・ ・ ・ ビニル幅木 ※60 ・ 視覚障がい者用床ﾀｲﾙ ※塩化ビニル系 ※300×300 ブロックパターンは JIS T 9251による ・ 磁器又はセラ器ﾀｲﾙ ・ 帯電防止床ﾀｲﾙ 種 類 厚 さ 性 能 ・コンポジションビニル床ﾀｲﾙ ※2.0 体積抵抗値（JIS K 6911による） ・ホモジニアスビニル床ﾀｲﾙ ※4.0又は4.5 1.0×10 ⁹ Ω以下、または、 ・ 漏えい抵抗値（JIS A 1454）による 1.0×10 ¹⁰ Ω未満
		4章-4 タイル張り仕上げ外壁改修工事		⑤取付け調整等 ・ブランド ・カーテンボックス	[5.1.6]		形式及び機構 [5.13.2~3][表5.13.1] セクション材料 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材料 ※スチールタイプ ※バランス式 ・スタンダード形 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・チェーン式 ・ローヘッド形 ※ステンレス鋼板（SUS304） ・ファイバーグラスタイプ ・電動式 ・ハイルフト形 ・バーチカル形 耐風圧性能（ ）N/m ² [5.13.2] ガラスの厚さ・構成等については建具表により、その他ガラス性能等は下記による。 ・合わせガラス 特性による種類 ※Ⅱ-1類 （JIS R 3205） ⑥強化ガラス 材料板ガラスによる種類 衝撃特性による種類（JIS R 3206） ※フロート強化ガラス Ⅲ類（曲面はⅠ類） ・型板強化ガラス ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類 日射熱取得率 色 調 ※熱線吸収フロート板ガラス 2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・グリーン ・複層ガラス 種 類 断熱性、日射遮へい性による区分 ・断熱複層ガラス ※Ⅲ-3-1 ・Ⅲ-3-2 ・Ⅲ-1 ・Ⅲ-2 ・日射熱遮へい複層ガラス ・E4 ・E5 ・熱線反射板ガラス 品 種 反射皮膜面 材料板ガラスの種類 色 調 映像調整 ※熱線反射ガラス ※内面 ・外面 ・フロート板ガラス ・ブルー ※行わない ・高性能熱線反射ガラス 内面 ・熱線吸収フロート板ガラス ・グレー ・ブルー ※行う ・強化ガラス ・強化ガラス ・ブロンズ ・シルバー ・倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色 調 ※フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・グレー ・ブルー ・ブロンズ		⑥接着剤	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 下張り用床板及び畳下床板の材料 [6.5.2][表6.5.8] 使用区分 材 料 厚さ（mm） 下張り用床板の材料 ※合板 [G] ※12 畳下床板 ・ﾊﾞｰﾃｨｸﾙﾎｰﾄﾞ [G] ・ ・繊維板（MDF） [G] ・
		1 既存タイル張りの撤去	・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張付けモルタルまで	改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面（ ・コンクリート面 ・モルタル面） ※樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.5][4.4.5~6] 注入工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入口間隔（mm） 注入量（ml/m） ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0以下 ※200～300 ※ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3以下 ※50～100 ※40 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.3超え～0.5以下 ※100～200 ※70 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5超え～1.0以下 ※150～250 ※130 注入材料 [4.4.5] ※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A6024低粘度形又は中粘度形） 検査（コア抜き） ※行わない ・行う（採取部目の補修方法： ） [4.2.5] ・リカットモルタル充填工法（既存タイル張り撤去面） [4.1.4][4.2.4][4.2.6]			⑦床板張り用合板等 [G]	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 下張り用床板及び畳下床板の材料 [6.5.2][表6.5.8] 使用区分 材 料 厚さ（mm） 下張り用床板の材料 ※合板 [G] ※12 畳下床板 ・ﾊﾞｰﾃｨｸﾙﾎｰﾄﾞ [G] ・ ・繊維板（MDF） [G] ・		
		2 ひび割れ部改修工法	・既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面（ ・コンクリート面 ・モルタル面） ※樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.5][4.4.5~6] 注入工法の種類 ひび割れ幅（mm） 注入口間隔（mm） 注入量（ml/m） ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0以下 ※200～300 ※ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3以下 ※50～100 ※40 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.3超え～0.5以下 ※100～200 ※70 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5超え～1.0以下 ※150～250 ※130 注入材料 [4.4.5] ※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A6024低粘度形又は中粘度形） 検査（コア抜き） ※行わない ・行う（採取部目の補修方法： ） [4.2.5] ・リカットモルタル充填工法（既存タイル張り撤去面） [4.1.4][4.2.4][4.2.6]				⑧合成樹脂張り床	材料、工法 [6.11.2~6][表6.11.1~6] 品 名 樹 種 工 法 厚さ（mm） 大きさ寸法（mm） 種 別 ・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎｰﾄﾞ ・なら ・釘留め工法（根太張） ※15 ・巾75 長さ400以上 ・ ひのき ・釘留め工法（直張り） ・12以上 ・ ぶな ・接着工法 ・8以上 ・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ ・能登ひば 縦衝材裏打 ・ ・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ ・かば ・A種 ・B種 ・C種		
		3 欠損部改修工法	・タイル部分張替え工法 張付け材料 ※ポリマーセメントモルタル ・接着剤（JIS A 5557に基づく一液反応硬化形の変成シリコーン樹脂系） ・タイル張替え工法 張付け材料 ・張付けモルタル（ ・現場調合 ・既調合） ・接着剤（JIS A 5557に基づく一液反応硬化形の変成シリコーン樹脂系）	④見本の製作等 ・建具見本の製作（建具番号） ・特殊な建具の仮組（建具番号） ⑤防水回り等の充填モルタル	[5.1.5]	ガラス留め材	ガラスの種類 アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガasket（F1X部はシーリング材） 鋼製及び軽量鋼製 ※シーリング材 ステンレス製 ※シーリング材 板ガラスをはめ込む溝の大きさ [5.14.3] ※「改修標準」図5.14.1による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。		⑨ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ張り [G]	材料、工法 [6.11.2~6][表6.11.1~6] 品 名 樹 種 工 法 厚さ（mm） 大きさ寸法（mm） 種 別 ・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎｰﾄﾞ ・なら ・釘留め工法（根太張） ※15 ・巾75 長さ400以上 ・ ひのき ・釘留め工法（直張り） ・12以上 ・ ぶな ・接着工法 ・8以上 ・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ ・能登ひば 縦衝材裏打 ・ ・複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ ・かば ・A種 ・B種 ・C種
		4 浮き部改修工法	タイルを撤去しない場合 [4.1.4][4.4.5][4.4.9~15][表4.3.5~6] 改修工法の種類	④見本の製作等 ・建具見本の製作（建具番号） ・特殊な建具の仮組（建具番号） ⑤防水回り等の充填モルタル	[5.1.5]	ガラス溝	板ガラスをはめ込む溝の大きさ [5.14.3] ※「改修標準」図5.14.1による。ただし、強化ガラス及び倍強度ガラスを使用する場合は性能値等が確認できる資料を監督職員に提出し、承諾を受ける。		10 畳敷き	材料 [6.12.2][表6.5.8][表6.12.1] 下地の種類 畳の種類 「改修標準」表6.5.8による床組 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種（畳床・畳表） ｶﾞﾗｽﾌﾛｰﾘﾝｸﾞｰﾙ床下地 ※C種 ・D種（畳床・畳表）
		5 浮き部改修工法	タイルを撤去しない場合 [4.1.4][4.4.5][4.4.9~15][表4.3.5~6] 改修工法の種類	④見本の製作等 ・建具見本の製作（建具番号） ・特殊な建具の仮組（建具番号） ⑤防水回り等の充填モルタル	[5.1.5]	ガラスブロック積み	ガラスブロック 寸法（mm			

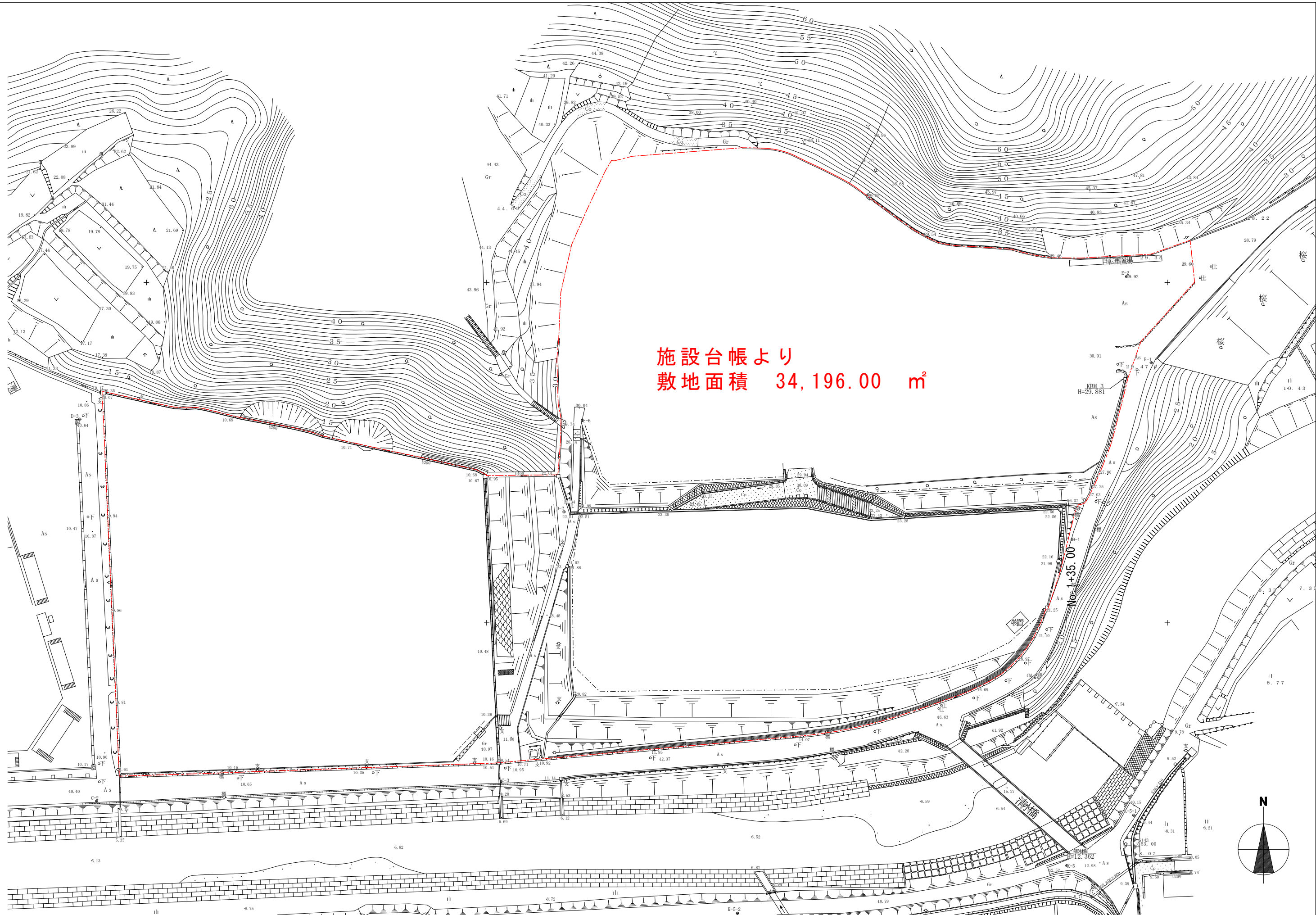






 株式会社 釣谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-13	工事名称	縮尺 1:500
					図面名称 現況配置図	





株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

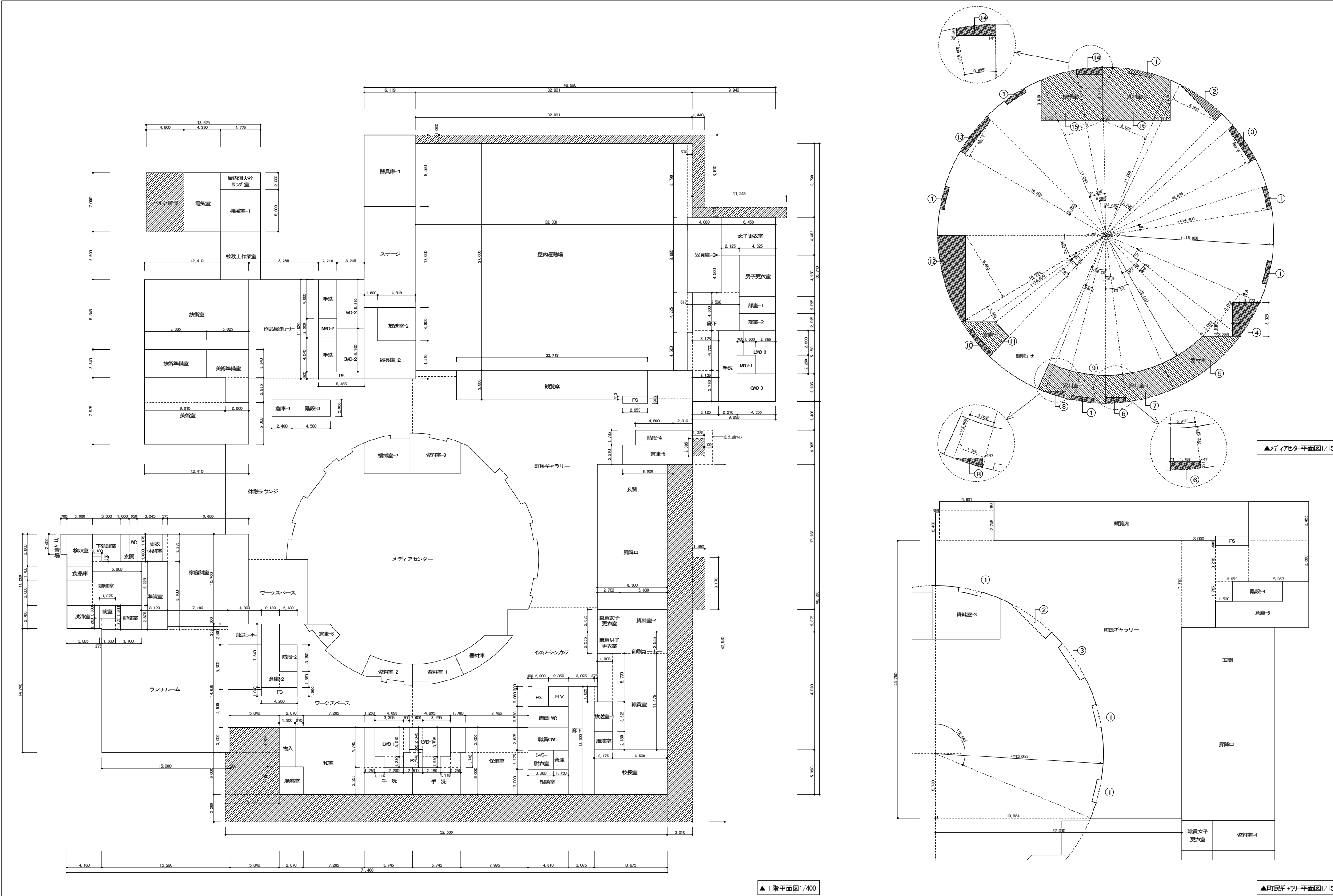
製作年月日
26.03

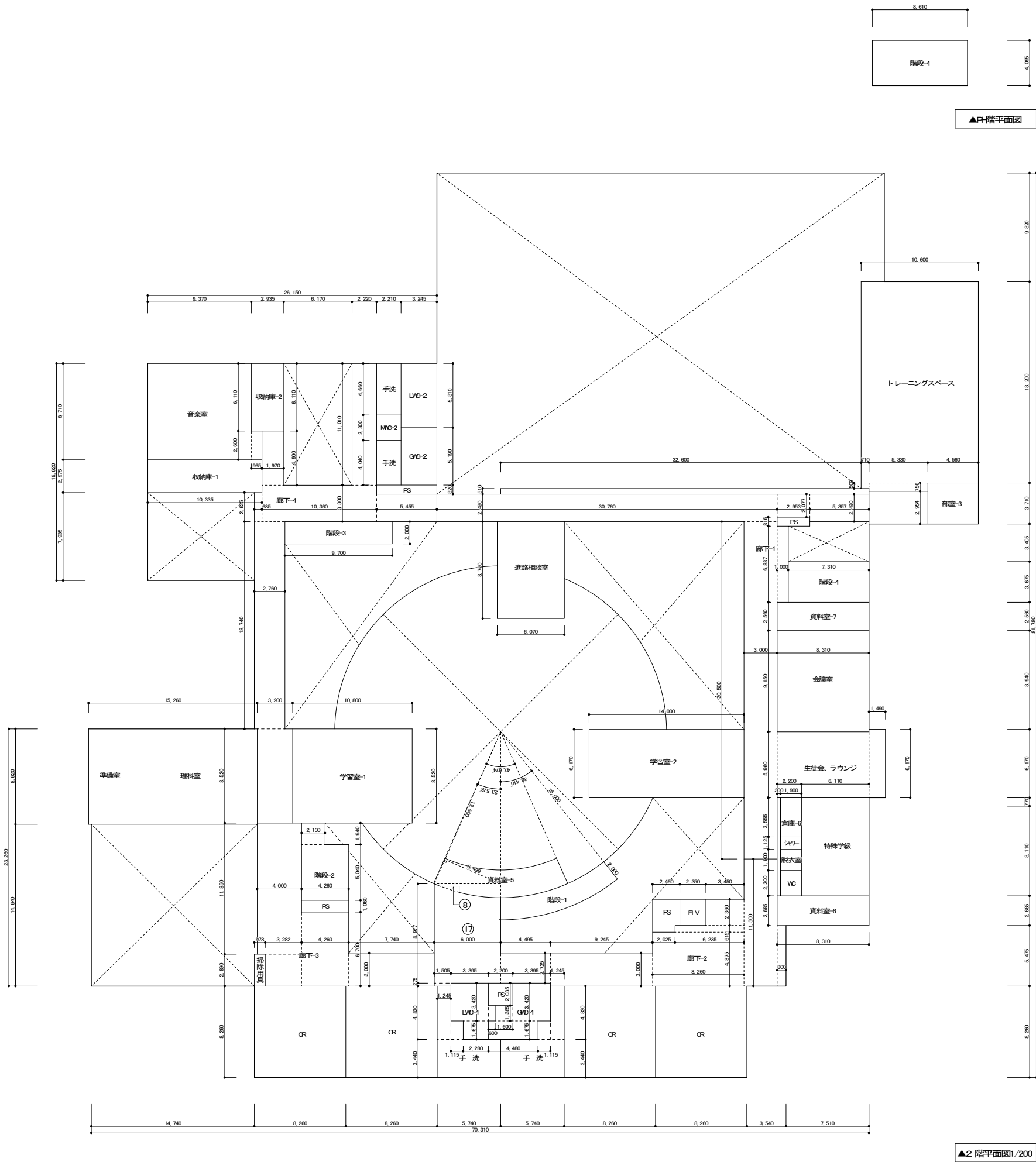
設計番号
25_42

図面番号
A-15

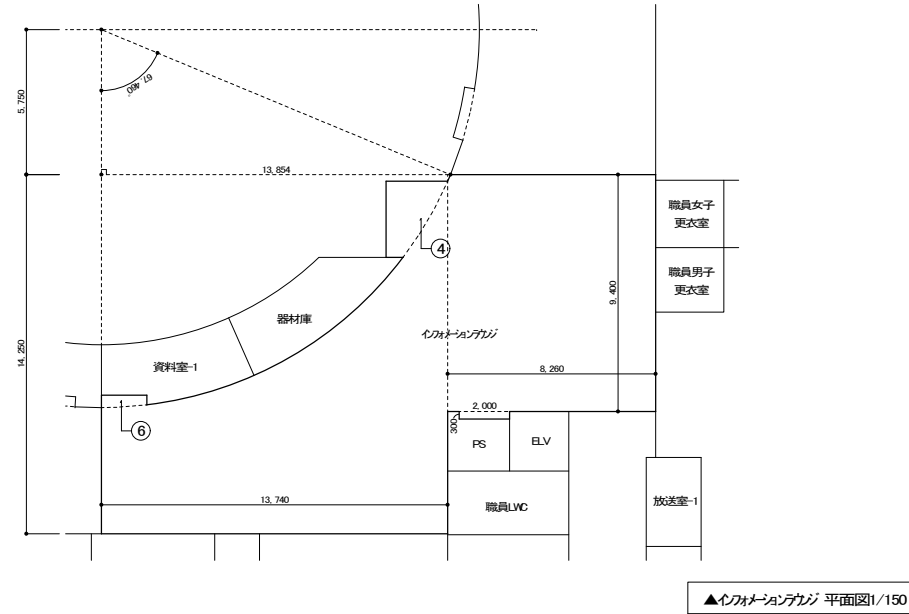
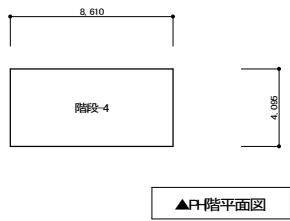
工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
敷地求積図

縮尺
1:1000

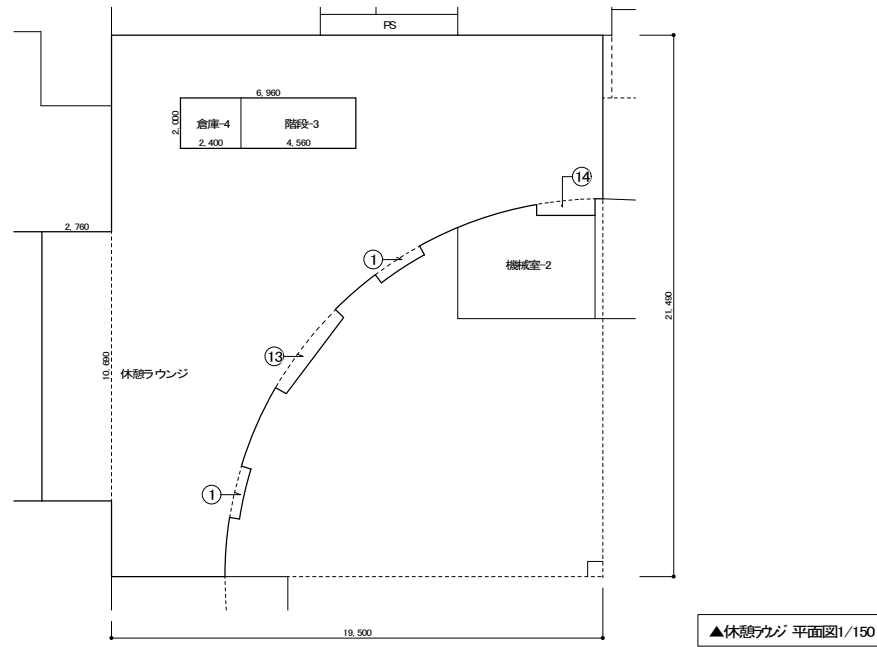




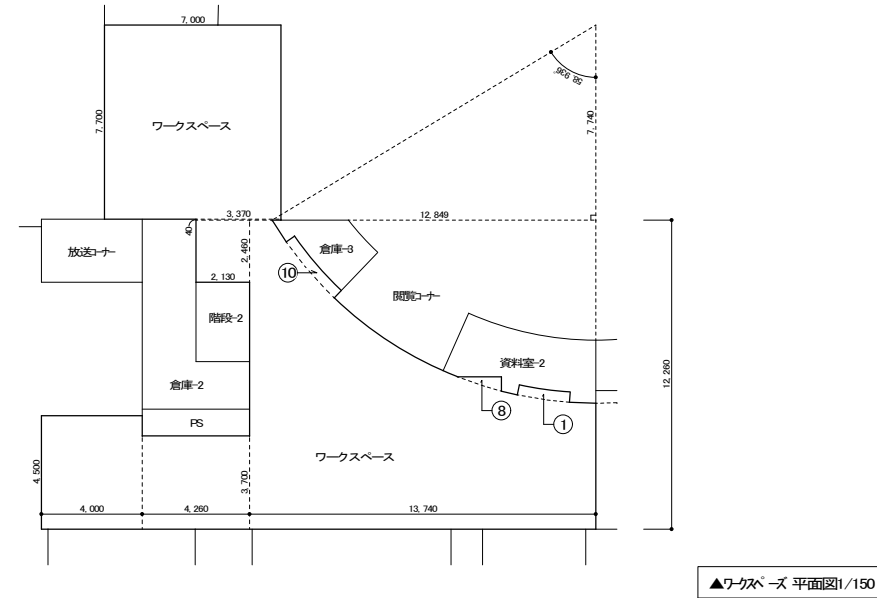
▲2階平面図1/200



▲インフォメーションラウンジ 平面図1/150



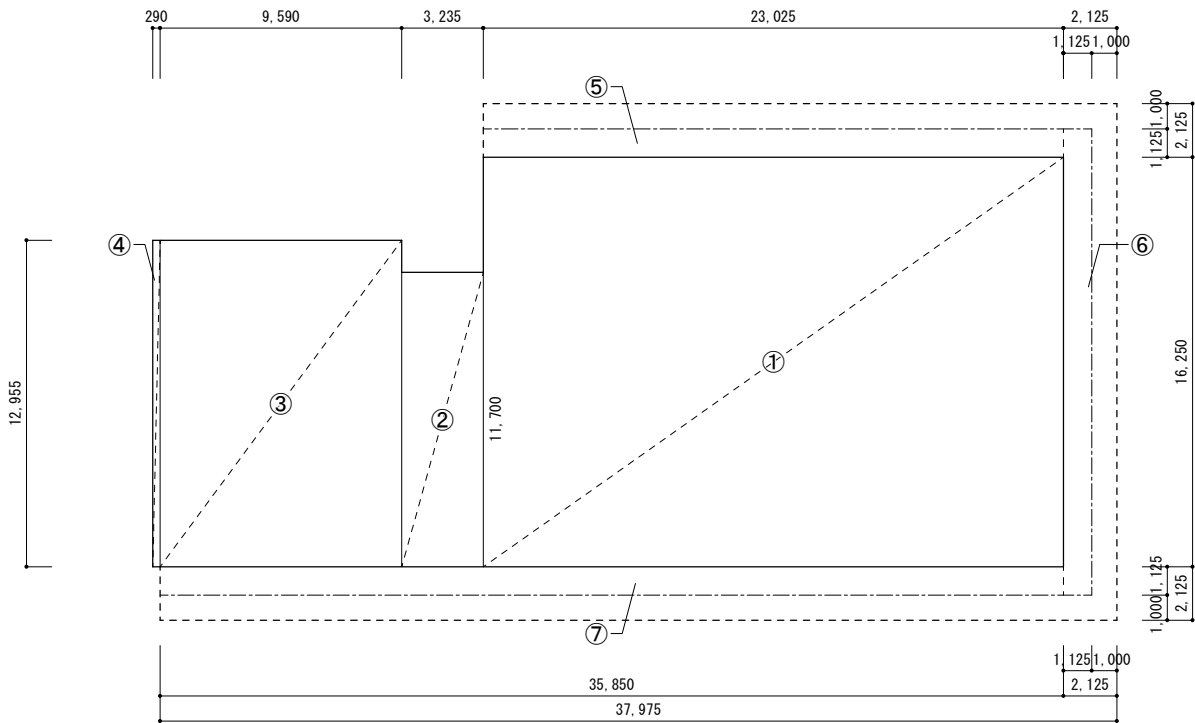
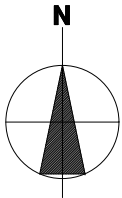
▲休憩ラウンジ 平面図1/150



▲ワークスペース 平面図1/150

				室名	計 算 式	面 積
				①	= 3.141×15.000×15.000×8/360 - 3.141×14.600×14.600×8/360 0.82650.83	
				②	= 3.141×15.000×15.000×17.580/360 - 15.000×4.289/2 2.34422.34	
				③	= 3.141×15.000×15.000×13.816/360 - 14.496×3.462/2 2.03002.03	
				④	= 3.141×15.000×15.000×13.417/360 - 15.000×3.032/2 - 1.770×0.774/2 + 0.674×3.025 4.95314.95	
				⑤ 器材庫	= 3.141×15.000×15.000×29.126/360 - 3.141×12.500×12.500×29.126/360 - 3.336×1.506/2 - 12.500×2.009/2 + 3.141×12.500×12.500×9.249/360 15.011815.01	
				⑥	= 3.141×15.000×15.000×6.911/360 - 14.500×1.758/2 + 0.047×0.391/2 0.83090.83	
				⑦ 資料室-1	= 3.141×15.000×15.000×23.837/360 - 3.141×12.500×12.500×23.837/360 -⑧ 13.467613.47	
				⑧	= 3.141×15.000×15.000×7.052/360 - 15.000×1.769/2 - 0.570×0.147/2 0.53460.53	
				⑨ 資料室-2	= 3.141×15.000×15.000×23.837/360 - 3.141×12.500×12.500×23.837/360 -①-⑧ 12.937412.94	
				⑩	= 3.141×15.000×15.000×11.184/360 - 3.141×14.600×14.600×11.184/360 1.15541.16	
				⑪ 倉庫-3	= 3.141×15.000×15.000×15.120/360 - 15.000×1.565/2 - 3.141×12.500×12.500×7.927/360 -⑩ 5.98295.98	
				⑫	= 3.141×15.000×15.000×31.064/360 - 6.450×14.593/2 + 0.349×0.210/2 13.956713.96	
				⑬	= 3.141×15.000×15.000×15.000/360 - 14.509×3.766/2 2.12652.13	
				⑭	= 3.141×15.000×15.000×8.895/360 - 14.565×2.218/2 - 0.657×0.014/2 + 0.429×0.076/2 1.32111.32	
				⑮ 機械室-2	= 3.141×15.000×15.000×21.398/360 - 11.090×3.737/2 - 4.757×0.098/2 -⑭ + 3.610×1.501/2 22.440322.44	
				⑯ 資料室-3	= 3.141×15.000×15.000×23.766/360 - 11.090×4.128/2 -① + 3.610×1.501/2 + 4.757×0.098/2 25.881725.88	
				⑰ マイレター	= 3.141×15.000×15.000 -①×6-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪-⑫-⑬-⑭-⑮-⑯ 576.7920576.79	
				町民ギヤリー	= 24.750×22.000 - 3.141×15.000×15.000×112.540/360 - 13.854×5.750/2 + 4.881×2.745 + 4.881×0.755 + 2.490×0.359 + 7.710×3.000 + 1.785×1.500 + 2.953×3.212 +①×3+②+③ 382.1063382.11	
				ウォータナジカバ	= 14.250×13.740 + 8.260×9.400 + 2.000×0.300 - 3.141×15.000×15.000×67.460/360 + 5.750×13.854/2 +④+⑥ 187.2208187.22	
				休憩テラジ	= 19.500×21.490 - 3.141×15.000×15.000×90.000/360 - 2.400×2 - 4.560×2 + 2.760×10.690 +①×2+⑬+⑭ 263.0587263.06	
				ワークスペース	= 13.740×12.260 - 3.141×15.000×15.000×68.936/360 + 12.849×7.740/2 + 7.000×7.700 + 0.040×3.370 + 2.130×2.460 + 4.260×3.700 + 4.000×4.500 +①×⑧+⑯ 198.0323198.03	
				廊下-1	= 5.357×2.490 + 2.953×2.077 + 3.000×30.500 + 1.000×6.887 + 30.760×2.490 +0.300×8.880 197.1157	
				廊下-2	= 3.000×11.500 + 0.800×5.475 + 3.450×2.360 + 6.235×0.615 + 8.260×4.875 + 9.245×3.000 + 4.495×2.725 + 1.505×0.275 +⑤+⑦ 180.8717	
				廊下-3	= 7.740×3.000 + 4.260×6.700 + 3.282×2.890 + 4.000×11.850 108.6469	
				廊下-4	= 3.200×8.520 + 2.760×18.740 + 0.685×2.625 + 1.970×4.900 + 10.360×3.300 + 5.455×2.490 + 2.220×11.010 162.6506649.28	

				室名	計 算 式	面 積
				玄関、昇降口	8.300×17.265 職員室 資料室-4 職員女子更衣室 職員男子更衣室 放送室-1 湯沸室 校長室 職員LVC 職員OVC 保健室 相談室 シャ-脱衣室 倉庫-1 QVO-1 手洗(QVO-1) LVO-1 手洗(LVO-1) 和室 物入 湯沸室 倉庫-2 家庭科室 準備室(家庭科室) 美術室 美術準備室 技研室 技術準備室 LVO-2 手洗(LVO-2) QVO-2 手洗(QVO-2) MVO-2 校務士作業室 機械室-1 屋内消火栓ポンプ室 電気室 メディアセンター 器材庫 資料室-3 倉庫-3 資料室-1 資料室-2 機械室-2 階段-2 階段-3 階段-4 倉庫-4 倉庫-5 町民ギャラリー ウォータナジカバ 休憩テラジ ワークスペース 作品展示コーナー 観戦席 ELV PS 廊下 ランチルーム 放送コーナー 配膳室 前室 洗浄室 調理室 下処理室 検査室 食品庫 ゴミ置場 玄関 VC(調理) 更衣休憩室 給食ランチルーム 校舎1階延床面積	6.500×11.475 + 5.600×2.555 + 1.800×5.770 5.600×2.675 2.700×2.675 2.700×2.555 2.175×3.525 2.175×2.180 8.675×5.320 4.810×2.530 4.810×2.685 7.995×5.000 + 7.465×3.000 4.810×3.000 3.060×2.275 1.750×2.275 3.295×3.515 + 2.180×1.230 + 1.600×2.645 1.780×3.000 + 1.250×1.745 + 1.115×1.230 + 5.745×3.255 3.395×3.515 + 0.700×3.000 + 2.280×1.230 1.250×4.745 + 1.115×1.230 + 5.745×3.255 7.285×8.000+0.970×4.700 1.900×4.700 2.870×3.300



【建蔽率算定用建築面積】

既存棟			既存建築面積表より					5,258.59
増 築 棟	校 舎	①	23.045	×	16.250	=	374.481	624.84
		②	3.235	×	11.700	=	37.850	
		③	9.590	×	12.955	=	124.238	
		④	0.290	×	12.955	=	3.757	
	外 部 通 路	⑤	23.025	×	1.125	=	25.903	
		⑥	1.125	×	16.250	=	18.281	
		⑦	35.850	×	1.125	=	40.331	
小計								5,883.43
建蔽率算定用建築面積								5,883.43 m2

・・・確認申請書第三面【7. 建築面積 ロ】内容

【敷地面積表】

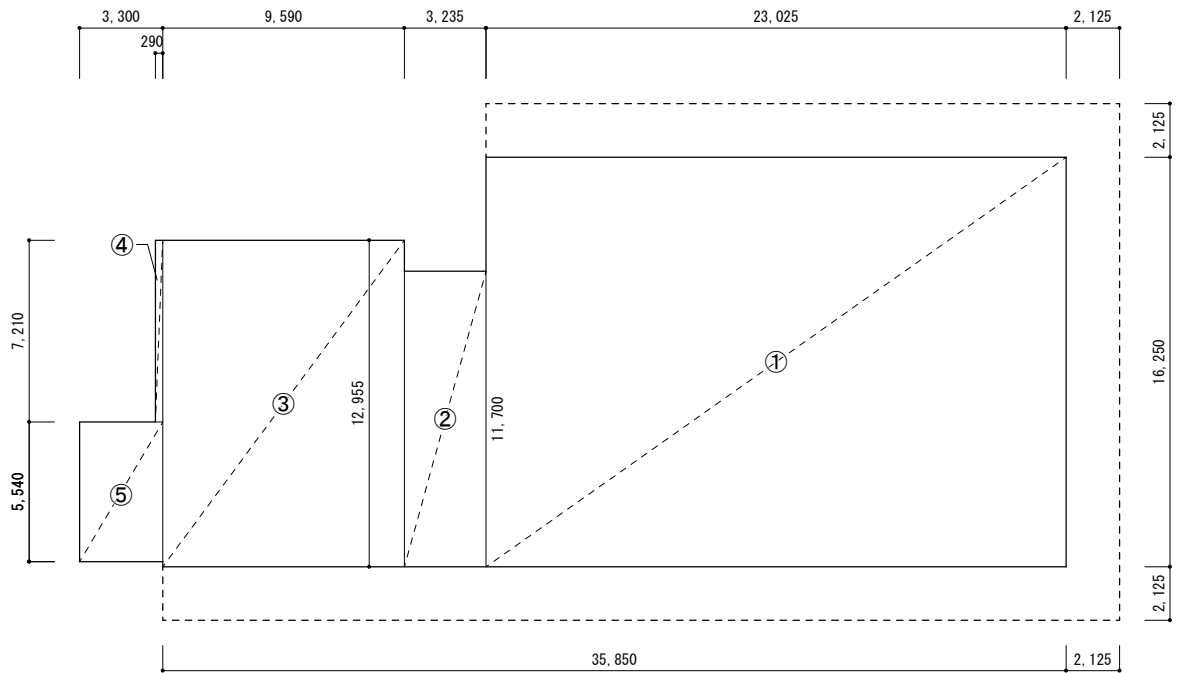
敷地面積	施設台帳より	34,196.00 m2
------	--------	--------------

・・・確認申請書第三面【7. 敷地面積 イ】内容

【建蔽率】

建蔽率	5,883.43 / 34,196.00 = 17.21 %
-----	--------------------------------

・・・確認申請書第三面【10. 建築面積 ハ】内容



【容積率算定用延床面積面積表】

既存棟			既存延床面積表より				7,062.09
増 築 棟	①	23.025	×	16.250	=	374.156	556.61
	②	3.235	×	11.700	=	37.850	
	③	9.590	×	12.955	=	124.238	
	④	0.290	×	7.210	=	2.091	
	⑤	3.300	×	5.540	=	18.282	
小計							7,618.70
建蔽率算定用建築面積							7,618.70 m2

・・・確認申請書第三面【11. 延べ面積 ヨ】内容
・・・確認申請書第四面 棟番号-0【12. 床面積】内容
・・・確認申請書第五面【7. 用途別面積 イ】内容

【敷地面積表】

敷地面積	施設台帳より	34,196.00 m2
------	--------	--------------

・・・確認申請書第三面【7. 敷地面積 イ】内容

【容積率】

容積率	7,618.70 / 34,196.00 = 22.28 %
-----	--------------------------------

・・・確認申請書第三面【11. 延べ面積 タ】内容



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

図面番号
A-19


工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
面積表

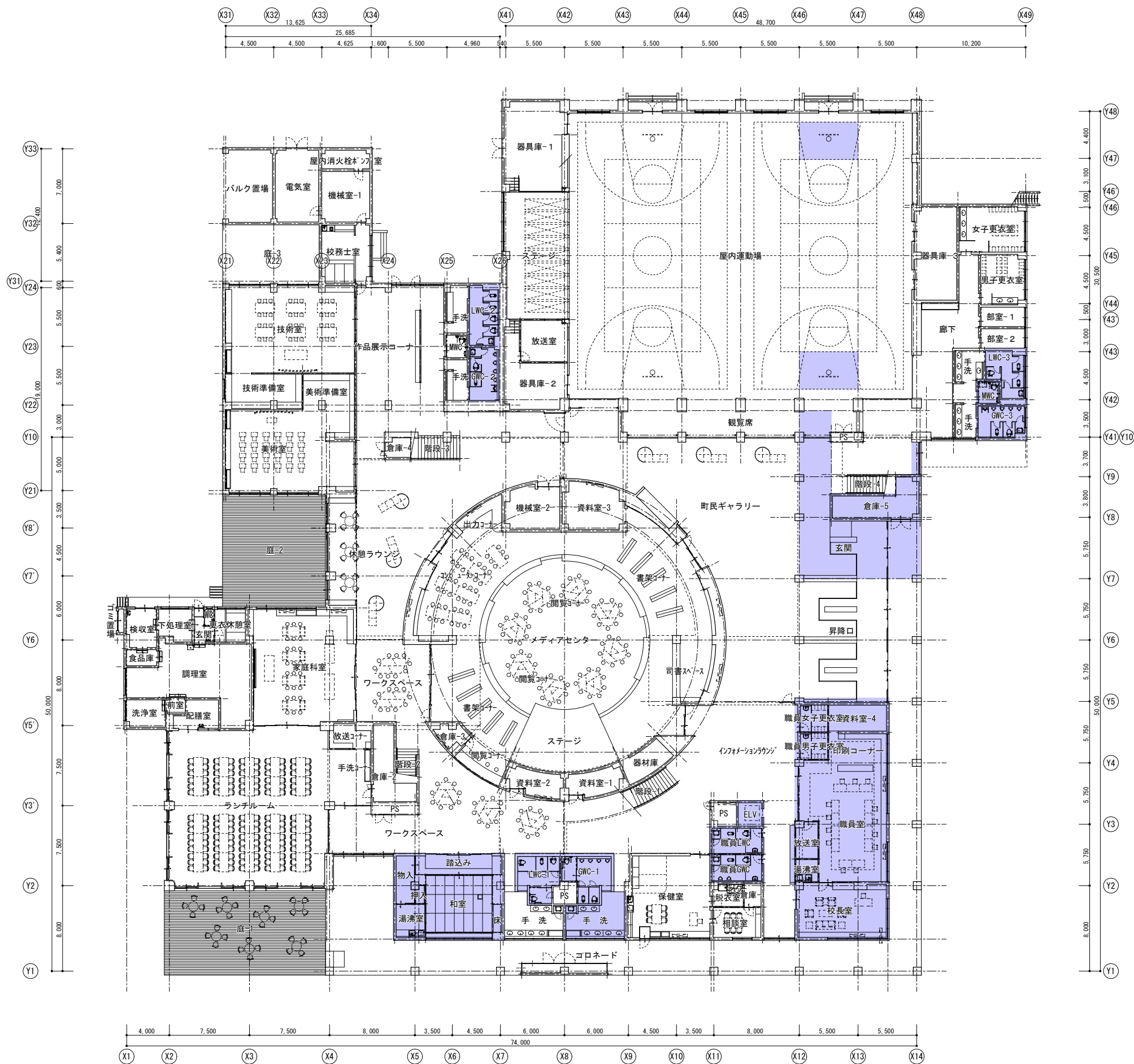
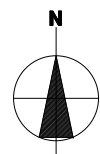
縮尺
1:300

内部仕上表															
階	室名	床			巾木		壁		天井			天井高	室名札	カーテンBOX カーテン類	備考
		下地	仕上	FL	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上	廻縁		責任者札		
増 築 棟 1 階	男子更衣室	コンクリート直均し	ビニール床タイル t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装 メラミン化粧板	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2500	○ ○	カーテンレール、 ドレープカーテン	洗面カウンター：ポストフォーム
	女子更衣室	コンクリート直均し	ビニール床タイル t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装 メラミン化粧板	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2500	○ ○	カーテンレール、 コントラクトカーテン	洗面カウンター：ポストフォーム
	教材室-1	コンクリート直均し	ビニール床タイル t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2500	○ ○	－	
	教材室-2	コンクリート直均し	ビニール床タイル t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2500	○ ○	－	
	教材室-3	コンクリート直均し	ビニール床タイル t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5	EP塗装	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2500	○ ○	－	
	物入	コンクリート直均し	ビニール床タイル t2.0	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 LGS下地、GB-R t12.5+t12.5 吹付硬質ウレタンフォームt50+GB-R直貼 t12.5 GB-R直貼 t12.5	EP塗装	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2500	○ ○	－	
	廊下	コンクリート直均し 下地モルタル t25	フローリングボード 直貼 t15	±0	ビニール巾木	75	LGS下地、GB-R t12.5+t9.5 耐火ウォール：LGS下地、GB-F t12.5+t12.5 耐火ウォール：LGS下地、GB-F t21+t21 GB-R直貼 t12.5、揭示板：合板下地t5.5	EP塗装 メラミン化粧板 揭示板揭示板クロス	LGS下地 GB-R t12.5	ロックウール化粧板 t9.0	塩ビ製	2600 2900	－	－	EXP金物(エラストマータイプ 止水シート付)、 収納棚、洗面カウンター（設備工事）、ホワイト ボード、一部壁（揭示板）：塩ビ見切（四方先 付）
	外部物入	－	コンクリート直均し	±0	コンクリート 打放補修 （増打t25）	200	コンクリート打放補修（増打t25）	－	LGS下地	GB-D t9.5	塩ビ製	2700	○ ○	－	

共通事項			
下地・仕上 認定番号		その他	材料仕様
【不燃・準不燃】 GB-R t9.5 GB-R t12.5 GB-NC t9.5 GB-F t21.0 GB-D t9.5 ロックウール化粧吸音板 t9.0 EP塗装 ビニールクロス メラミン不燃化粧板	QM-9828 NM-8619 NM-0441 NM-8615 NM-1864 NM-8599 NM-8585 NM-3991 NM-2183	●断熱材仕様：発泡プラスチック断熱材＋防湿シート t0.15＋数砂 t30 ＋再生クラッシュン t100（1Fスラブ下埋戻し部） 吹付硬質ウレタンフォーム A種1H（ビット上部、屋上スラブ裏、外周壁部） スタイロフォーム（既存校舎－増築棟 躯体間） 断熱材範囲は平面詳細図、断面図参照。 ●遮音材として天井裏にグラスウール（t100 32kg/m3）を敷き込む。 グラスウール敷込範囲は天井伏図参照。 ●石膏ボード使用箇所で、塗装仕上・ビニールクロス貼りなど、 継目処理を必要とする所はテーパーエッジボードを使用すること。 ●外部ガラスは内側に飛散防止フィルムを張る。 ●内装材・接着剤・塗装等：F☆☆☆☆、天井裏等：F☆☆☆☆とする。 ●カーテン、タイルカーベットの防炎仕様とし、防炎表示を設けること。 ●OAフロア(H150) － スチール製 独立支柱 3000Nタイプ ●天井点検口 － 450角目地タイプ、450角額縁タイプ 天井点検口の種類・位置は天井伏図参照。 ●床点検口 － 600角（密閉型） ●ビニールクロス － AA級 ●ビクチャーレール － 天井埋込み型 カラピナ付きフック(2個/m) 耐荷重30kg/m	EXP金物 外部 床－床 外部 壁－壁 外部 天井－天井 外部 屋根－屋根 内部 床－床 内部 壁－壁 内部 天井－天井 インターロッキング ビニル床シート t2.0 ビニル床タイル t2.0 タイルカーベットの t6.5 ビニルクロス メラミン化粧板 メラミン不燃化粧板 t3.0 汚垂石 エラストマータイプ エラストマータイプ エラストマータイプ アルミ製水切りタイプ エラストマータイプ エラストマータイプ エラストマータイプ エラストマータイプ 同等品 (株)サンゲツ「Sフロア / PM-24349」同等品 (株)サンゲツ「FLOOR TILE / IS-2071-C」同等品 (株)サンゲツ「NT-700 / NTP-70908」同等品 (株)サンゲツ「FAITH / PROGRESS WOOD」同等品 アイカ工業(株)「メラミン化粧板」同等品 アイカ工業(株)「セラルール」同等品 TOTO(株)「ハイドロセラ・フロアPU」同等品

◆ 内部仕上表																	
階	室 名		床			巾 木		壁		天 井			天井高	カーテン ボックス	カーテン ドレーブ	備 考	
			下 地	仕 上	F L	仕 上	H	下 地	仕 上	下 地	仕 上	廻 縁					
1階 既存改修	校長室 ↓ 普通教室	現状	コンクリート直均し	タイルカーペット貼	±0	木製	75	LGS壁下地t9.5+12.5GB-R 木軸下地t9.0ラワン合板捨貼	EP塗 t12木板貼 CL塗	LGS下地 t9.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600	○	○		
		撤去		タイルカーペット撤去		木製巾木撤去			壁：t12.0木板撤去 一部下り壁撤去：LGS下地 t9.5+12.5GB-R撤去		t9.5GB-R下地撤去 t9.0岩綿吸音板撤去			既存撤去	既存撤去	窓下収納家具、壁面収納家具撤去 アルミ建具部分撤去 敷居部テーパー床見切：t1.5(50mm) SUS304	
		改修		t15.0 フローリングボード直貼		ビニール	75	新設壁：LGS壁下地t12.5+12.5GB-R 既存塗装壁 下地調整 揭示板：t5.5合板下地	E P 塗（新設ボード面） 既存塗装壁EP塗替え 揭示板：揭示板クロス貼	t12.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600	木製 CL塗装 120×80	○		上下式曲面黒板、揭示板、生徒用ロッカー、生徒用フック 掃除用具入れ
	職員室・更衣室 放送室・湯沸室 資料室-4 ↓ 普通教室	現状	コンクリート直均し 0Aフロアー	職員室：タイルカーペット貼	±0	木製	75	LGS下地t9.5+12.5GB-R貼 外壁面t12.5GB-R直貼	E P 塗	LGS下地 t9.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600	○	○		
		撤去	各室仕上材撤去 更衣室、資料室：t2.0t12.5床タイル 放送室：タイルカーペット、湯沸室：t2.0t12.5床タイル 職員室0Aフロアー撤去			木製巾木撤去		更衣室、放送室、湯沸室 間仕切壁撤去		更衣室、湯沸室、資料室 LGS下地t9.5GB-D撤去	職員室、放送室 t9.5GB-R下地撤去 t9.0岩綿吸音板撤去	塩ビ		湯沸室 2400 放送室 2400 更衣室 2400	既存撤去	窓下収納棚、行事白板、揭示板、日程白板：撤去 掃除用具入：撤去 湯沸室流し台：撤去	
		改修	下地調整	t15.0 フローリングボード直貼		ビニール	75	新設壁：LGS壁下地t12.5+12.5GB-R 既存塗装壁 下地調整 揭示板：t5.5合板下地	E P 塗（新設ボード面） 既存塗装壁EP塗替え 揭示板：揭示板クロス貼	一部LGS下地 t12.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600	CL塗替	○		上下式曲面黒板、揭示板、生徒用ロッカー、生徒用フック 掃除用具入れ 敷居部テーパー床見切：t1.5(50mm) SUS304
	和室 物入・湯沸室 ↓ 会議室	現状	木軸下地 t12.0合板下地 踏込	畳敷、t15フローリングボード張 踏込：t15フローリングボード直貼	±0 +200	木製巾木 畳寄席、雑巾摺	75	LGS壁下地t9.5+12.5GB-R t12.5GB-R直貼	ビニールクロス貼 物入、湯沸室：EP塗	LGS下地	t9.5GB-D張り	木製廻り縁 塩ビ	2,600 （ 物入 2,400）	—	—		
		撤去	和室、物入、湯沸室：木軸下地撤去 仕上：畳敷、フローリングボード撤去 和室踏込：フローリングボード直貼撤去			木製巾木 撤去 畳寄席、雑巾摺 撤去		間仕切壁撤去 既存直貼GB-Rはそのまま		LGS下地	t9.5GB-D張り 天井下地仕上共撤去					湯沸室：流し台、吊り棚、フード撤去 和室造作材撤去（付け柱、雑巾摺、廻り縁、敷居、鴨居）	
		改修	木軸下地撤去部 モルタル下地 下地調整	t2.5ビニール床シート貼	±0	ビニール	75	間仕切壁及びぶかし壁 LGS壁下地t9.5+12.5GB-R t12.5GB-R直貼	ビニールクロス貼 物入、湯沸室：EP塗、直貼部：EP塗替 一部t3.0抗菌メラミン化粧板張り	LGS下地 t12.5GB-D捨張り 物入、湯沸室：LGS下地	t9.0岩綿吸音板貼 物入、湯沸室：t9.5GB-D張り	塩ビ	2,750 湯沸室 物入 2,400	木製 CL塗装 120×80	○		湯沸室：流し台、吊り棚 床点検口（化粧蓋新設）
	昇降口	現状	モルタル下地	豆砂利洗い出し t15.0 フローリングボード貼	-50～ -100 ±0	御影石 木製CL塗	75	t12.5GB-R直貼 柱型コンクリート打放補修	E P 塗 A E 塗	LGS下地 t9.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600	—	—		
		撤去		部分撤去 コロネード床（昇降口改修部分） t30特殊弾性樹脂舗装撤去		部分撤去				部分撤去（昇降口建具撤去部分）	部分撤去（昇降口建具撤去部分） 昇降口から屋内運動場部分の廊下 W600×L13000 天井撤去					昇降口アルミ建具部分撤去 外部コロネード天井材（下地共）撤去：Y7～Y8 t8.0フレキシブルボード目透張 EP塗	
		改修	一部嵩上コンクリート モルタル下地	豆砂利洗い出し t15.0 フローリングボード直貼	-50～ -100 ±0	御影石 木製CL塗	75	一部既存塗装壁 下地調整	一部既存塗装壁EP塗替え	一部LGS下地 t12.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600	—	—		章典棚新設：家具番号6参照
2階 既存改修	会議室、資料室-7 ↓ 普通教室	現状	コンクリート直均し	t15.0 フローリングボード直貼 資料室：ビニール床タイル貼	±0	木製CL塗 ビニール	75	LGS壁下地t9.5+12.5GB-R 木軸下地t9.0ラワン合板捨貼	EP塗 t12木板貼 CL塗	LGS下地 t9.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼 t9.5GB-D（資料室）	塩ビ	3,000 （ 資料室 2,600）	○	○		
		撤去		仕上材撤去				部分撤去	部分撤去	会議室：t9.5GB-R下地撤去 資料室：LGS天井下地撤去	t9.0岩綿吸音板貼撤去 t9.5GB-D（資料室）撤去			既存撤去	窓下収納、上下式白板、テレビハンガー、スクリーンボックス：撤去		
		改修	下地調整	t15.0 フローリングボード直貼	±0	木製CL塗	75	新設壁：LGS壁下地t12.5+12.5GB-R 既存塗装壁 下地調整 一部直貼 揭示板：t5.5合板下地	E P 塗（新設ボード面） 既存塗装壁EP塗替え 揭示板：揭示板クロス貼	LGS下地 t12.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	3,000	CL塗替	○		上下式曲面黒板、揭示板、生徒用ロッカー、生徒用フック 掃除用具入れ
	生徒会ラウンジ ↓ 普通教室	現状	コンクリート直均し	t15.0 フローリングボード直貼	±0	木製巾木 着色CL塗	75	LGS下地t9.5+12.5GB-R貼 外壁面t12.5GB-R直貼	E P 塗	LGS下地 t9.5GB-R捨貼	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	3,000	○	○		
		撤去		仕上材撤去				部分撤去	部分撤去	t9.5GB-R下地撤去	t9.0岩綿吸音板撤去				既存撤去		
		改修	下地調整	t15.0 フローリングボード直貼	±0	木製CL塗	75	新設壁：LGS壁下地t12.5+12.5GB-R 既存塗装壁 下地調整 一部直貼 揭示板：t5.5合板下地	E P 塗（新設ボード面） 既存塗装壁EP塗替え 揭示板：揭示板クロス貼	t12.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	3,000 一部 2,600	CL塗替	○		上下式曲面黒板、揭示板、生徒用ロッカー、生徒用フック 掃除用具入れ
特殊学級 倉庫-6 ↓ 特殊学級	現状	コンクリート直均し	t15.0 フローリングボード直貼 倉庫-6：ビニール床タイル貼	±0	木製巾木 着色CL塗 倉庫-6：ビニール	75	LGS下地t9.5+12.5GB-R貼 RC壁面t12.5GB-R直貼	E P 塗	LGS下地 t9.5GB-R捨貼	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600					
	撤去		部分撤去 倉庫-6：ビニール床タイル貼撤去				部分撤去	部分撤去	t9.5GB-R捨貼撤去 倉庫-6：天井LGS下地撤去	t9.0岩綿吸音板貼撤去 倉庫-6：天井t9.5GB-D撤去					天井撤去範囲：既存壁仕上より500mm範囲を撤去		
	改修	下地調整	t15.0 フローリングボード直貼	±0	木製CL塗	75	新設壁：LGS壁下地t12.5+12.5GB-R	E P 塗（新設ボード面）	t12.5GB-R下地 既存倉庫分： LGS天井下地t9.5GB-R捨貼	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600					
共通 既存改修	廊下 1階 職員室前廊下 2階 会議室前廊下	現状	コンクリート直均し	t15.0 フローリングボード直貼	±0	木製巾木 着色CL塗	75	LGS下地t9.5+12.5GB-R貼 RC壁面t12.5GB-R直貼 木軸下地t9.0ラワン合板捨貼	E P 塗 （職員室前）t12木板貼 CL塗	LGS下地 t9.5GB-R捨貼	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600				
		撤去		部分撤去				部分撤去	部分撤去	部分撤去	部分撤去					天井撤去範囲：既存壁仕上より600mm範囲を撤去	
		改修	下地調整	t15.0 フローリングボード直貼	±0	木製CL塗	75	新設壁：LGS壁下地t12.5+12.5GB-R 既存塗装壁 下地調整	E P 塗（新設ボード面） 既存塗装壁EP塗替え	LGS下地 t12.5GB-R下地	t9.0岩綿吸音板貼	塩ビ	2,600				
株式会社 鈞谷建築事務所			1級建築士 第119816号 吉田 典生				製作年月日 26.03		設計番号 25_42	図面番号 A-22	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事		縮尺 NO SCALE				
											図面名称 仕上表-1（既存校舎）						

◆ 内部仕上表																		
階	室 名		床			巾 木		壁		天 井			天井高	カーテン ボックス	カーテン ドレープ	備 考		
			下 地	仕 上	F L	仕 上	H	下 地	仕 上	下 地	仕 上	廻 縁						
WC 既存 改修	WC ↓ WC	現状	アスファルト防水 保護モルタル タイル下地モルタル	磁器質50角タイル	±0	—	—	タイル下地モルタル 一部ボード下地	陶器質100角タイル貼	LGS下地	t9. 5GB-D張り	塩ビ	2, 600	—	—			
		撤去								一部撤去	一部撤去					既存ブース取外し		
		改修	カチオン系 樹脂モルタル塗	t2. 0ビニール床シート貼	+15	—	—	タイル下地モルタル 一部ボード下地	既存壁のまま 陶器質100角タイル貼	LGS下地	t9. 5GB-D張り	塩ビ	2, 600	—	—	既存ブース取付（床及び壁取り合い金物新設）		
	職員WC ↓ WC	現状	モルタル下地	t3. 0ビニール床タイル貼 踏込み部分 フローリングボード直貼		—	—	LGS下地t9. 5+12. 5GB-S貼 t12. 5GB-S直貼	t3. 0抗菌メラミン化粧板貼	LGS下地	t9. 5GB-D張り	塩ビ	2, 400	—	—			
		撤去		t3. 0ビニール床タイル貼撤去														
		改修	下地調整R8種	t3. 0ビニール床タイル貼		—	—	既存壁のまま LGS下地t9. 5+12. 5GB-S貼 t12. 5GB-S直貼	t3. 0抗菌メラミン化粧板貼	LGS下地	既存仕上のまま t9. 5GB-D張り	塩ビ	2, 400	—	—			
屋内運動場	屋内運動場	撤去		—		—		既存バスケットゴール背面壁仕上 胴縁下地、板張り撤去 W1800 ×H1000 2ヶ所			—			—	—	既存バスケットゴール(1対)撤去 既存建具撤去:アルミ建具W4120×H1405 ガラスブロック共		
		改修						バスケットゴール取付後 胴縁下地、t12ラワン合板貼 CL塗装 W1800 ×H1000 2ヶ所							新設バケットゴール:ジャバラ式上下昇降式バスケットゴール(手動) 既存一文字幕、袖幕取替 既存建具撤去部:LGS壁下地65型t21+21GB-R二重貼EP塗装			
	校章 :ホワイトブロンズ 600φ 既存撤去、新設				既存校舎改修工事 天井点検口新設 450角 額縁タイプ 7ヶ所、 目地タイプ 12ヶ所													
	校名板:ホワイトブロンズ 240×1,500 既存撤去、新設																	
					昇降機設備改修工事 昇降機設備技術基準 2016年対応 EV詳細図1～4 図中既設品活用以外はすべて既存撤去のうえ新設とする。													
 株式会社 釣谷建築事務所			1級建築士 第119816号 吉田 典生						製作年月日 26. 03		設計番号 25_42		図面番号 A-23		工事名称		縮尺 NO SCALE	
															西部地区小学校災害復旧工事			
														図面名称		仕上表-2（既存校舎）		



- 凡例 -
... 改修範囲



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

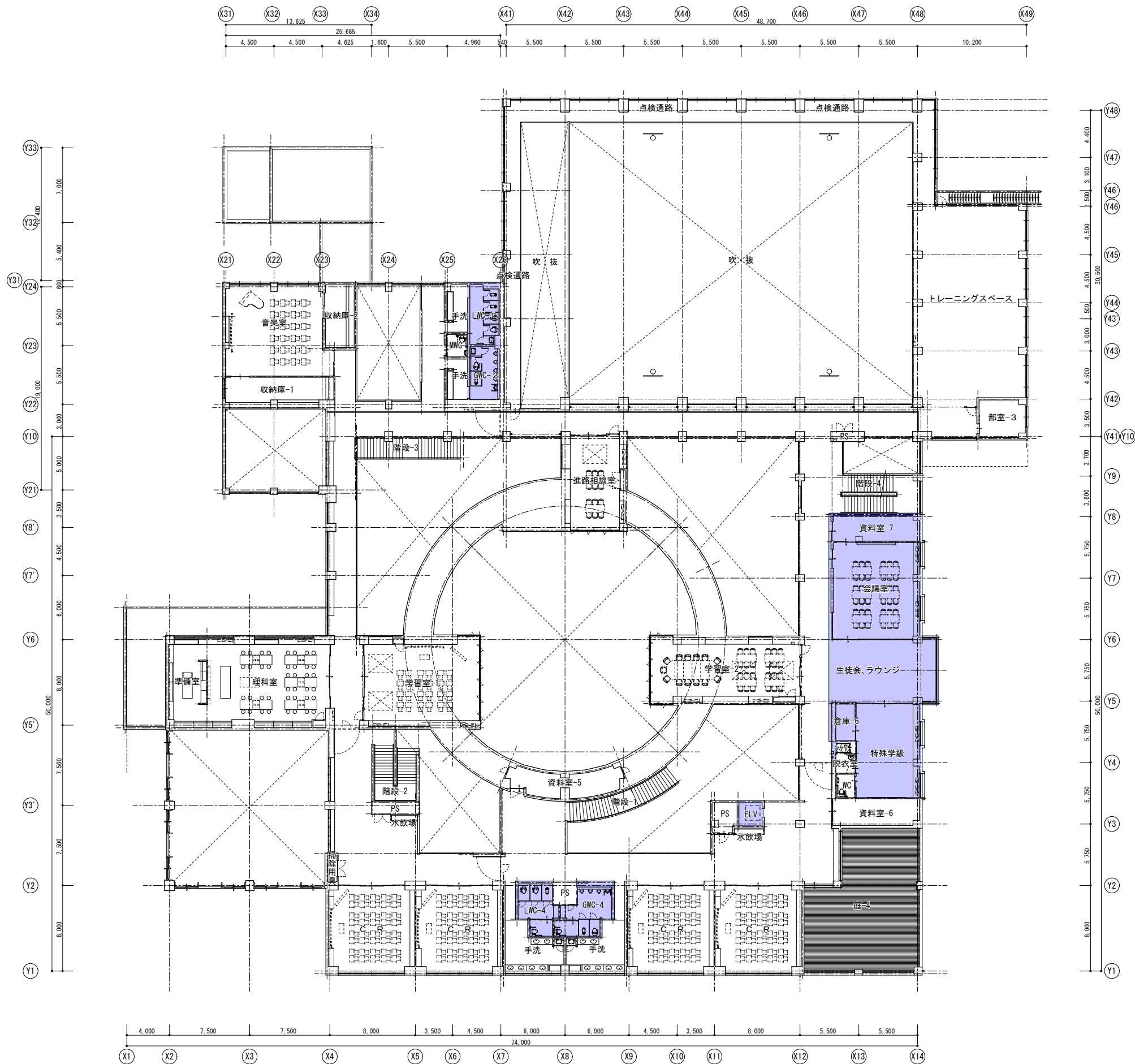
製作年月日
26.03

設計番号
25_42

図面番号
A-24

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
既存1階全体平面図

縮尺
1:400



- 凡例 -
... 改修範囲



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

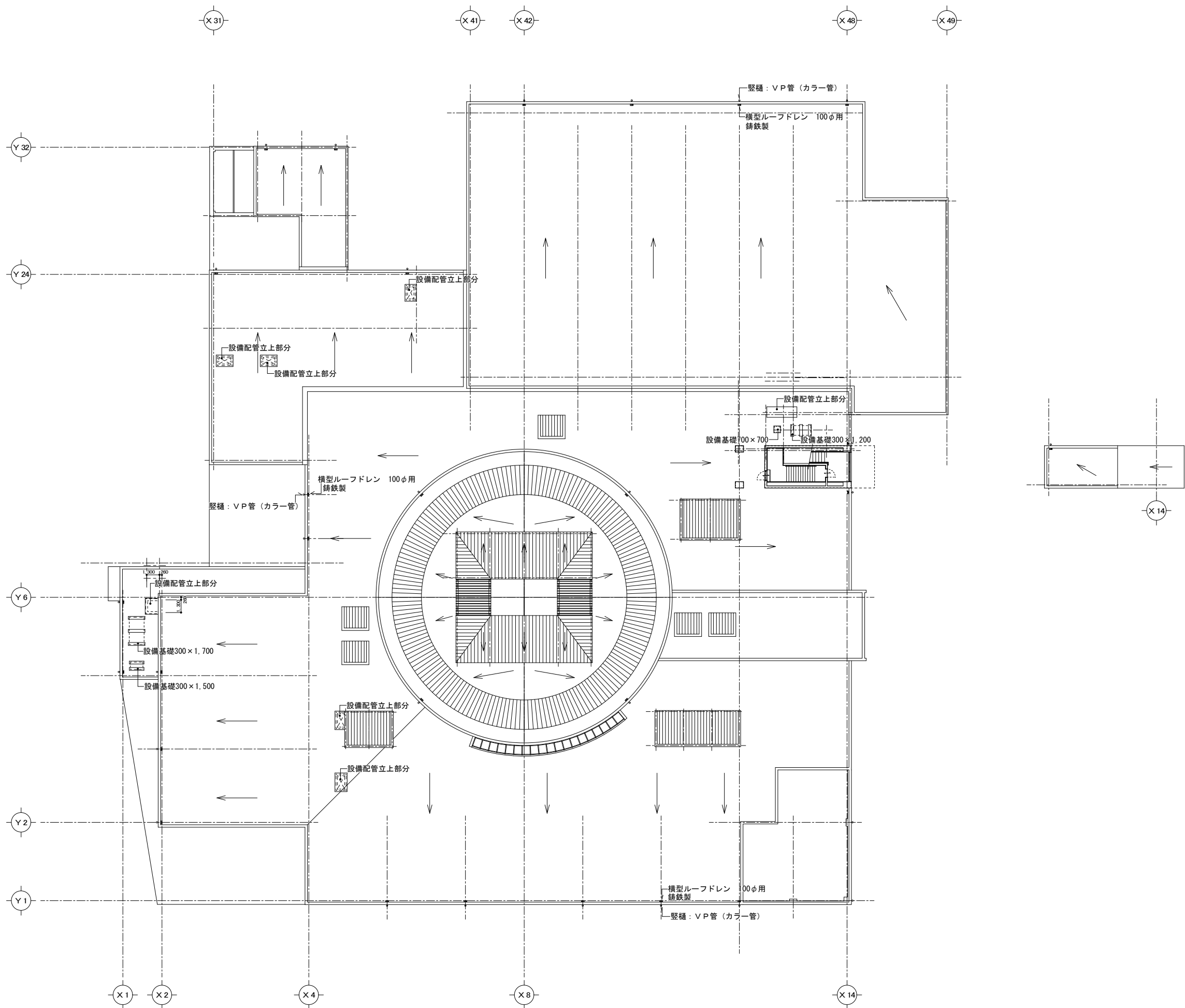
設計番号
25_42

図面番号
A-25

工事名称
図面名称

西部地区小学校災害復旧工事
既存2階全体平面図

縮尺
1:400



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

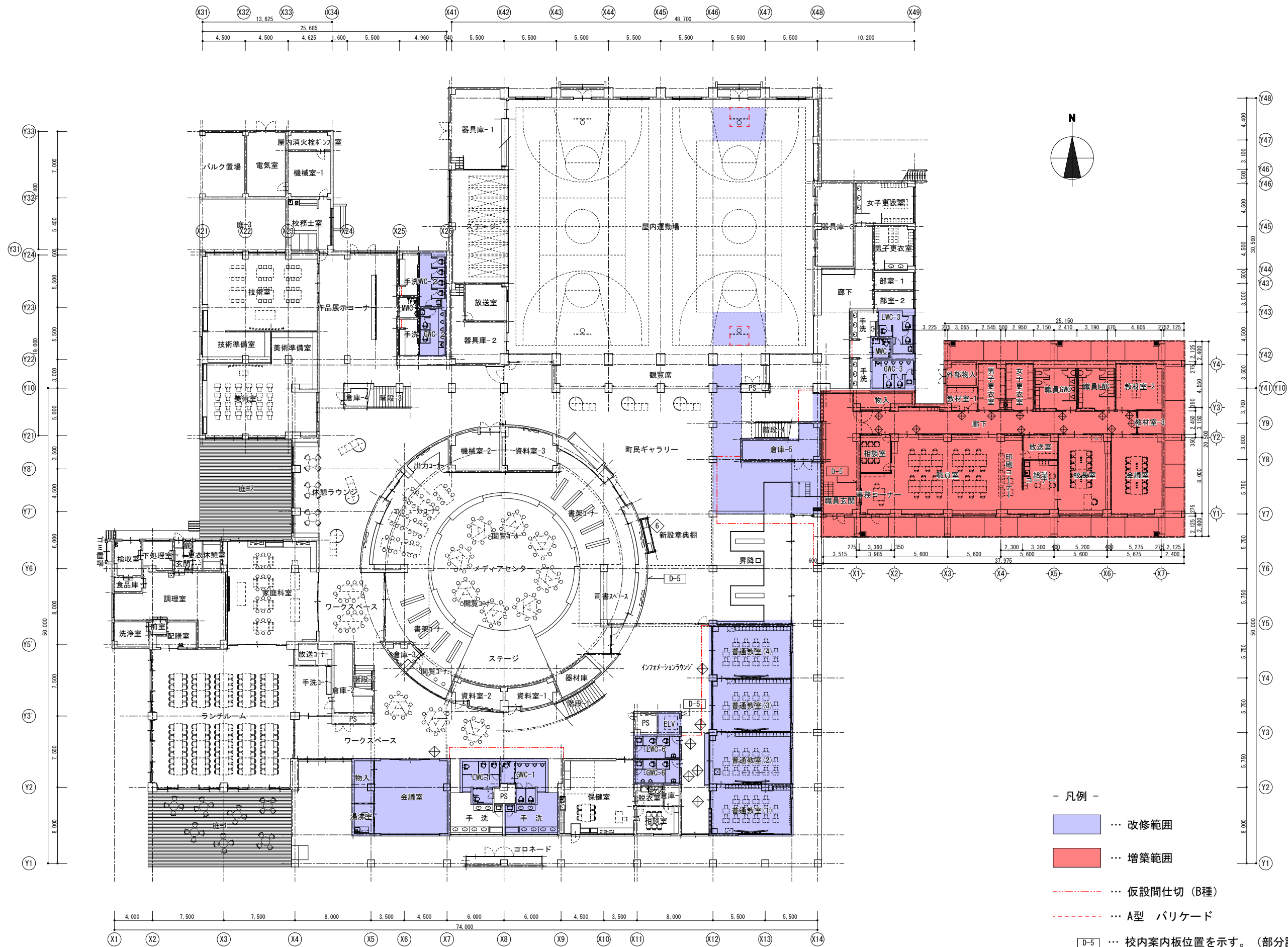
製作年月日
26. 03

設計番号
25_42

図面番号
A-26

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
既存全体屋根伏図

縮尺
1:400



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

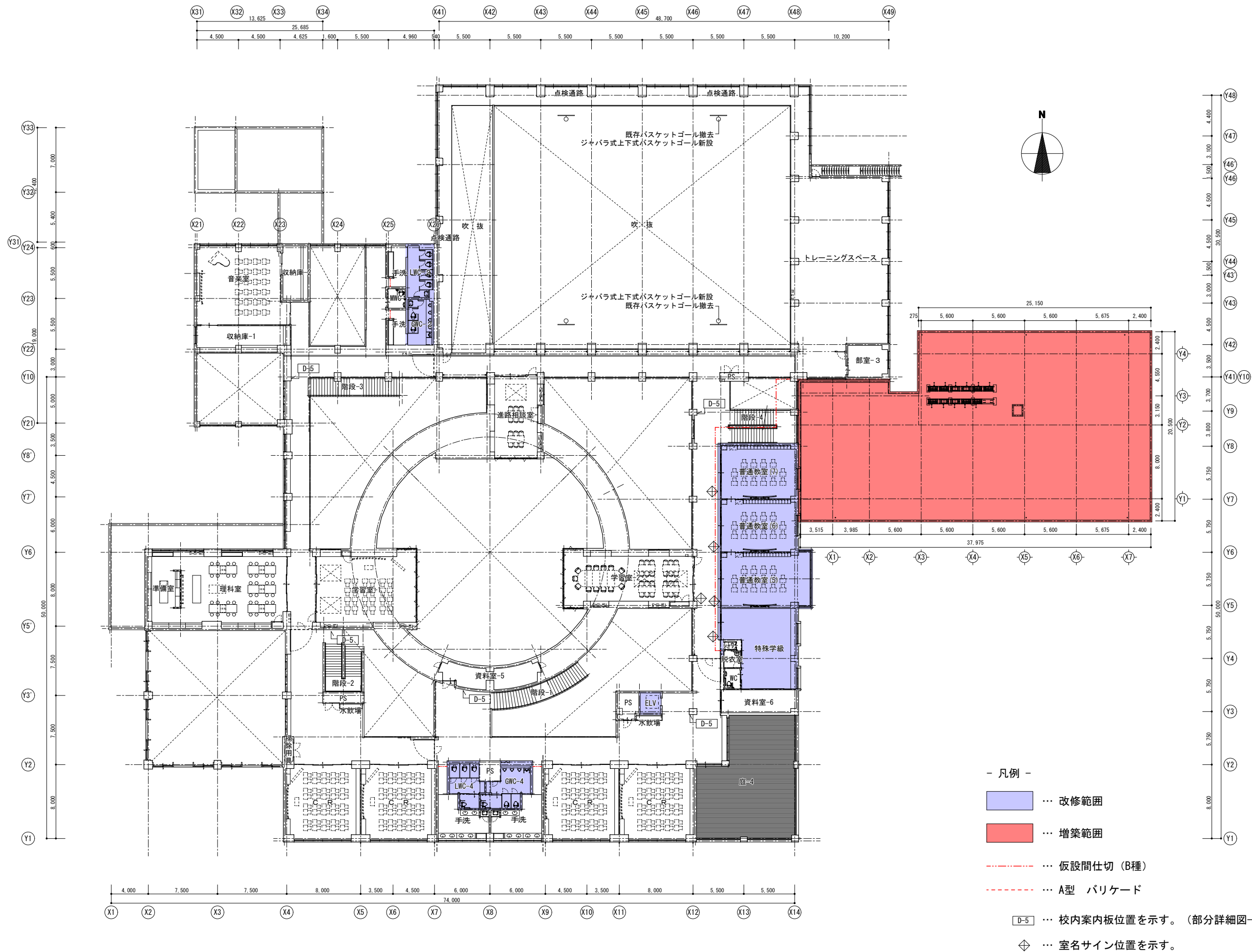
設計番号
25_42

図面番号
A-28

工事名称
図面名称

西部地区小学校災害復旧工事
1階全体平面図

縮尺
1:400



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

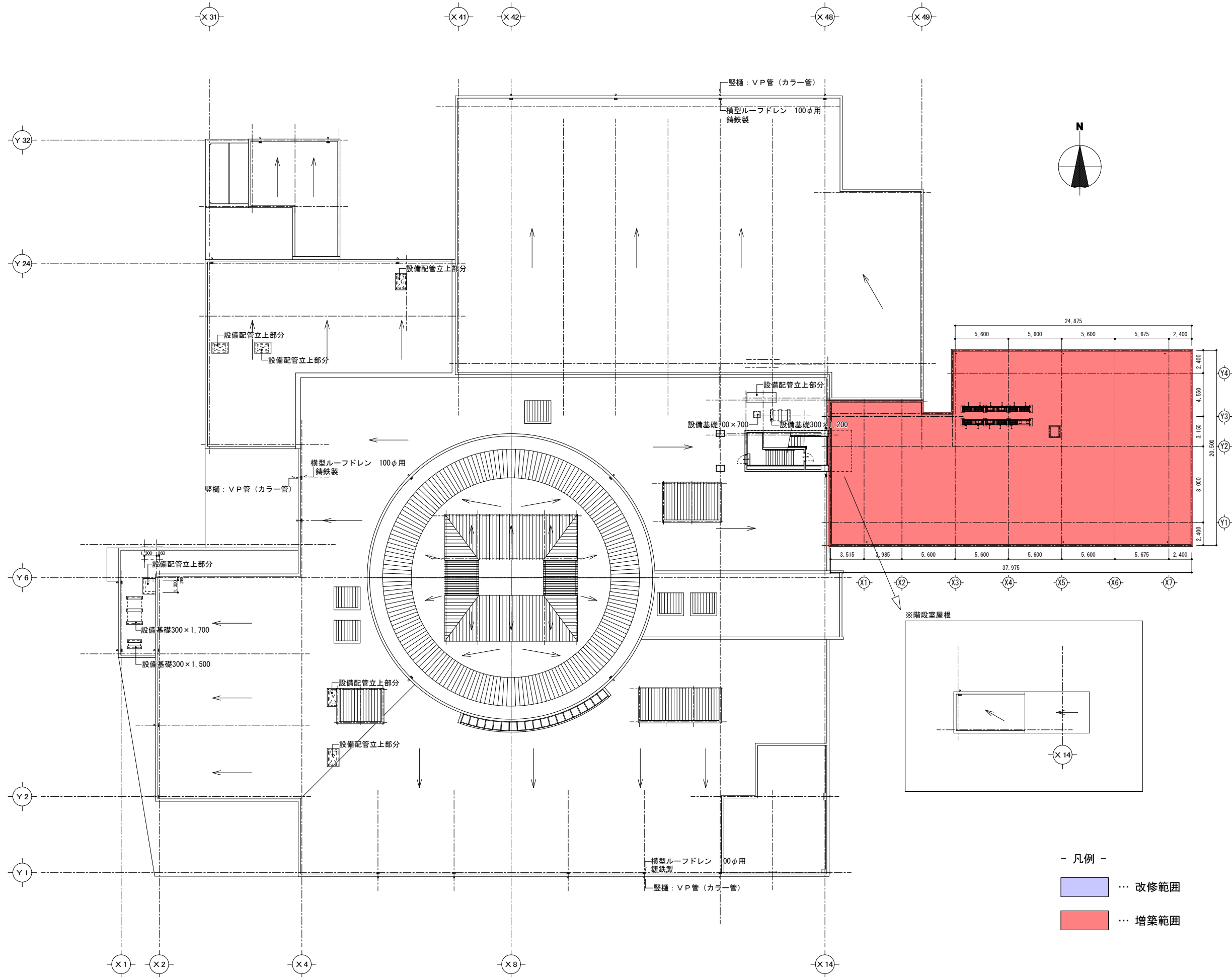
製作年月日
26. 03

設計番号
25_42

図面番号
A-29

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
2階全体平面図

縮尺
1:400



- 凡例 -
- 改修範囲
 - 増築範囲



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26. 03

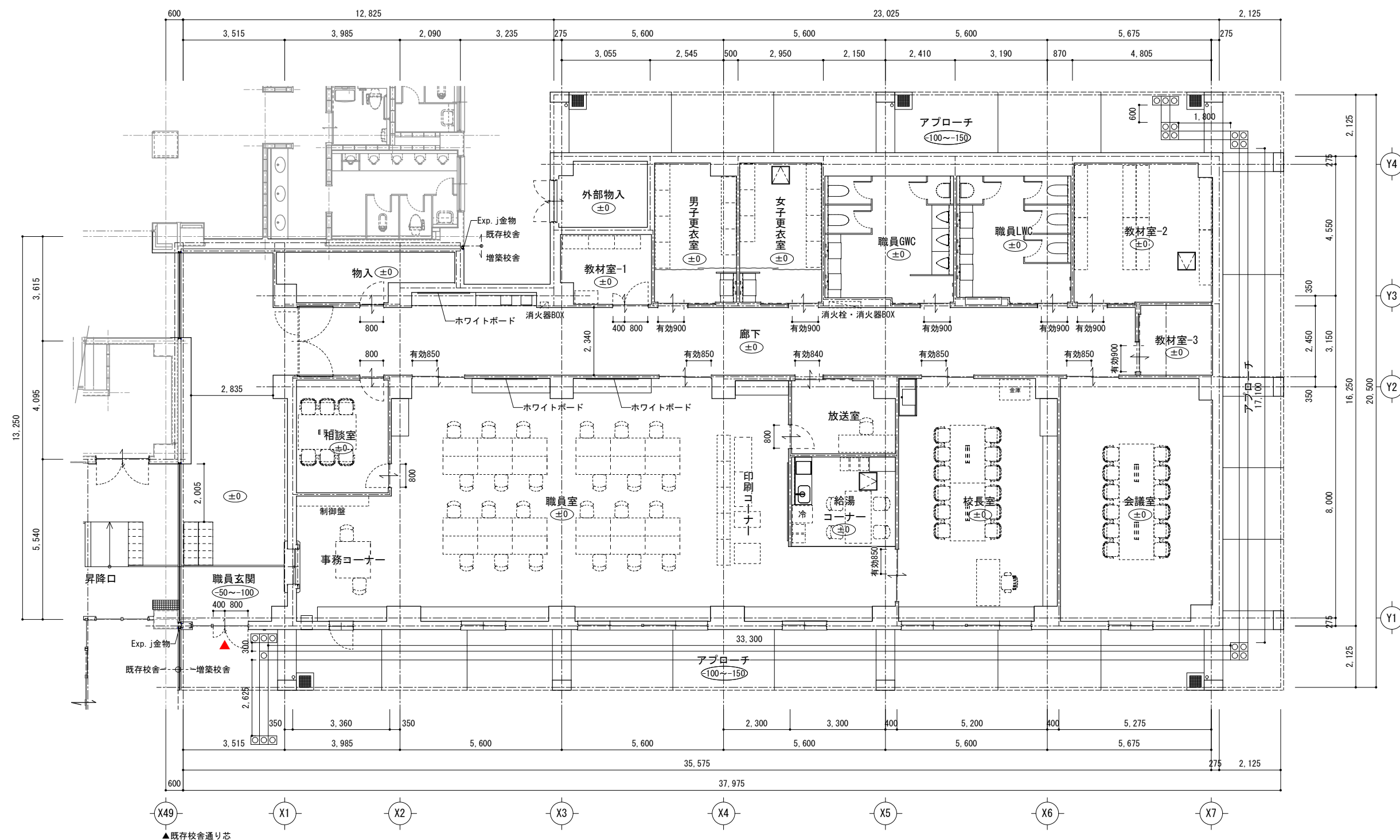
設計番号
25_42

図面番号
A-30

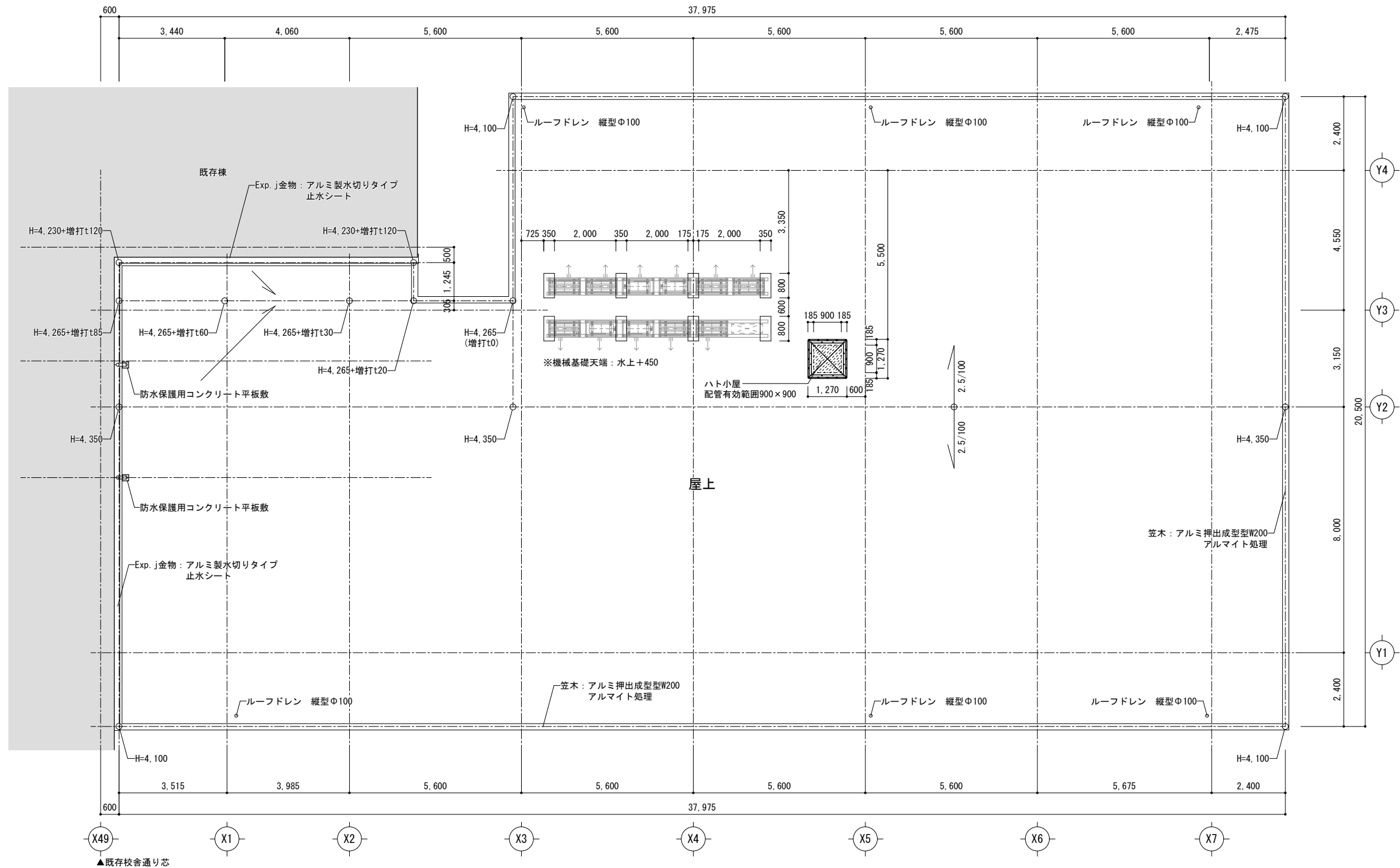
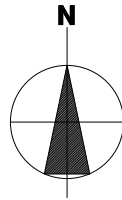
工事名称
西部地区小学校災害復旧工事

図面名称
全体屋根伏図

縮尺
1:400



1:150



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

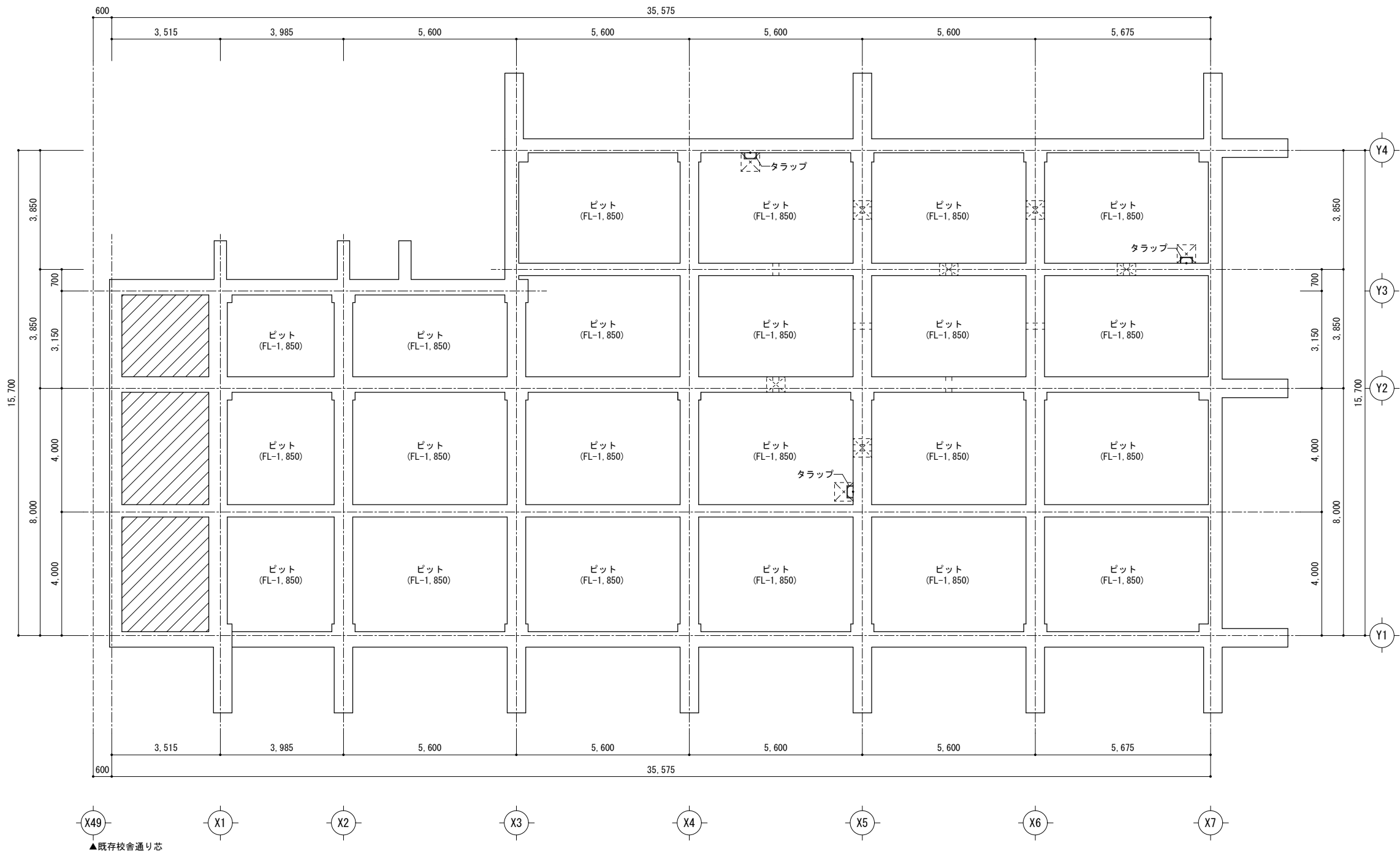
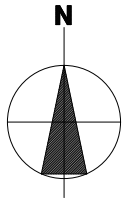
製作年月日
26.03

設計番号
25_42

図面番号
A-32

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
屋根伏図 (増築棟)

縮尺
1:150



— 凡例 —

床点検口 : 600×600
ステンレス枠 防水・防臭型

人通口 : φ600

連通管 : φ200 (半円)

埋戻し範囲

● (FL-1, 850) : 1FLからのピット底までの高さ

●配管ピット仕上 : 床・壁 : コンクリート直均し
天井 : コンクリート直均し

●タラップ : SUS W400@350



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号

吉田 典生

製作年月日

26. 03

設計番号

25_42

図面番号

A-33

工事名称

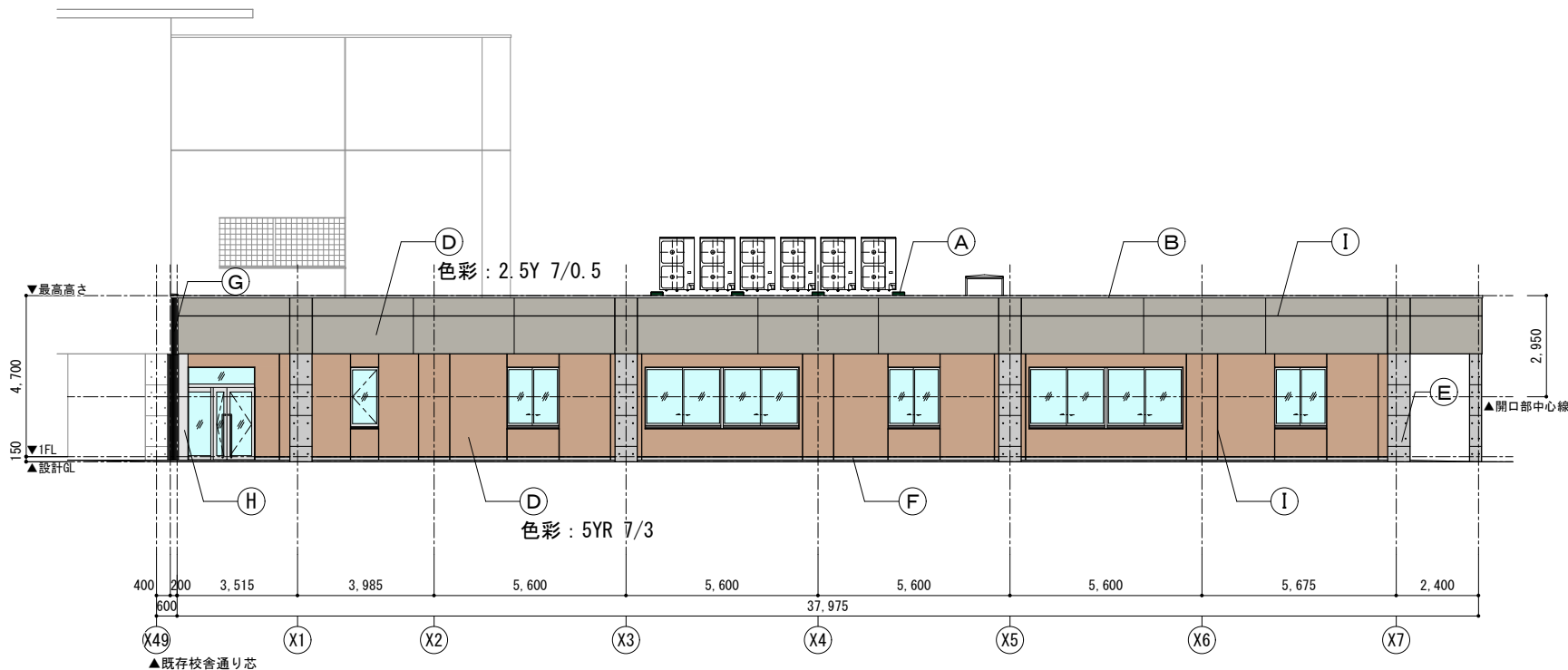
西部地区小学校災害復旧工事

図面名称

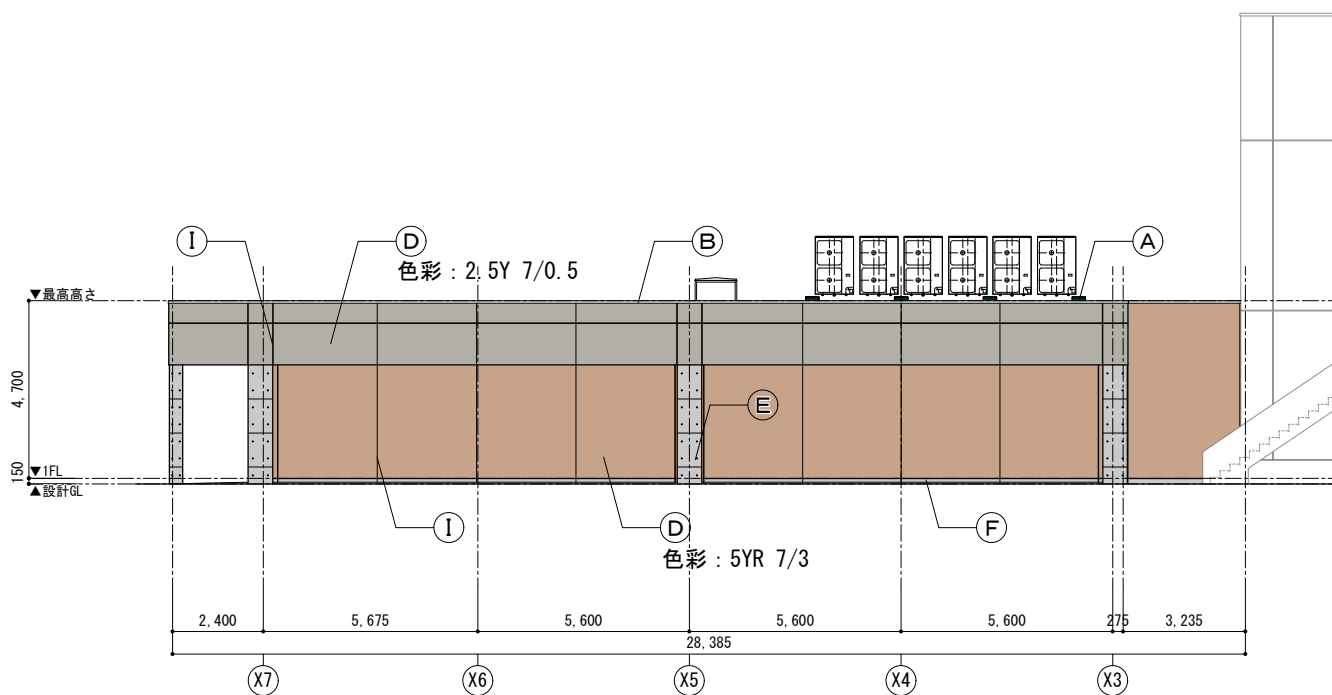
ピット図 (増築棟)

縮尺

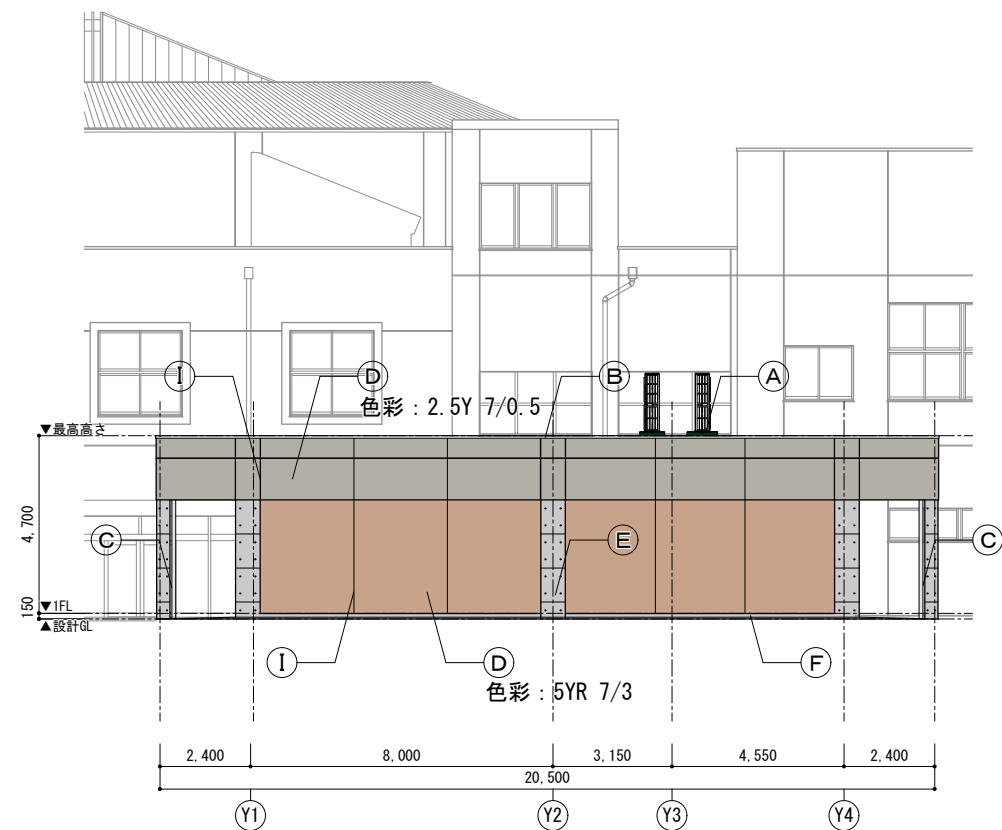
1:150



南側立面図



北側立面図



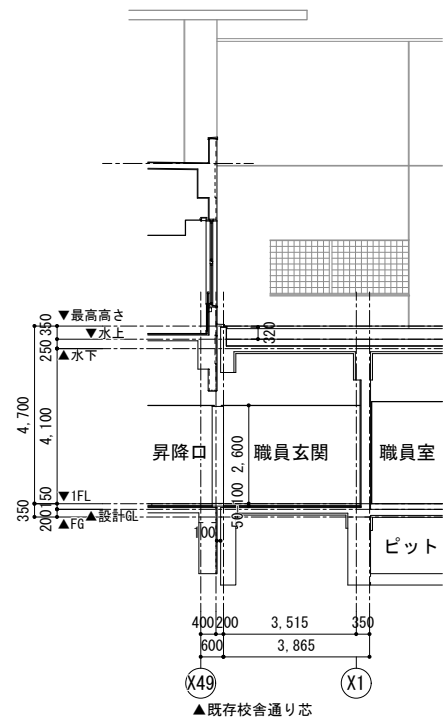
東側立面図

記号	部位	仕 上
(A)	屋上	アスファルト露出防水 (D-1)
(B)	笠木	アルミ押出成型 W200 アルマイト処理
(C)	縦樋	アルミ製バンドレスタイプ 丸型 Φ100
(D)	外壁	外装薄塗材E吹付 (ゆず肌)
(E)	柱	フッ素樹脂塗装仕上
(F)	外部巾木	フッ素樹脂塗装仕上
(G)	EXP部	エラストマータイプ クリアランス100mm
(H)	金物	アルミ成形 t2.0
(I)	目地	PU-2 (外壁誘発目地)

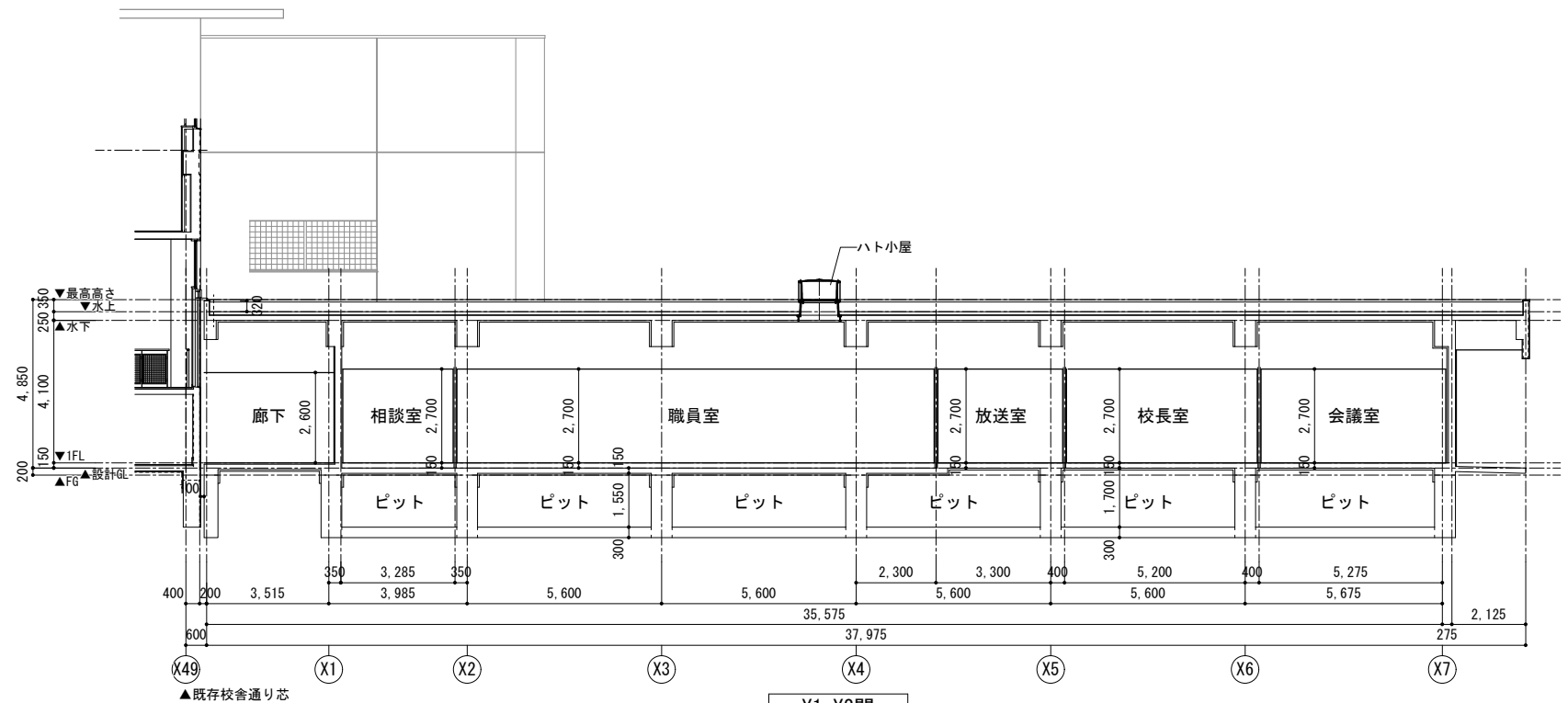
方角	計算式	外観面積
南側立面	37.975 m × 4.700 m = 178.49 m2	178.49 m2
北側立面	28.385 m × 4.700 m = 133.41 m2	133.41 m2
東側立面	20.500 m × 4.700 m = 96.35 m2	96.35 m2
合計		408.25 m2



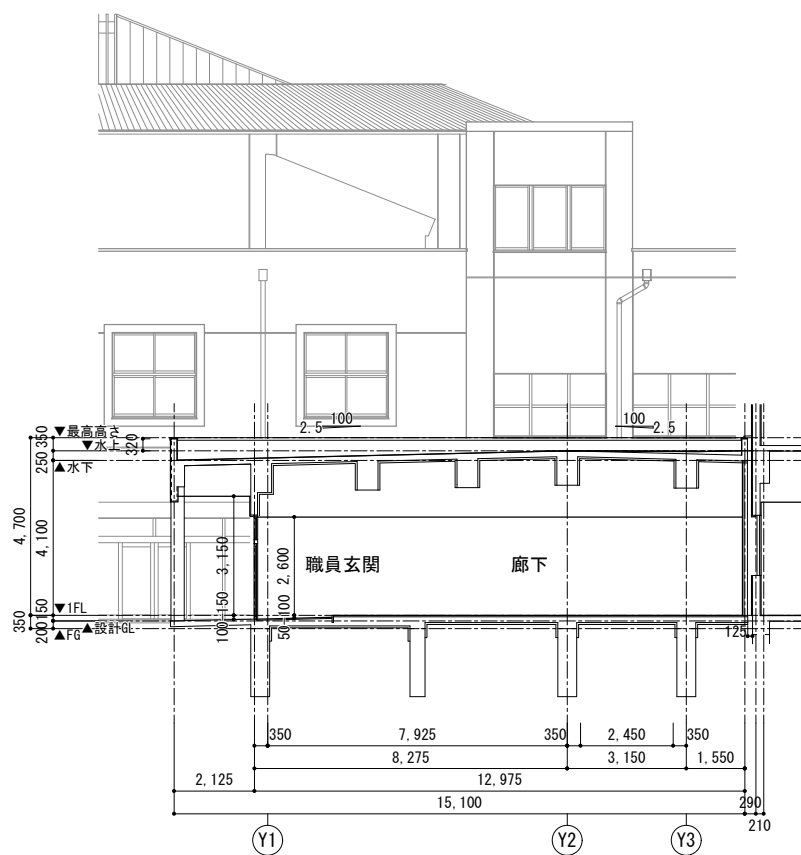
※設計GLを平均地盤面とする。



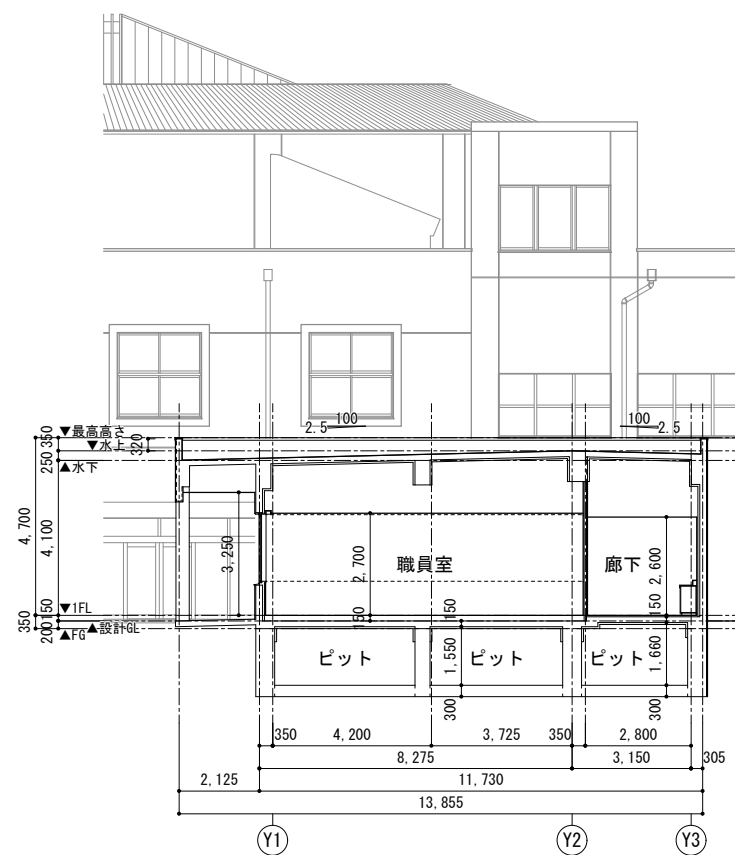
Y1-Y2間



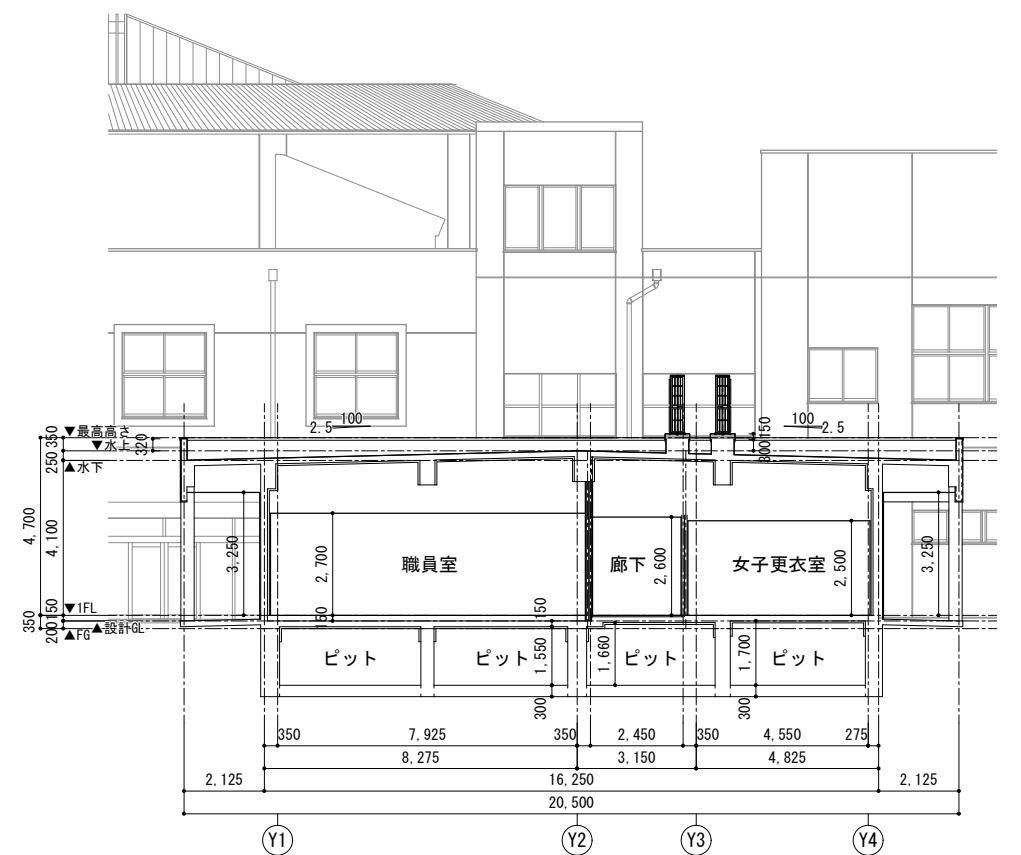
Y1-Y2間



X0-X1間



X2-X3間



X4-X5間



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

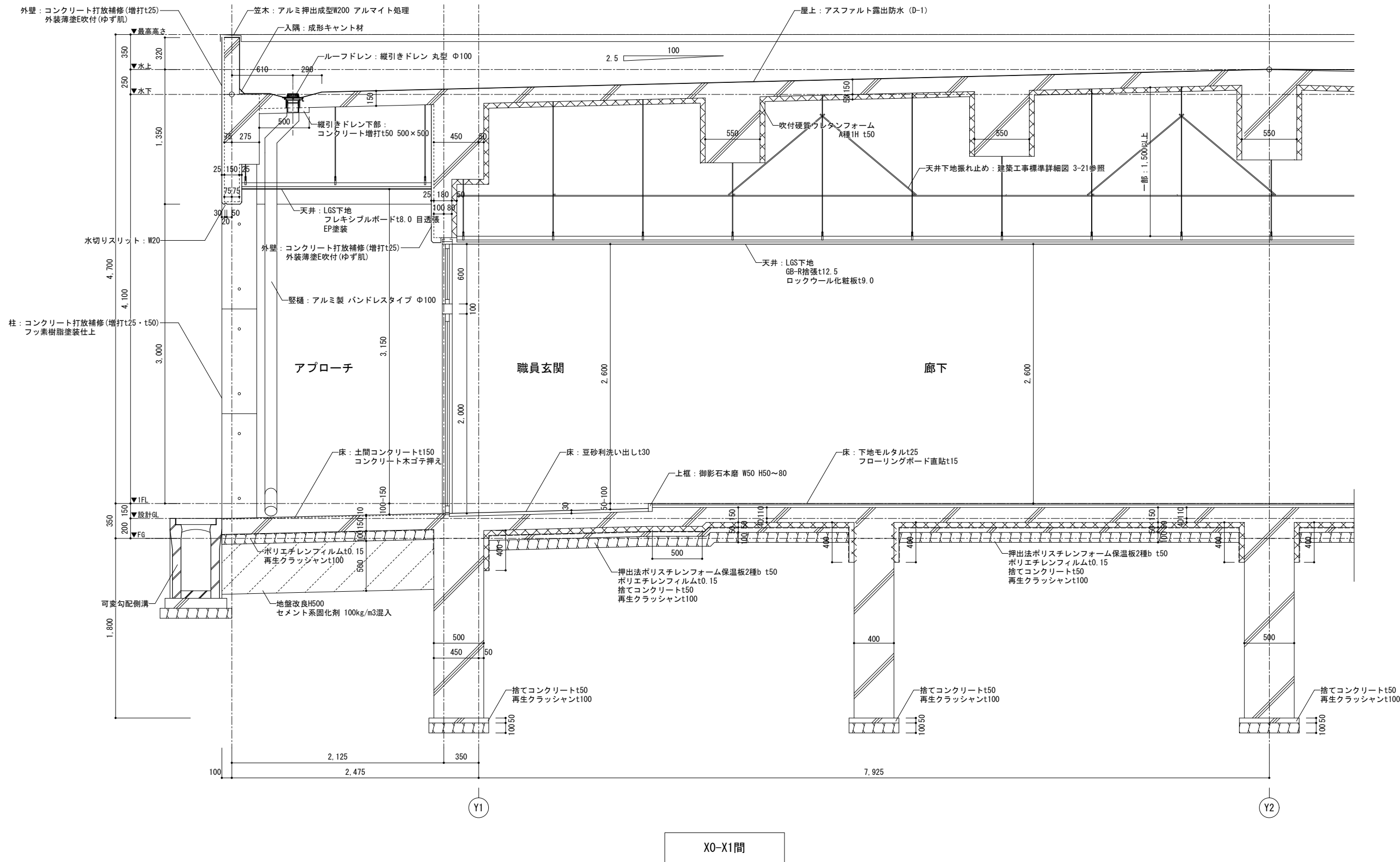
製作年月日
26. 03

設計番号
25_42

図面番号
A-35

工事名称
(仮称) 西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
断面図 (増築棟)

縮尺
1:200



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

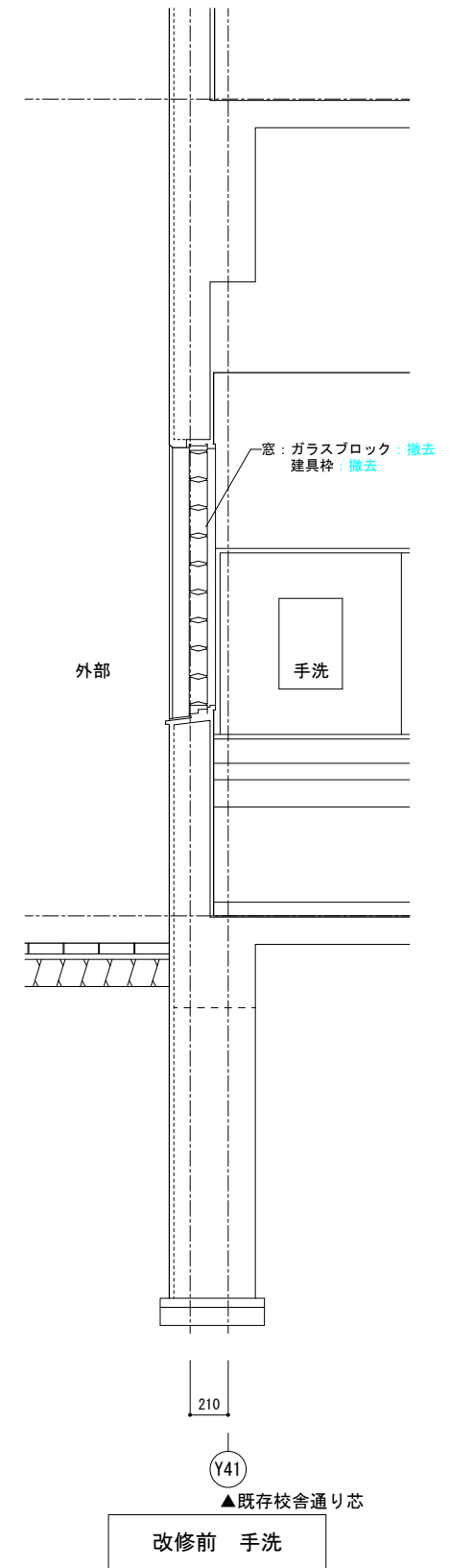
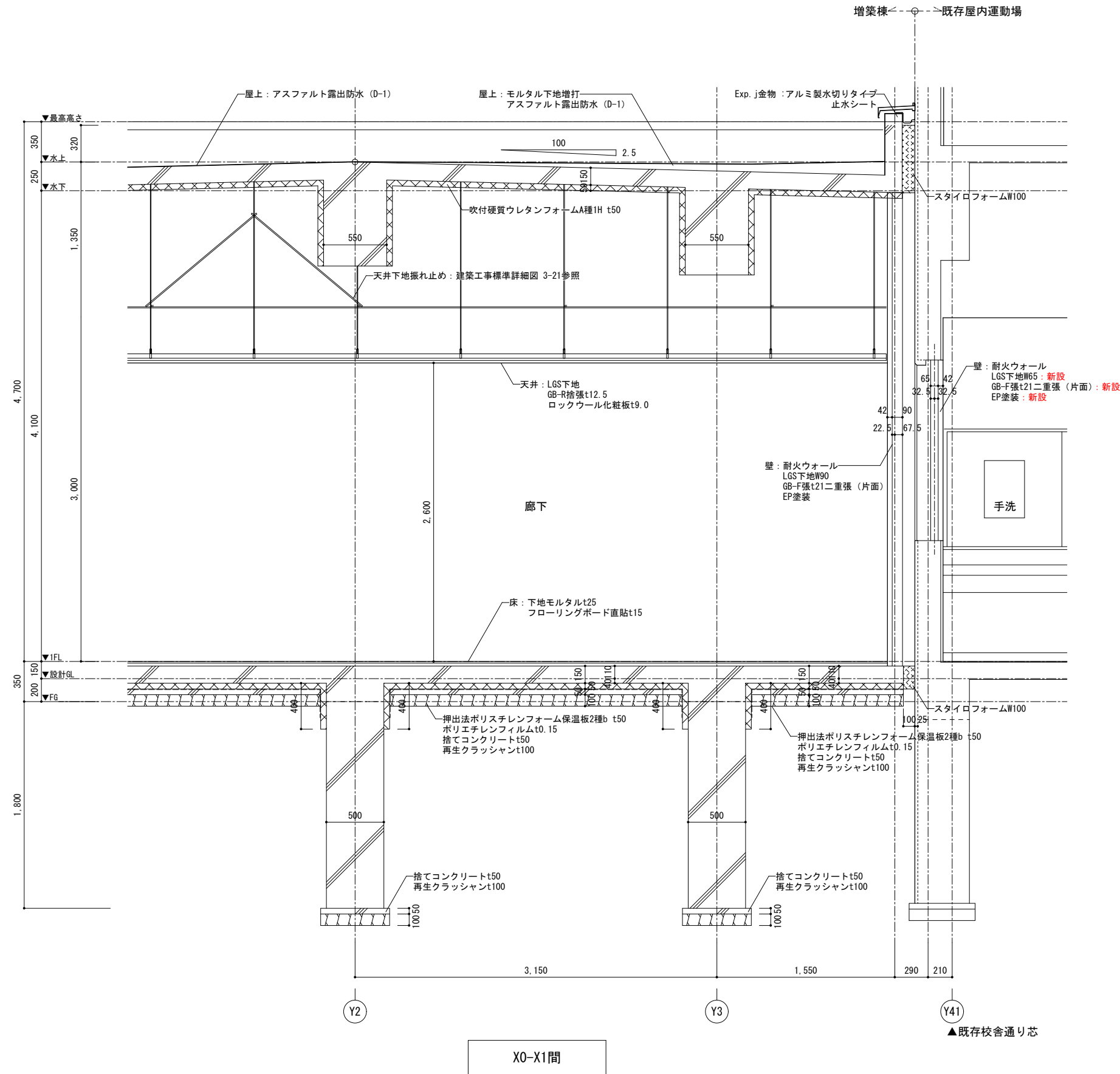
製作年月日
26. 03

設計番号
25_42

図面番号
A-36

工事名称
(仮称) 西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
矩計図-1 (増築棟)

縮尺
1:40



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

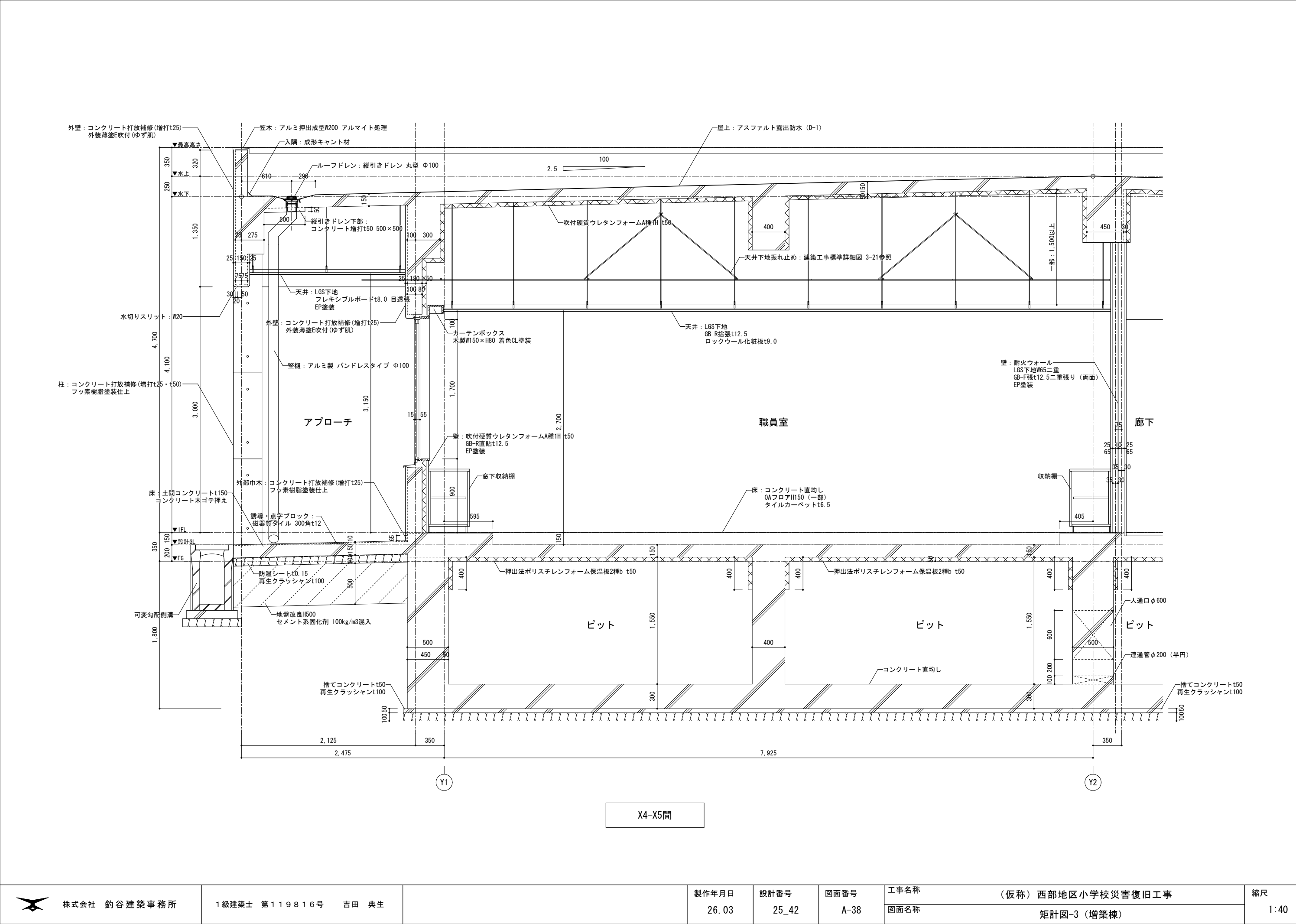
製作年月日
26.03

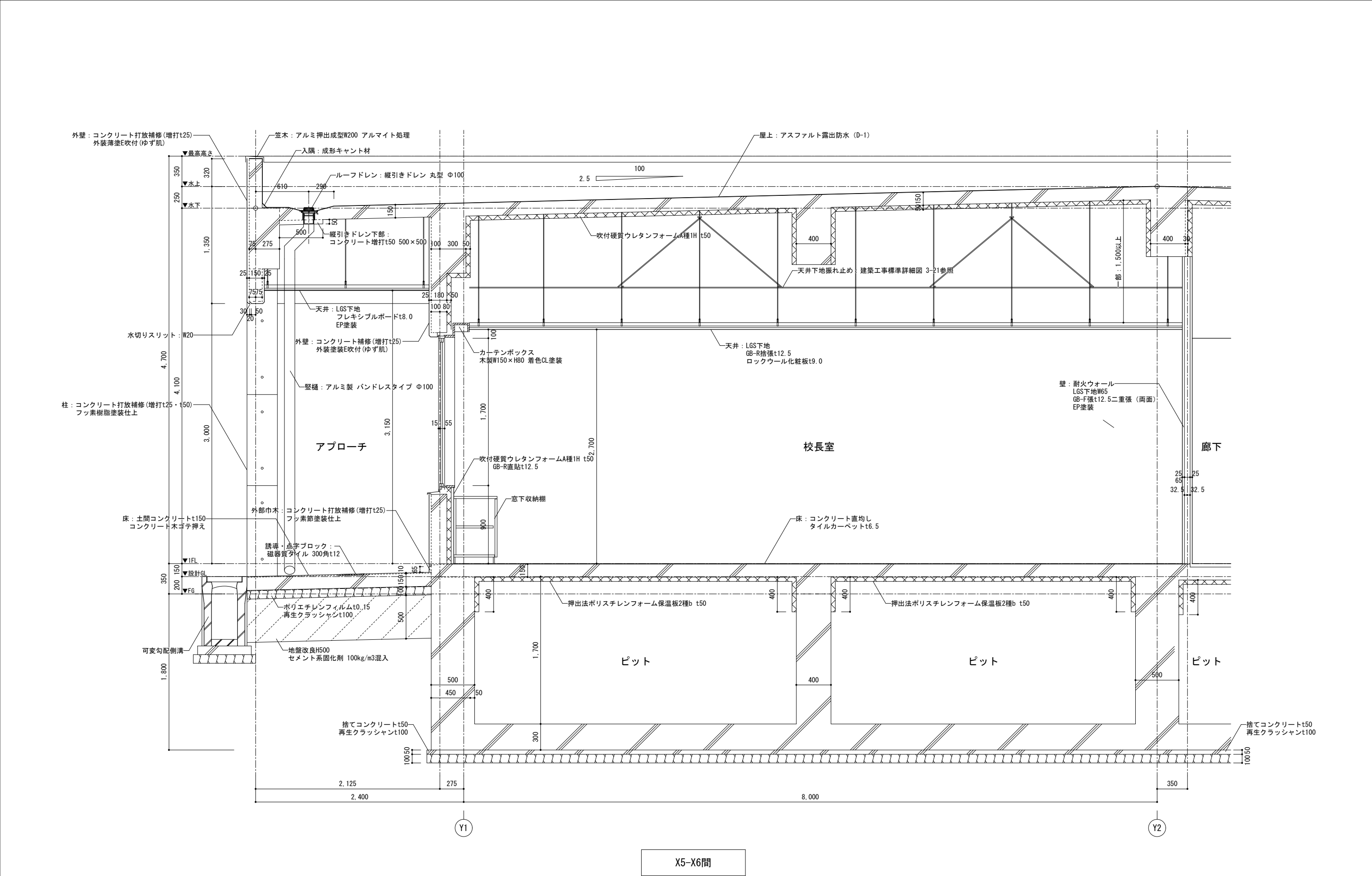
設計番号
25_42

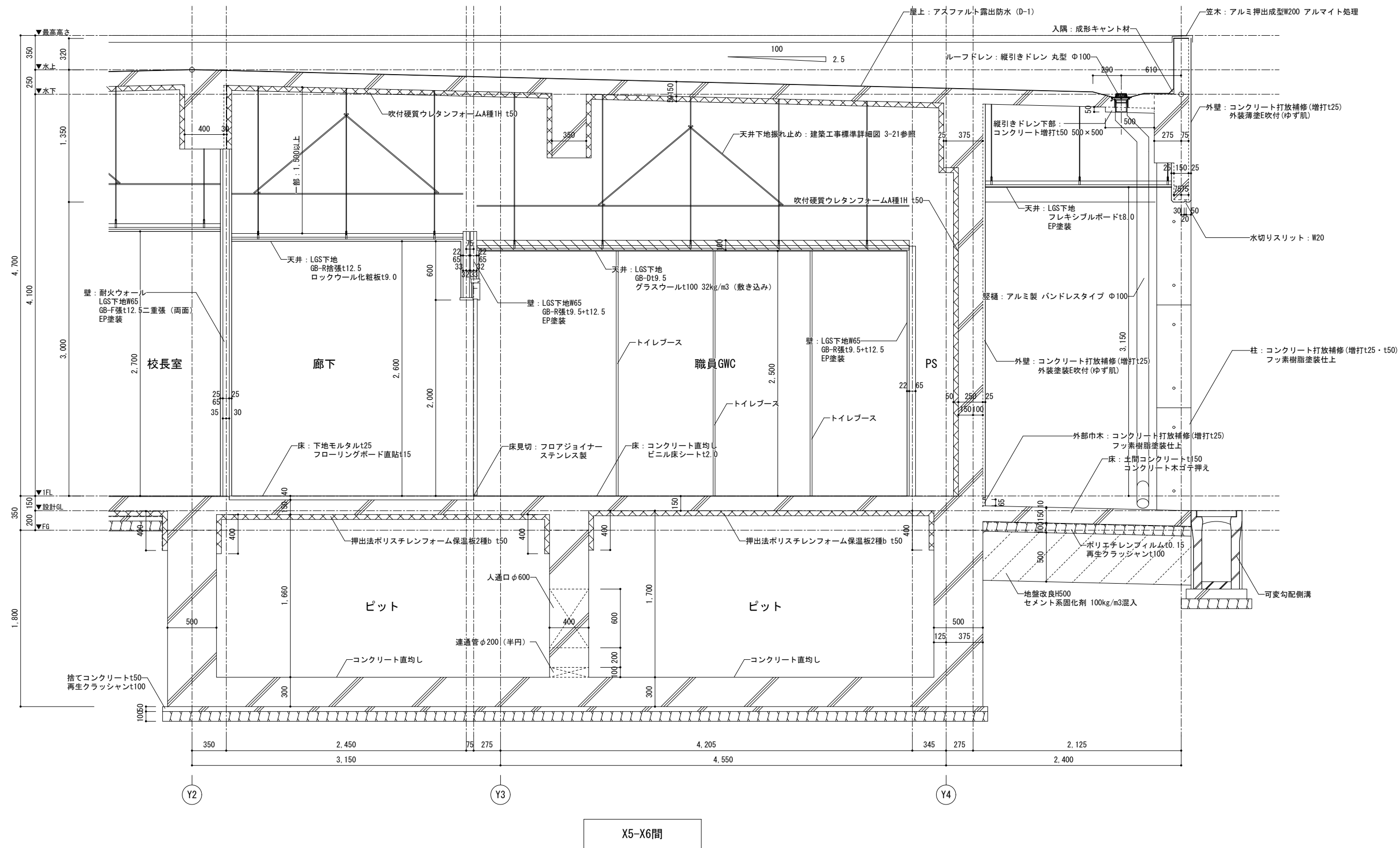
図面番号
A-37

工事名称
(仮称) 西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
矩計図-2 (増築棟)

縮尺
1:40







株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

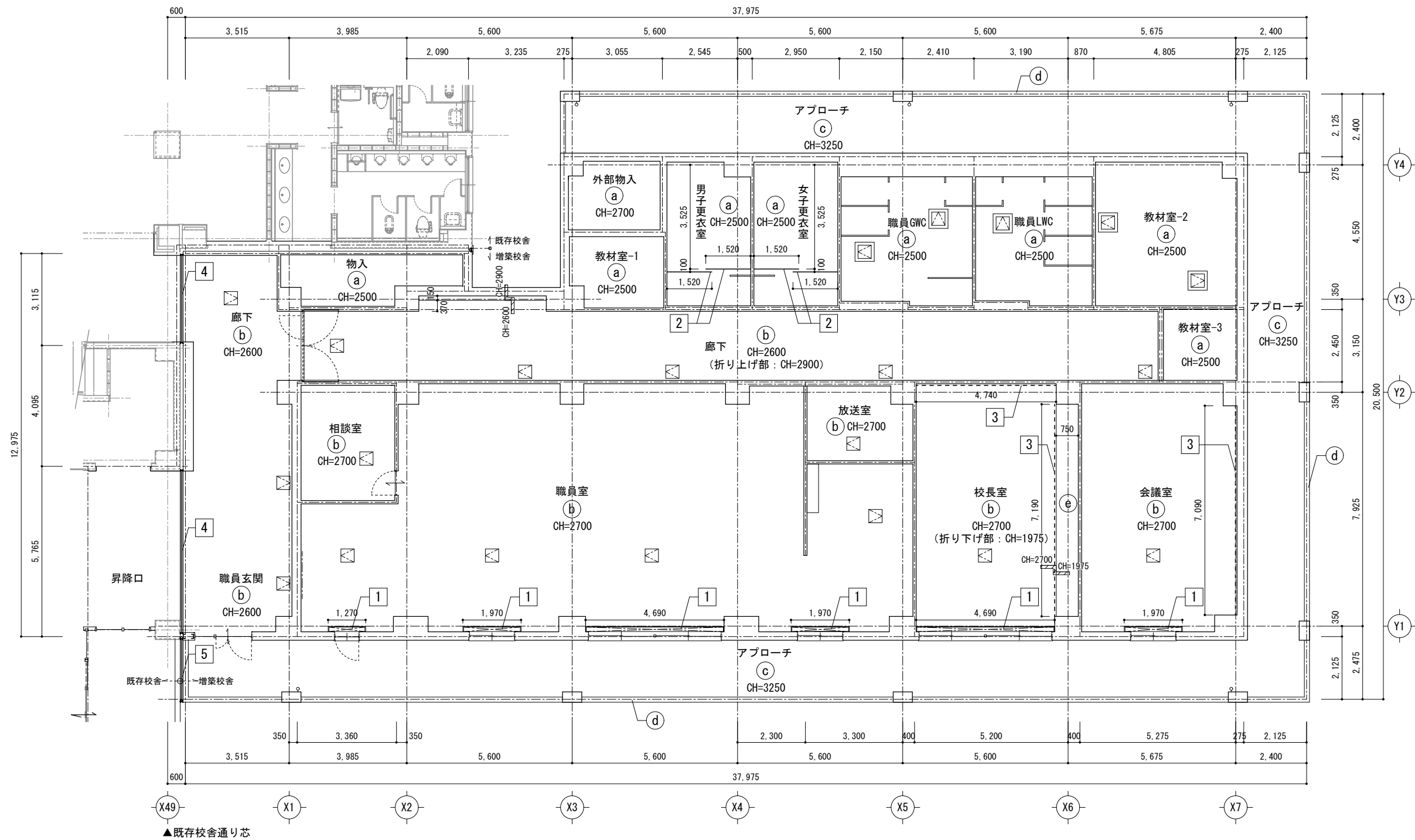
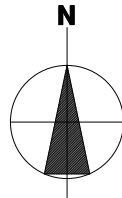
製作年月日
26.03

設計番号
25_42

図面番号
A-40

工事名称
(仮称) 西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
矩計図-5 (増築棟)

縮尺
1:40



a	GB-D張 t9.5
b	GB-R張 t12.5、ロックウール化粧板張 t9.0
c	フレキシブルボード張 t8.0 目透張 EP塗装
d	コンクリート打放補修(増打t25)、外装薄塗E吹付(ゆず肌)
e	GB-R張 t12.5、EP塗装
1	カーテンBOX: 150×80 木製 着色CL塗装
2	カーテンレール: 天井直付 ステンレス製 許容荷重 30kg/m
3	ビクチャーレール: 天井埋込 ステンレス製 許容荷重 30kg/m
4	EXP金物: 内部 天井-天井 エラストマータイプ クリアランス100mm
5	EXP金物: 外部 天井-天井 エラストマータイプ クリアランス100mm 止水シート
	天井点検口 450角(目地): 16箇所
	天井点検口 450角(額縁): 5箇所

天井開口補強(設備用)			箇所数
開口寸法	350	× 350	6
開口寸法	600	× 600	6
開口寸法	150	× 1250	30
開口寸法	300	× 300	7
開口寸法	450	× 450	2
開口寸法	900	× 900	13



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

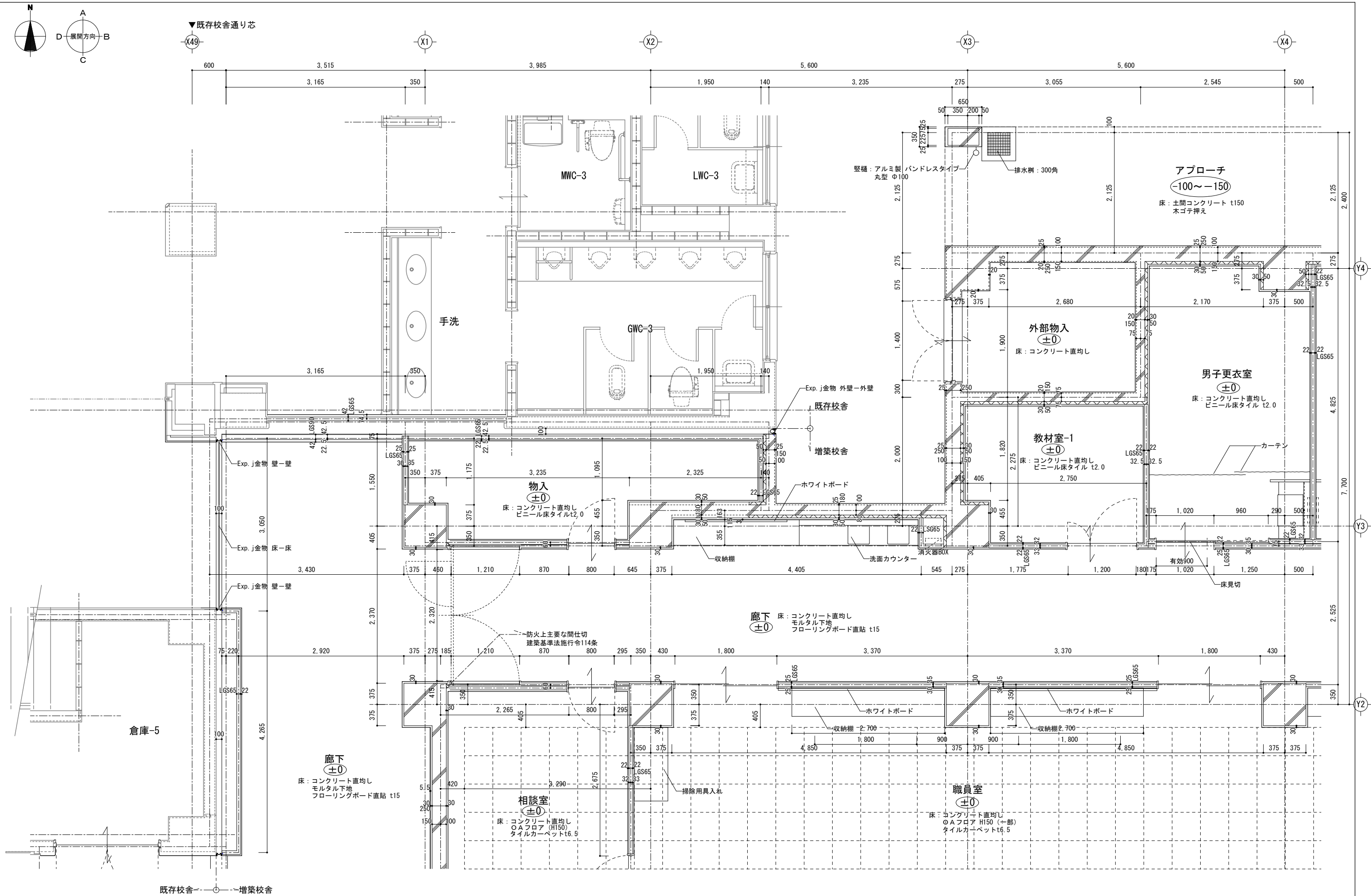
設計番号
25_42

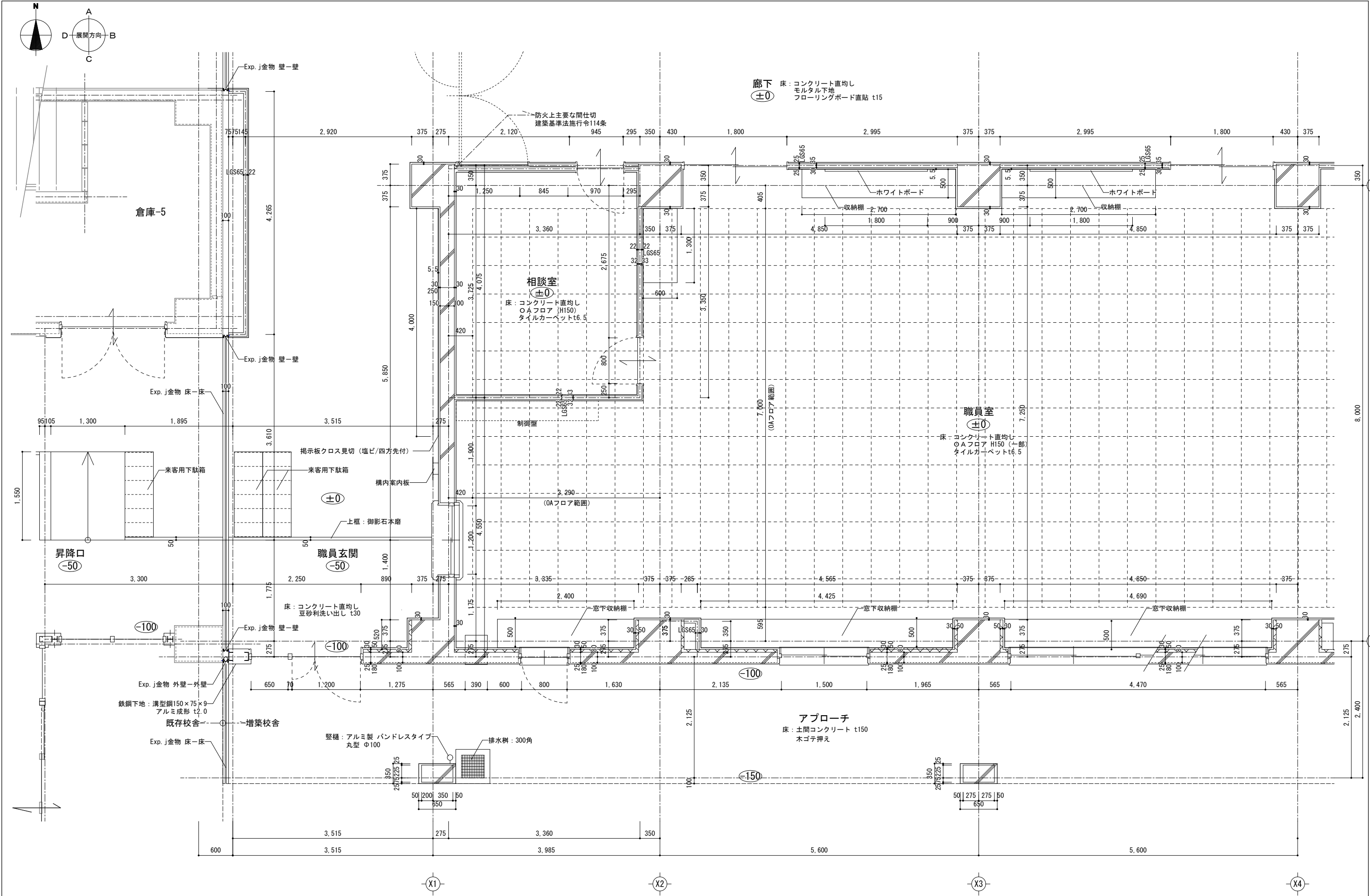
図面番号
A-42

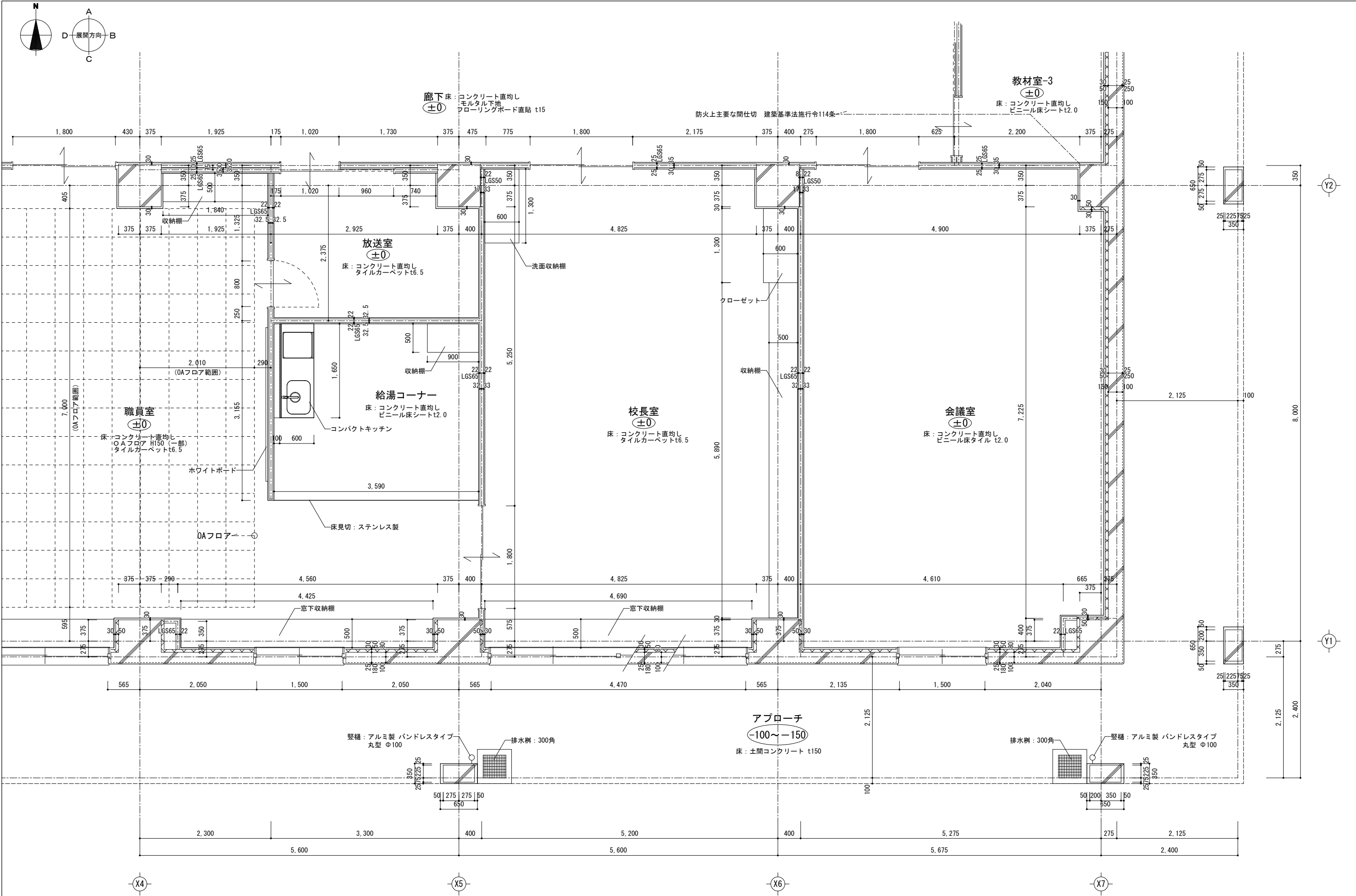
工事名称
図面名称

西部地区小学校災害復旧工事
天井伏図(増築棟)

縮尺
1:150

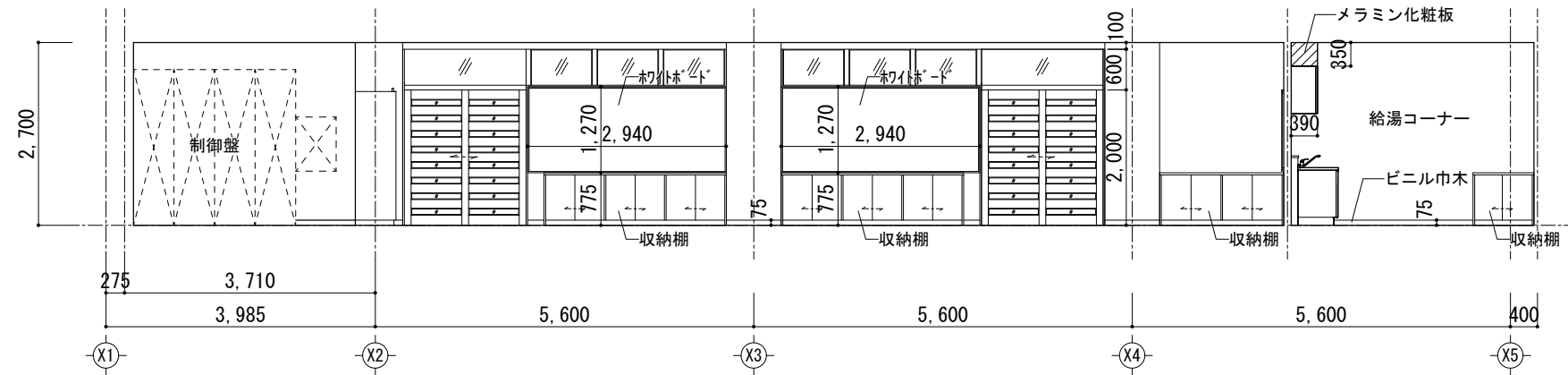




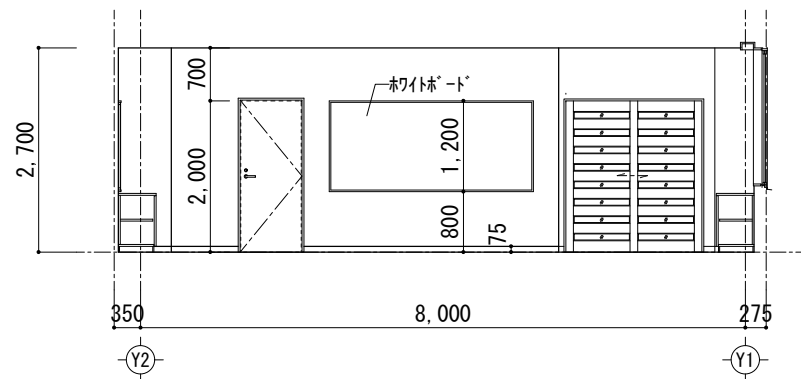


職員室

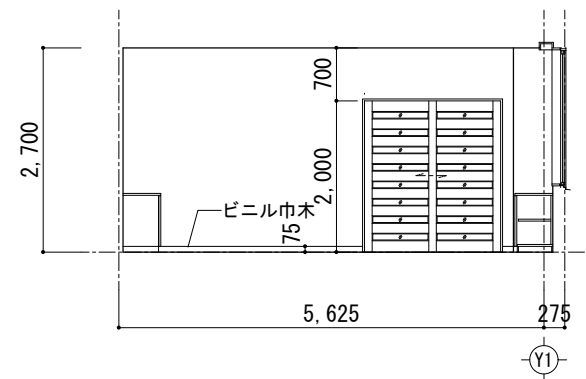
A面



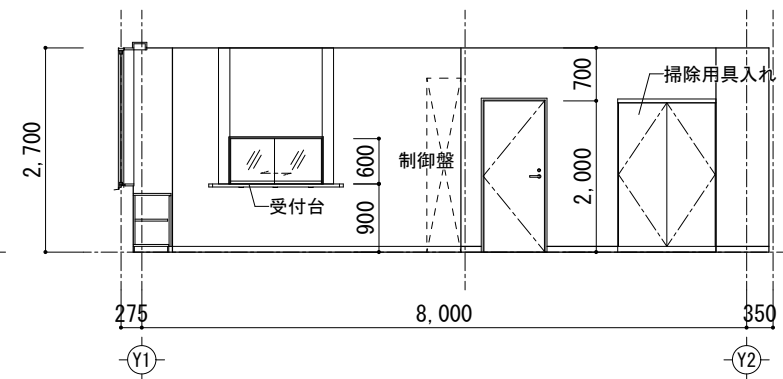
B面



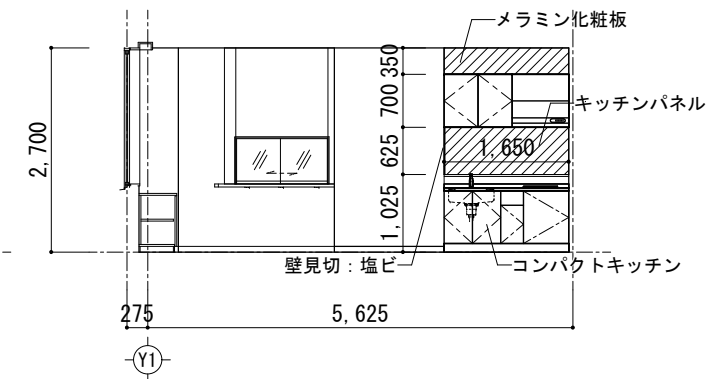
B面 (給湯コーナー)



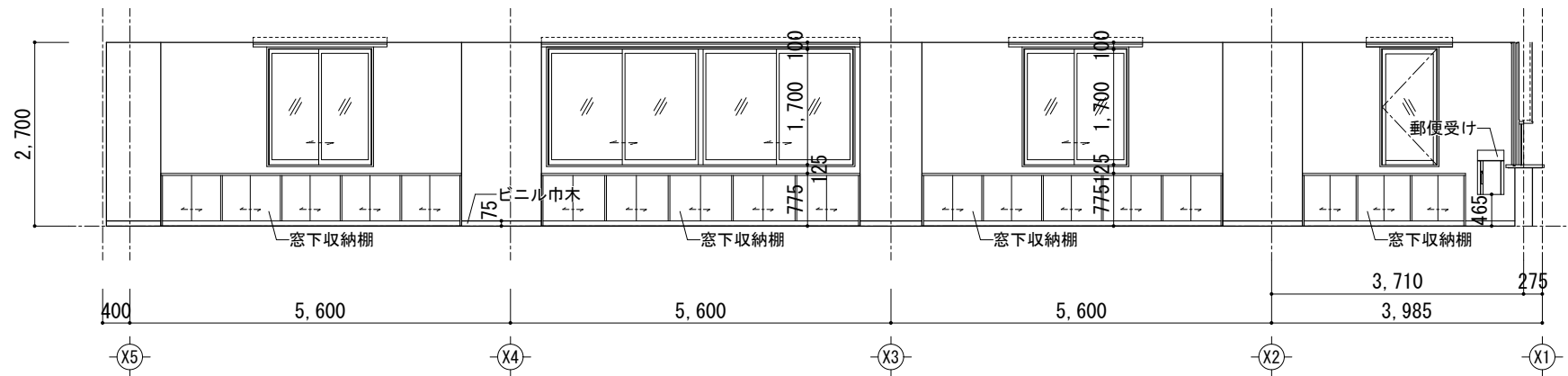
D面



D面 (給湯コーナー)

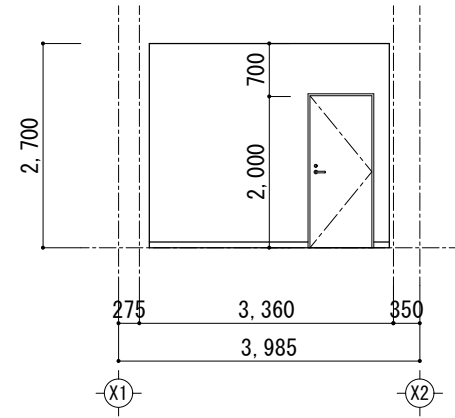


C面

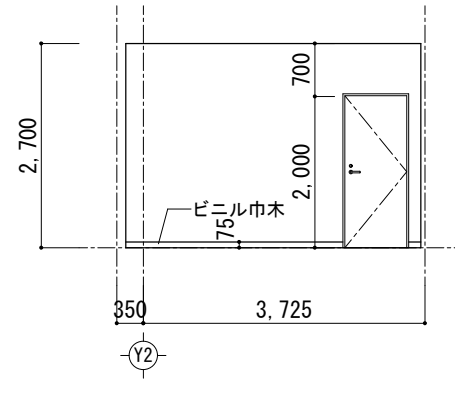


相談室

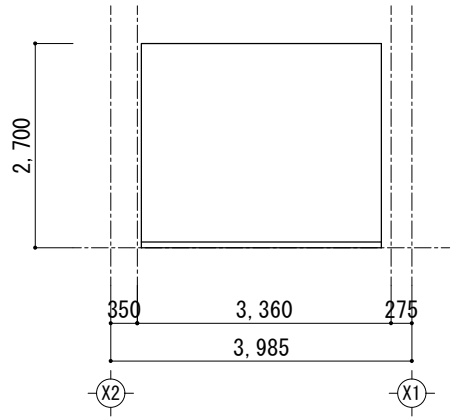
A面



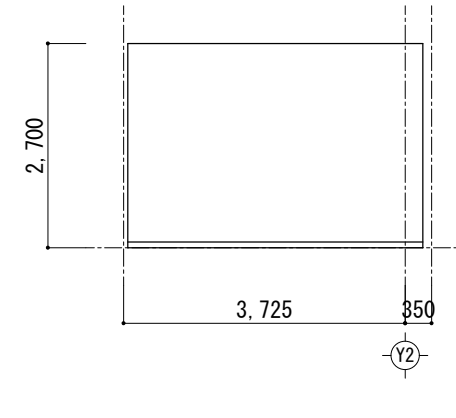
B面



C面



D面



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

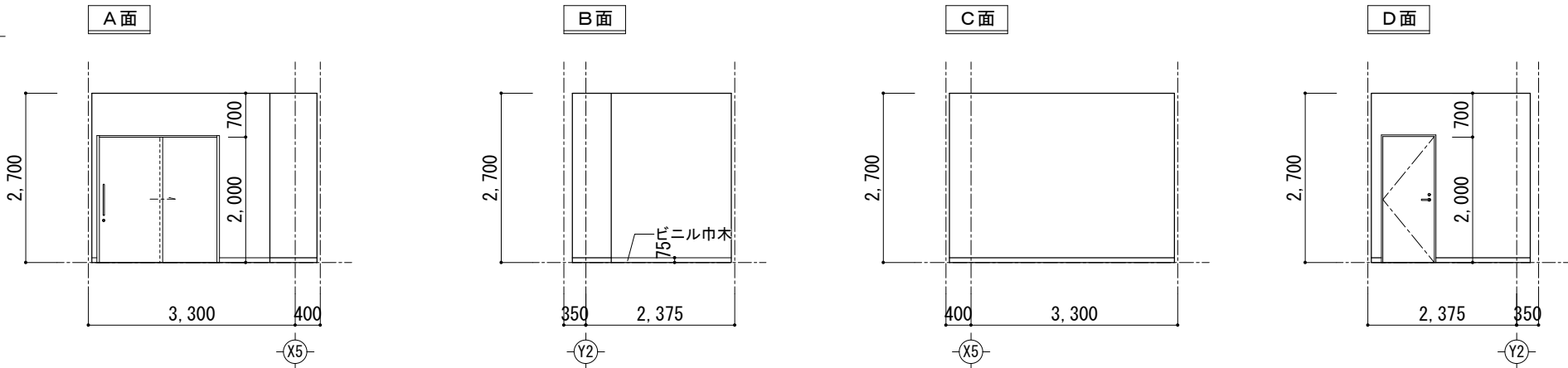
設計番号
25_42

図面番号
A-47

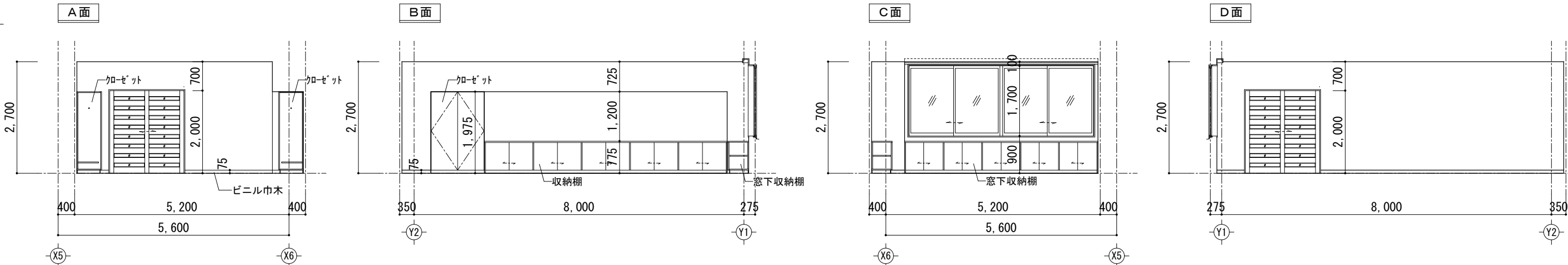
工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
展開図-1

縮尺
1:100

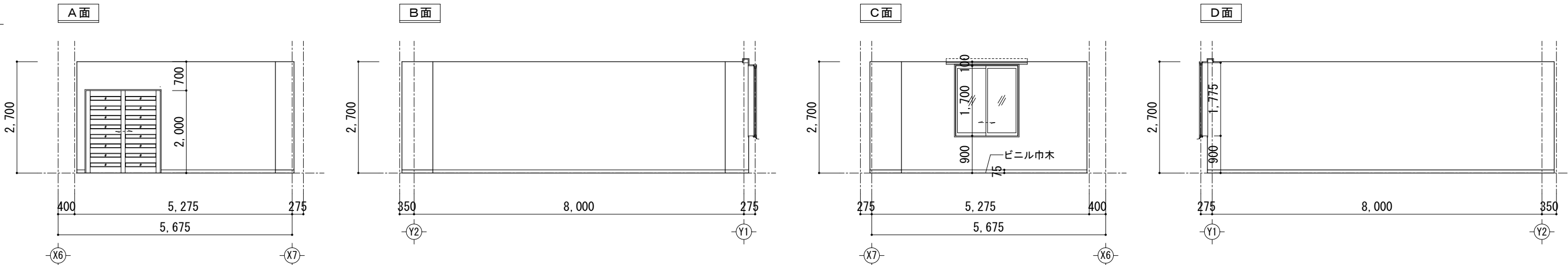
放送室



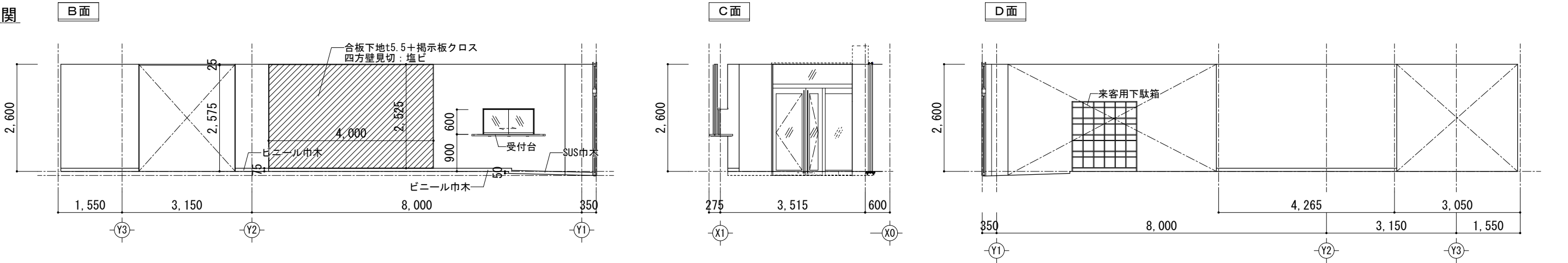
校長室



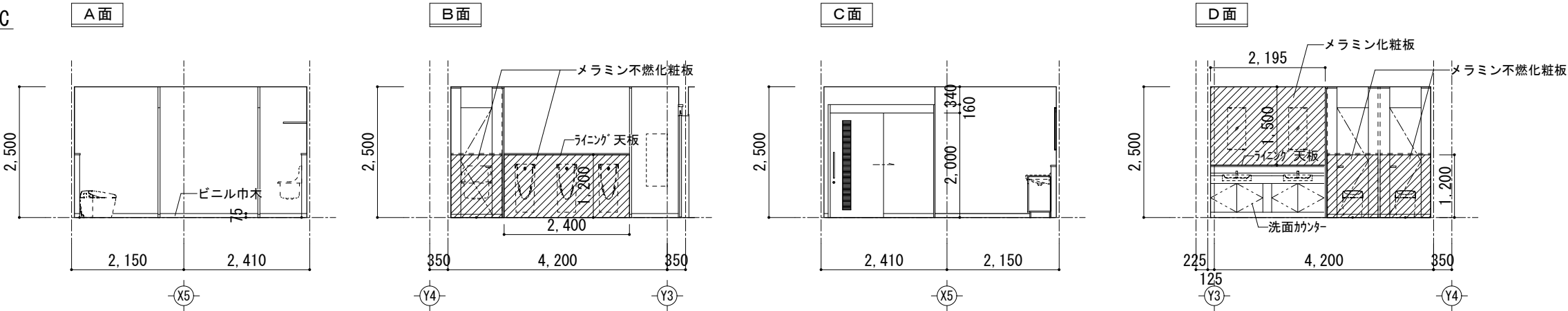
会議室



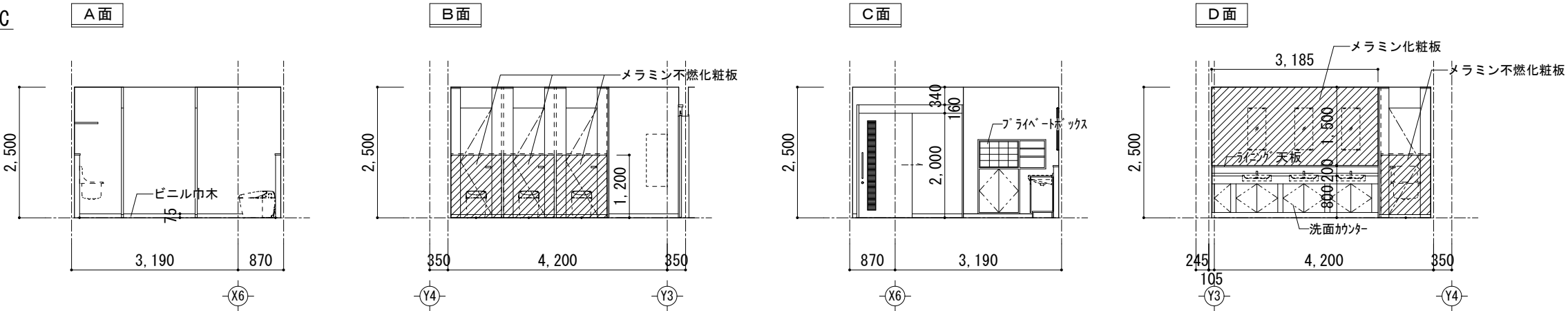
職員玄関



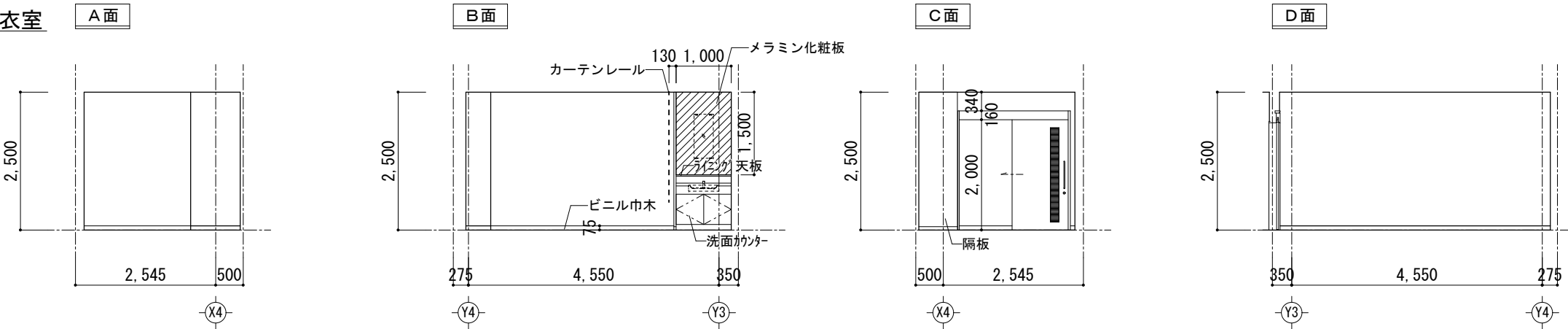
職員GWC



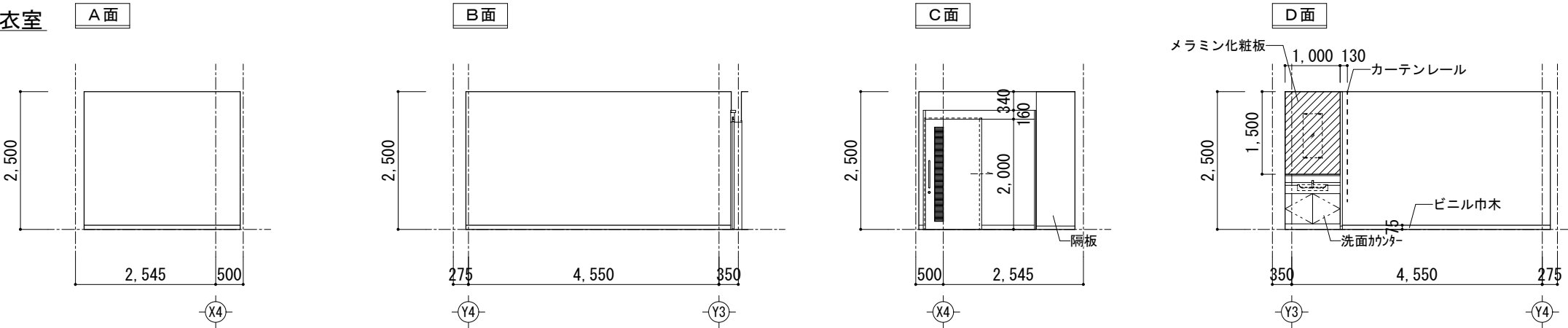
職員LWC



男子更衣室



女子更衣室



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

図面番号
A-49

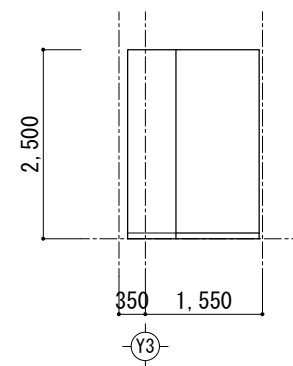
工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
展開図-3

縮尺
1:100

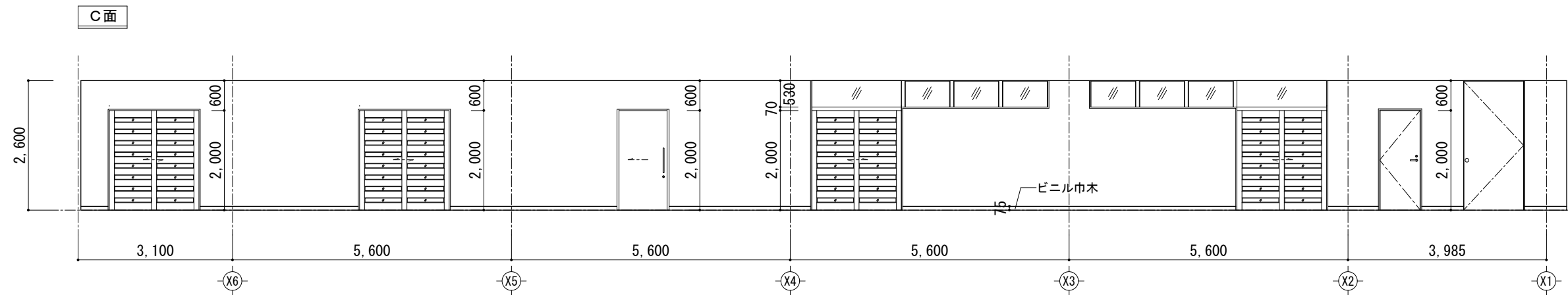
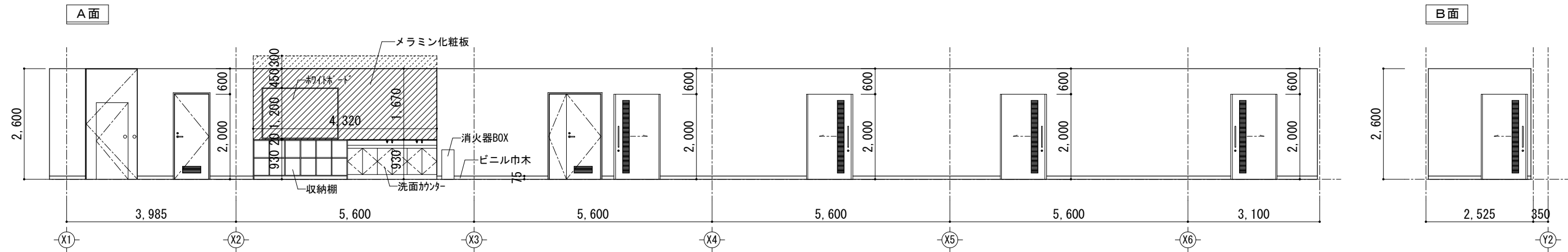
教材室-2

教材室-3

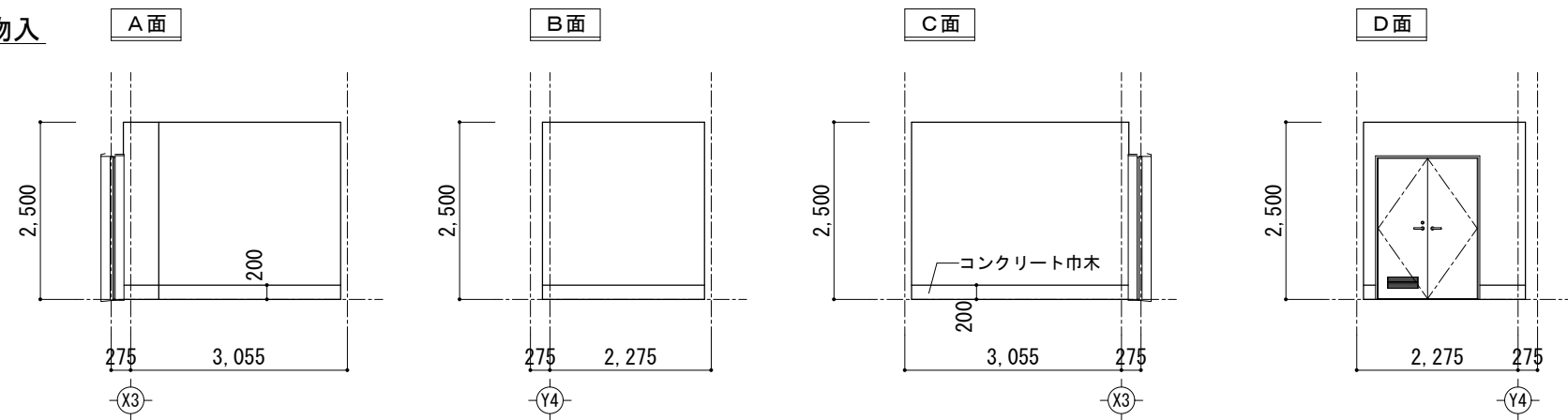
物入



廊下



外部物入



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

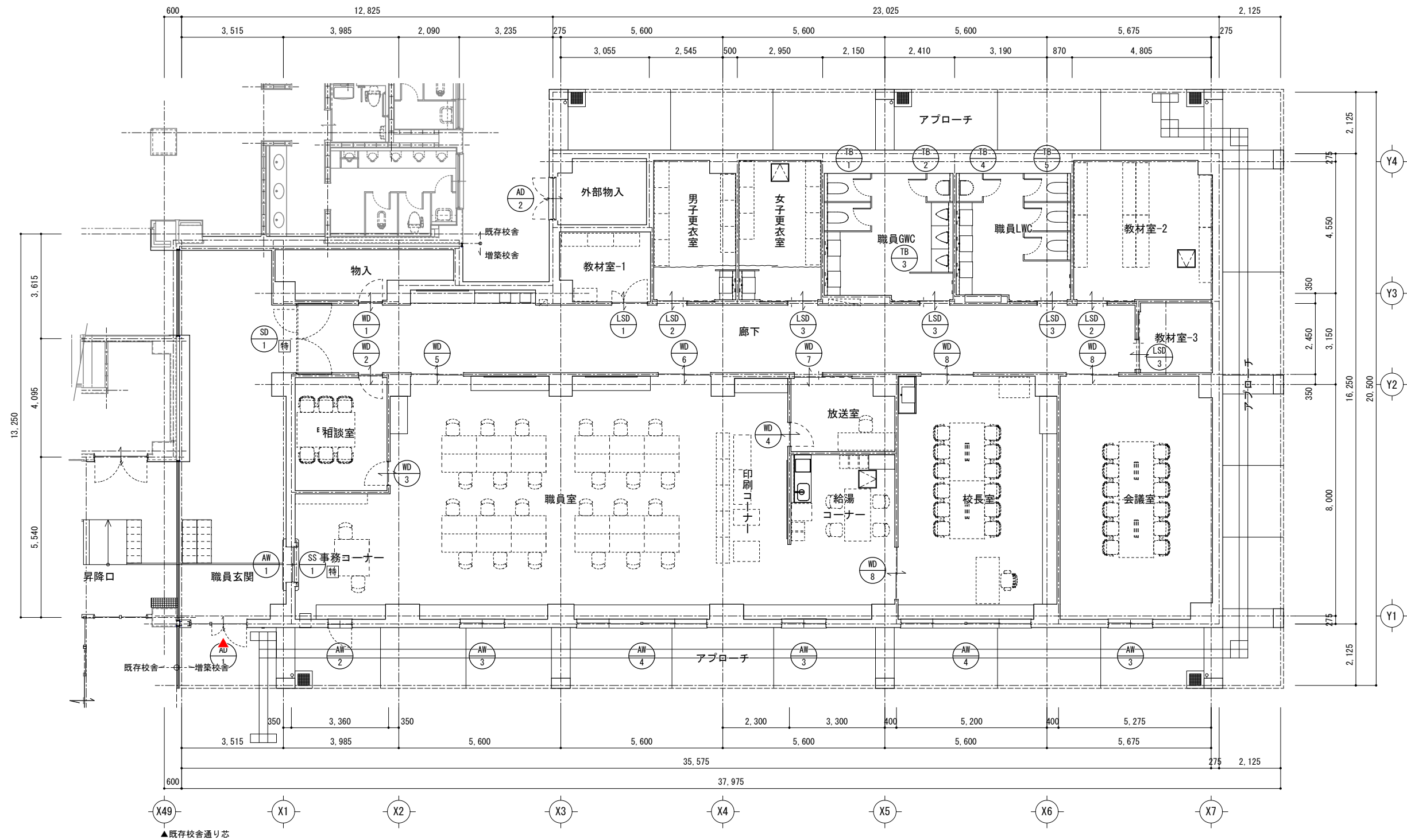
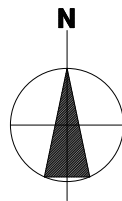
製作年月日
26.03

設計番号
25_42

図面番号
A-51

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
展開図-5

縮尺
1:100



—凡例—

特	特定防火設備（随時閉鎖式）令112条第1項
---	-----------------------



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生


製作年月日
26.03





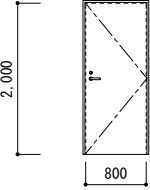
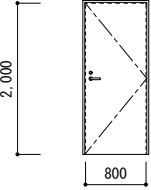
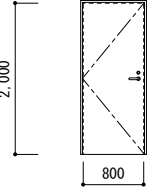
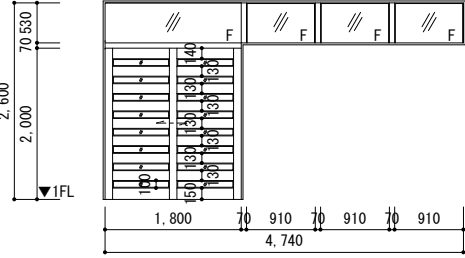




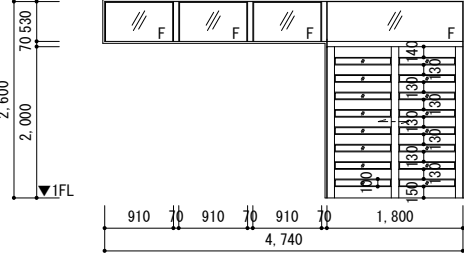
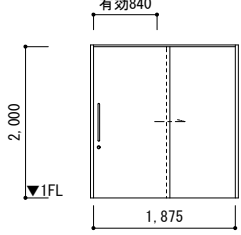
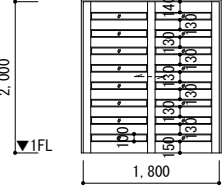
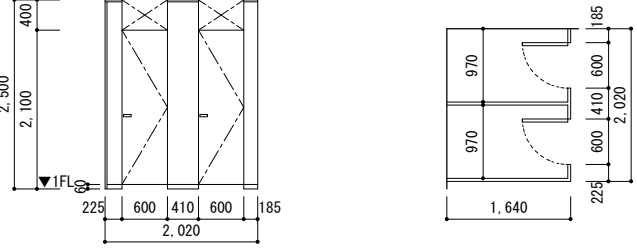




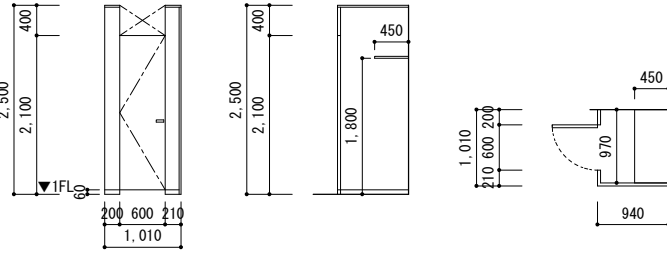
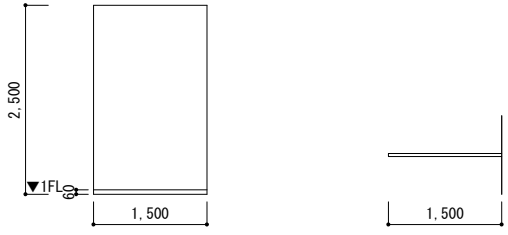
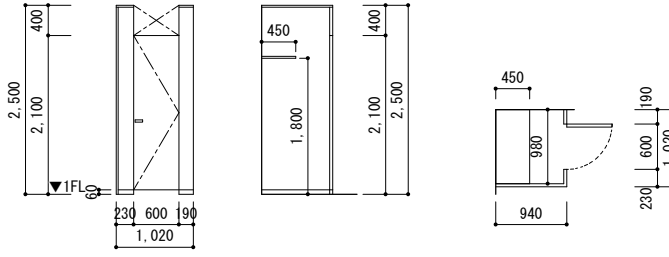
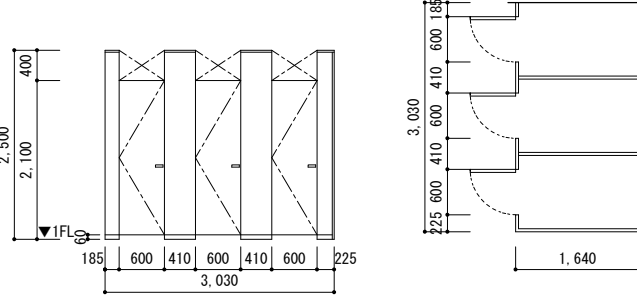

設計番号
25_42

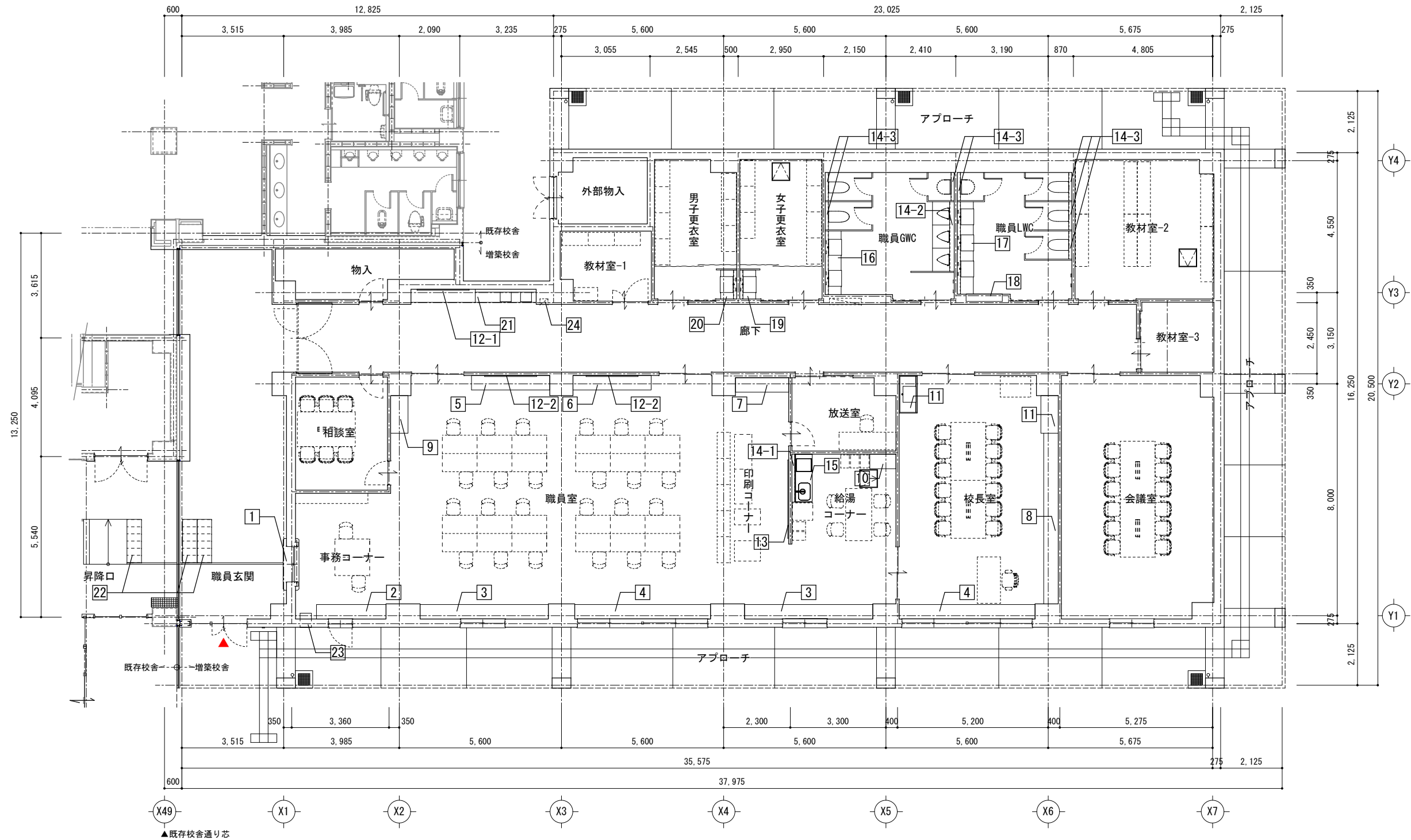
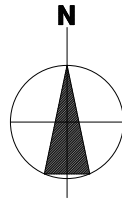
図面番号
A-52

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
建具リスト（増築棟）

縮尺
1:150

符号・種類		<div>AD 1</div>	框親子戸＋欄間FIX窓	見込：70	<div>AD 2</div>	両開きフラッシュ戸	見込：70 扉厚：40	<div>AW 1</div>	引違い受付窓	見込：70	<div>AW 2</div>	片開き窓	見込：70
数・場所		1	職員玄関		1	外部物入		1	職員玄関		1	職員室	
材　料		アルミ			アルミ			アルミ			アルミ		
仕　上		BA-1種、内部3方額縁：アルミ製 AB-1種 見込95mm、Exp. J取合部：鉄骨下地（溝型鋼）、アルミ成形t2.0			BA-1種、3方額縁：アルミ製 AB-1種 見込125mm、ガラリ：SOP塗装			AB-1種、額縁：アルミ製 AB-1種 見込200mm			BA-1種、内部額縁：木製（能登ヒバ）CL塗 見込115mm		
金　物		ステンレス丁番、丸棒ハンドル L=2000:㈱ユニオン「G1240-01-090-P1925」同等品、電気錠 ドアクローザー（バラレル型）、フランス落し、SUS製沓摺t1.5、付属金物一式			ステンレス丁番、レバーハンドル、シリンダー錠、フランス落し SUS製沓摺1.5、付属金物一式			プッシュロック、戸車、外れ止め、シャッター取合枠用アングルピース（アルミ製）、付属金物一式 ステンレスハカマレール、ステンレス上レール			ヒンジ、開き止め、補助ロック、内部額縁用アングルピース（結露受タイプ） 突き出し金物、水切り140mm、付属金物一式		
ガ　ラ　ス		Low-E複層 t5+t6A+t5						フロート透明ガラス t5.0、引手掘			Low-E複層 t5+t6A+t5		
備　考		内側：飛散防止フィルム、断熱バックイン、電気錠用制御盤及びテンキーは電気設備工事とする			アルミガラリ：430×160（開口率30%）、ステンレス防虫網						内側：飛散防止フィルム、断熱バックイン、網戸（ガラス繊維入合成樹脂）一振型		
姿　　図													
符号・種類		<div>AW 3</div>	引違い窓	見込：70	<div>AW 4</div>	2連引違い窓	見込：70	<div>SD 1</div>	戸袋付両開きフラッシュ戸〈随時閉鎖式特定防火設備〉	見込：135 扉厚：50	<div>SS 1</div>	防火シャッター〈随時閉鎖式特定防火設備〉	見込：130
数・場所		3	職員室、会議室		2	職員室、校長室		1	廊下		1	職員室	
材　料		アルミ			アルミ			扉：溶融亜鉛メッキ鋼板t1.6、枠：要島有亜鉛メッキ鋼板t2.3			スチール		
仕　上		BA-1種、内部額縁：木製（能登ヒバ）CL塗 見込115mm			BA-1種、内部額縁：木製（能登ヒバ）CL塗 見込115mm			SOP塗装			SOP塗装		
金　物		クレセント、戸車、外れ止め、内部額縁用アングルピース（結露受タイプ） 水切り140mm、付属金物一式			クレセント、戸車、外れ止め、内部額縁用アングルピース（結露受タイプ） 水切り140mm、付属金物一式			オートヒンジ、沓摺：SUS t1.5 成形40×20、ケースハンドル、付属金物一式			ガイドレール、カバー鋼板・座板：溶融亜鉛メッキ鋼板t1.6、付属金物一式		
ガ　ラ　ス		Low-E複層 t5+t6A+t5			Low-E複層 t5+t6A+t5								
備　考		内側：飛散防止フィルム、断熱バックイン、網戸（ガラス繊維入合成樹脂）一振型			内側：飛散防止フィルム、断熱バックイン、網戸（ガラス繊維入合成樹脂）一振型			煙感知器連動			煙感知器連動、上部電動式、自動閉鎖防災システム、障害物検知装置/避難時停止装置		
姿　　図													
符号・種類		<div>LSD 1</div>	親子フラッシュ戸	見込：130 扉厚：40	<div>LSD 2</div>	片引きフラッシュハンガー戸	見込：205 扉厚：40	<div>LSD 3</div>	片引きフラッシュハンガー戸	見込：205 扉厚：40	<div>WD 1</div>	片開きフラッシュ戸	見込：190 扉厚：40
数・場所		1	教室-1		2	男子更衣室、教室-2		4	女子更衣室、職員GWC、職員LWC、教室-3		1	物入	
材　料		扉：ペーパーコア（芯材）・溶融亜鉛メッキ鋼板t0.6、枠・額縁：溶融亜鉛メッキ鋼板t1.6			扉：溶融亜鉛メッキ鋼板t0.6、枠・額縁：溶融亜鉛メッキ鋼板t1.6			扉：溶融亜鉛メッキ鋼板t0.6、枠・額縁：溶融亜鉛メッキ鋼板t1.6			芯材：木軸下地、扉・枠：木製		
仕　上		扉：粘着剤付き化粧フィルム、枠・ガラリ：SOP塗装			扉：粘着剤付き化粧フィルム、枠・ガラリ：SOP塗装			扉：粘着剤付き化粧フィルム、枠・ガラリ：SOP塗装			扉：メラミン化粧板貼、枠・ガラリ：SOP塗装		
金　物		ステンレス丁番、レバーハンドル:㈱ユニオン「UL1110-002」同等品、シリンダー錠 ドアクローザー（バラレル型）、フランス落し、沓摺：SUS t1.5 成形40×20、戸当り、付属金物一式			吊り金物、自閉装置、シリンダー錠（サムターン付）、付属金物一式 SUS丸棒ハンドル L=600：㈱ユニオン「G1110-71-758-L600」同等品			吊り金物、自閉装置、シリンダー錠（サムターン付）、付属金物一式 SUS丸棒ハンドル L=600：㈱ユニオン「G1110-71-758-L600」同等品			ステンレス丁番、シリンダー錠（サムターン付）、沓摺：SUS t1.5 成形40×20、戸当り、付属金物一式 レバーハンドル:㈱ユニオン「UL1110-002」同等品		
ガ　ラ　ス													
備　考		スチールガラリ：420×150（開口率30%）			スチールガラリ：150×1700（開口率30%）			スチールガラリ：150×1700（開口率30%）			木製ガラリ：420×150（開口率30%）		
姿　　図													
 株式会社　鈞谷建築事務所		1級建築士　第119816号　吉田　典生			製作年月日 26.03		設計番号 25_42	図面番号 A-53	工事名称 図面名称	西部地区小学校災害復旧工事 建具図-1（増築棟）			縮尺 1:100

符号・種類		片開きフラッシュ戸	見込：195 扉厚：40		片開きフラッシュ戸	見込：130 扉厚：40		片開きフラッシュ戸	見込：130 扉厚：40		引違い框戸＋欄間FIX窓	見込：135 扉厚：40
数・場所	1	相談室		1	相談室		1	放送室		1	職員室	
材 料	芯材：木軸下地、扉・枠：木製			芯材：木軸下地、扉・枠：木製			芯材：木軸下地、扉・枠：木製			扉框：タモ単材、無目(70×120)：タモ積層材、敷居(35×120)：マツ積層材、枠：スチール成形t1.6		
仕 上	扉：メラミン化粧板貼、枠類：着色CL塗			扉：メラミン化粧板貼、枠類：着色CL塗			扉：メラミン化粧板貼、枠類：着色CL塗			扉・額縁：着色CL塗、枠：SOP塗装		
金 物	ステンレス丁番、シリンダー錠(サムターン付)、沓摺：SUSt1.5 成形40×20、戸当り、付属金物一式 レバーハンドル：榊ユニオン「UL1110-002」同等品			ステンレス丁番、シリンダー錠(サムターン付)、沓摺：SUSt1.5 成形40×20、戸当り、付属金物一式 レバーハンドル：榊ユニオン「UL1110-002」同等品			ステンレス丁番、シリンダー錠(サムターン付)、沓摺：SUSt1.5 成形40×20、戸当り、付属金物一式 レバーハンドル：榊ユニオン「UL1110-002」同等品			戸車、錠錠(サムターン付)、引手、ストッパー、付属金物一式		
ガ ラ ス										欄間：フロート透明ガラス t5.0、その他：学校用強化型板t4.0		
備 考										アルミV型埋め込みレール・戸先指詰め防止緩衝材		
姿 図												
符号・種類		引違い框戸＋欄間FIX窓	見込：135 扉厚：40		片引きフラッシュ戸	見込：210 扉厚：40		引違い框戸＋欄間FIX窓	見込：135 扉厚：40		トイレブース	見込：40
数・場所	1	職員室		1	放送室		3	職員室、校長室、会議室		1	職員GWC	
材 料	扉框：タモ単材、無目(70×120)：タモ積層材、敷居(35×120)：マツ積層材、枠：スチール成形t1.6			芯材：木軸下地、扉・枠・敷居：木製			扉框：タモ単材、無目(70×120)：タモ積層材、敷居(35×120)：マツ積層材			芯材：ペーパーコア、表面材高圧メラミン化粧板		
仕 上	扉・枠・額縁：CL塗			扉：メラミン化粧板貼、枠類：CL塗			扉・枠・額縁：CL塗			笠木アルミ押出型材		
金 物	戸車、錠錠(サムターン付)、引手、ストッパー、付属金物一式			錠錠(サムターン付)、SUS丸棒ハンドル L=600：榊ユニオン「G1110-71-758-L600」同等品			戸車、錠錠(サムターン付)、引手、ストッパー、付属金物一式			グレビティヒンジ、表示錠、ストライク、ステンレス巾木(H=60)		
ガ ラ ス	欄間：フロート透明ガラス t5.0、その他：学校用強化型板t4.0			戸車、付属金物一式			学校用強化型板t4.0			戸当り、付属金物一式		
備 考	アルミV型埋め込みレール・戸先指詰め防止緩衝材						アルミV型埋め込みレール・戸先指詰め防止緩衝材					
姿 図												
符号・種類		トイレブース	見込：40		トイレブース	見込：40		トイレブース	見込：40		トイレブース	見込：40
数・場所	1	職員GWC		1	職員GWC		1	職員LWC		1	職員LWC	
材 料	芯材：ペーパーコア、表面材高圧メラミン化粧板、棚天板ポストフォームt25			芯材：ペーパーコア、表面材高圧メラミン化粧板			芯材：ペーパーコア、表面材高圧メラミン化粧板、棚天板ポストフォームt25			芯材：ペーパーコア、表面材高圧メラミン化粧板		
仕 上	笠木アルミ押出型材			笠木アルミ押出型材			笠木アルミ押出型材			笠木アルミ押出型材		
金 物	グレビティヒンジ、ストライク、ステンレス巾木(H=60)			ステンレス巾木(H=60)、付属金物一式			グレビティヒンジ、ストライク、ステンレス巾木(H=60)			グレビティヒンジ、表示錠、ストライク、ステンレス巾木(H=60)		
ガ ラ ス	戸当り、付属金物一式						戸当り、付属金物一式			戸当り、付属金物一式		
備 考												
姿 図												
 株式会社 釣谷建築事務所		1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03		設計番号 25_42	図面番号 A-54	工事名称 図面名称	西部地区小学校災害復旧工事 建具図-2（増築棟）		縮尺 1:100	



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

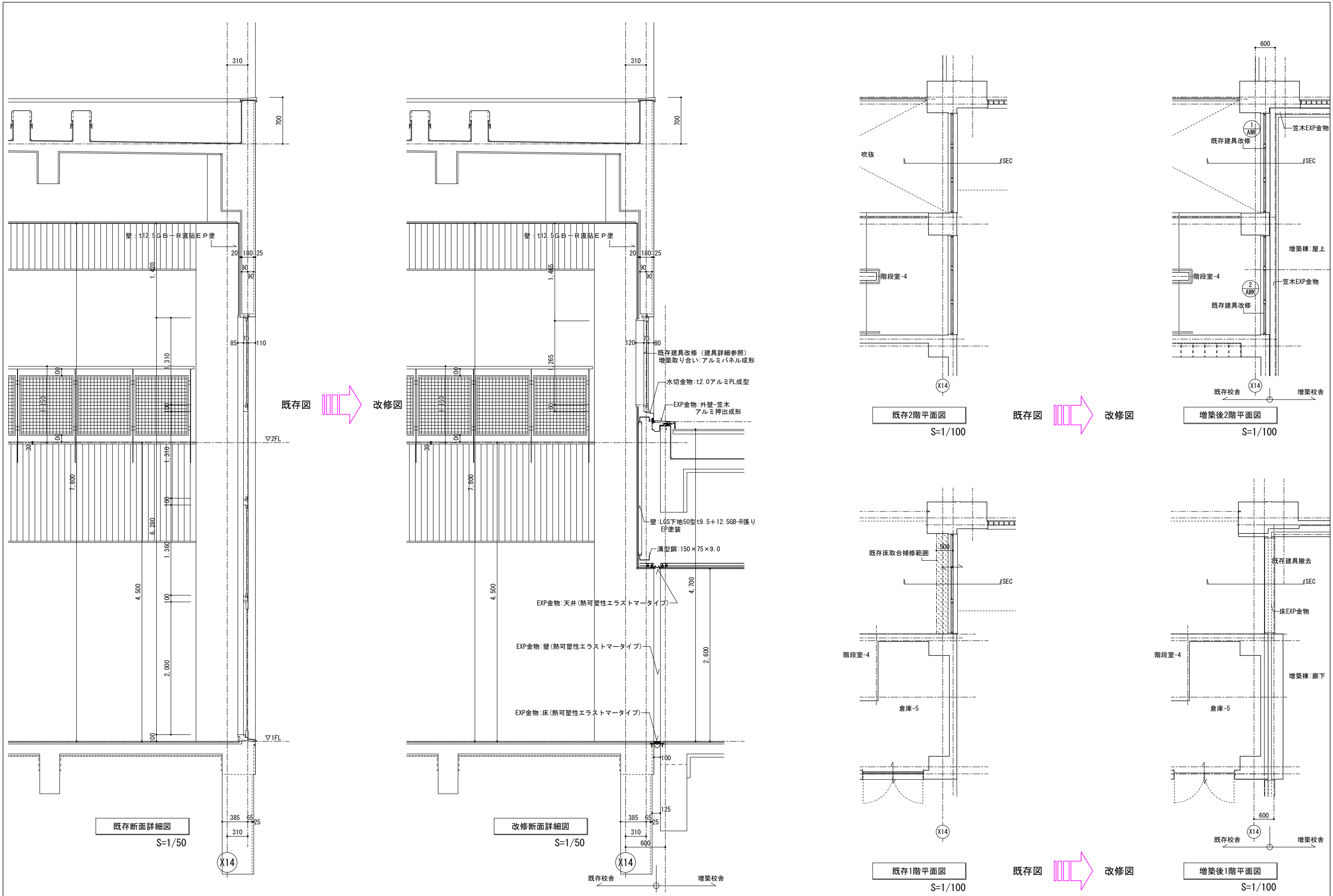
設計番号
25_42

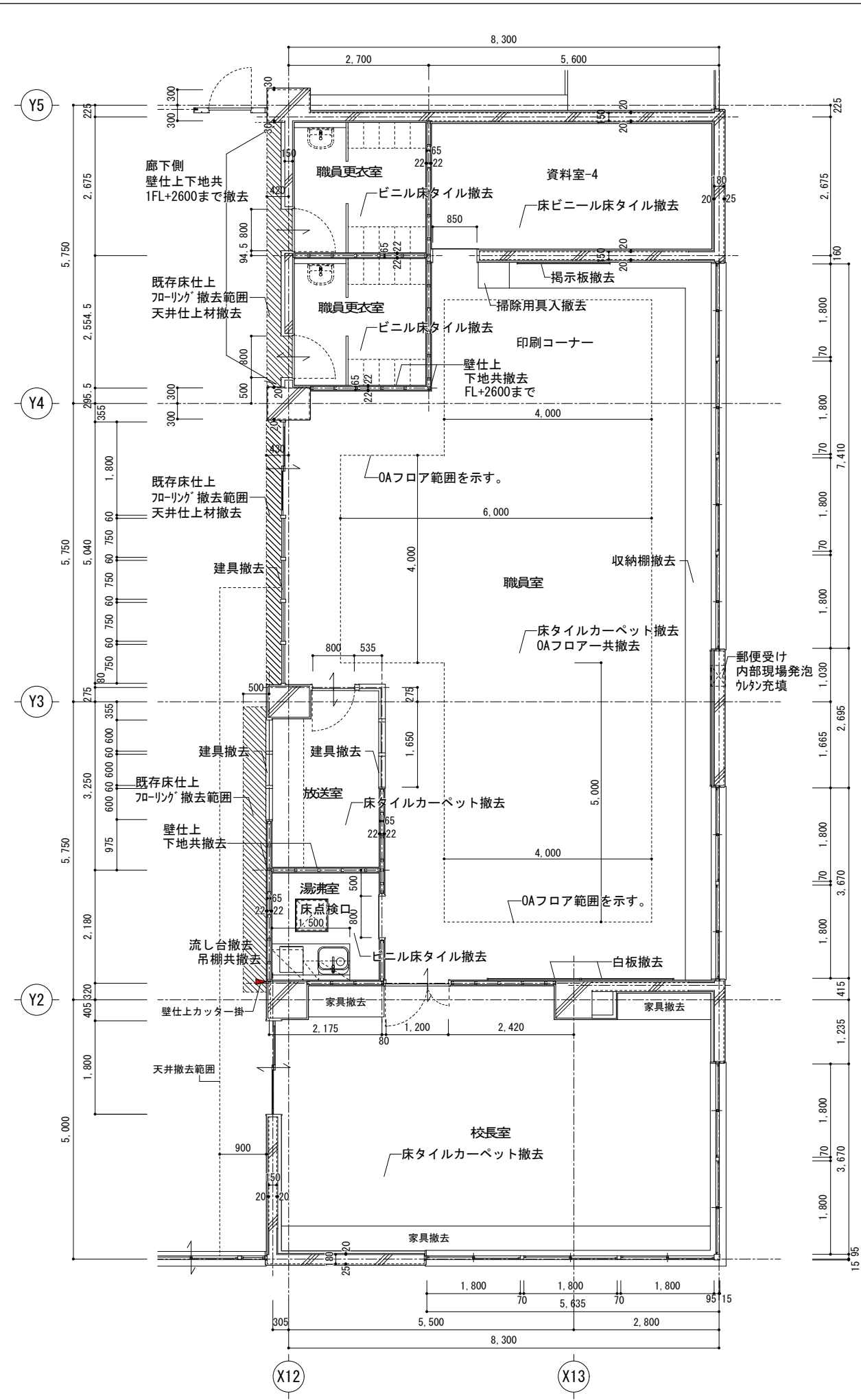
図面番号
A-55

工事名称	西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:150
図面名称	家具リスト (増築棟)	

符号・種類		1	受付台		2		窓下収納棚		3		窓下収納棚		4		窓下収納棚		
数・場所		1	職員玄関		1		職員室		2		職員室		2		職員室、校長室		
材 料		カウンター：スチール成形t1.6、底盤：スチールFB 60×500×6				天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木				天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木				天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木			
仕 上		塩ビシート貼				メラミン化粧板、内部ポリ合板				メラミン化粧板、内部ポリ合板				メラミン化粧板、内部ポリ合板			
金 物						戸車、レール、取手、シリンダープッシュ錠、付属金物一式 ステンレス棚柱、棚受				戸車、レール、取手、付属金物一式 ステンレス棚柱、棚受				戸車、レール、取手、付属金物一式 ステンレス棚柱、棚受			
ガ ラ ス																	
備 考		ステンレスレール埋込（AW-1）溝加工															
姿 図																	
符号・種類		5	収納棚		6		収納棚		7		収納棚		8		収納棚		
数・場所		1	職員室		1		職員室		1		職員室		1		校長室		
材 料		天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木				天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木				天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木				天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木			
仕 上		メラミン化粧板、内部ポリ合板				メラミン化粧板、内部ポリ合板				メラミン化粧板、内部ポリ合板				メラミン化粧板、内部ポリ合板			
金 物		戸車、レール、取手、付属金物一式 ステンレス棚柱、棚受				戸車、レール、取手、付属金物一式 ステンレス棚柱、棚受				戸車、レール、取手、付属金物一式 ステンレス棚柱、棚受				戸車、レール、取手、付属金物一式 ステンレス棚柱、棚受			
ガ ラ ス																	
備 考																	
姿 図																	
符号・種類		9	掃除用具入れ		10		収納棚		11		クローゼット		12		ホワイトボード		
数・場所		1	職員室		1		職員室		2		校長室		3		職員室、廊下		
材 料		扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木				天板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木				扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木				枠：アルミ、ホーロー白板			
仕 上		メラミン化粧板、内部ポリ合板				メラミン化粧板、内部ポリ合板				メラミン化粧板、内部ポリ合板							
金 物		丁番、取手、付属金物一式 マグネットキャッチ				戸車、レール、取手、付属金物一式 ステンレス棚柱、棚受				丁番、取手、ステンレスパイプ25φ、付属金物一式 マグネットキャッチ				アルミ受皿、付属金物一式			
ガ ラ ス																	
備 考		通気口								通気口							
姿 図																	
株式会社 釣谷建築事務所		1級建築士 第119816号 吉田 典生				製作年月日 26.03				設計番号 25_42		図面番号 A-56		工事名称 西部地区小学校災害復旧工事		縮尺 1:100	
												図面名称 家具図-1（増築棟）					

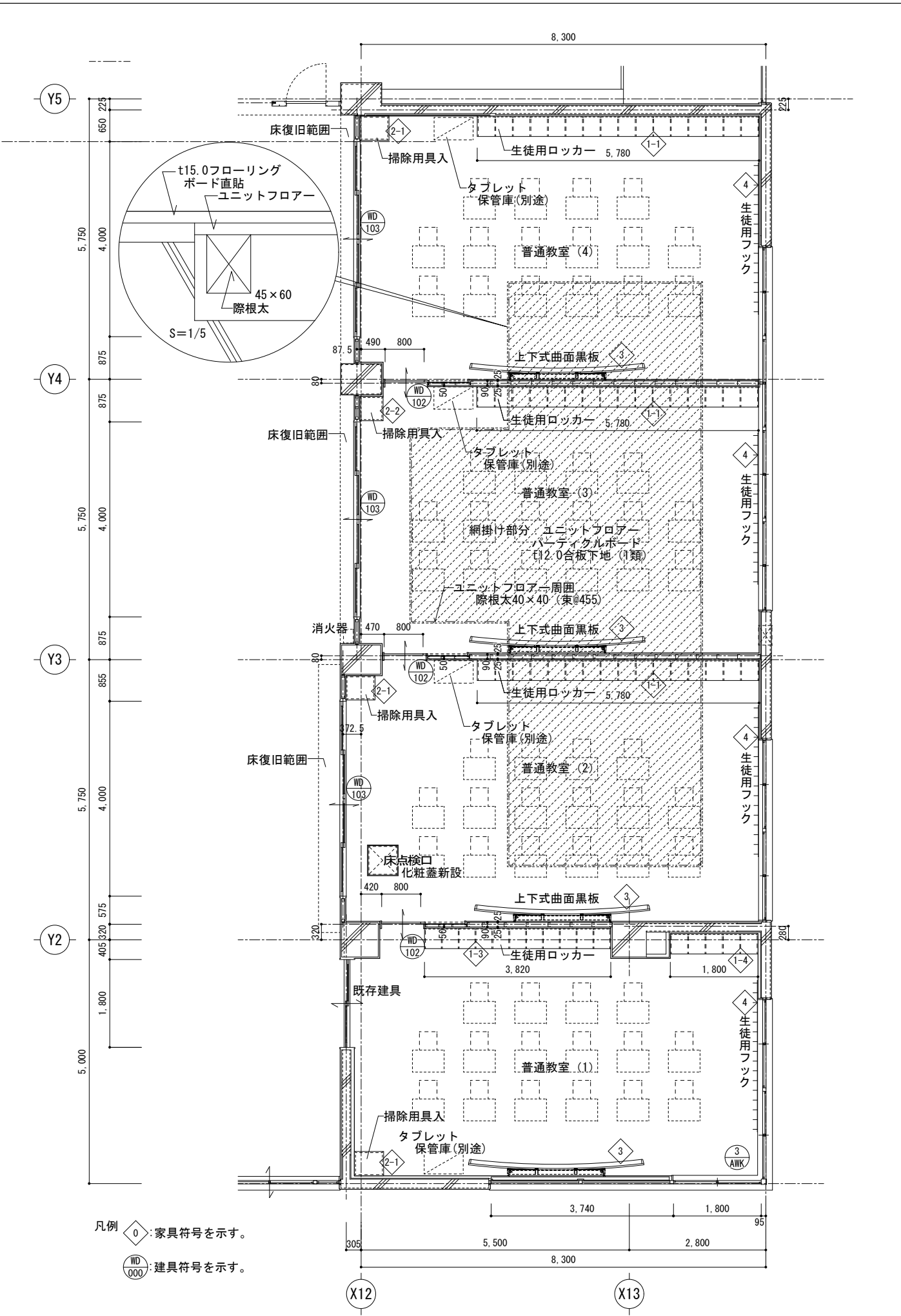
符号・種類		13	ホワイトボード	14		ライニング天板	15		コンパクトキッチン	16		洗面カウンター
数・場所		1	職員室	※下記		職員室、職員GWC、職員LWC	1		職員室	1		職員GWC
材 料		枠：アルミ、ホーロー白板			芯材：耐水KMDF			ライニング天板：芯材：ポストフォーム（耐水KMDF）			ライニング天板・カウンター：ポストフォーム（耐水KMDF）	
仕 上					メラミン化粧板、ポストフォーム加工			ライニング：メラミン化粧板、ポストフォーム加工、キッチンパネル：ホーロー			ライニング：メラミン化粧板、扉：メラミン化粧板、巾木：メラミン化粧板、棚内部：ポリ合板	
金 物		アルミ受皿、付属金物一式						水栓等付属金物一式			隠し丁番：ステンレス製、マグネットキャッチ、取手、付属金物一式	
ガ ラ ス												
備 考								タカラスタンダード株式会社「アビスカ」同等品、2口IHヒーター：ビルドイン、レンジフード、ファン			衛生陶器穴開け加工、化粧鏡（設備工事）	
姿 図												
符号・種類		17	洗面カウンター	18		プライベートボックス	19		洗面カウンター	20		洗面カウンター
数・場所		1	職員LWC	1		職員LWC	1		女子更衣室	1		男子更衣室
材 料		ライニング天板・カウンター：ポストフォーム（耐水KMDF）			枠・露出棚板：ランバーコア合板（芯材）、扉・外装・内部棚天板：木製（芯材）			ライニング天板・カウンター：ポストフォーム（耐水KMDF）			ライニング天板・カウンター：ポストフォーム（耐水KMDF）	
仕 上		ライニング：メラミン化粧板、扉：メラミン化粧板、巾木：メラミン化粧板、棚内部：ポリ合板			扉・枠・外装・露出棚板：メラミン化粧板、棚内部：ポリ合板			ライニング：メラミン化粧板、扉：メラミン化粧板、巾木：メラミン化粧板、棚内部：ポリ合板			ライニング：メラミン化粧板、扉：メラミン化粧板、巾木：メラミン化粧板、棚内部：ポリ合板	
金 物		隠し丁番：ステンレス製、マグネットキャッチ、取手、付属金物一式			隠し丁番：ステンレス製、マグネットキャッチ、取手、付属金物一式 ステンレス棚板、棚受			隠し丁番：ステンレス製、マグネットキャッチ、取手、付属金物一式			隠し丁番：ステンレス製、マグネットキャッチ、取手、付属金物一式	
ガ ラ ス												
備 考		衛生陶器穴開け加工、化粧鏡（設備工事）			プライベートボックス：TOTO㈱「UTR429」同等品			隔板：メラミン化粧板貼フラッシュt40、衛生陶器穴開け加工、化粧鏡（設備工事）			隔板：メラミン化粧板貼フラッシュt40、衛生陶器穴開け加工、化粧鏡（設備工事）	
姿 図												
符号・種類		21	洗面カウンター・収納棚	22		職員・来客用下駄箱	23		郵便受け（前入後出）	24		消火器ボックス
数・場所		1	廊下	3		職員玄関、昇降口	1		職員室	1		廊下
材 料		収納棚天板：ランバーコア合板（芯材）、内部棚板：木製			天板：ランバーコア合板（芯材）、内部棚天板：木製（芯材）、木製巾木			本体・ポスト口枠、差入口プレート：ステンレス板、連結パイプ：ポリエチレン樹脂			本体：スチールt1.6、扉：スチールt2.3	
仕 上		扉：メラミン化粧板、巾木：メラミン化粧板、棚内部：ポリ合板、収納棚：メラミン化粧板			メラミン化粧板			ステンレス板：ヘアライン・鏡面仕上げ			本体：粉体塗装、扉：アクリル焼付塗装	
金 物		ホワイトボード：アルミ受皿、隠し丁番：ステンレス製						付属金物一式			付属金物一式	
ガ ラ ス												
備 考		カウンター洗面器一体タイプ（設備工事）						田島メタルワーク㈱「MX-102」同等品			㈱ナスタ「KS-FE01F-W」同等品	
姿 図												
株式会社 釣谷建築事務所		1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26. 03		設計番号 25_42	図面番号 A-57	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 1:100			
								図面名称 家具図-2（増築棟）				





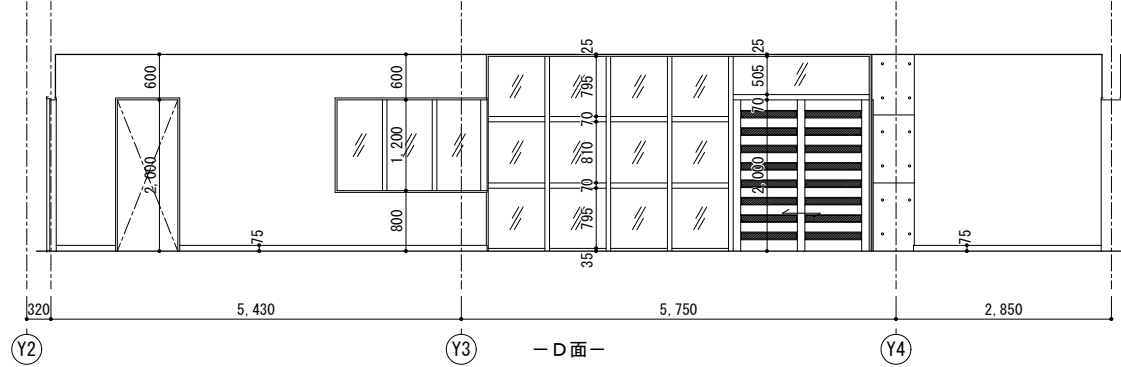
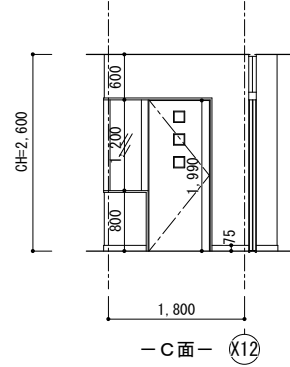
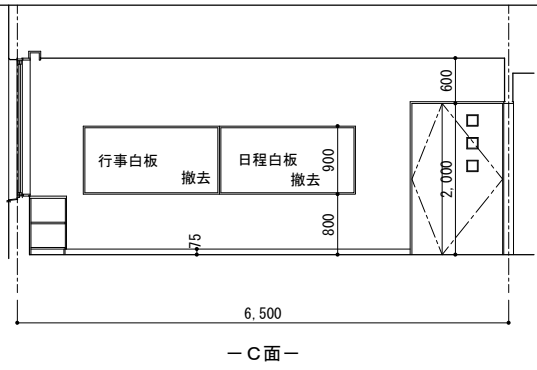
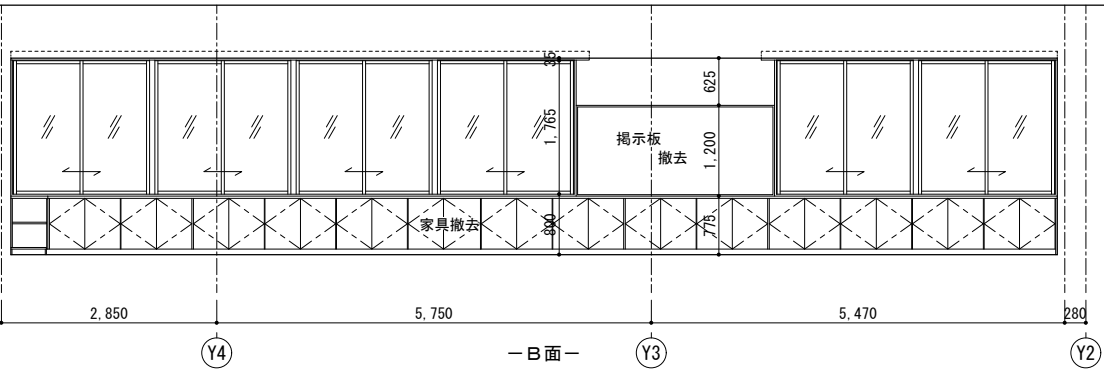
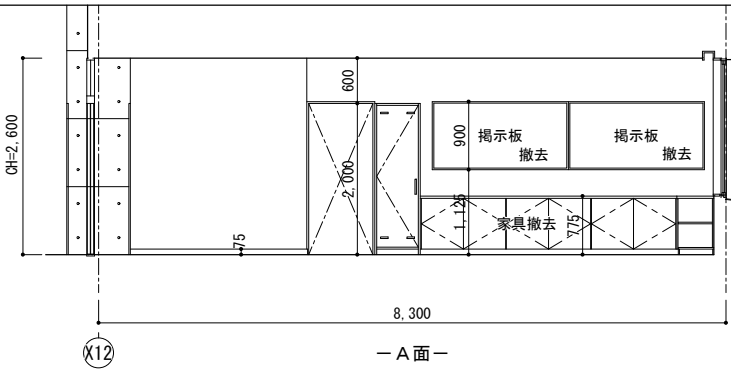
既存図

改修図



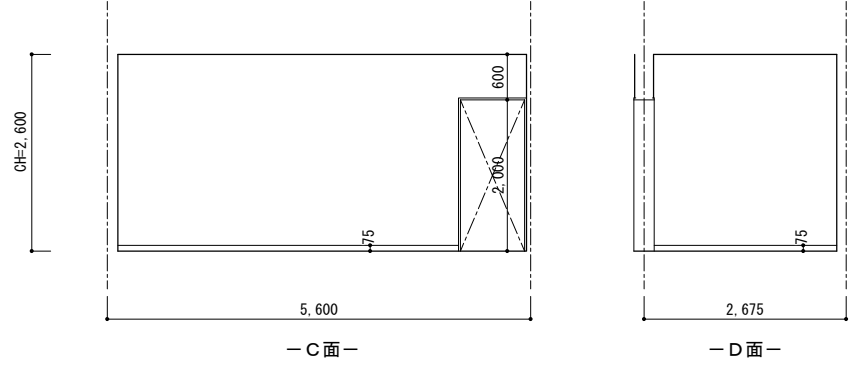
既存：展開図

室名	職員室
床	OAフロアー タイルカーペット貼
巾木	木製巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 コンクリート打放補修 AE塗
天井	t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	



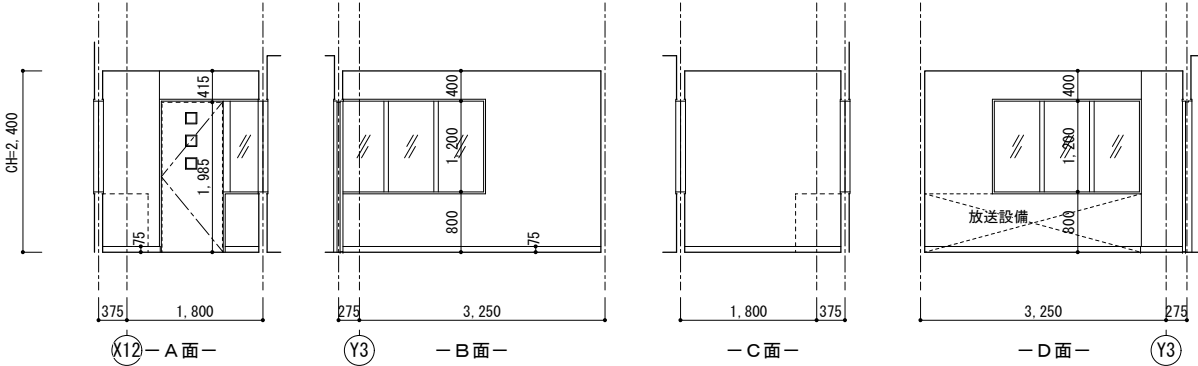
既存：展開図

室名	資料室-4
床	t2.0ビニール床タイル貼
巾木	ビニール H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗
天井	t9.5GB-R張り
廻縁	ビニール
備考	



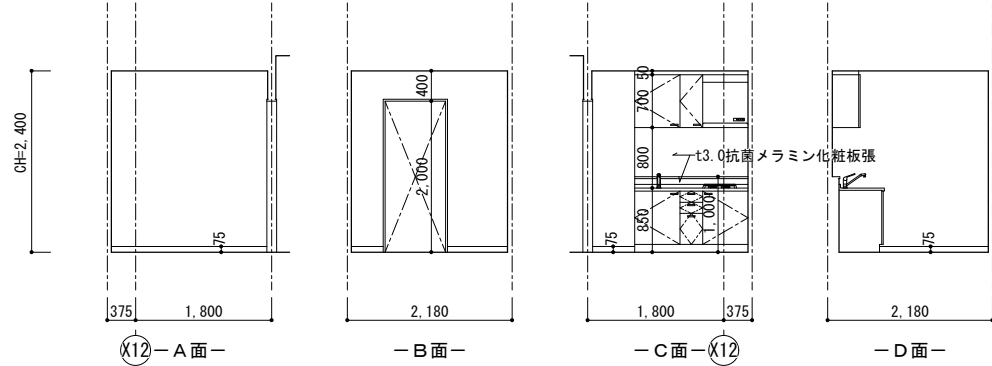
既存：展開図

室名	放送室
床	タイルカーペット貼
巾木	ビニール H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗
天井	t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	



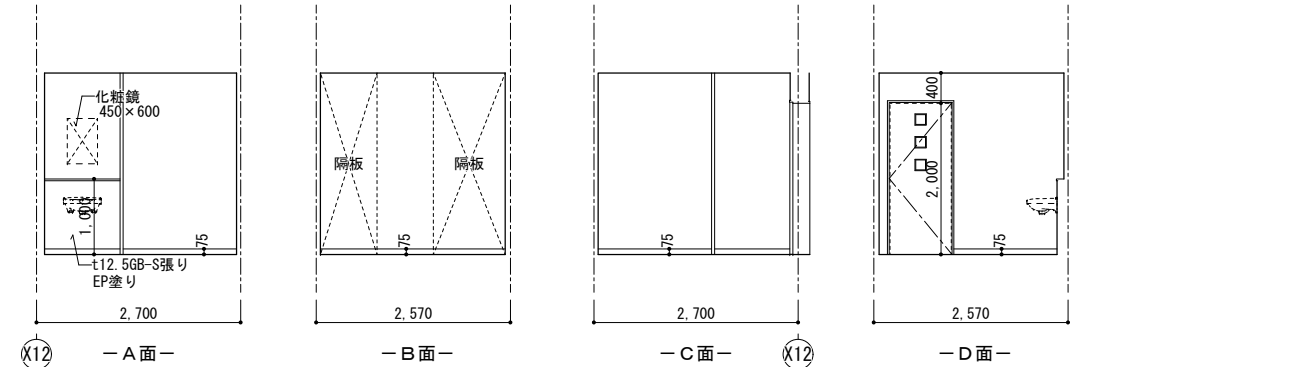
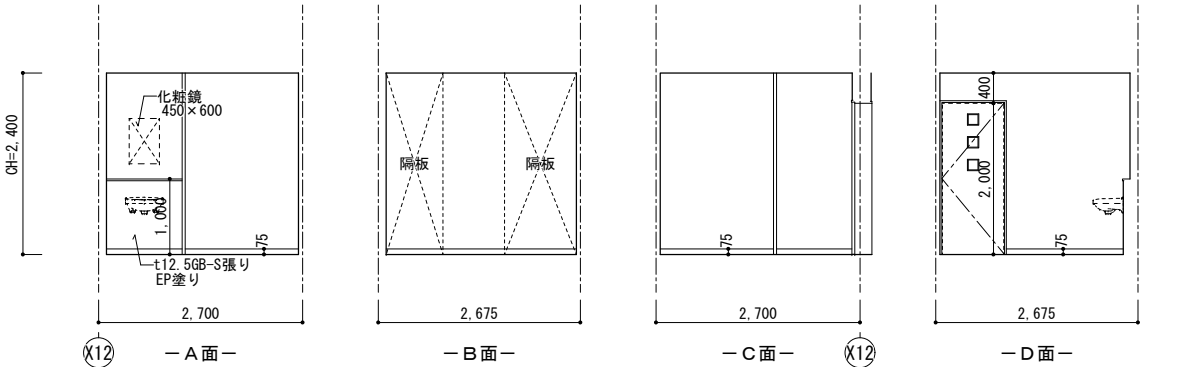
既存：展開図

室名	湯沸室
床	t2.0ビニール床タイル貼
巾木	ビニール H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 一部t3.0抗菌メラミン化粧板張り
天井	t9.5GB-R張り
廻縁	ビニール
備考	



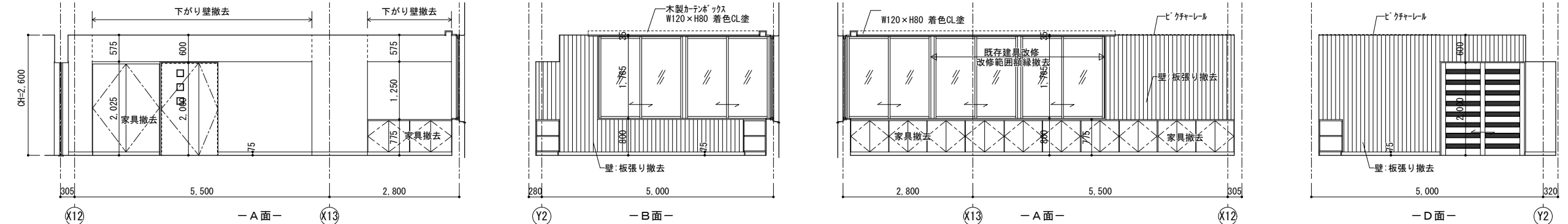
既存：展開図

室名	女子更衣室、男子更衣室
床	t2.0ビニール床タイル張り
巾木	ビニール H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 一部耐水合板t12.5GB-S張り EP塗
天井	t9.5GB-R張り
廻縁	ビニール
備考	



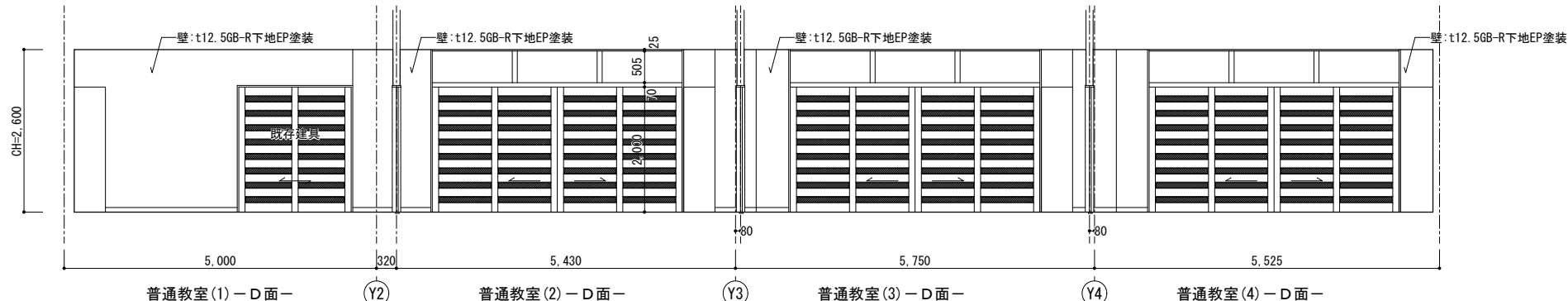
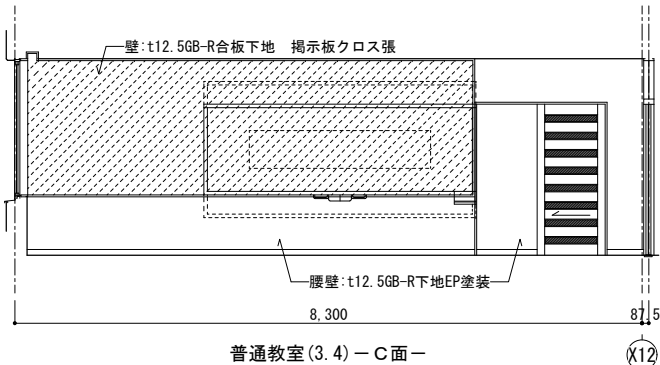
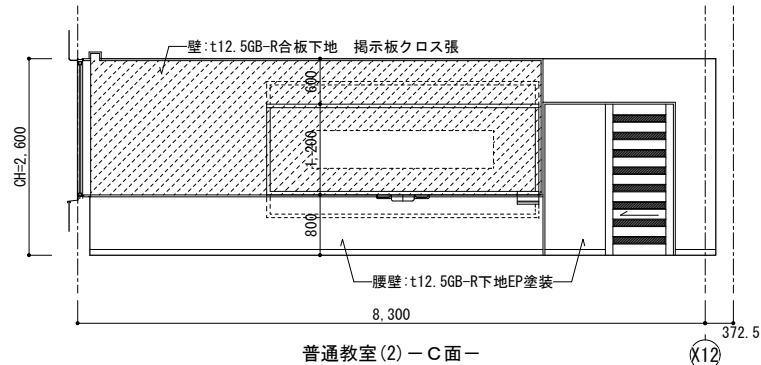
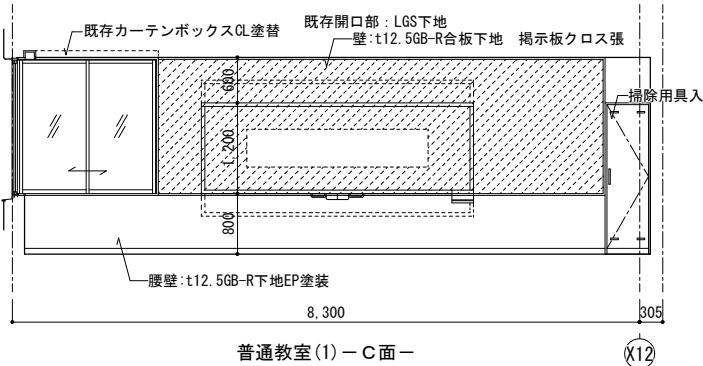
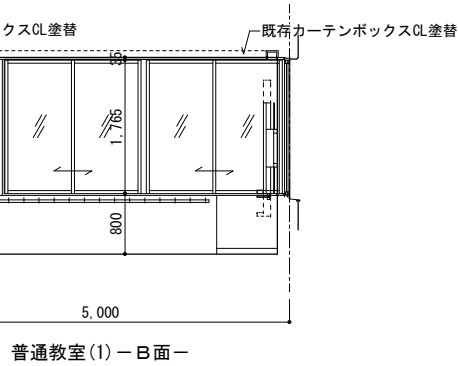
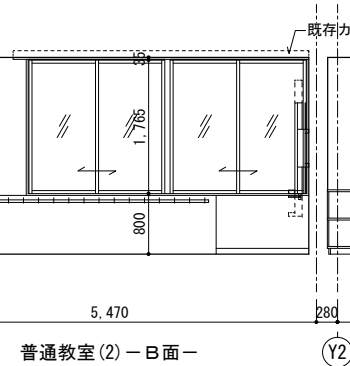
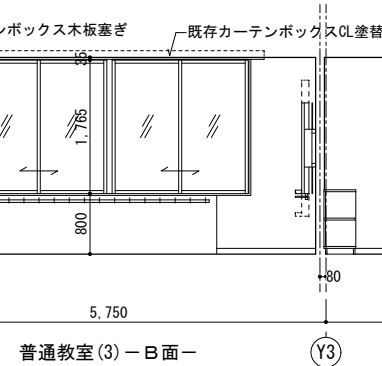
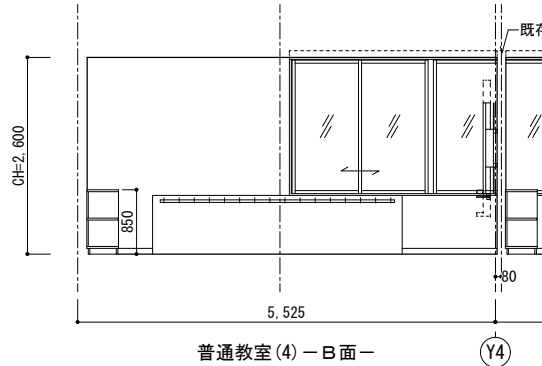
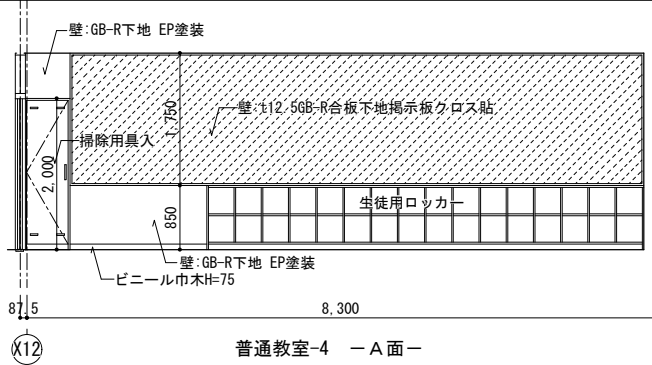
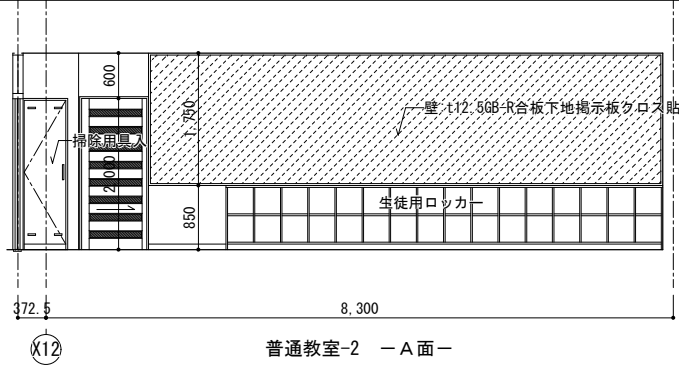
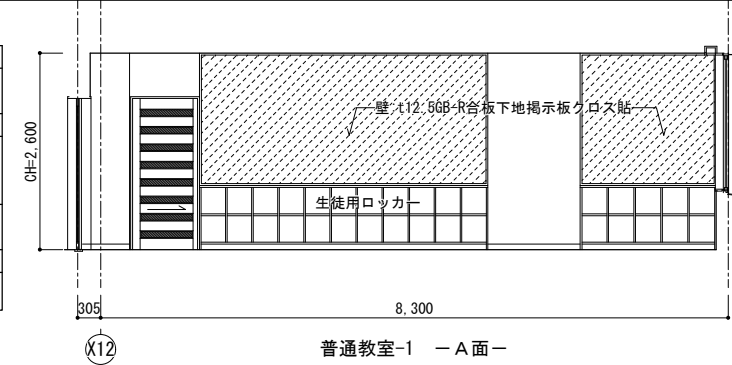
既存：展開図

室名	校長室
床	タイルカーペット張り
巾木	木製巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 一部木軸下地 板張り CL塗
天井	t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	



改修：展開図

室名	1階 普通教室
床	ユニットフローア 合板下地 t15.0フローリングボード直貼
巾木	ビニール巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 一部掲示板クロス貼
天井	t12.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	掲示板クロス見切:塩ビ見切（先付）

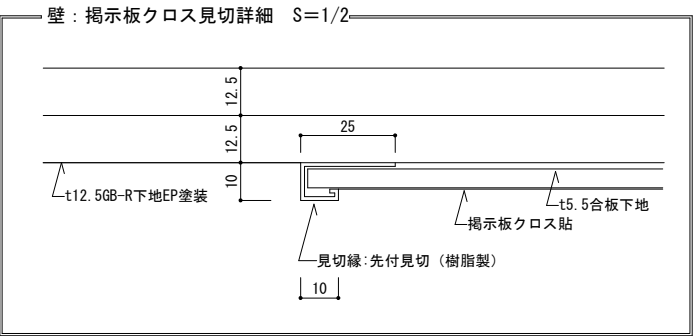


普通教室(2)－D面－

普通教室(3)－D面－

普通教室(4)－D面－

展開図ハッチ部分：掲示板クロス施工範囲を示す。



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

図面番号
A-61

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
既存改修 普通教室（既存1階職員室） 展開図-2

縮尺
1:100

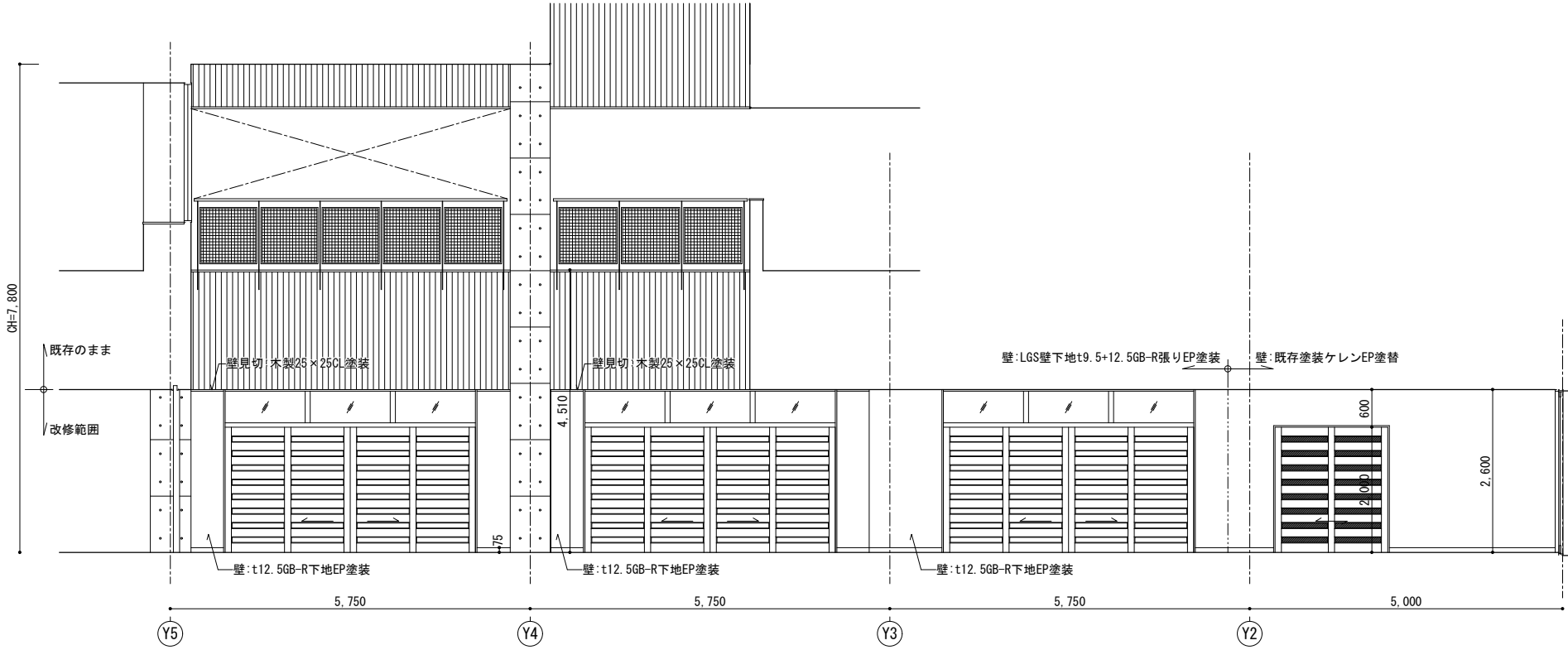
既存：展開図

室名	職員室・校長室前 廊下
床	t15.0フローリングボード直貼り
巾木	木製巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 コンクリート打放補修 AE塗 木軸下地 t15.0板張 CL塗装
天井	t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	

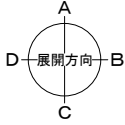


改修：展開図

室名	職員室・校長室前 廊下
床	撤去部 t15.0フローリングボード直貼り
巾木	木製巾木 H=75
壁	既存壁:GB-R面ケレンEP塗替 新設壁:t9.5+t12.5GB-R下地 EP塗装
天井	一部撤去部 t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張
廻縁	ビニール 木製見切25×25CL塗装
備考	



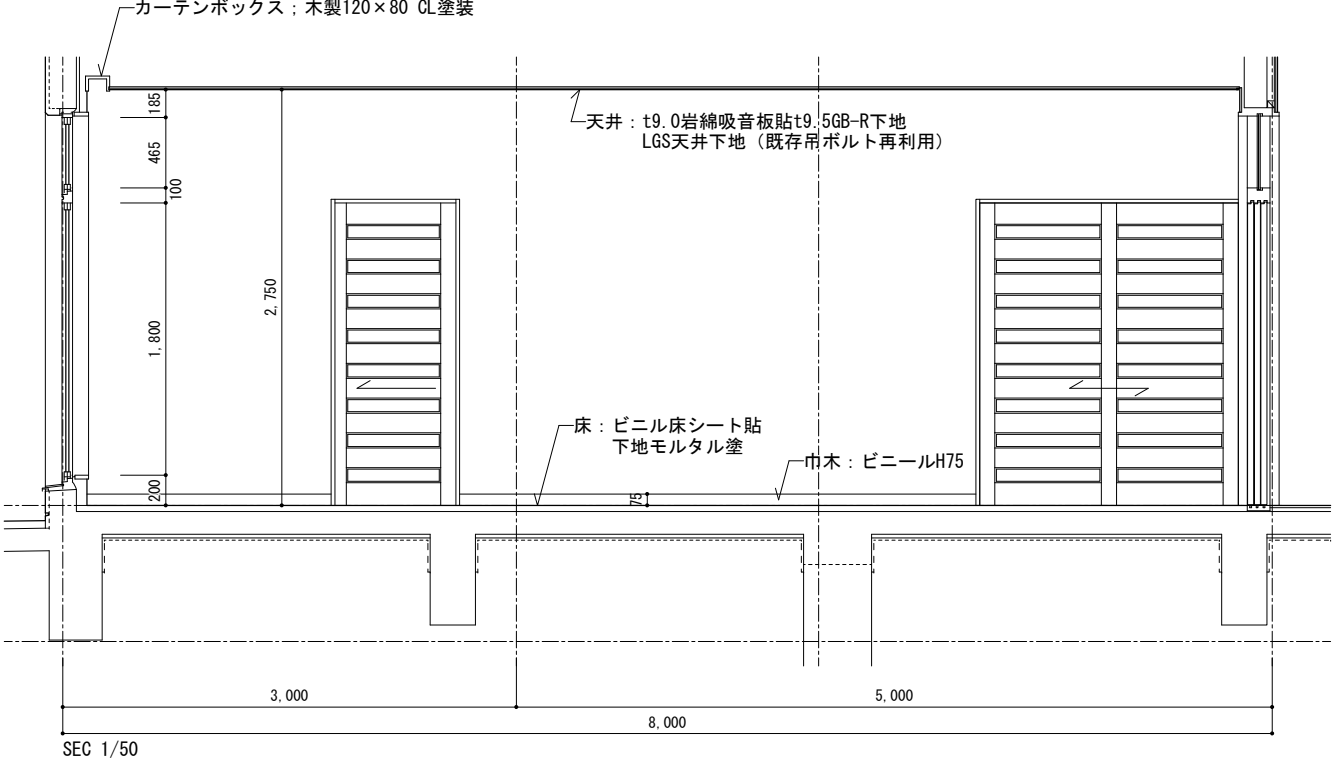
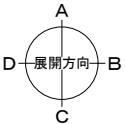
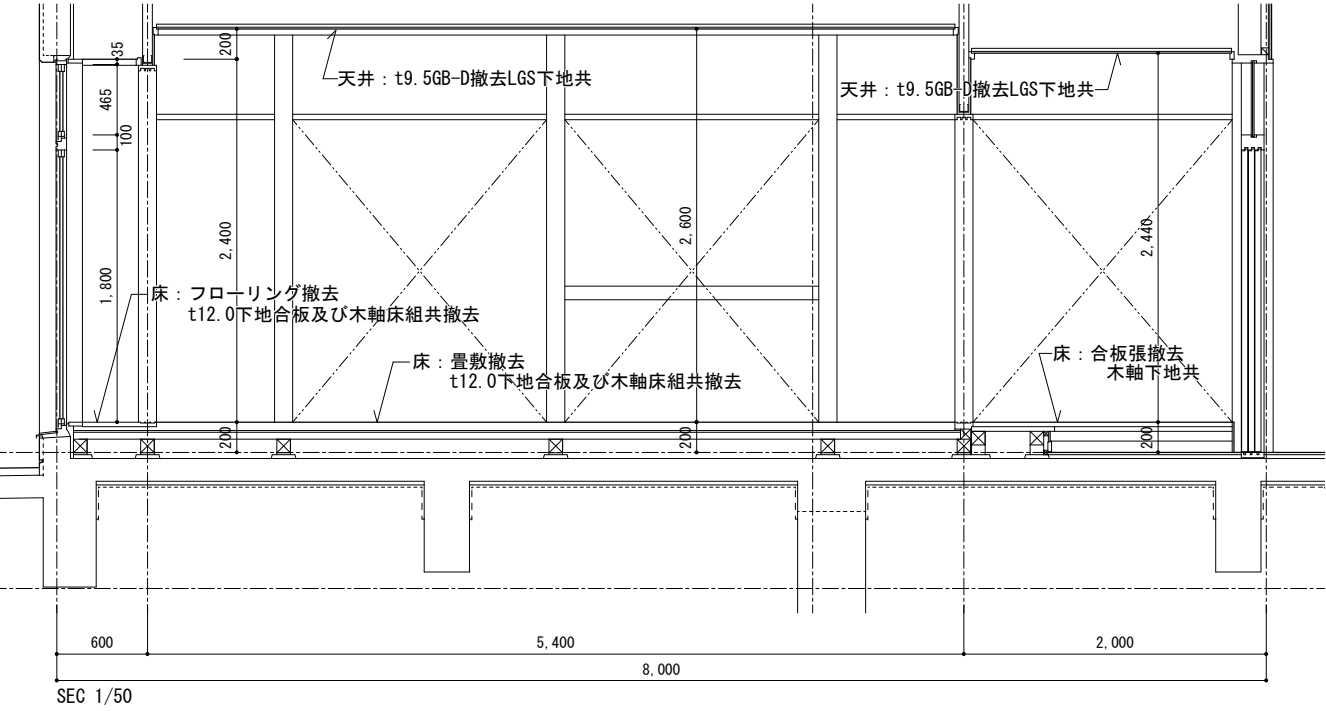
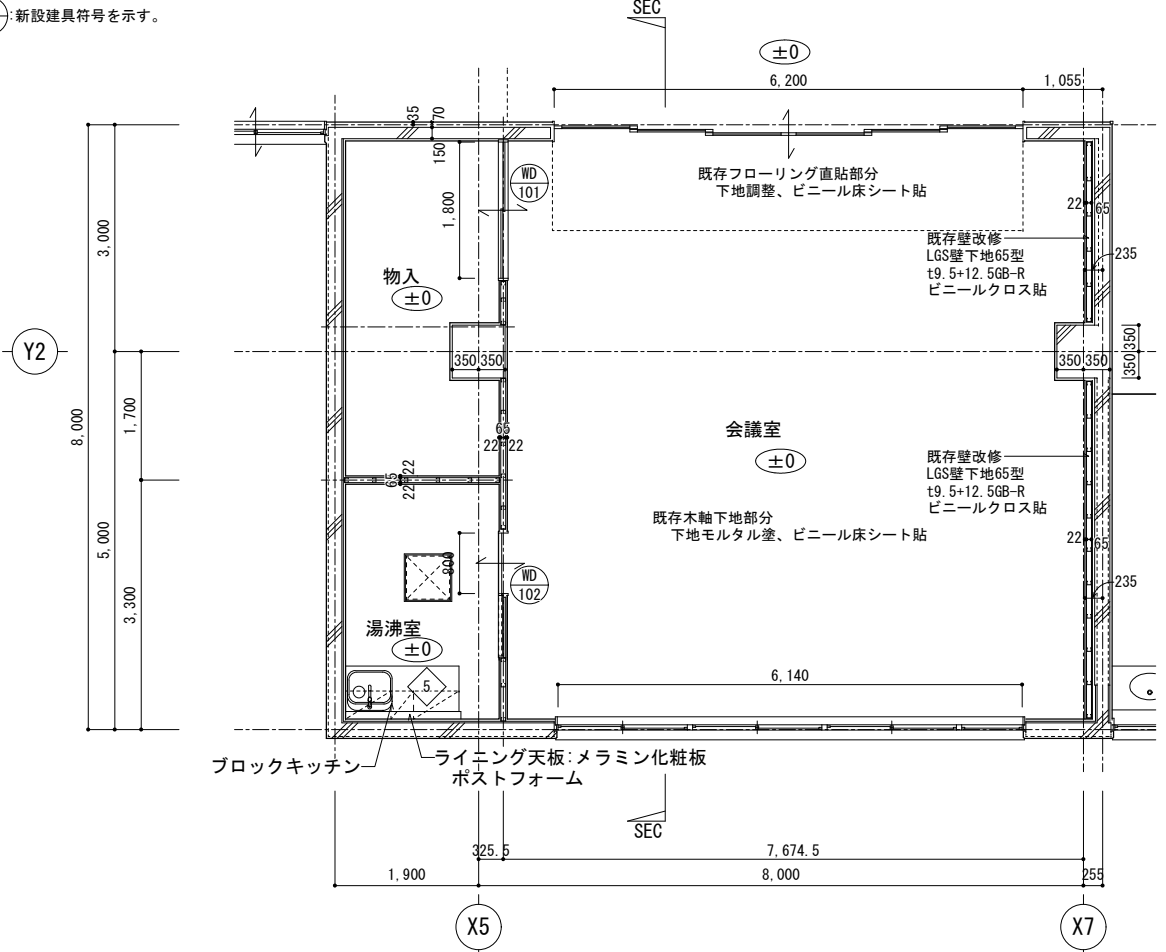
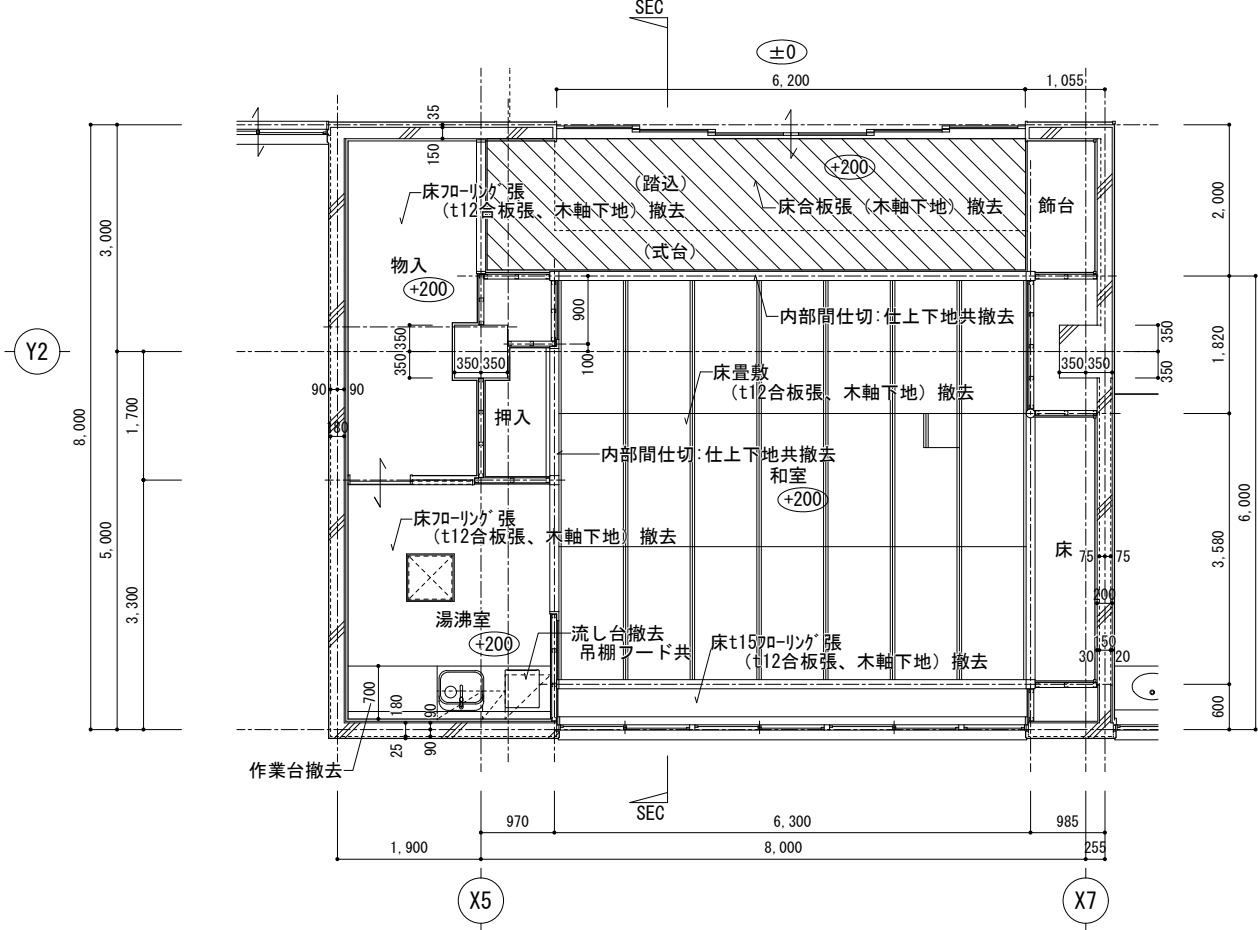
凡例：(±200) 1FL=±0からのレベルを示す。(mm)
壁ボード(直貼り)部分は、仕上材の撤去、ケレンを行う。



凡例：(±200) 1FL=±0からのレベルを示す。(mm)
木軸床組撤去部分は、仕上貼のモルタル下地を行う。

WD 000: 新設建具符号を示す。

既存図 ⇨ 改修図



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

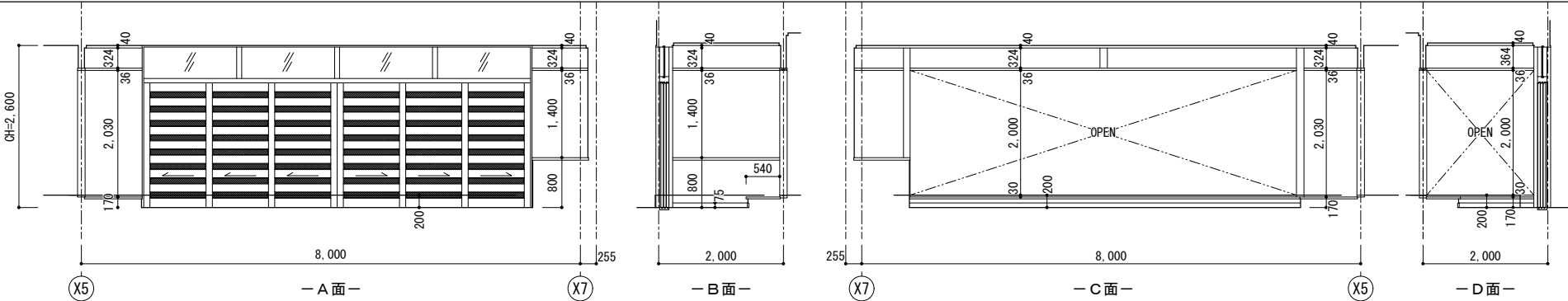
図面番号
A-63

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
既存改修 1階会議室(既存1階和室) 平面詳細図・断面詳細図

縮尺
1:50
1:100

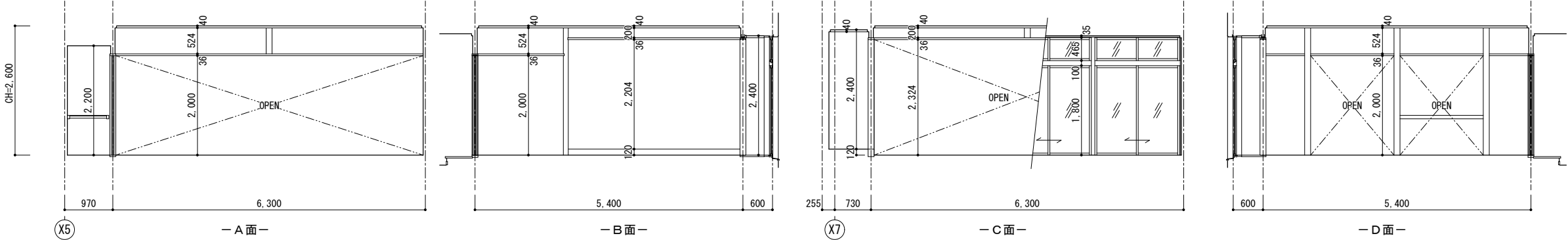
既存：展開図

室名	1階 和室(踏込み)
床	t15.0フローリングボード直張り
巾木	ビニール H=75
壁	t12.5GB-R直貼り t9.5+t12.5GB-R張り ビニールクロス張り
天井	t9.5GB-D張り(木目)
廻縁	木製素地
備考	



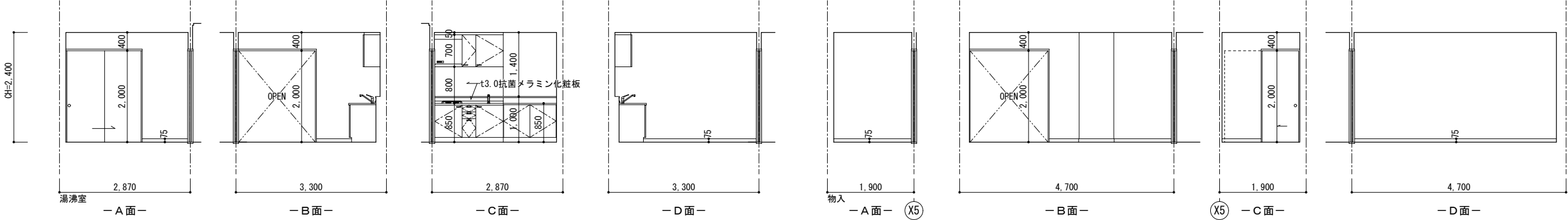
既存：展開図

室名	1階 和室
床	木軸下地、t12合板下地 畳敷き
巾木	雑巾摺
壁	t12.5GB-R直貼り t9.5+t12.5GB-R張り ビニールクロス張り
天井	t9.5GB-D張り(木目)
廻縁	木製素地
備考	



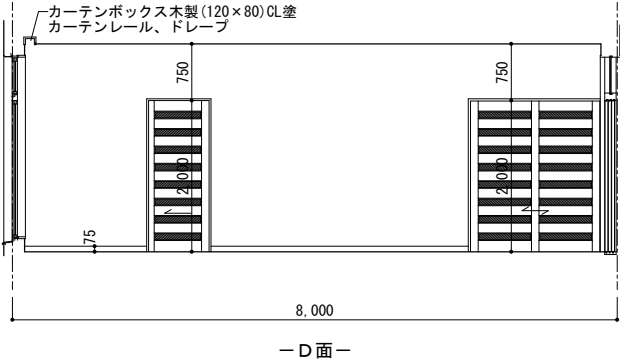
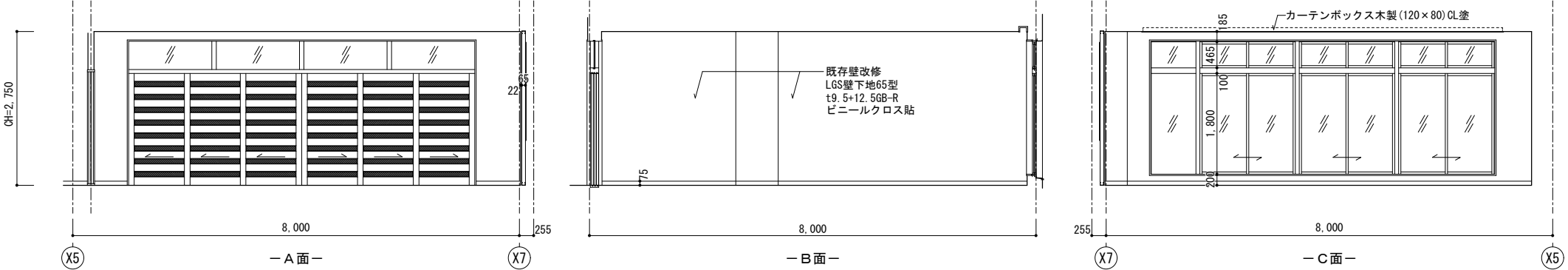
既存：展開図

室名	湯沸室・物入
床	木軸下地、t12合板下地 t12.0フローリングボード張り
巾木	木製巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 一部t3.0抗菌メラミン化粧板貼
天井	t9.5GB-D張り
廻縁	ビニール
備考	



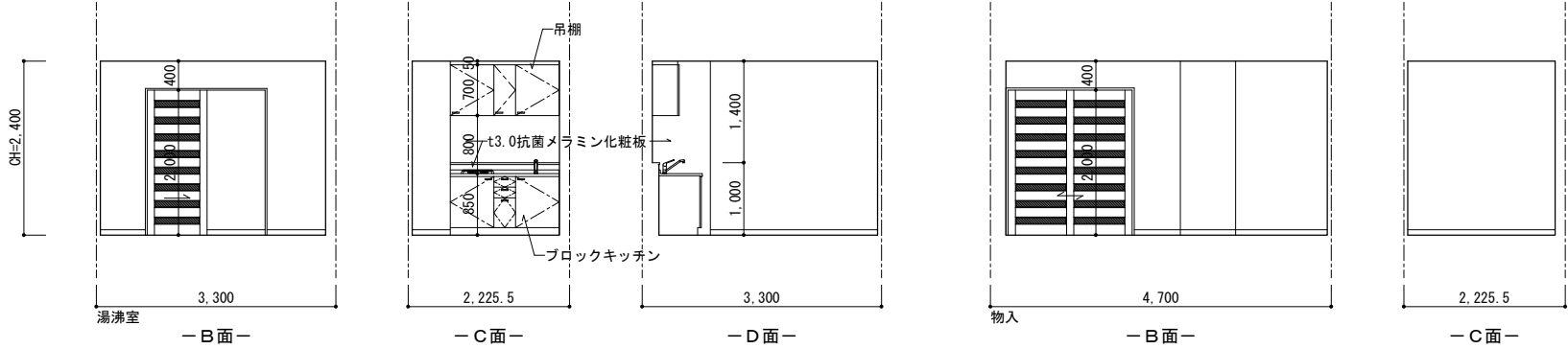
改修：展開図

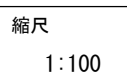
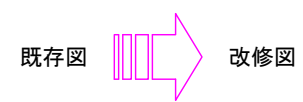
室名	会議室
床	t2.5ビニール床シート貼 既存木軸床部分モルタル下地
巾木	ビニール H=75
壁	t12.5GB-R直貼り t9.5+t12.5GB-R張り ビニールクロス張り
天井	t9.0岩綿吸音板張り t12.5GB-R下地
廻縁	ビニール
備考	カーテンボックス木製CL塗 カーテンレール、ドレープ

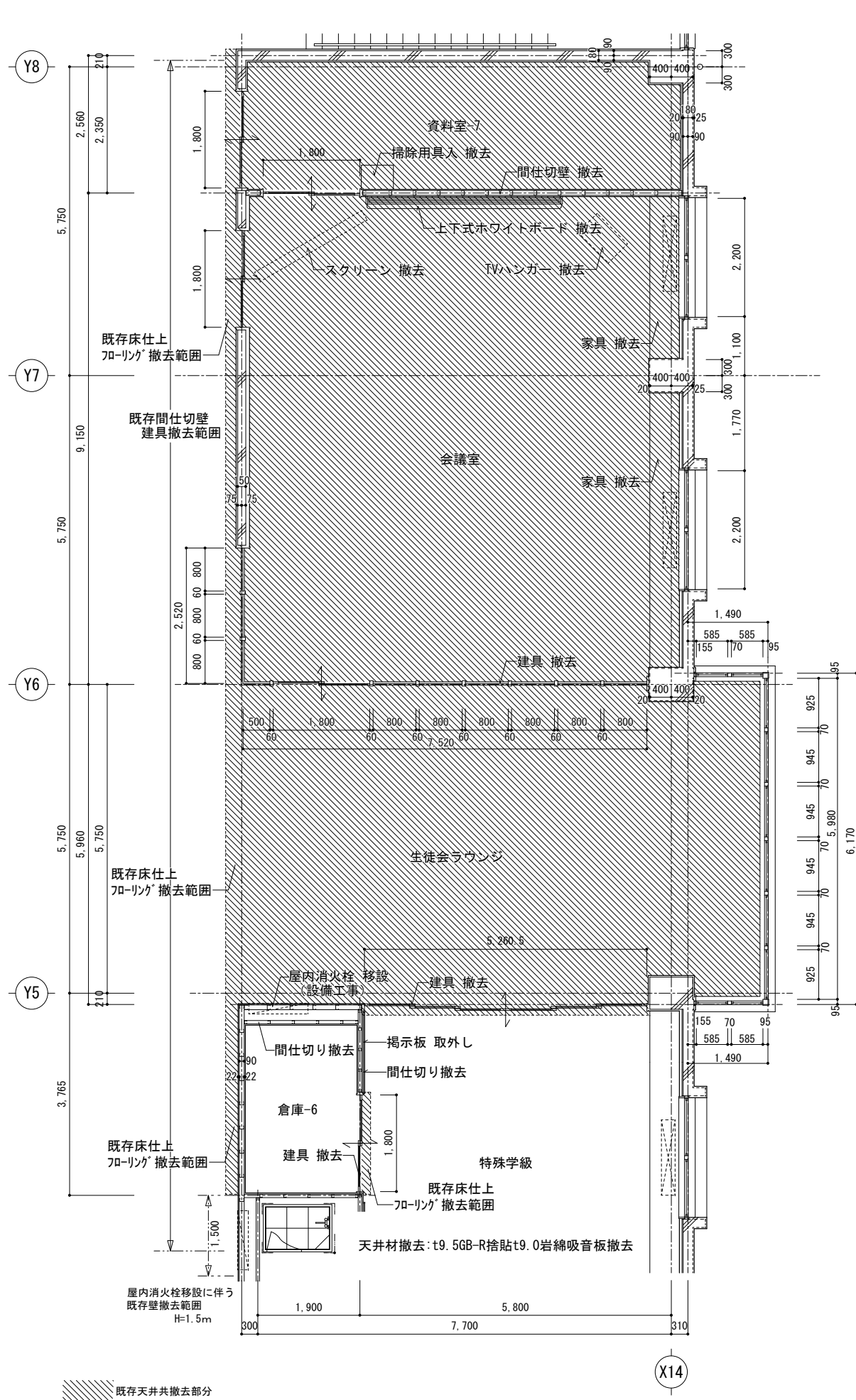


改修：展開図

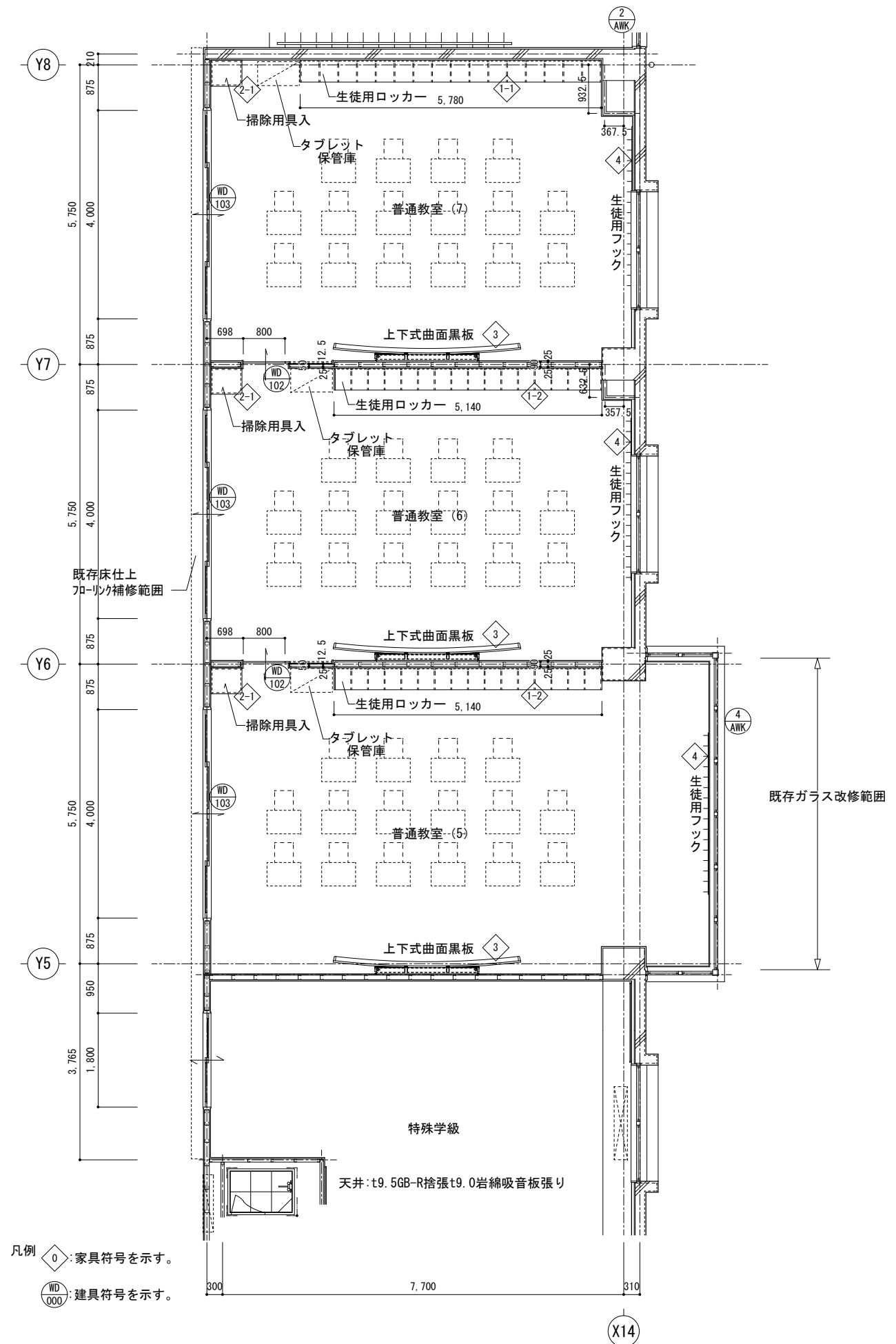
室名	湯沸室・物入
床	t2.5ビニール床シート貼 既存木軸床部分モルタル下地
巾木	ビニール巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 一部t3.0抗菌メラミン化粧板貼
天井	t9.5GB-D張り
廻縁	ビニール
備考	ブロックキッチン ライニング天板メラミン化粧板







既存図  改修図



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

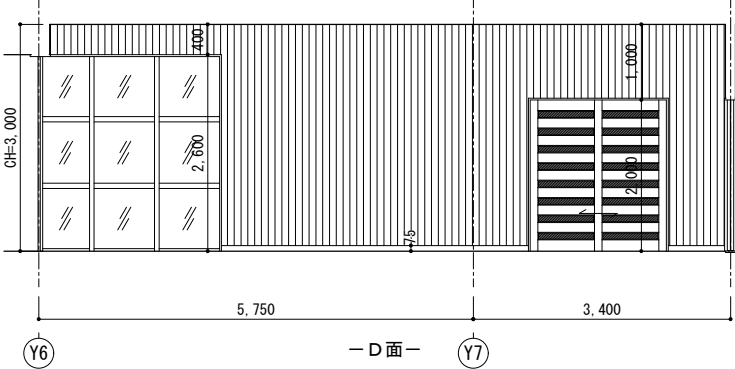
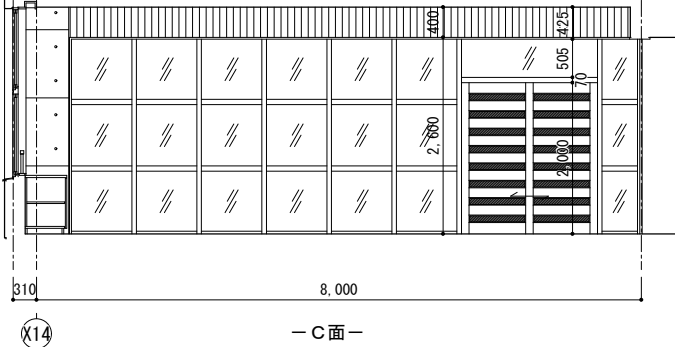
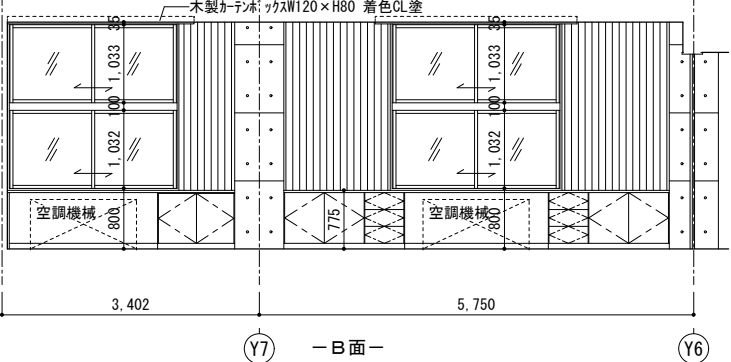
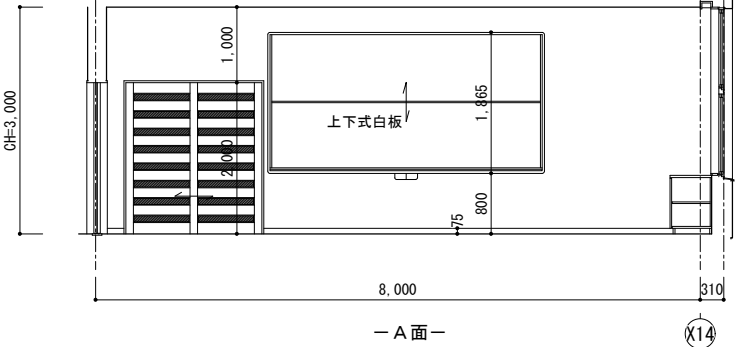
図面番号
A-66

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
既存改修 普通教室（既存2階会議室） 平面詳細図

縮尺
1:100

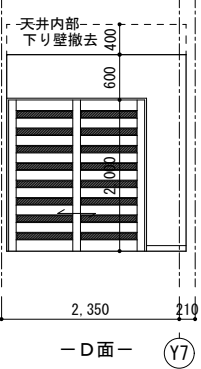
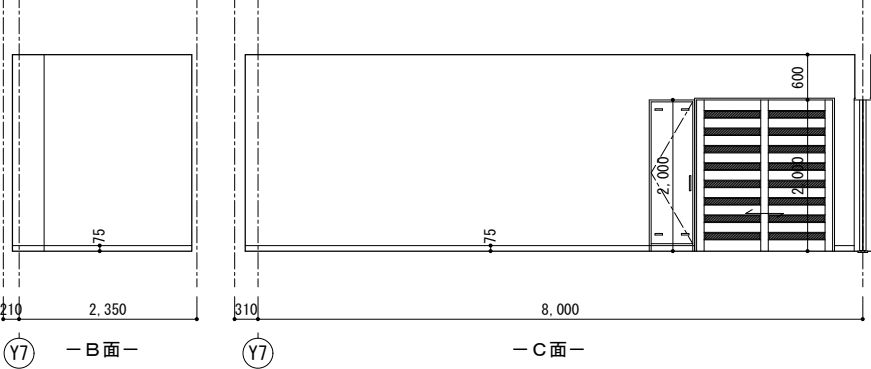
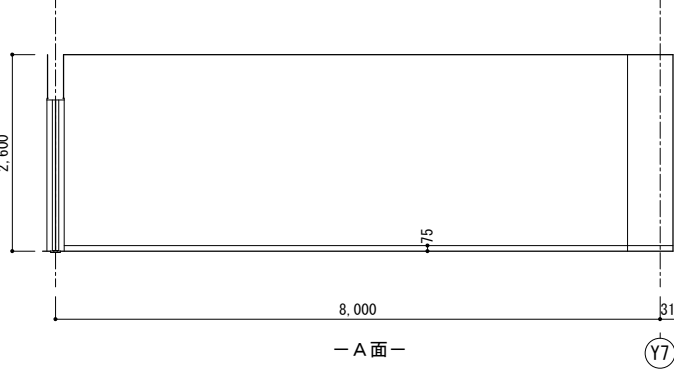
既存：展開図

室名	会議室
床	t15.0フローリングボード直貼
巾木	木製巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 木軸下地 板張り 着色CL塗
天井	t9.5GB-R捨張
廻縁	t9.0岩綿吸音板張り
備考	ビニール



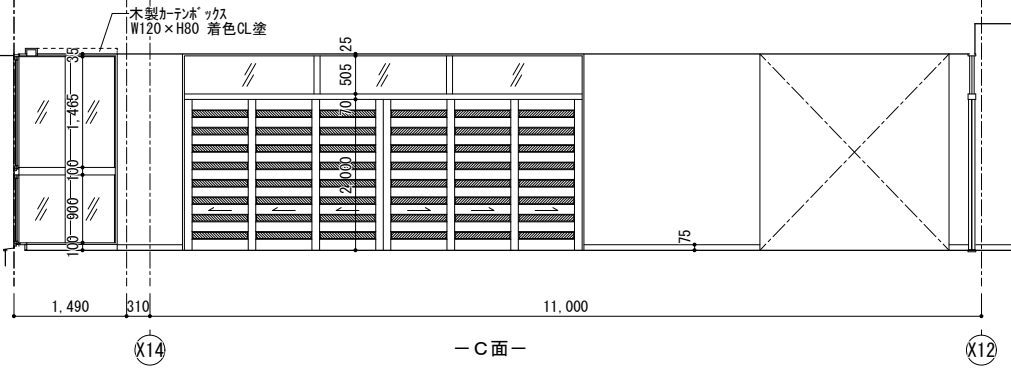
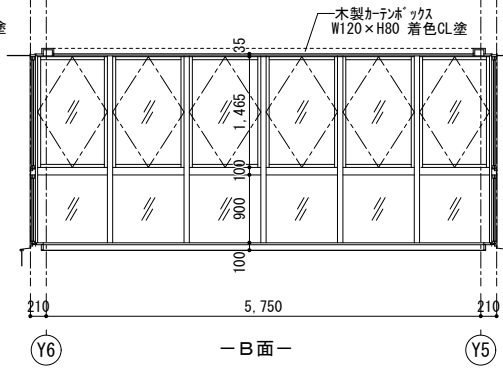
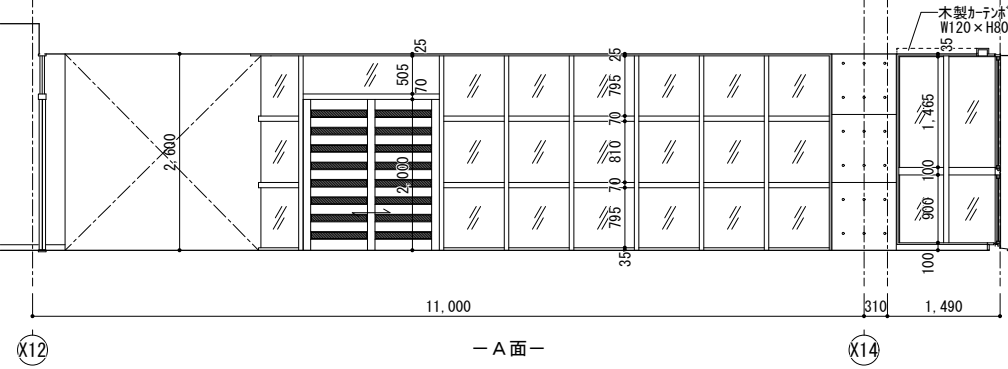
既存：展開図

室名	資料室-7
床	t2.0ビニール床タイル貼
巾木	ビニール H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗
天井	t9.5GB-D張り
廻縁	ビニール
備考	



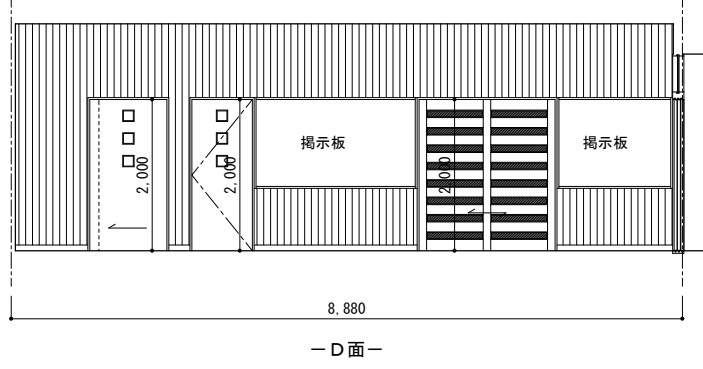
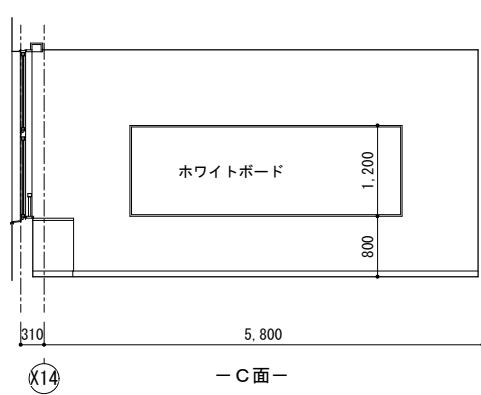
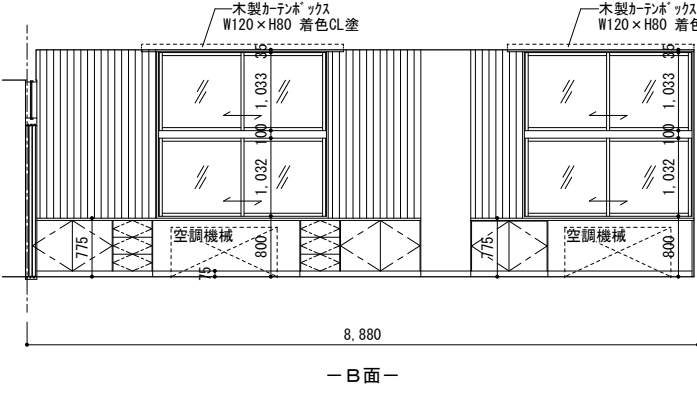
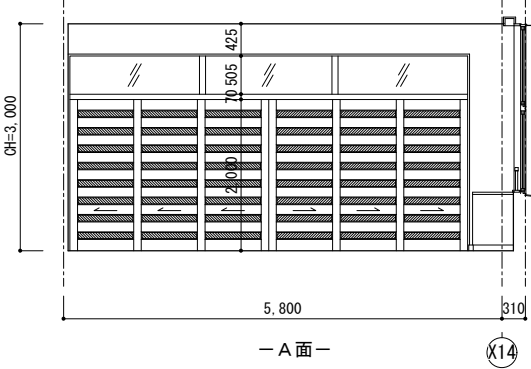
既存：展開図

室名	生徒会ラウンジ
床	t15.0フローリングボード直貼
巾木	木製巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗
天井	t9.5GB-D張
廻縁	ビニール
備考	



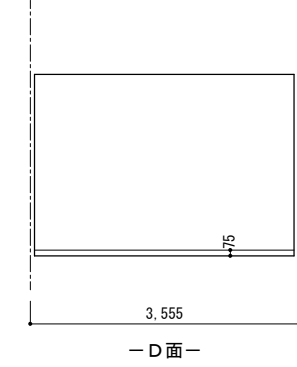
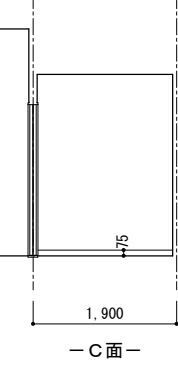
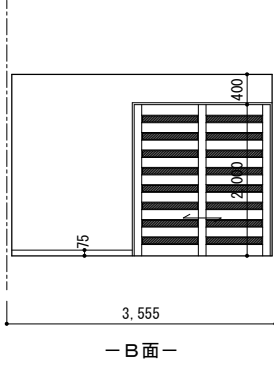
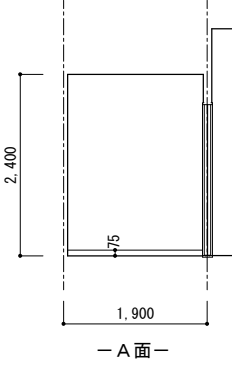
既存：展開図

室名	特殊学級
床	t15.0フローリングボード直貼
巾木	木製巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 木軸下地 板張り 着色CL塗
天井	t9.5GB-R捨張
廻縁	t9.0岩綿吸音板張り
備考	ビニール



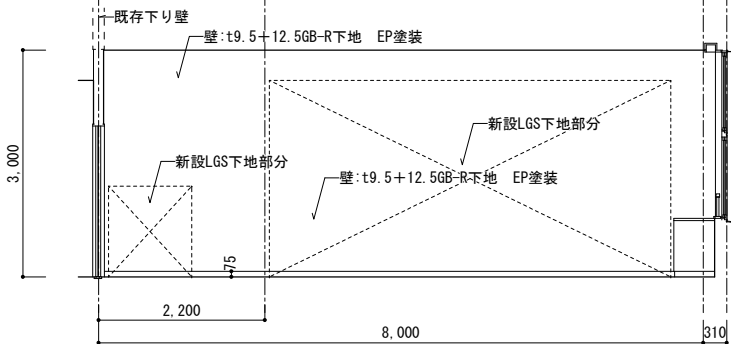
既存：展開図

室名	倉庫-6
床	t2.0ビニール床タイル張
巾木	ビニール巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗
天井	t9.5GB-D張
廻縁	ビニール
備考	



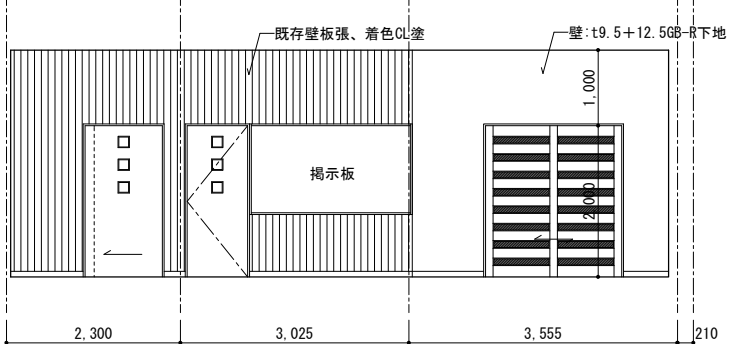
改修：展開図

室名	特殊学級
床	t15.0フローリングボード直貼
巾木	木製巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 木軸下地 板張り 着色CL塗
天井	t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	



－ A 面 －

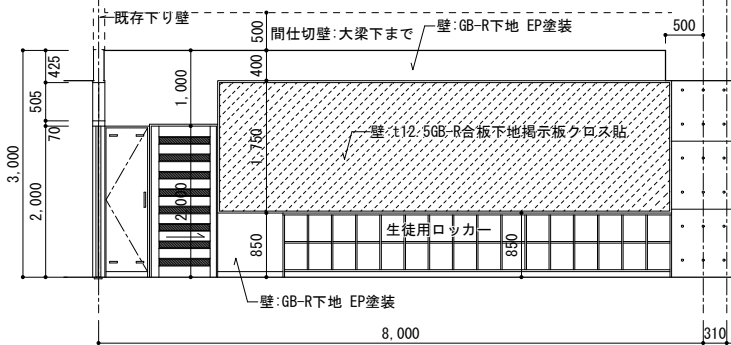
(X14)



－ D 面 －

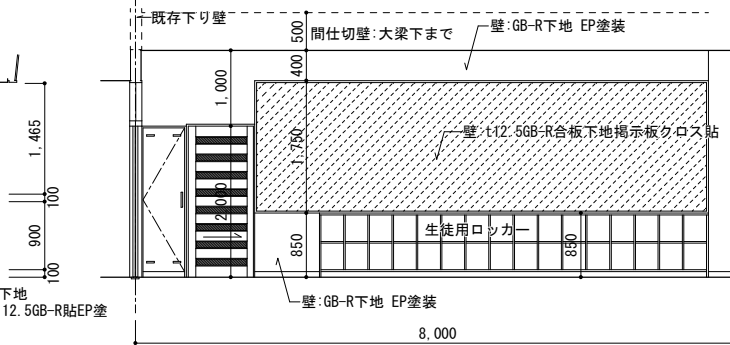
改修：展開図

室名	普通教室 (5.6.7)
床	t15.0フローリングボード直貼
巾木	木製巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗
天井	t12.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	



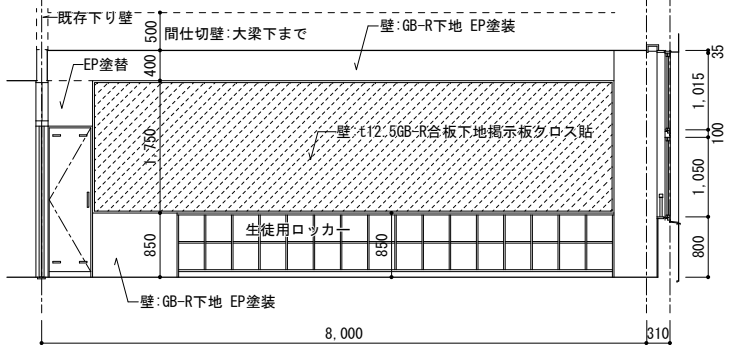
普通教室 (5) － A 面 －

(X14)



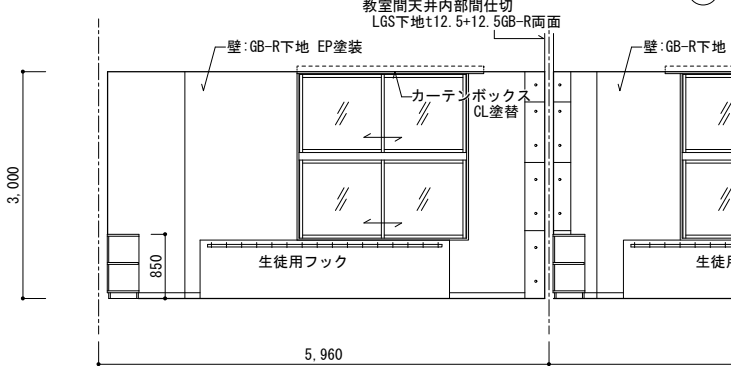
普通教室 (6) － A 面 －

(X14)



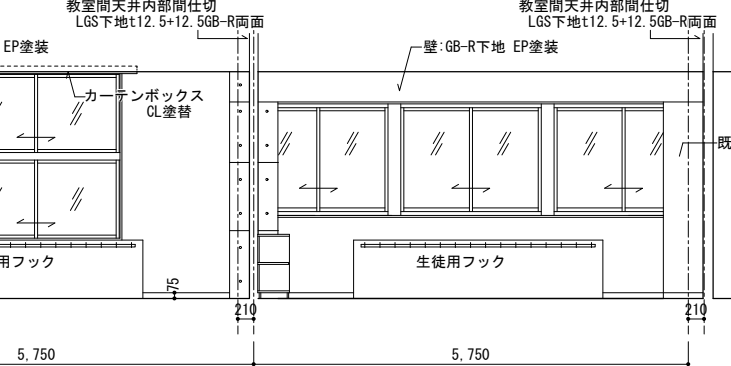
普通教室 (7) － A 面 －

(X14)



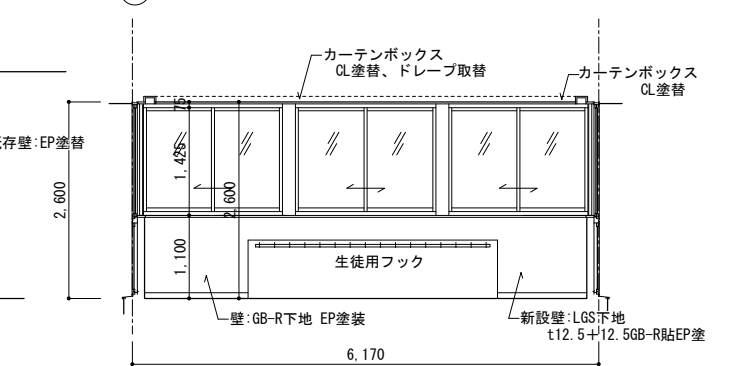
普通教室 (7) － B 面 －

(Y7)



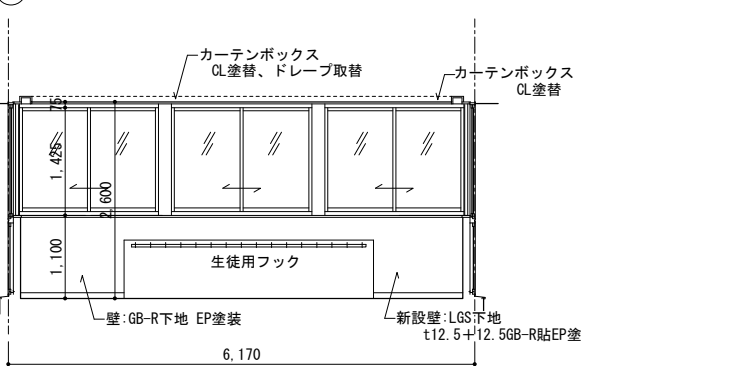
普通教室 (6) － B 面 －

(Y6)

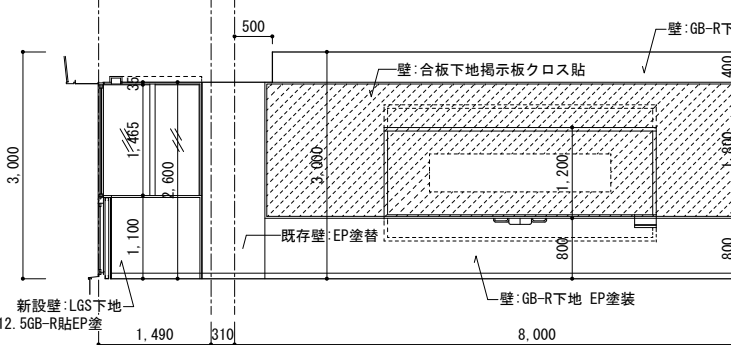


普通教室 (5) － B 面 －

(Y5)

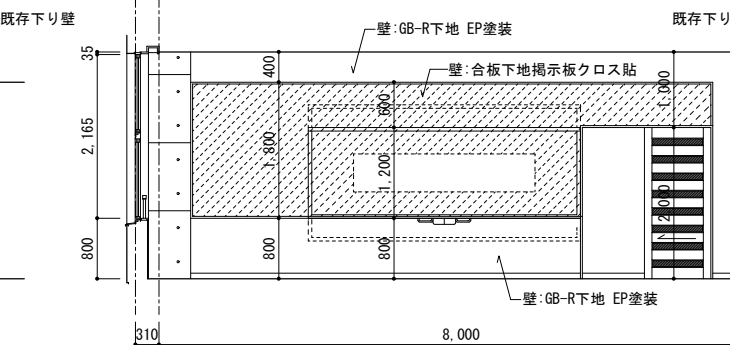


普通教室 (5) － B 面 －



普通教室 (5) － C 面 －

(X14)

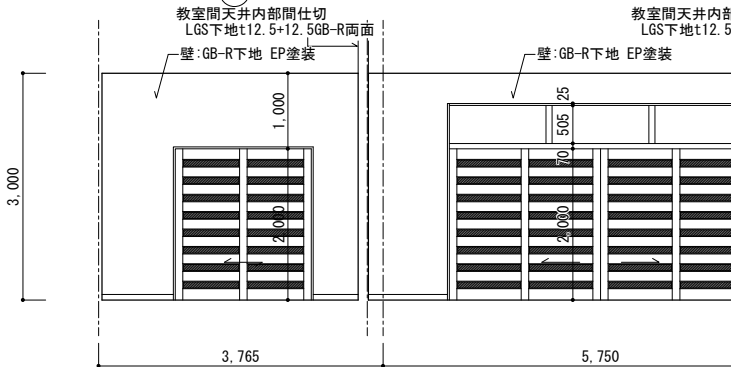


普通教室 (6.7) － C 面 －

(X14)

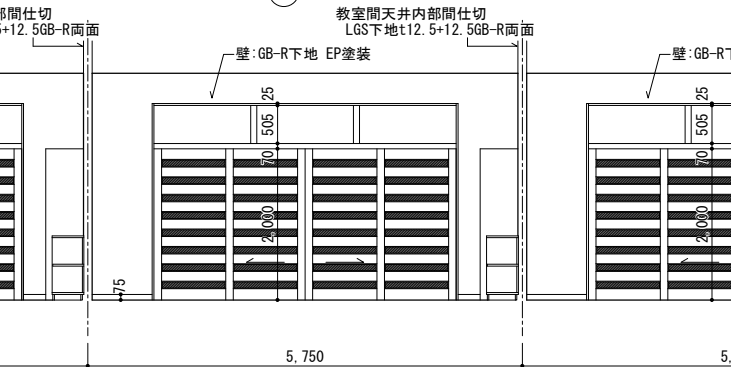
改修：展開図

室名	特殊学級
床	t15.0フローリングボード直貼 (部分補修)
巾木	木製巾木 H=75
壁	t12.5GB-R直貼り EP塗 t9.5+t12.5GB-R張り EP塗 (部分補修)
天井	t9.5GB-R捨張 t9.0岩綿吸音板張り
廻縁	ビニール
備考	



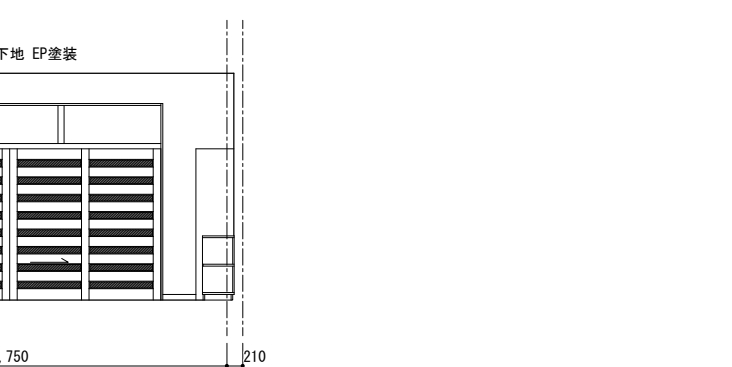
特殊学級 － D 面 －

(Y5)



普通教室 (5) － D 面 －

(Y6)



普通教室 (6) － D 面 －

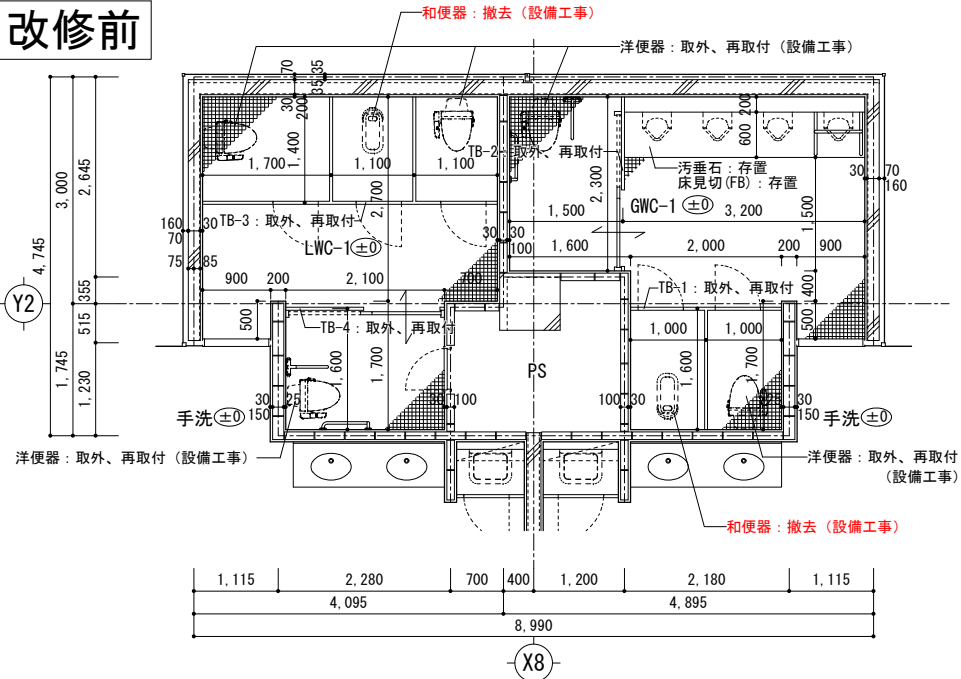
(Y7)



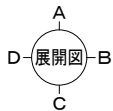
普通教室 (7) － D 面 －

(Y8)

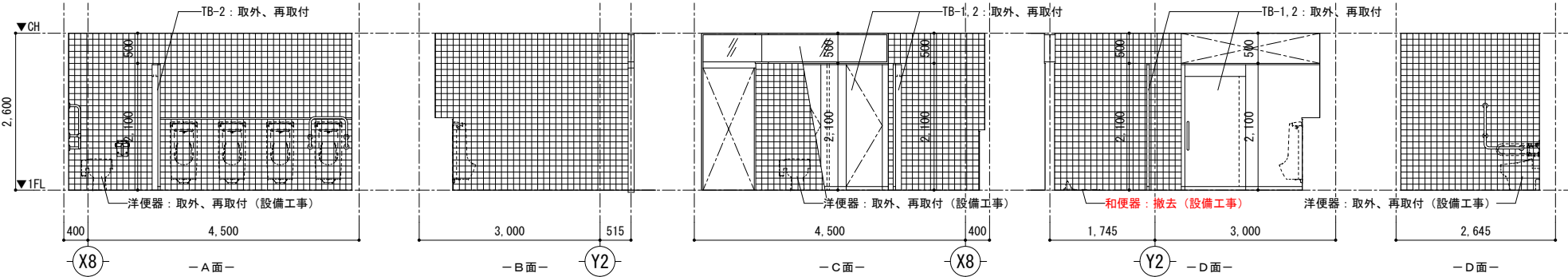
改修前



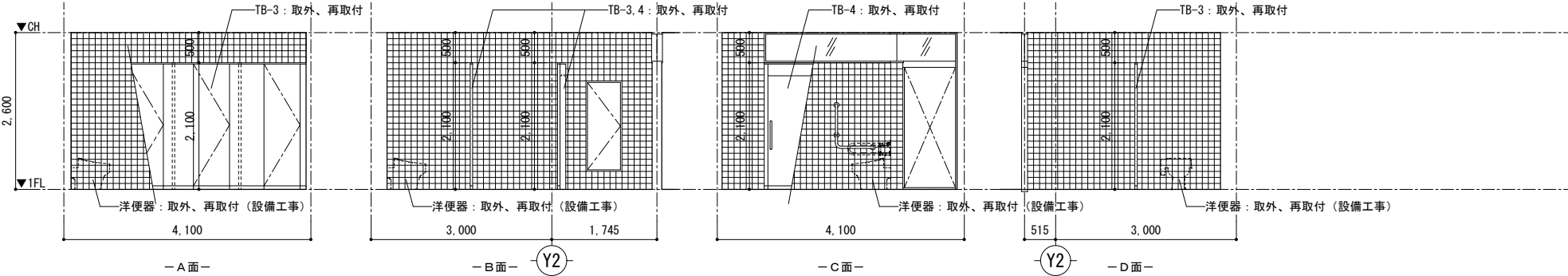
1FL GWC-1/LWC-1 平面図 1/100



1FL GWC-1 展開図 1/100

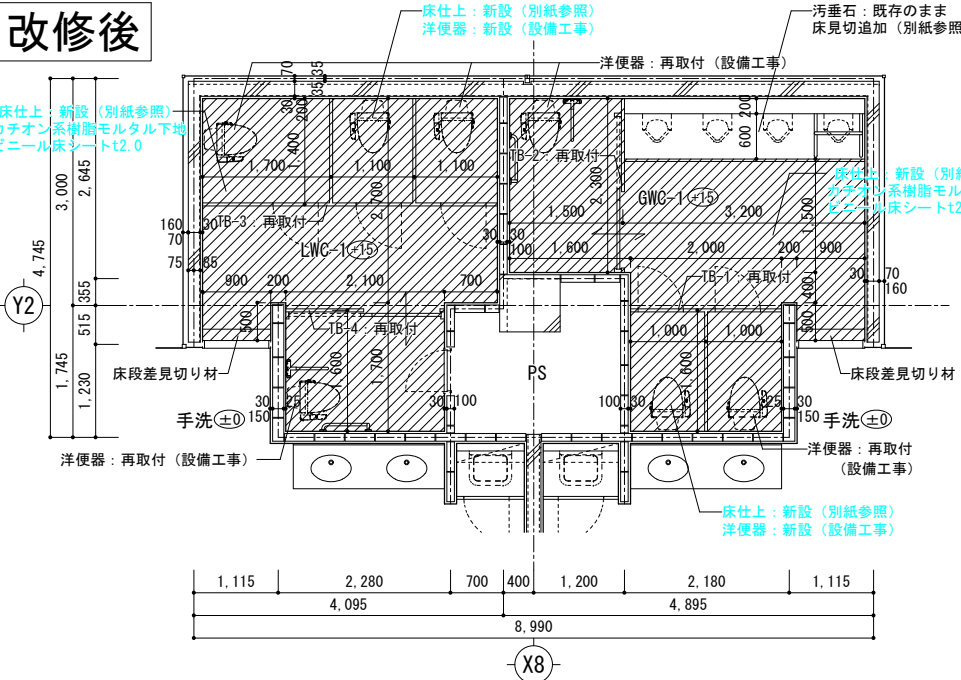


1FL LWC-1 展開図 1/100

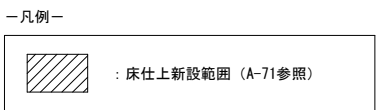
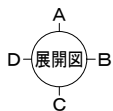


室名	床下地	床仕上	FL	巾木	H	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	廻縁	天井高	備考
1FL GWC-1	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地：一部撤去	GB-Dt9.5：一部撤去 別紙天井伏図参照	塩ビ製 一部撤去	2.600	床見切：御影石W50×H30 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600、床見切：FB
1FL LWC-1	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地：一部撤去	GB-Dt9.5：一部撤去 別紙天井伏図参照	塩ビ製 一部撤去	2.600	床見切：御影石W50×H30

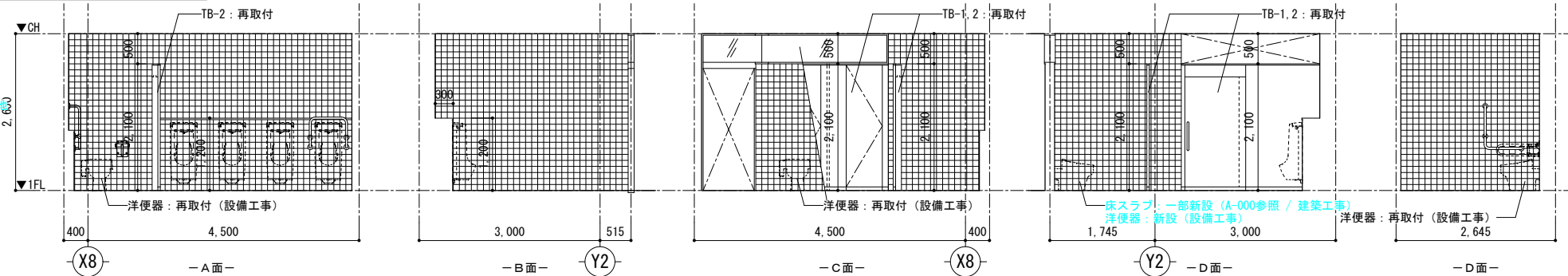
改修後



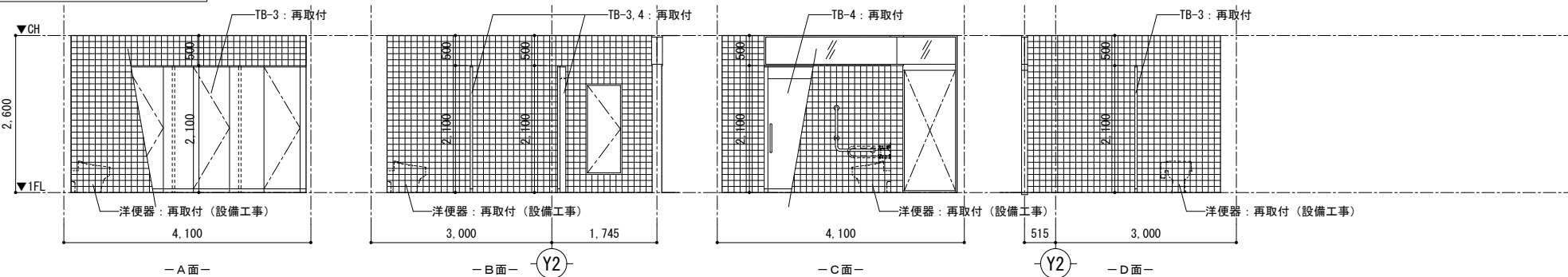
1FL GWC-1/LWC-1 平面図 1/100



1FL GWC-1 展開図 1/100



1FL LWC-1 展開図 1/100



室名	床下地	床仕上	FL	巾木	H	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	廻縁	天井高	備考
1FL GWC-1	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニール床シート t2.0：新設	+15	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地：一部新設	GB-Dt9.5：一部新設 別紙天井伏図参照	塩ビ製 一部新設	2.600	床見切：御影石W50×H30：既存のまま 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600：既存のまま、床見切：FB：既存のまま、段差見切り追加
1FL LWC-1	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニール床シート t2.0：新設	+15	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地：一部新設	GB-Dt9.5：一部新設 別紙天井伏図参照	塩ビ製 一部新設	2.600	床見切：御影石W50×H30：既存のまま 床段差見切り追加



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

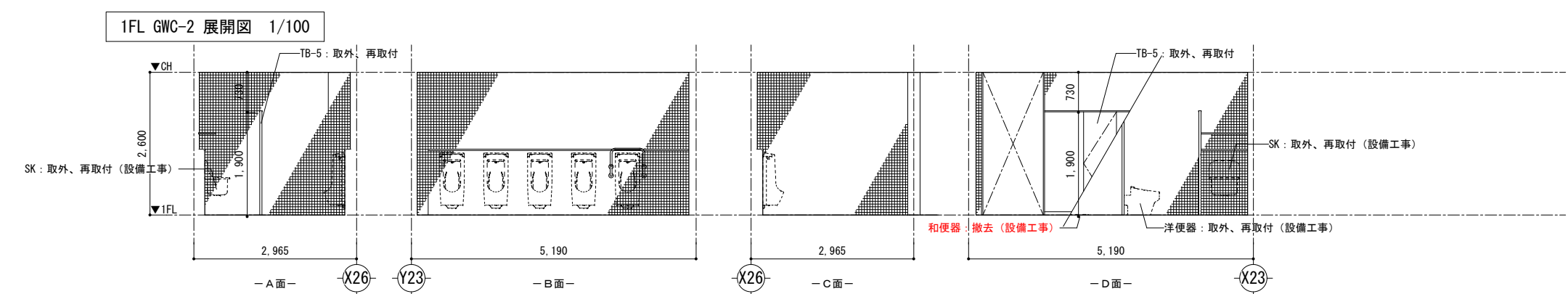
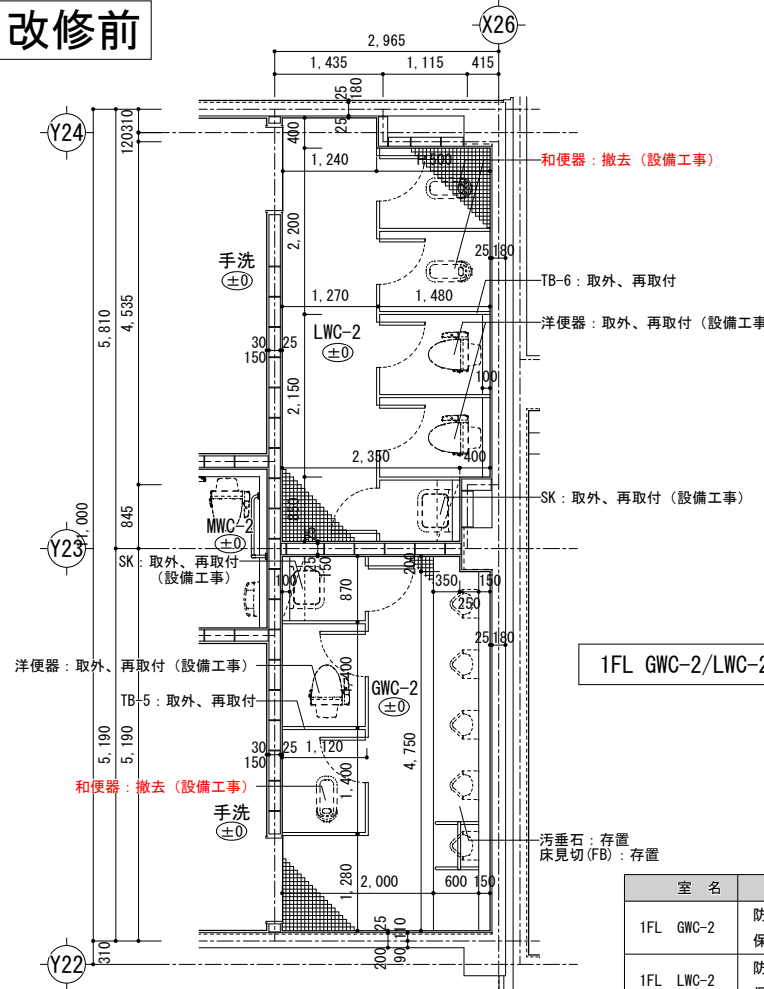
図面番号
A-69

工事名称
図面名称

西部地区小学校災害復旧工事
既存改修 WC改修図-1

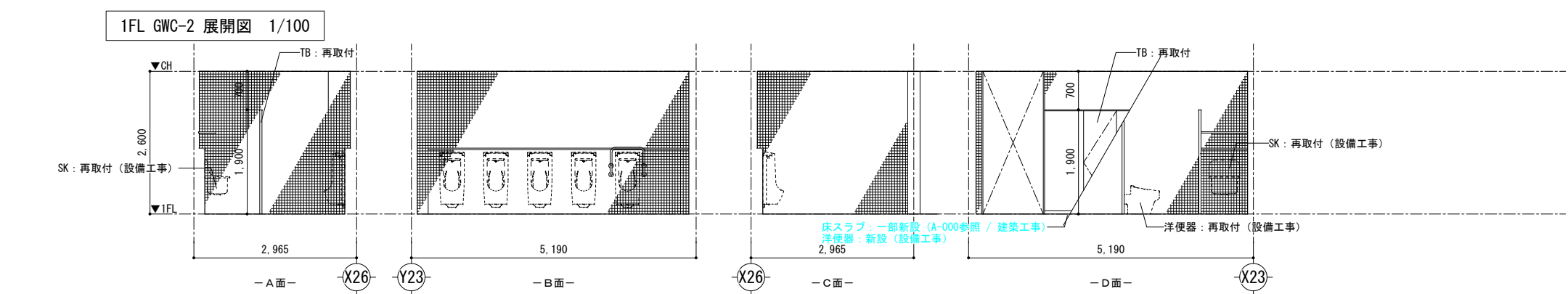
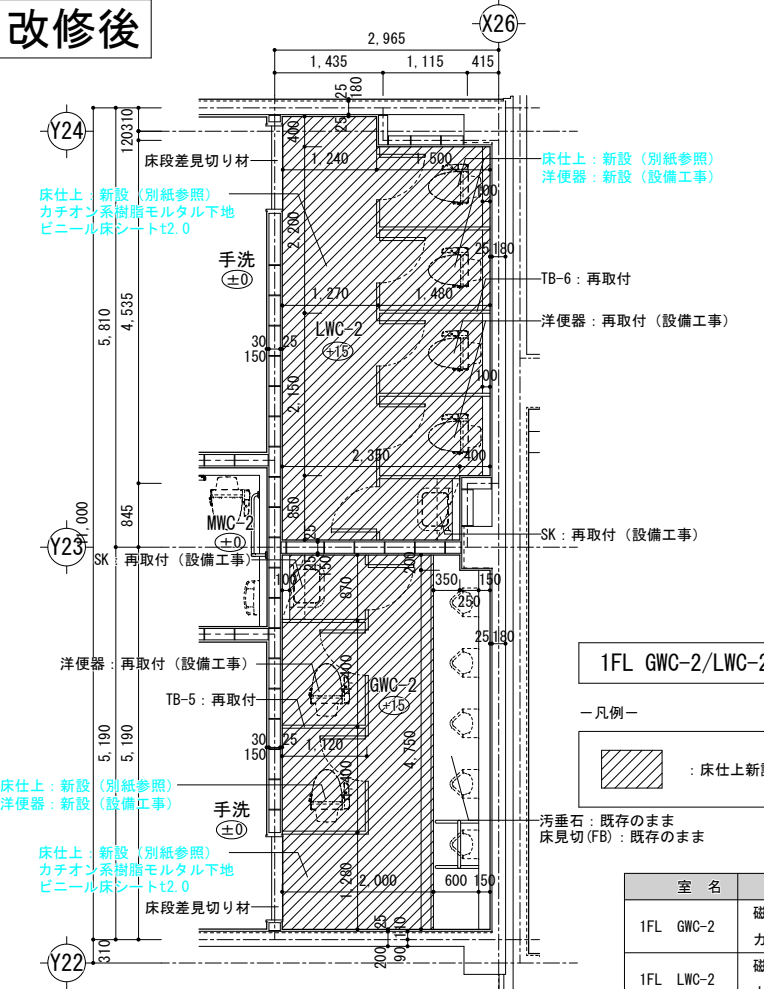
縮尺
1:100

改修前



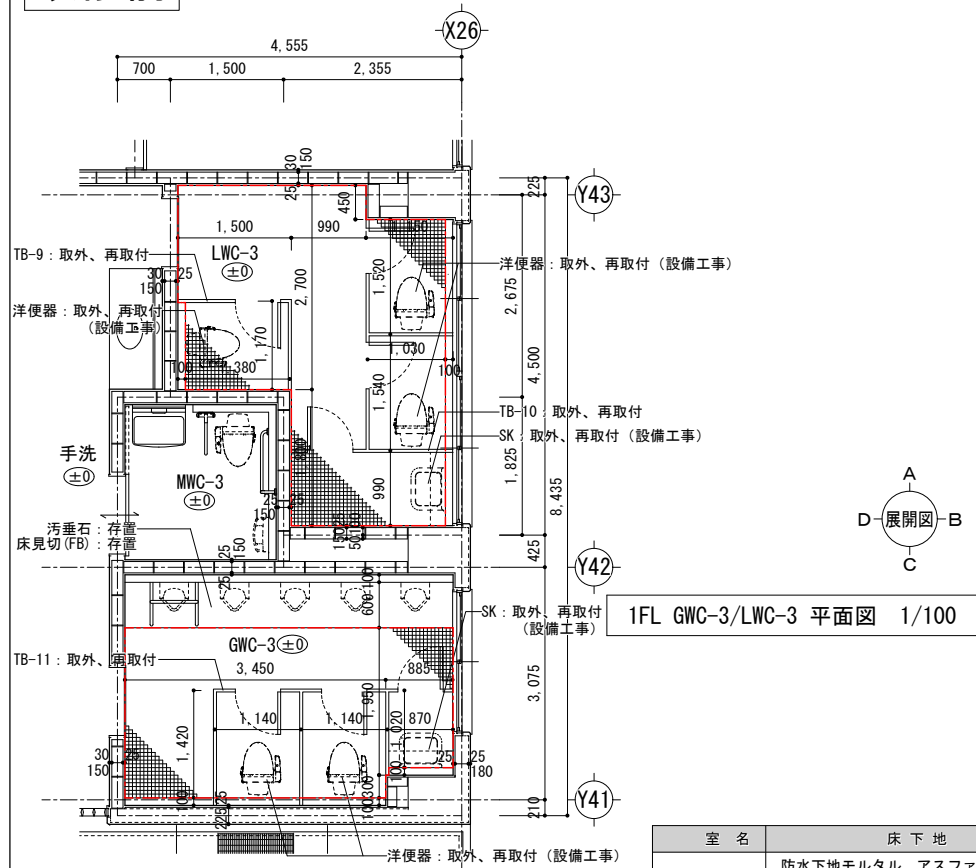
室名	床下地	床仕上	FL	巾木	H	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	廻縁	天井高	備考
1FL GWC-2	防水下地モルタル、アスファルト防水保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	別紙天井伏図参照 GB-Dt9.5 一部撤去	塩ビ製 一部撤去	塩ビ製 一部撤去	2,600	床見切：ステンレスFB 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600、床見切：FB
1FL LWC-2	防水下地モルタル、アスファルト防水保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	別紙天井伏図参照 GB-Dt9.5 一部撤去	塩ビ製 一部撤去	塩ビ製 一部撤去	2,600	床見切：ステンレスFB

改修後

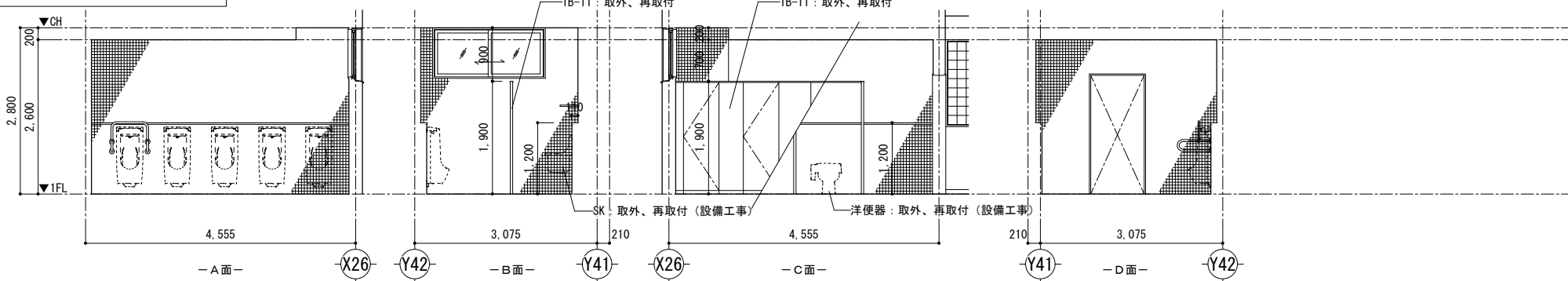


室名	床下地	床仕上	FL	巾木	H	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	廻縁	天井高	備考
1FL GWC-2	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	+15	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地 一部新設	GB-Dt9.5 一部新設	塩ビ製 一部新設	2,600	床見切：ステンレスFB 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600：既存のまま、床見切：FB：既存のまま、段差見切り追加
1FL LWC-2	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	+15	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地 一部新設	GB-Dt9.5 一部新設	塩ビ製 一部新設	2,600	床見切：ステンレスFB 床段差見切り追加

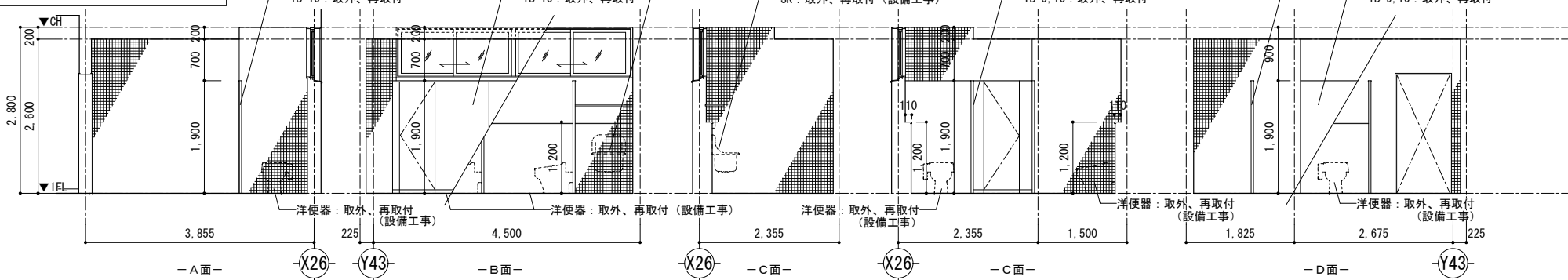
改修前



1FL GWC-3 展開図 1/100

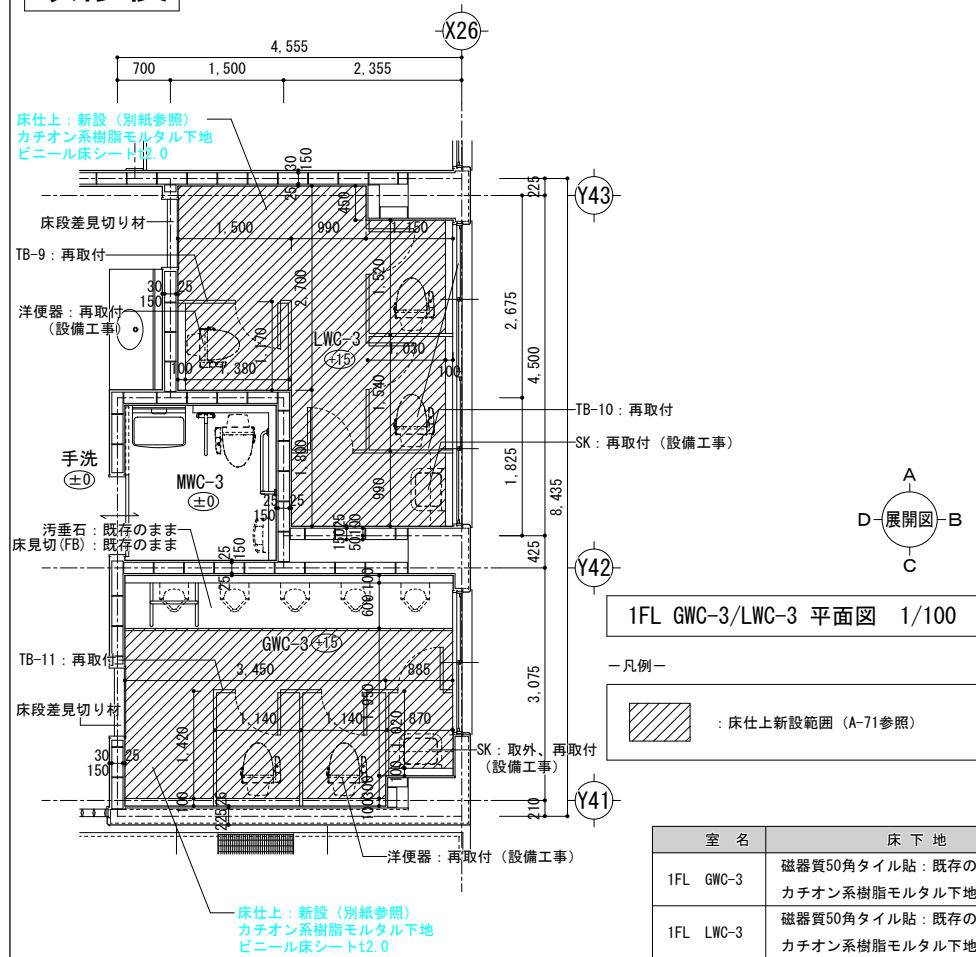


1FL LWC-3 展開図 1/100

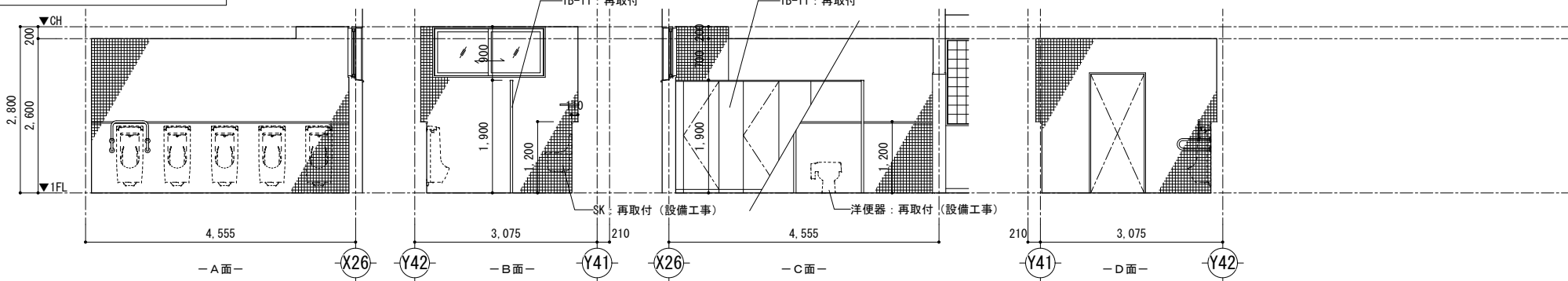


室名	床下地	床仕上	F.L	巾木	H	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	廻縁	天井高	備考
1FL GWC-3	防水下地モルタル、アスファルト防水保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：ステンレスFB 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600、床見切：FB
1FL LWC-3	防水下地モルタル、アスファルト防水保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：ステンレスFB

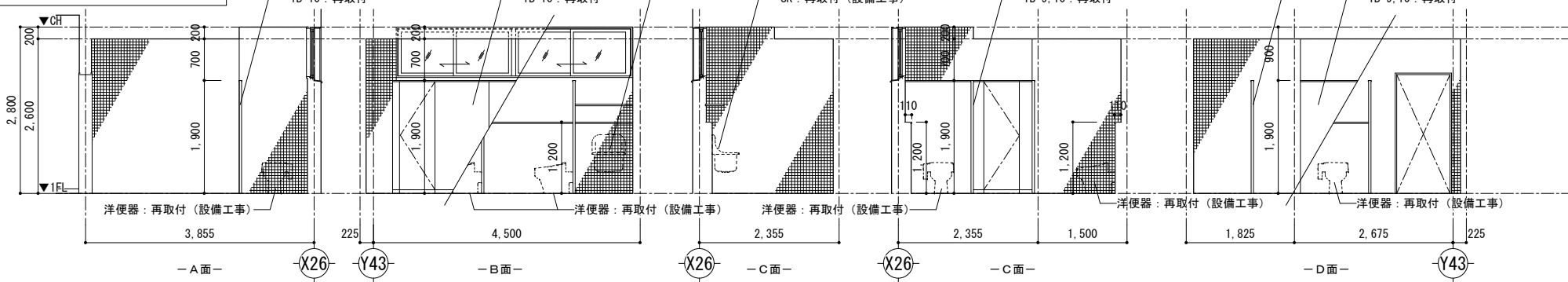
改修後



1FL GWC-3 展開図 1/100



1FL LWC-3 展開図 1/100



室名	床下地	床仕上	F.L	巾木	H	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	廻縁	天井高	備考
1FL GWC-3	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニール床シート t2.0：新設	+15	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：ステンレスFB：既存のまま 床段差見切り追加 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600：既存のまま、床見切：FB：既存のまま、段差見切り追加
1FL LWC-3	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニール床シート t2.0：新設	+15	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：ステンレスFB：既存のまま 床段差見切り追加



株式会社 鈞谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

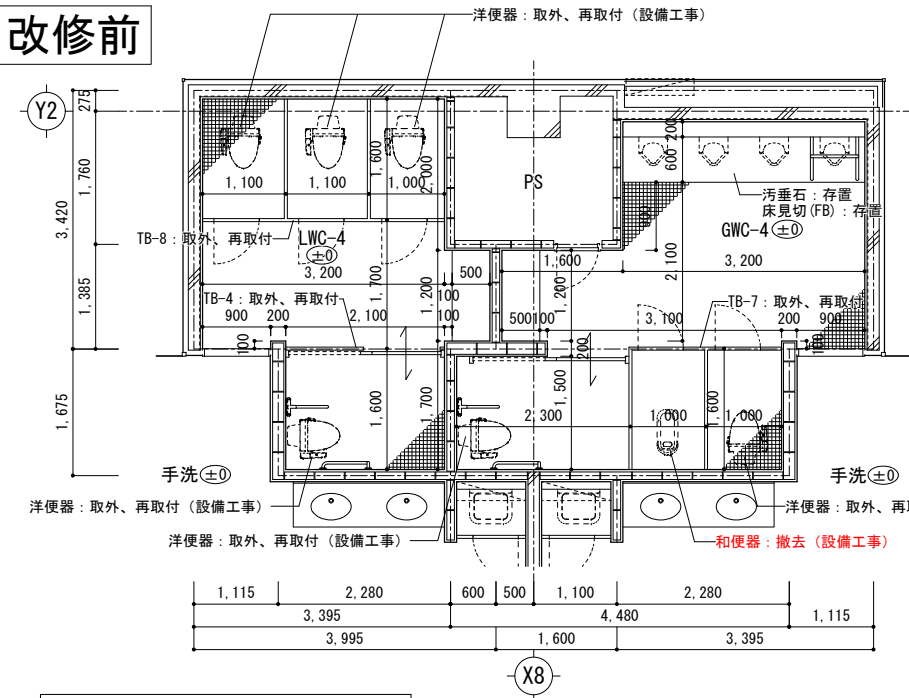
図面番号
A-71

工事名称
図面名称

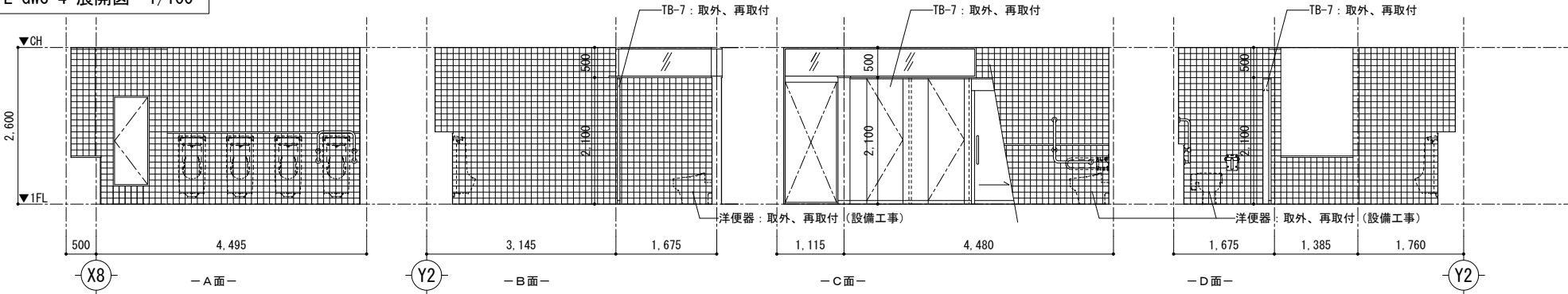
西部地区小学校災害復旧工事
既存改修 WC改修図-3

縮尺
1:100

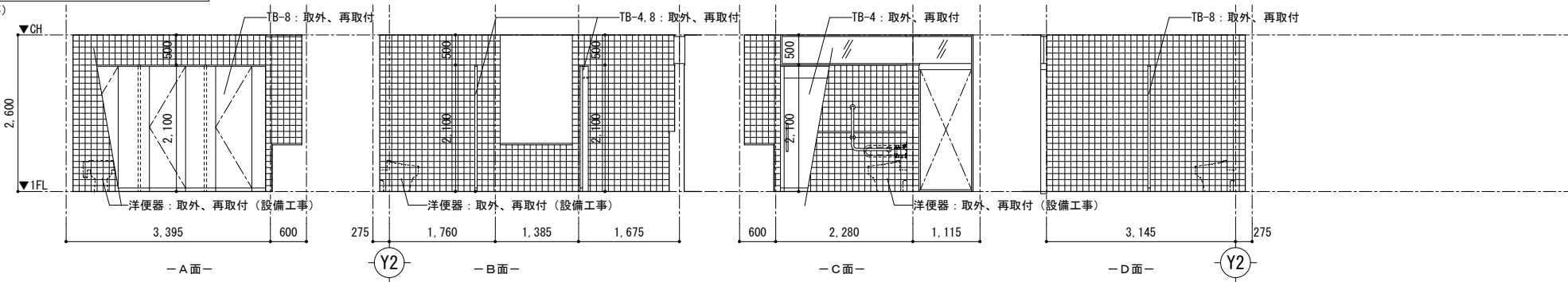
改修前



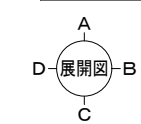
2FL GWC-4 展開図 1/100



2FL LWC-4 展開図 1/100

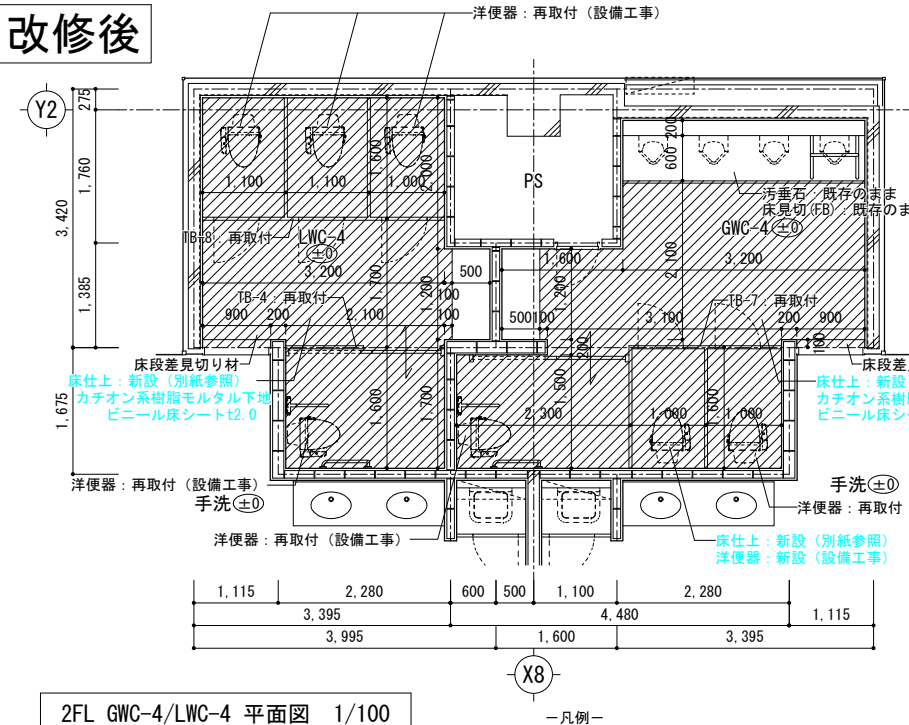


2FL GWC-4/LWC-4 平面図 1/100

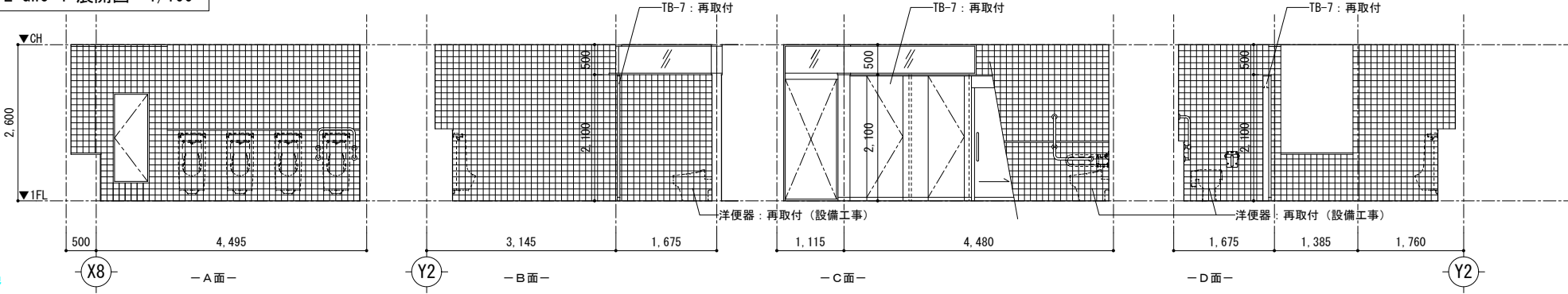


室名	床下地	床仕上	FL	巾木	H	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	廻縁	天井高	備考
1FL GWC-4	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2.600	床見切：御影石W50×H30 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600、床見切：FB
1FL LWC-4	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2.600	床見切：御影石W50×H30

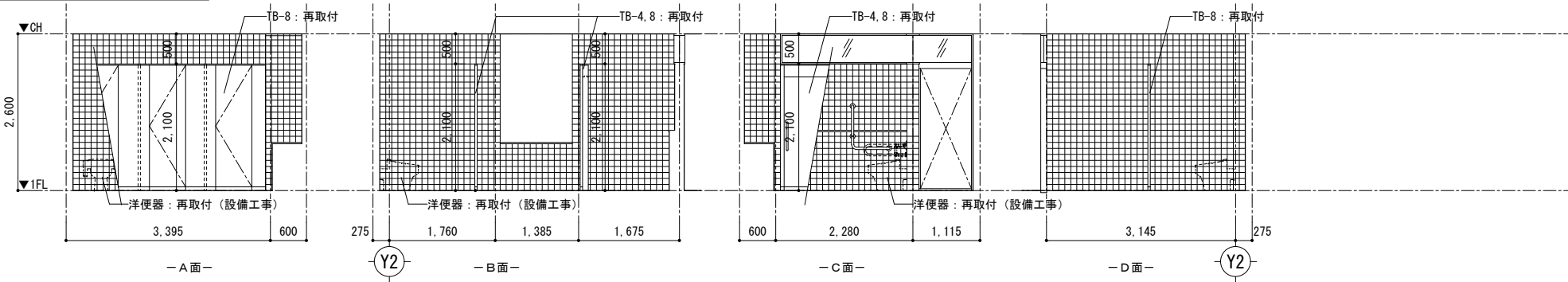
改修後



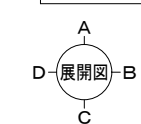
2FL GWC-4 展開図 1/100



2FL LWC-4 展開図 1/100



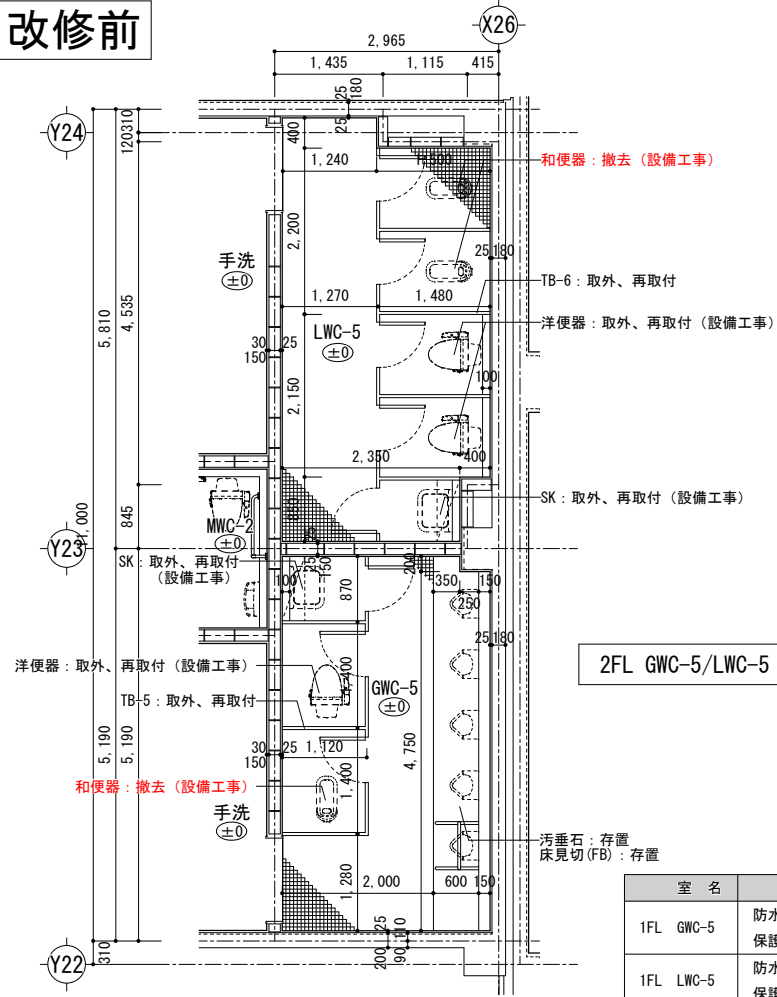
2FL GWC-4/LWC-4 平面図 1/100



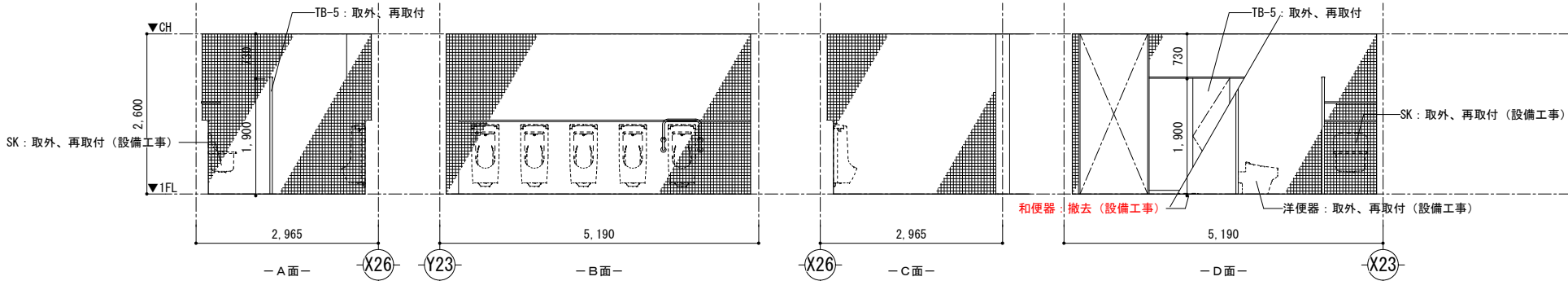
—凡例—
[Hatched Box] : 床仕上新設範囲 (A-71参照)

室名	床下地	床仕上	FL	巾木	H	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	廻縁	天井高	備考
1FL GWC-4	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	+15	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2.600	床見切：御影石W50×H30：既存のまま 床段差見切り追加 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600：既存のまま、床見切：FB：既存のまま、段差見切り追加
1FL LWC-4	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	+15	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2.600	床見切：御影石W50×H30：既存のまま 床段差見切り追加

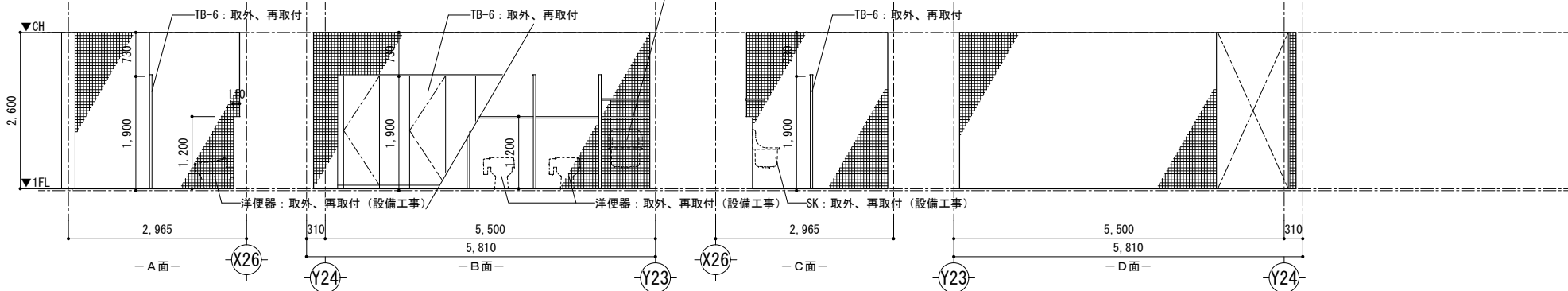
改修前



2FL GWC-5 展開図 1/100

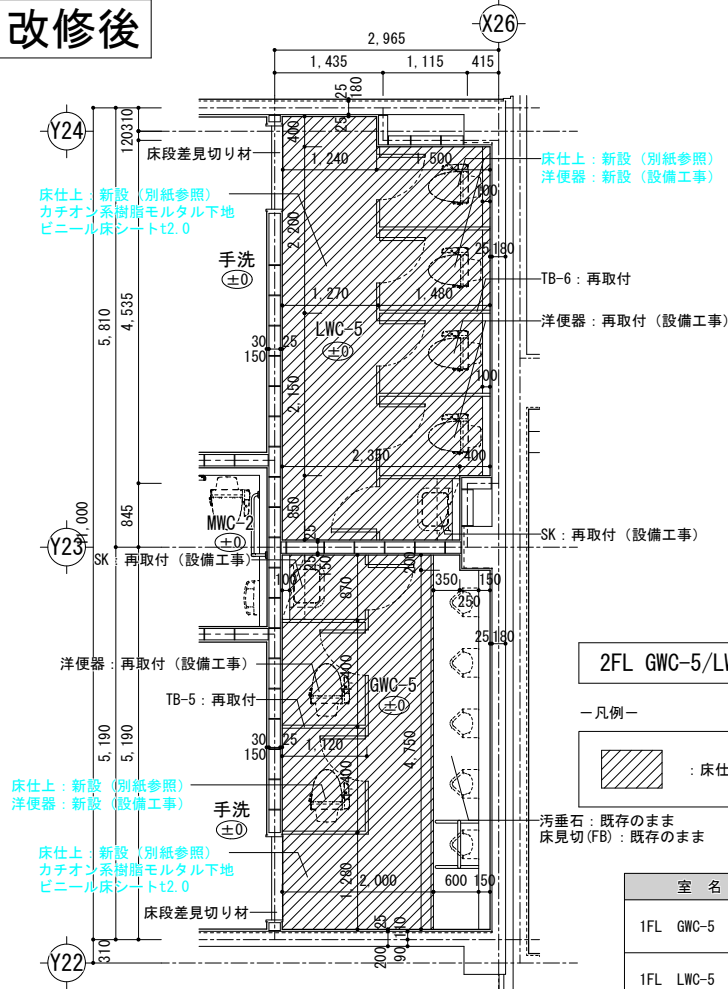


2FL LWC-5 展開図 1/100

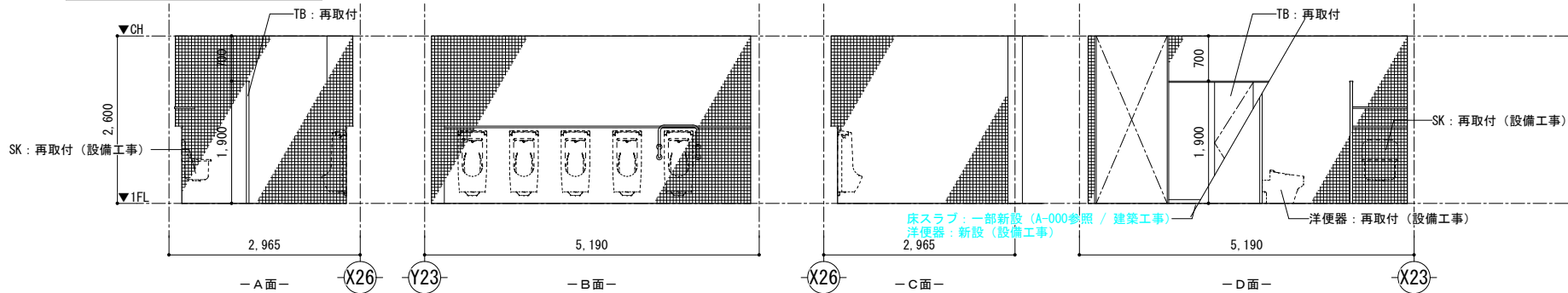


室名	床下地	床仕上	FL	巾木	H	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	廻縁	天井高	備考
1FL GWC-5	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：御影石W50×H30 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600、床見切：FB
1FL LWC-5	防水下地モルタル、アスファルト防水 保護モルタル、タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 50角	±0	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：御影石W50×H30

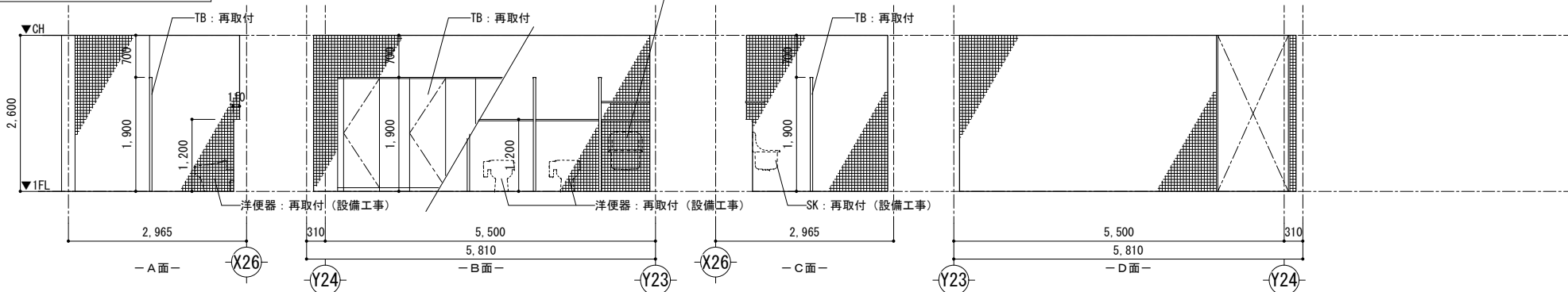
改修後



2FL GWC-5 展開図 1/100



2FL LWC-5 展開図 1/100



室名	床下地	床仕上	FL	巾木	H	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	廻縁	天井高	備考
1FL GWC-5	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	±0	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：ステンレスFB：既存のまま 床段差見切り追加 汚垂石：ハイドロテクトステップ800×600：既存のまま、床見切：FB：既存のまま、段差見切り追加
1FL LWC-5	磁器質50角タイル貼：既存のまま カチオン系樹脂モルタル下地：新設	ビニル床シート t2.0：新設	±0	—	—	タイル下地モルタル	磁器質タイル貼 100角	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2,600	床見切：ステンレスFB：既存のまま 床段差見切り追加



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号

吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

図面番号
A-73

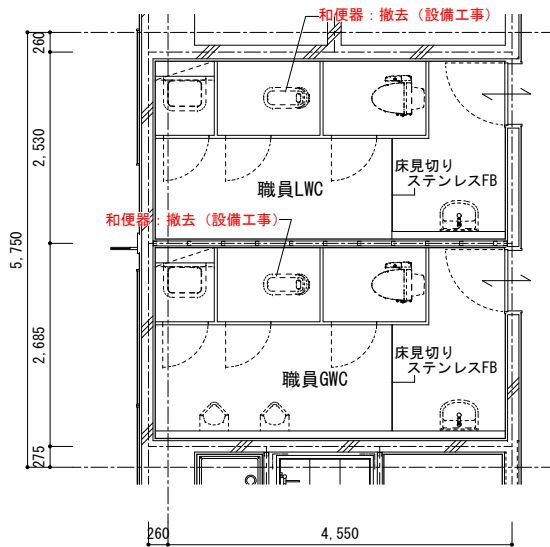
工事名称
図面名称

西部地区小学校災害復旧工事
既存改修 WC改修図-5

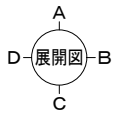
縮尺

1:100

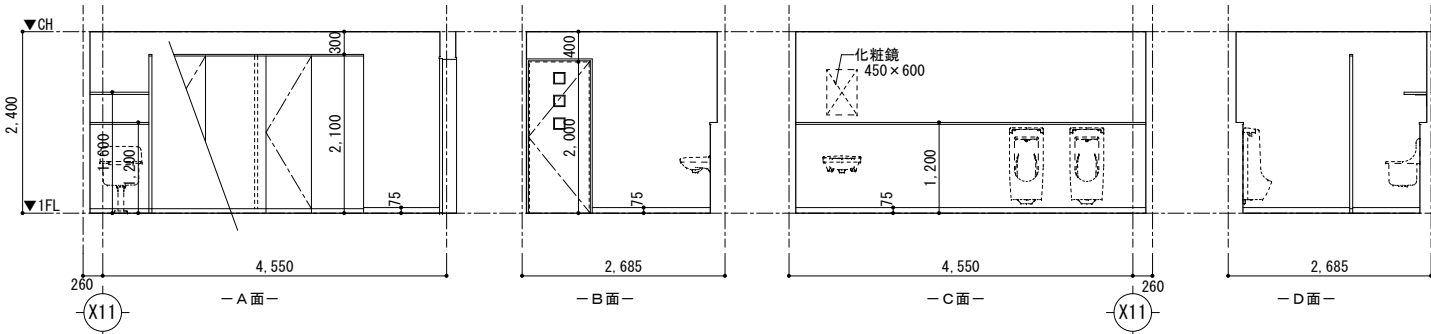
改修前



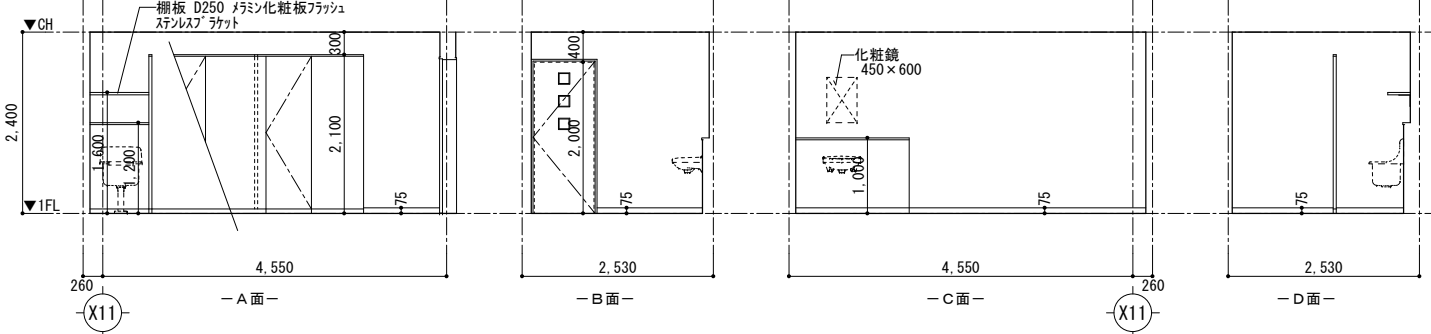
1FL 職員GWC/職員LWC 平面図 1/100



1FL 職員GWC 展開図 1/100

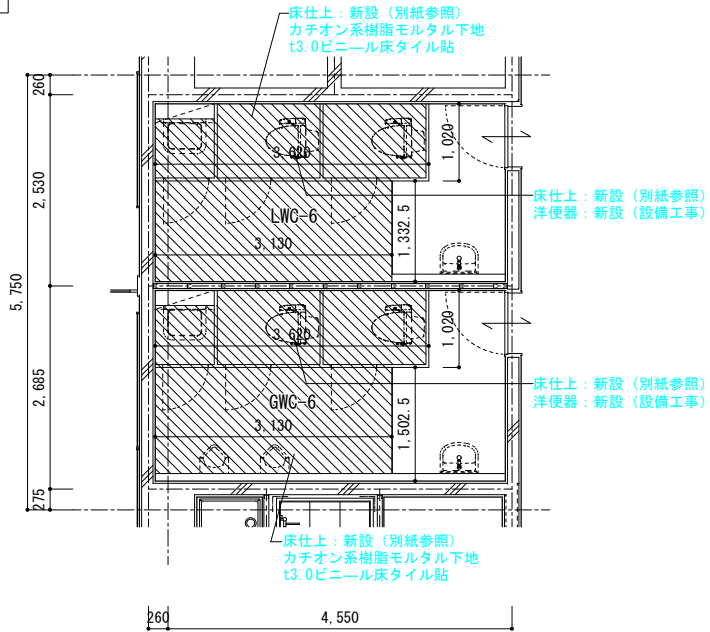


1FL 職員LWC 展開図 1/100

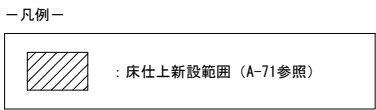
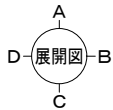


室名	床下地	床仕上	FL	巾木	H	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	廻縁	天井高	備考
1FL 職員GWC	モルタル下地	t3.0ビニール床タイル貼：撤去 一部フローリングボード直貼	±0	—	—	GB-S下地	t3.0抗菌メラミン化粧板貼	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2.600	
1FL 職員LWC	モルタル下地	t3.0ビニール床タイル貼：撤去 一部フローリングボード直貼	±0	—	—	GB-S下地	t3.0抗菌メラミン化粧板貼	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2.600	

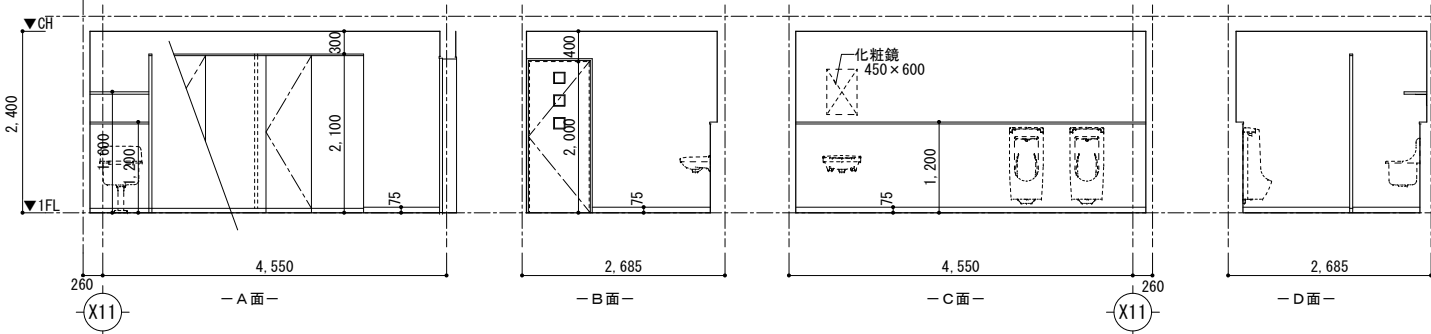
改修後



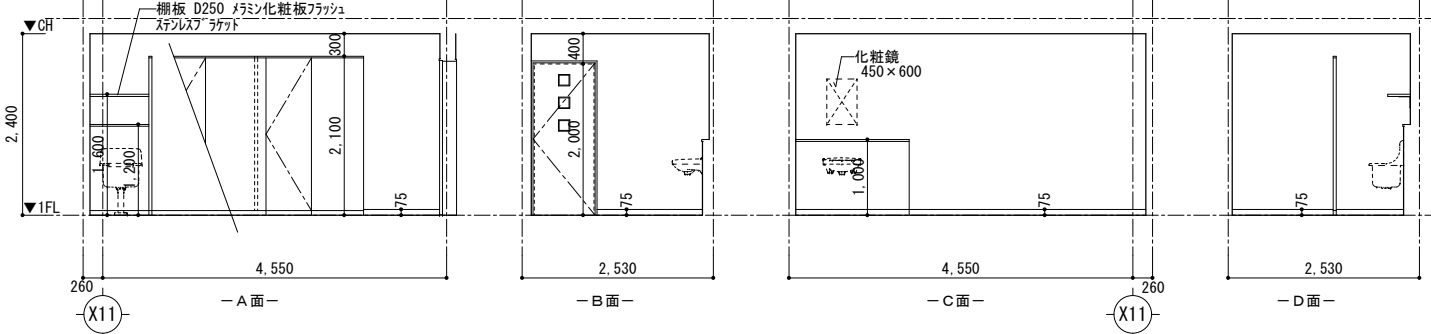
1FL 職員GWC/職員LWC 平面図 1/100



1FL GWC-6 展開図 1/100



1FL LWC-7 展開図 1/100



室名	床下地	床仕上	FL	巾木	H	壁下地	壁仕上	天井下地	天井仕上	廻縁	天井高	備考
1FL GWC-6	モルタル下地 下地調整	t3.0ビニール床タイル貼：新設 一部フローリングボード直貼	±0	—	—	GB-S下地	t3.0抗菌メラミン化粧板貼	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2.400	
1FL LWC-6	モルタル下地 下地調整	t3.0ビニール床タイル貼：新設 一部フローリングボード直貼	±0	—	—	GB-S下地	t3.0抗菌メラミン化粧板貼	LGS下地	GB-Dt9.5	塩ビ製	2.400	



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

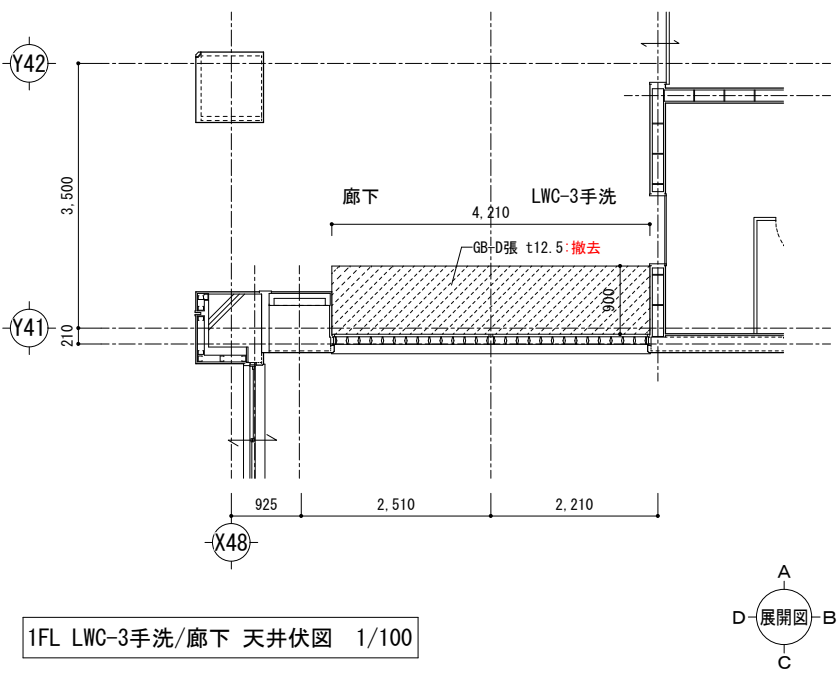
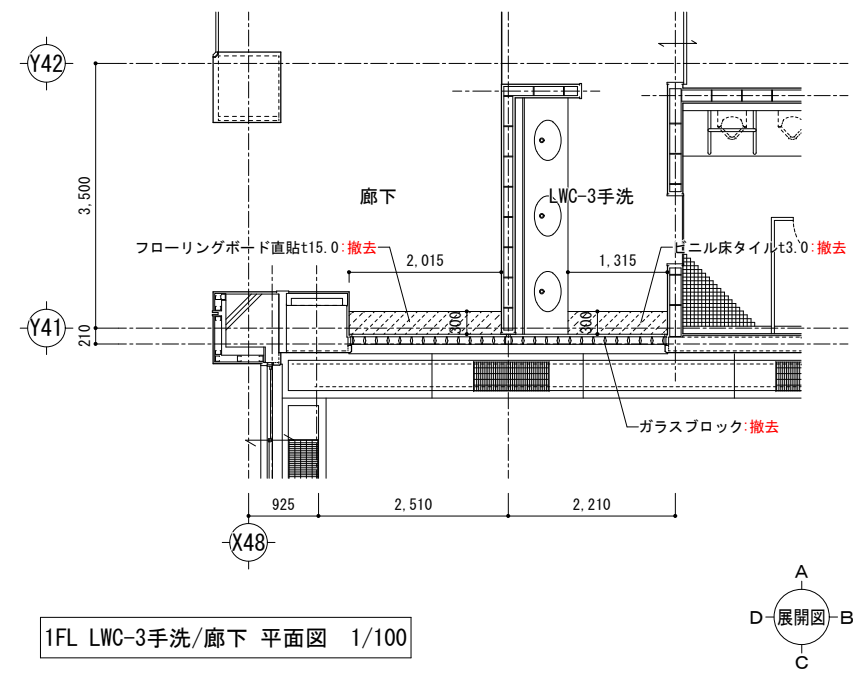
図面番号
A-74

工事名称
図面名称

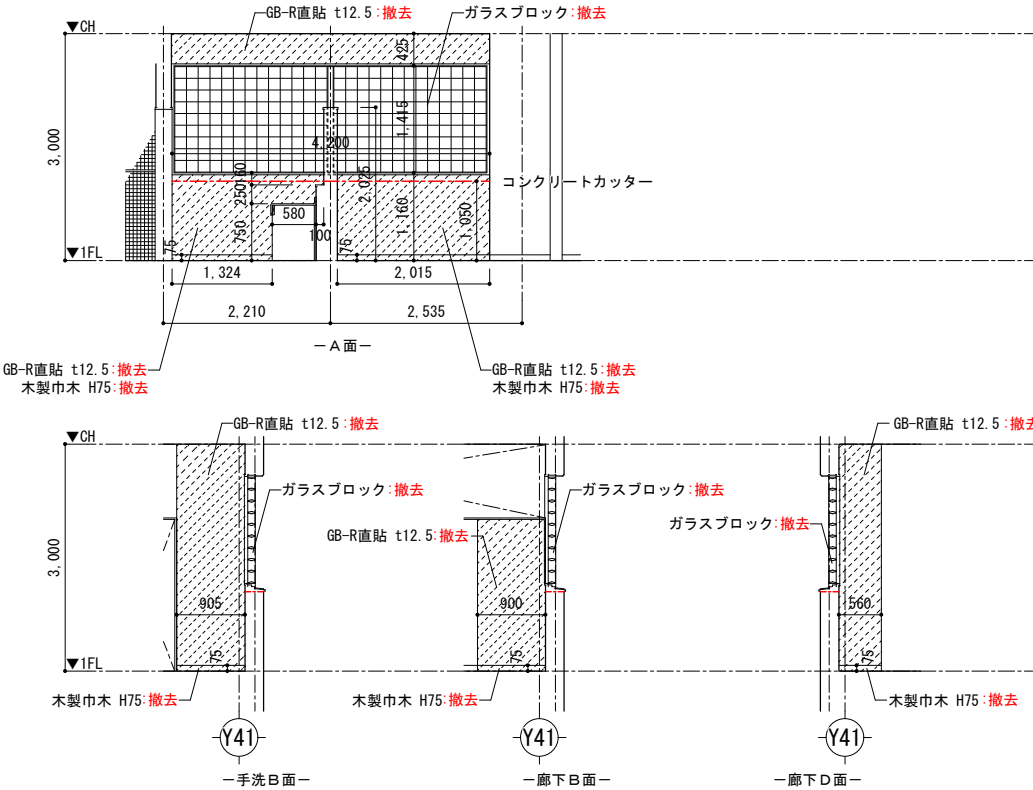
西部地区小学校災害復旧工事
既存改修 WC改修図-6

縮尺
1:100

改修前

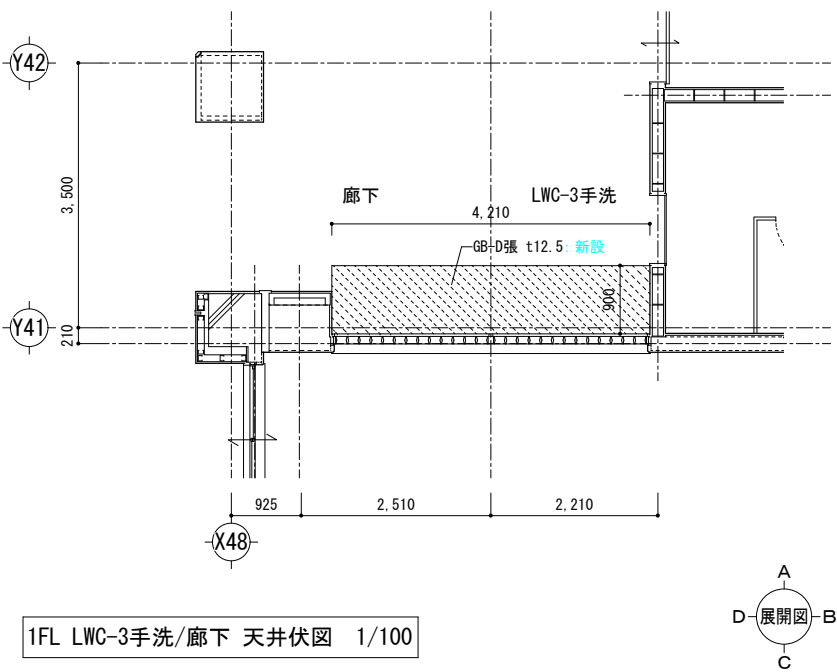
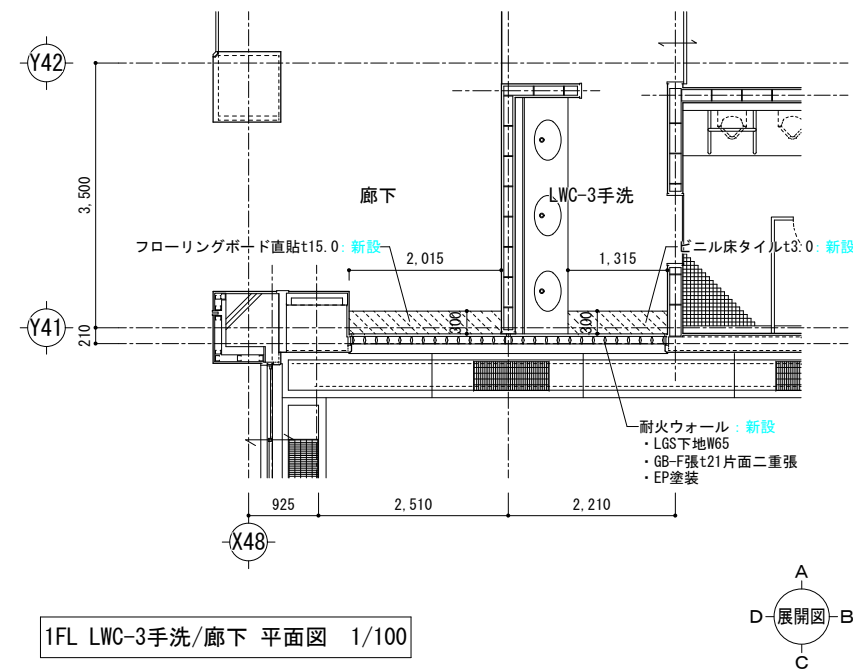


1FL LWC-3手洗 展開図 1/100

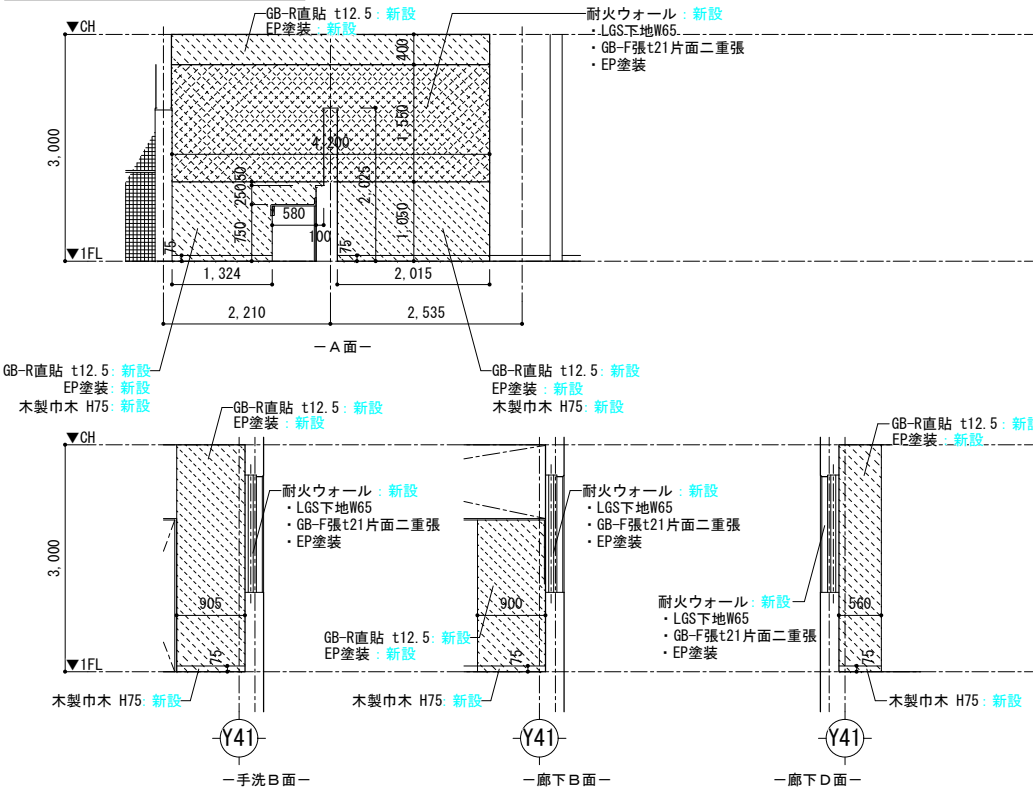


室 名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾 木	H	壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻 縁	天井高	備 考
1FL LWC-3手洗	モルタル下地	ビニール床タイル貼 t3.0 : 一部撤去	±0	木製巾木 着色CL塗装 : 撤去	75	GB-R直貼 t12.5 : 撤去	EP塗装	LGS下地	GB-Dt9.5 : 一部撤去	塩ビ製	2,600	建具 : ガラスブロック : 撤去
1FL 廊下	モルタル下地	フローリングボード直貼 t15.0 : 一部撤去	±0	木製巾木 着色CL塗装 : 撤去	75	GB-R直貼 t12.5 : 撤去	EP塗装	LGS下地	GB-Dt9.5 : 一部撤去	塩ビ製	2,600	建具 : ガラスブロック : 撤去

改修後



1FL LWC-3手洗 展開図 1/100



室 名	床 下 地	床 仕 上	F L	巾 木	H	壁 下 地	壁 仕 上	天 井 下 地	天 井 仕 上	廻 縁	天井高	備 考
1FL LWC-3手洗	モルタル下地	ビニール床タイル貼 t3.0 : 一部新設	±0	木製巾木 着色CL塗装 : 新設	75	GB-R直貼 t12.5 : 新設, LGS下地、GB-F張 t21片面二重張り	EP塗装 : 新設	LGS下地	GB-Dt9.5 : 一部新設	塩ビ製	2,600	
1FL 廊下	モルタル下地	フローリングボード直貼 t15.0 : 一部新設	±0	木製巾木 着色CL塗装 : 新設	75	GB-R直貼 t12.5 : 新設, LGS下地、GB-F張 t21片面二重張り	EP塗装 : 新設	LGS下地	GB-Dt9.5 : 一部新設	塩ビ製	2,600	



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

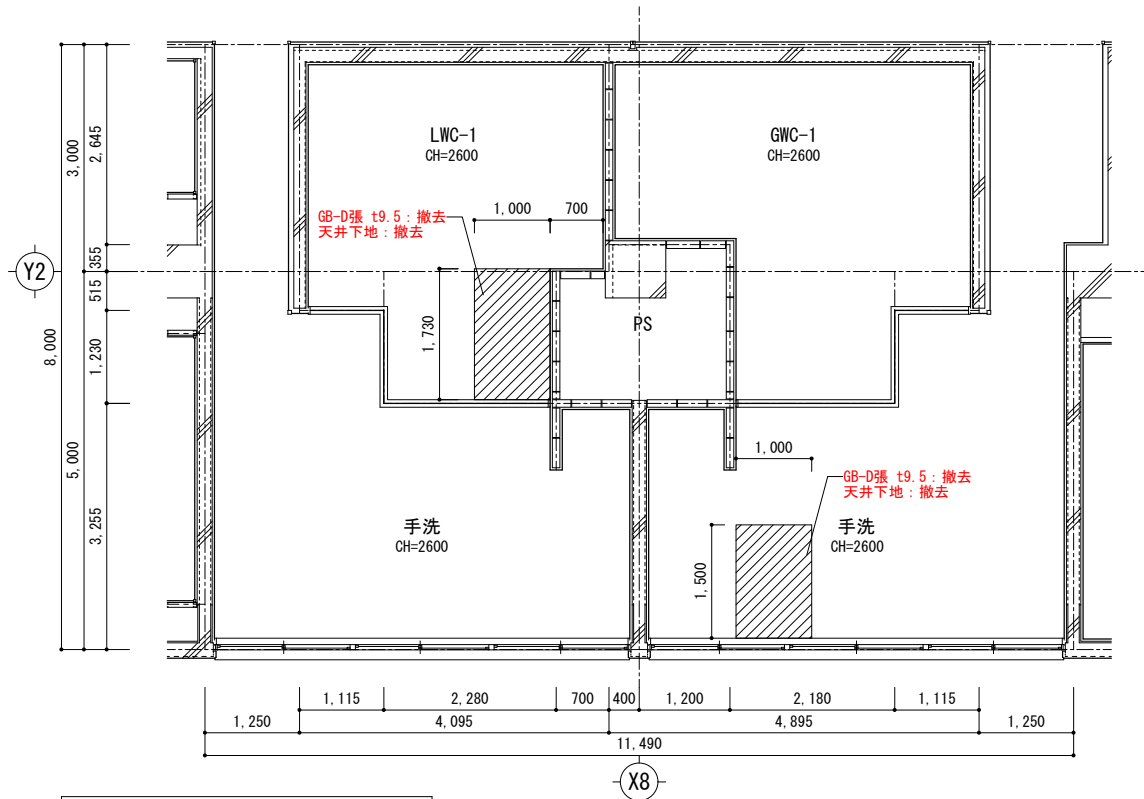
図面番号
A-75

工事名称
図面名称

西部地区小学校災害復旧工事
既存改修 WC改修図-7

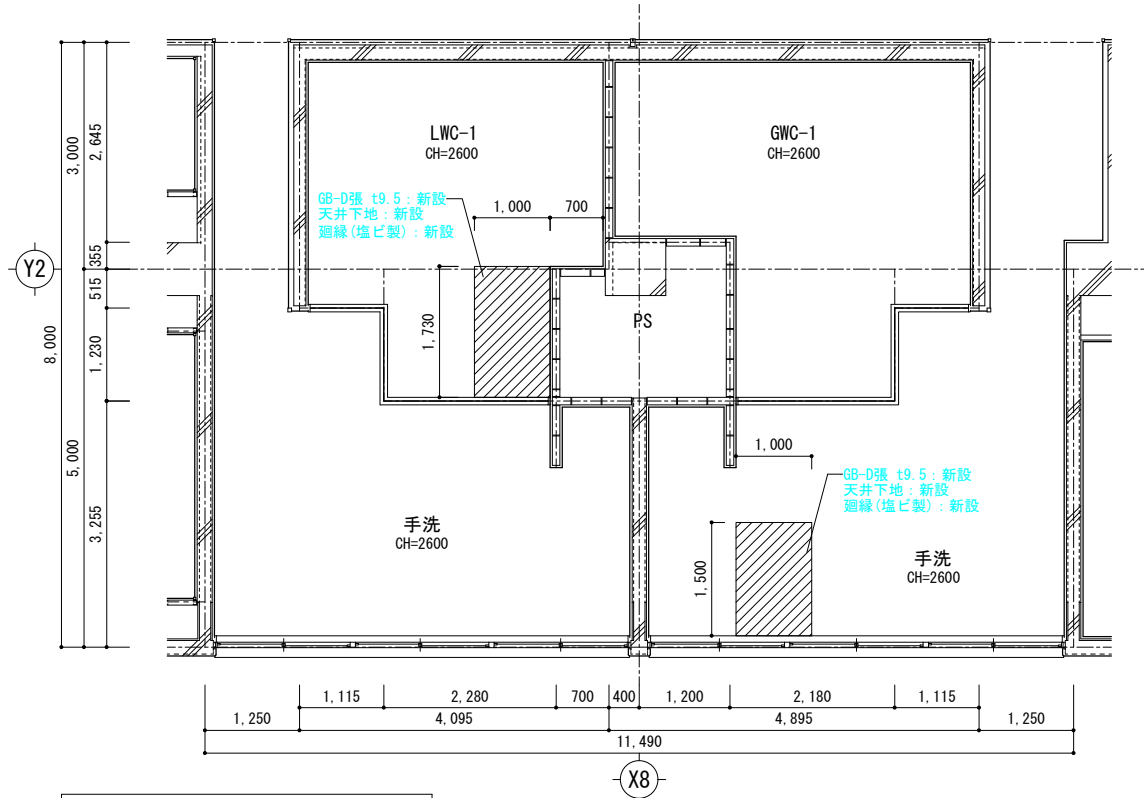
縮尺
1:100

改修前



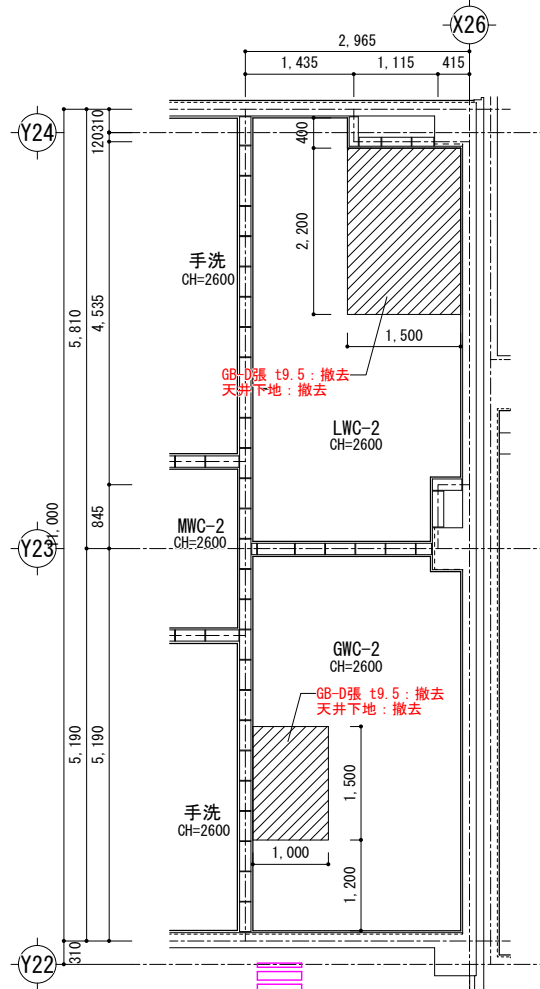
1FL GWC-1/LWC-1 天井伏図 1/100

改修後



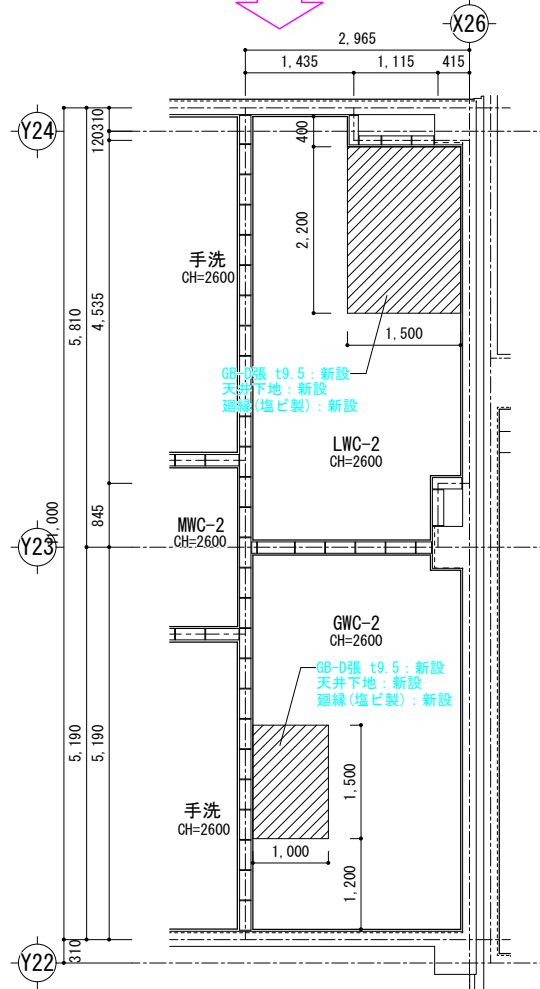
1FL GWC-1/LWC-1 天井伏図 1/100

改修前



1FL GWC-2/LWC-2 天井伏図 1/100

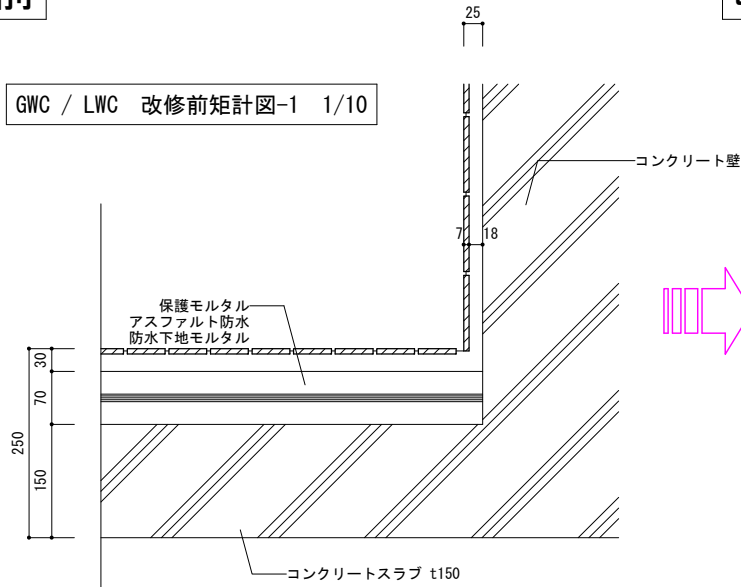
改修後



1FL GWC-2/LWC-2 天井伏図 1/100

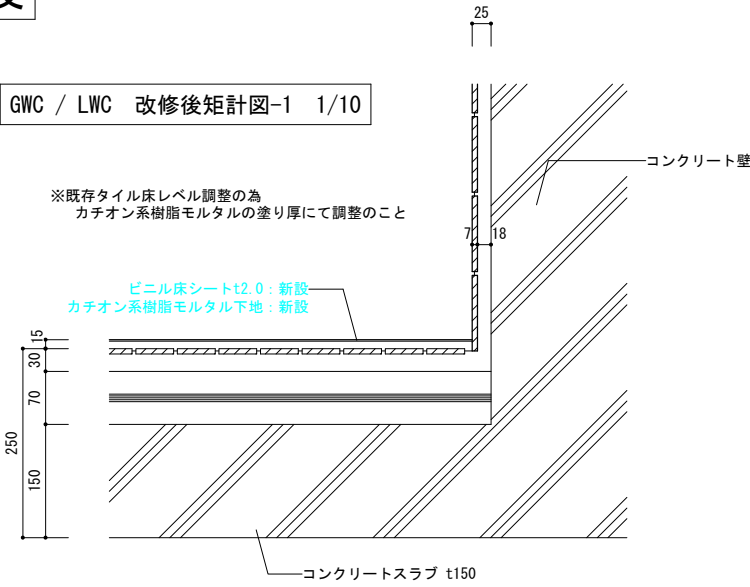
改修前

GWC / LWC 改修前矩計図-1 1/10

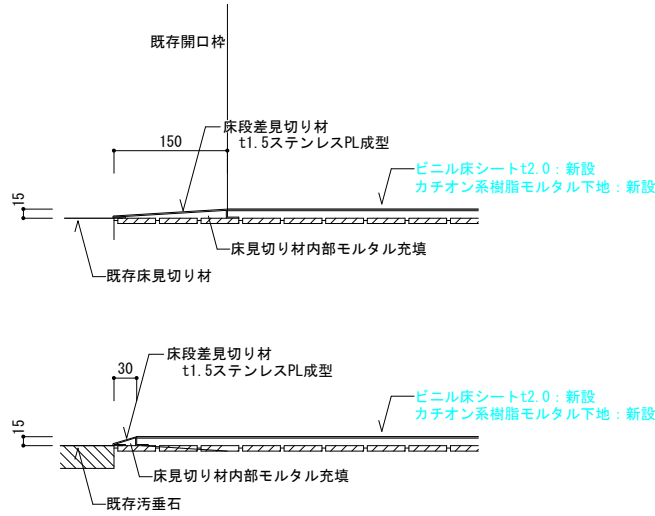


改修後

GWC / LWC 改修後矩計図-1 1/10

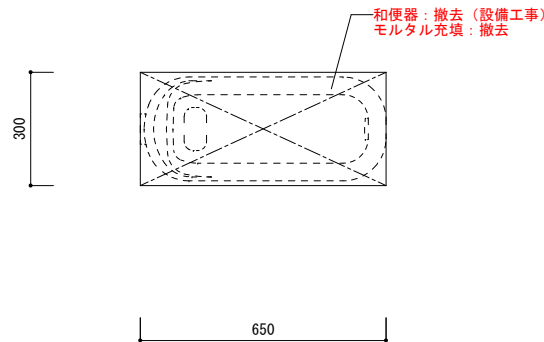


床見切り改修

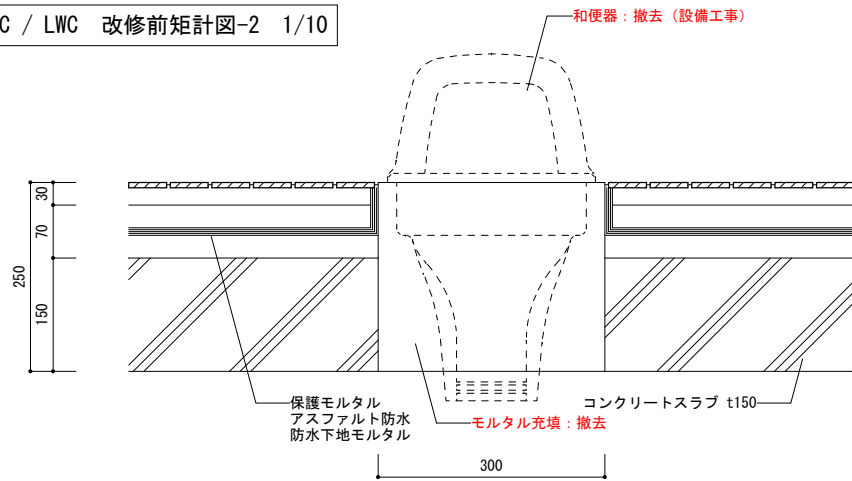


改修前

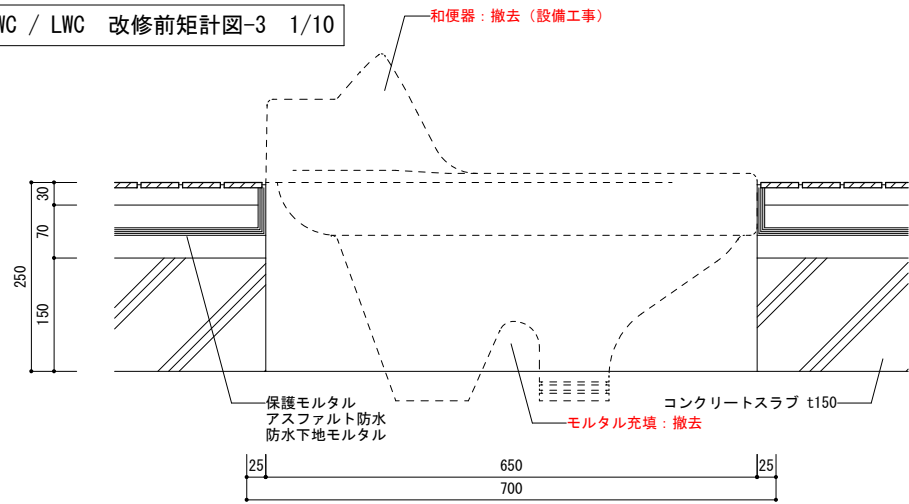
GWC / LWC 改修前見上げ図 1/20



GWC / LWC 改修前矩計図-2 1/10

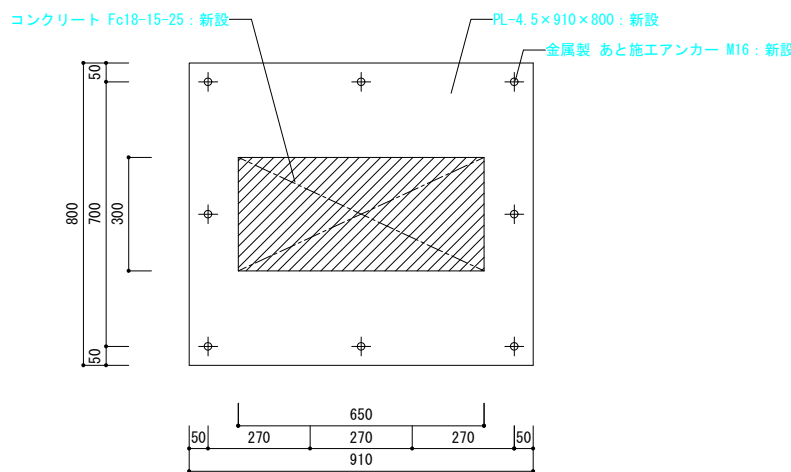


GWC / LWC 改修前矩計図-3 1/10

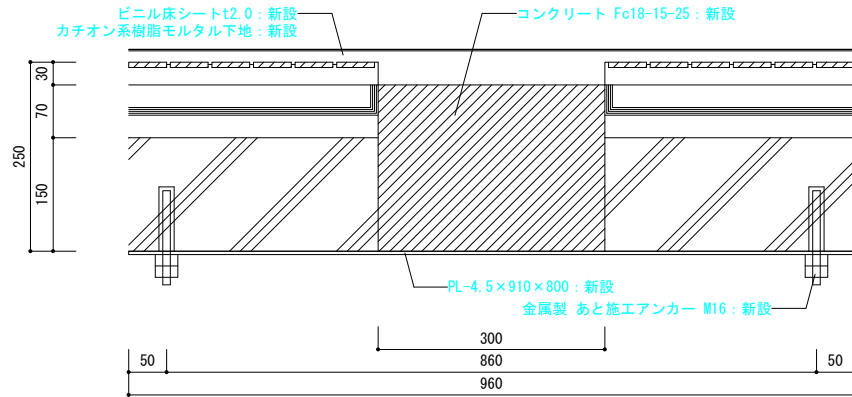


改修後

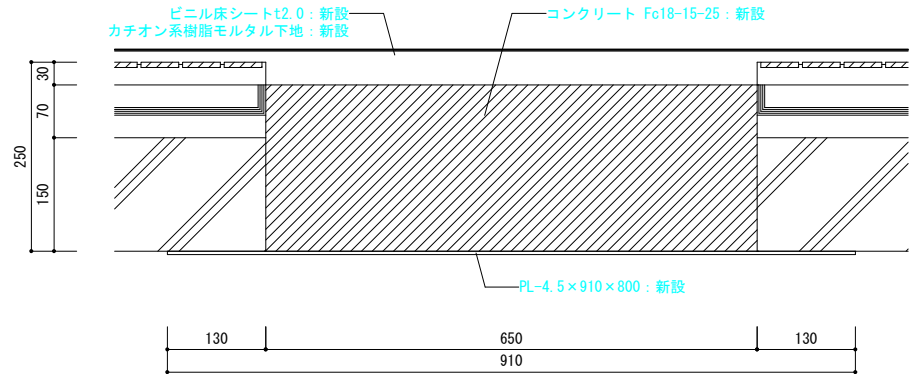
GWC / LWC 改修後見上げ図 1/20



GWC / LWC 改修後矩計図-2 1/10

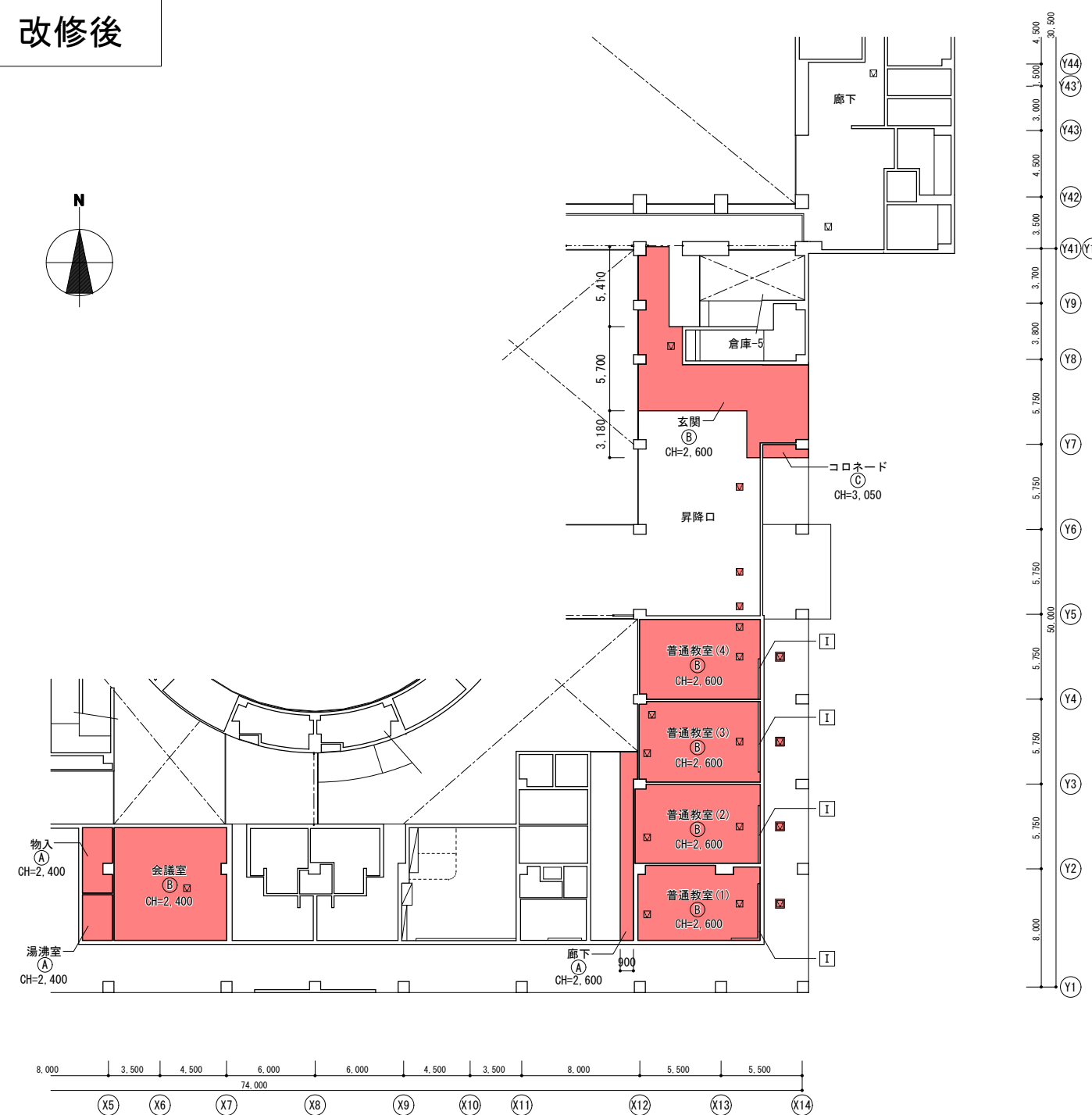
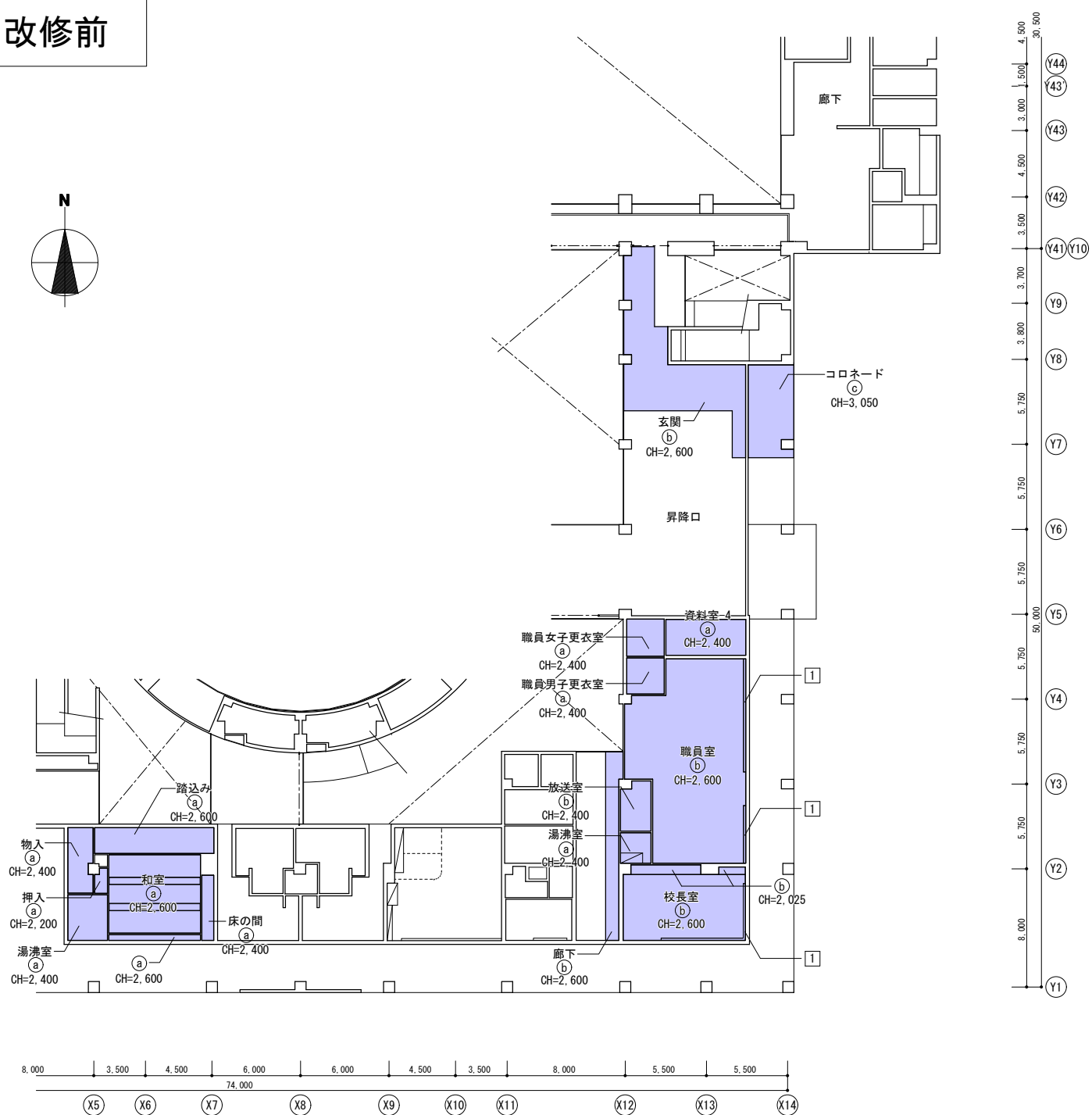


GWC / LWC 改修後矩計図-3 1/10



改修前

改修後



- 凡例 (天井撤去) -

Ⓐ	GB-D張 t9.5
Ⓑ	岩綿吸音板張 t9.0
Ⓒ	フレキシブルボード 目透張 t8.0
Ⅰ	カーテンボックス：木製 着色CL塗装 130×80 一部撤去（校長室）その他既存のまま

天井開口補強（設備用 1.2階）

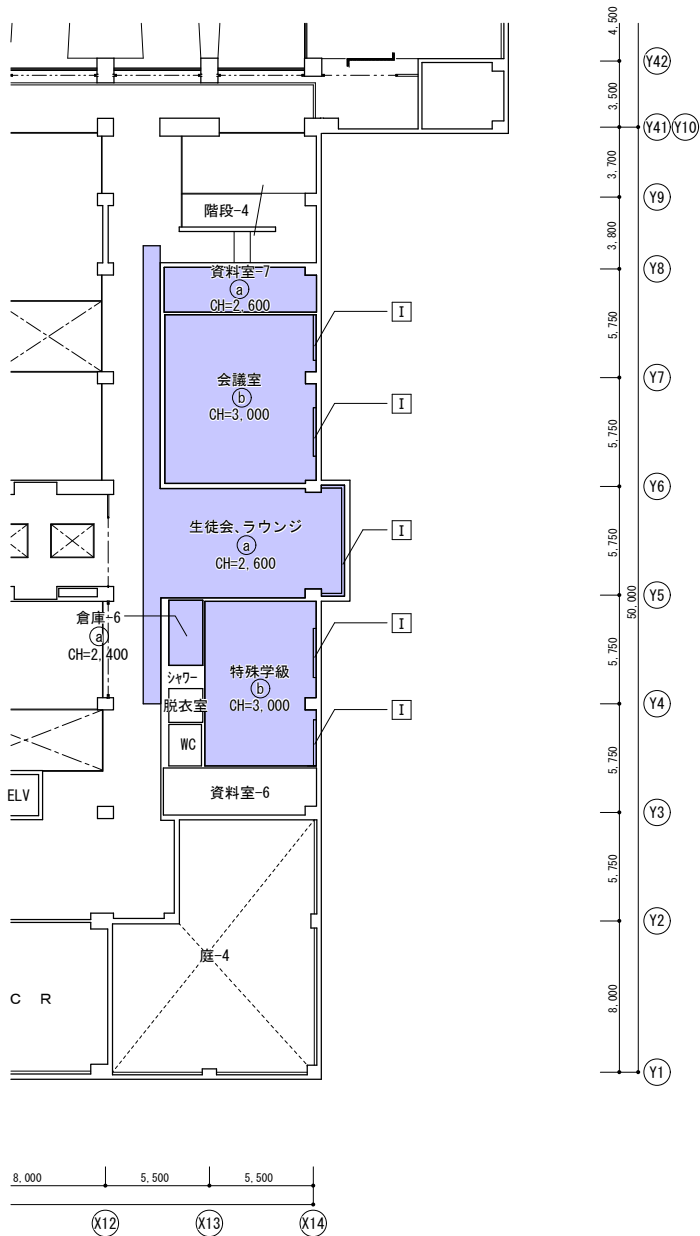
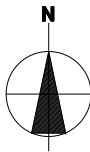
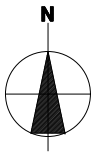
開口寸法	箇所数
150 × 150	2
300 × 300	3
900 × 900	15
300 × 1200	7

- 凡例 (改修工事) -

Ⓐ	GB-D張 t9.5
Ⓑ	岩綿吸音板張 t9.0
Ⓒ	フレキシブルボード 目透張 t8.0
Ⅰ	カーテンボックス：木製 CL塗替
☒	天井点検口 450角（目地）：1階 16箇所、2階 8箇所
☒	天井点検口 450角（額縁）：1階 4箇所、2階 1箇所

改修前

改修後



- 凡例 (天井撤去) -

①	GB-D張 t9.5
②	岩綿吸音板張 t9.0
③	フレキシブルボード 目透張 t8.0
④	カーテンボックス : 木製 着色OL塗装 130×80
⑤	見切 : L-20×20 SOP塗装

- 凡例 (改修工事) -

①	GB-D張 t9.5
②	岩綿吸音板張 t9.0
③	フレキシブルボード 目透張 t8.0
④	カーテンボックス : 木製 着色OL塗装 120×80
⑤	見切 : L-20×20 SOP塗装
⑥	天井点検口 450角 (目地) : 1階 9箇所、2階 3箇所
⑦	天井点検口 450角 (額縁) : 1階 6箇所、2階 1箇所



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

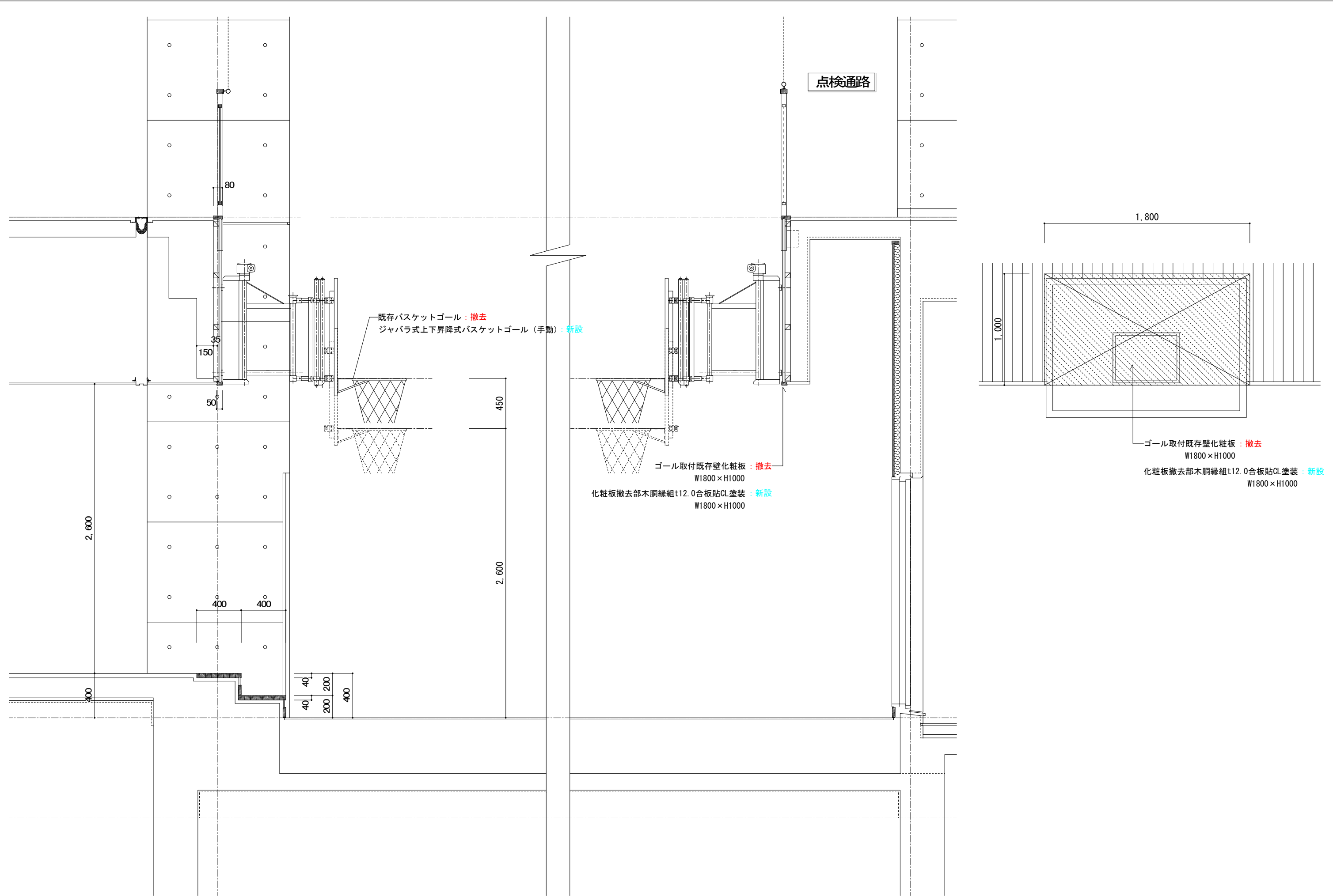
製作年月日
26. 03

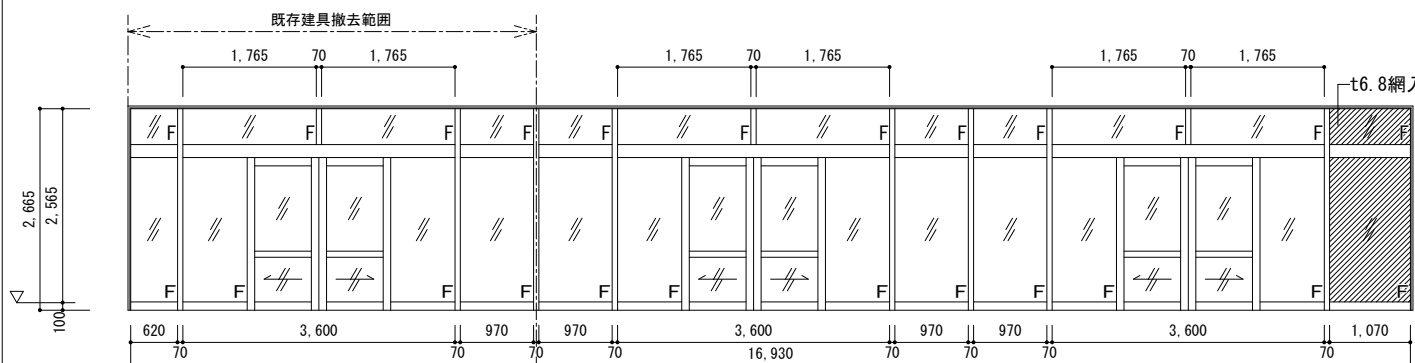
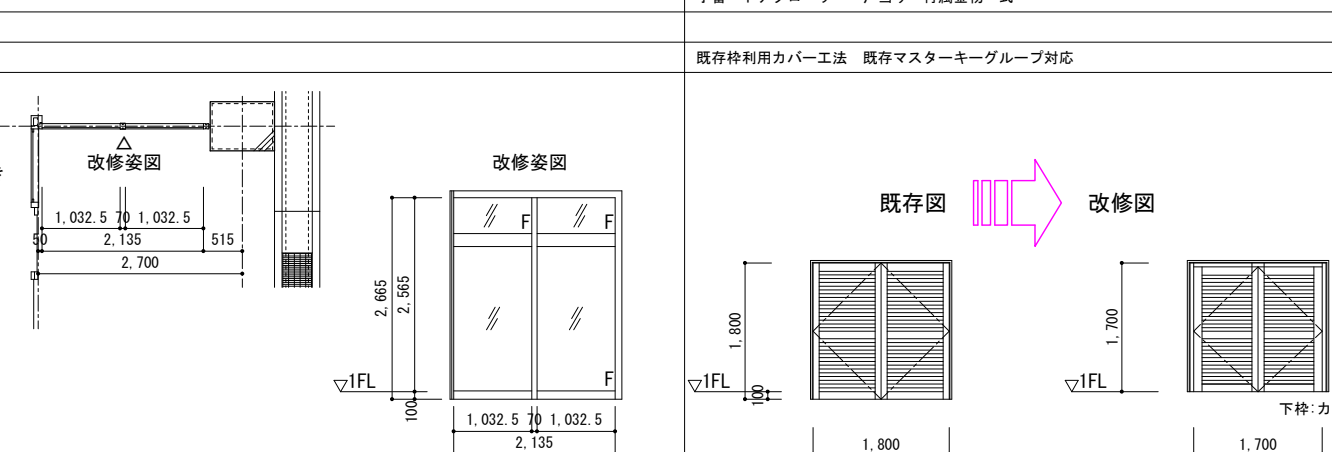
設計番号
25_42

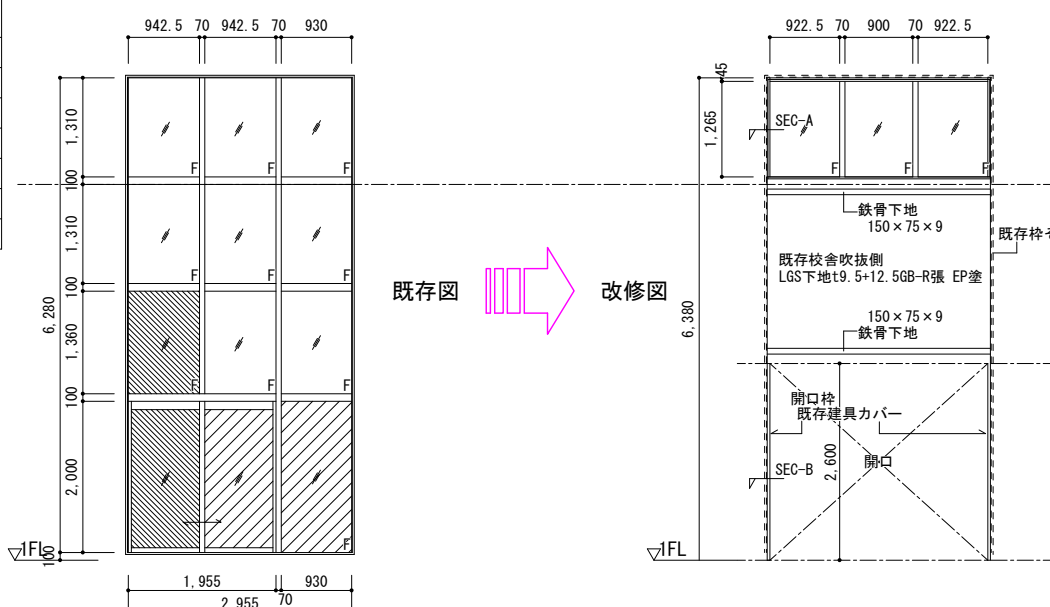
図面番号
A-79

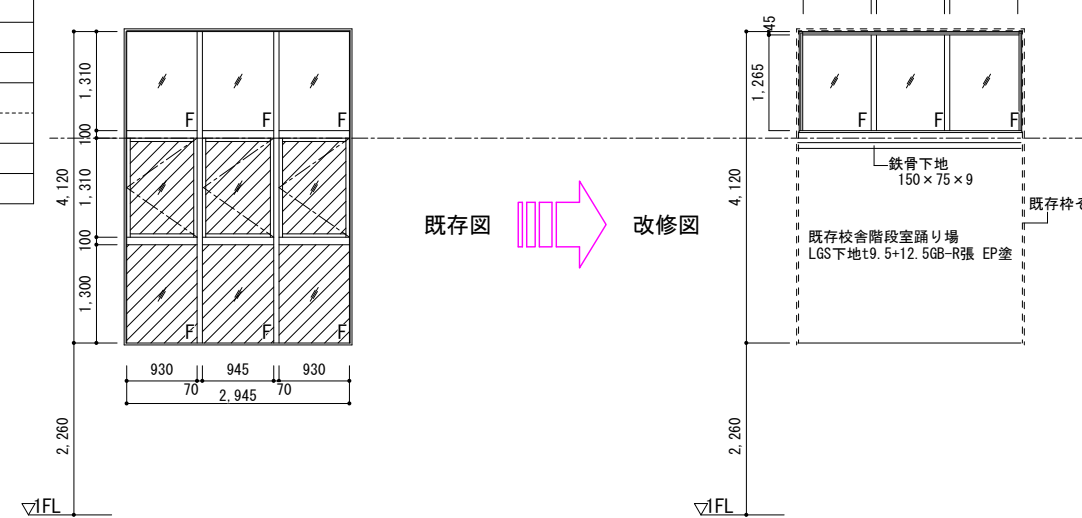
工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
既存改修 2階天井伏図


縮尺
1:400




符号・種類		① ADK	既存建具改修		枠見込 70	② ADK	既存建具改修 両開き框ガラリ戸	
数・場所		1	昇降口			1	1階 倉庫5	
材 料		アルミ				アルミ		
仕 上		アルマイト (BA-1種)				アルマイト (BA-1種)		
金 物		3方アルミ額縁				3方アルミ額縁 下枠ステンレス レバーハンドル錠		
		既存建具取合アルミPLt2.0成型				丁番 ドアクローザー 戸当り 付属金物一式		
ガ ラ ス		6mm フロート						
備 考		衝突防止シール				既存枠利用カバー工法 既存マスターキーグループ対応		
姿 図								


符号・種類		① AWK	既存建具改修	
数・場所		1	階段-4 (吹抜部)	
材 料		アルミ		
仕 上		アルマイト (BA-1種)		
金 物		3方アルミ額縁		
		開口部分開口枠:t2.0アルミパネル成形		
ガ ラ ス		t4.0学校用強化ガラス (透明)		
備 考				
姿 図				

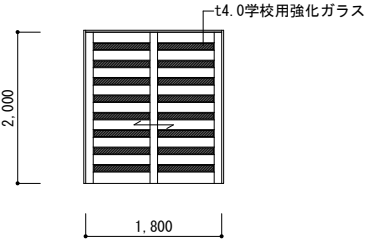
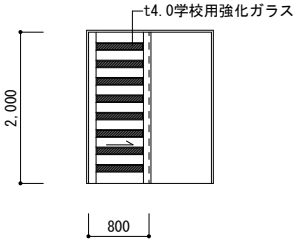
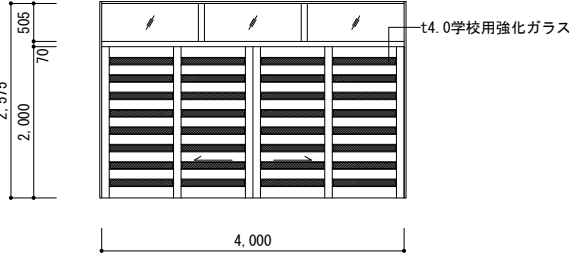
符号・種類		② AWK	既存建具改修	
数・場所		1	階段-4	
材 料		アルミ		
仕 上		アルマイト (BA-1種)		
金 物		3方アルミ額縁		
ガ ラ ス		t4.0学校用強化ガラス (透明)		
備 考				
姿 図				

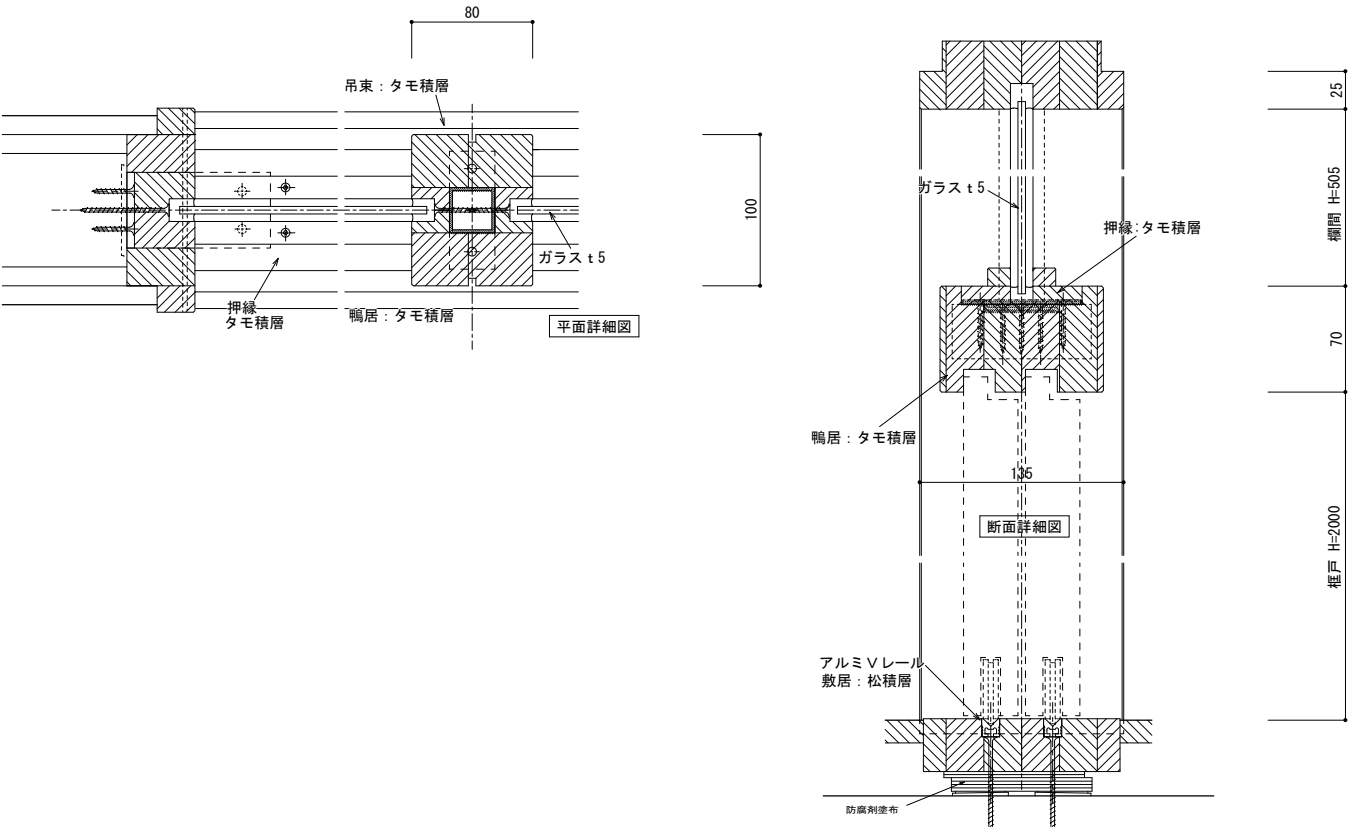
 株式会社 釣谷建築事務所		1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-81	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 図示
							既存建具 撤去・改修図-1	

符号・種類		3 ANK	既存建具改修	
数・場所		1	1階 普通教室（1）：既存校長室	
材 料		アルミ		
仕 上		アルマイト（BA-1種）		
金 物		額縁用アングルピース t2.0アルミパネル		
ガ ラ ス				
備 考				
姿 図				
符号・種類		4 ANK	既存建具改修	
数・場所		1	2階 普通教室（4）：既存生徒ラウンジ	
材 料		アルミ		
仕 上		アルマイト（BA-1種）		
金 物		額縁用アングルピース t2.0アルミパネル		
ガ ラ ス		t4.0学校用強化ガラス（透明）		
備 考		網戸（ガラス繊維入合成樹脂）		
姿 図				
符号・種類				
数・場所				
材 料				
仕 上				
金 物				
ガ ラ ス				
備 考				
姿 図				

	株式会社 鈞谷建築事務所	1級建築士 第119816号 吉田 典生	製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-82	工事名称	西部地区小学校災害復旧工事	縮尺 図示
						図面名称	既存建具 撤去・改修図-2	

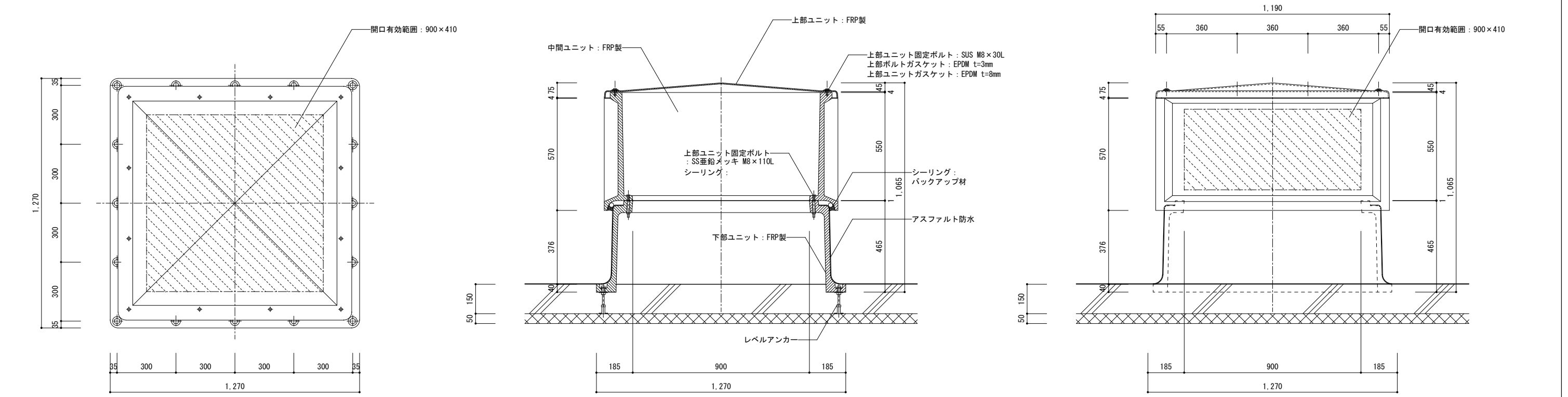
符号・種類	<div>TB1</div>	トイレブース	<div>TB2</div>	トイレブース（吊り戸式）	<div>TB3</div>	トイレブース	<div>TB4</div>	トイレブース（吊り戸式）				
数・場 所	1	1階 GWC-1	1	1階 GWC-1	1	1階 LWC-1	2	1階 LWC-1、2階 LWC-4				
材 料												
仕 上												
金 物	壁受け金物、ステンレス巾木 更新		壁受け金物、ステンレス巾木 更新		壁受け金物、ステンレス巾木 更新		壁受け金物、ステンレス巾木 更新					
ガ ラ ス												
備 考	既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け					
姿 図												
符号・種類	<div>TB5</div>	トイレブース	<div>TB6</div>	トイレブース	<div>TB7</div>	トイレブース	<div>TB8</div>	トイレブース				
数・場 所	2	1階 GWC-2、2階 GWC-5	2	1階 LWC-2、2階 LWC-5	1	2階 GWC-4	1	2階 LWC-4				
材 料												
仕 上												
金 物	壁受け金物、ステンレス巾木 更新		壁受け金物、ステンレス巾木 更新		壁受け金物、ステンレス巾木 更新		壁受け金物、ステンレス巾木 更新					
ガ ラ ス												
備 考	既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け					
姿 図												
符号・種類	<div>TB9</div>	トイレブース	<div>TB10</div>	トイレブース	<div>TB11</div>	トイレブース						
数・場 所	1	1階 LWC-3	1	1階 LWC-3	1	1階 GWC-3						
材 料												
仕 上												
金 物	壁受け金物、ステンレス巾木 更新		壁受け金物、ステンレス巾木 更新		壁受け金物、ステンレス巾木 更新							
ガ ラ ス												
備 考	既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け		既存ブース取外し、再取付け							
姿 図												
 株式会社 鈞谷建築事務所		1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03		設計番号 25_42		図面番号 A-83		工事名称 西部地区小学校災害復旧工事		縮尺 図示
										図面名称 既存建具 撤去・改修図-3		

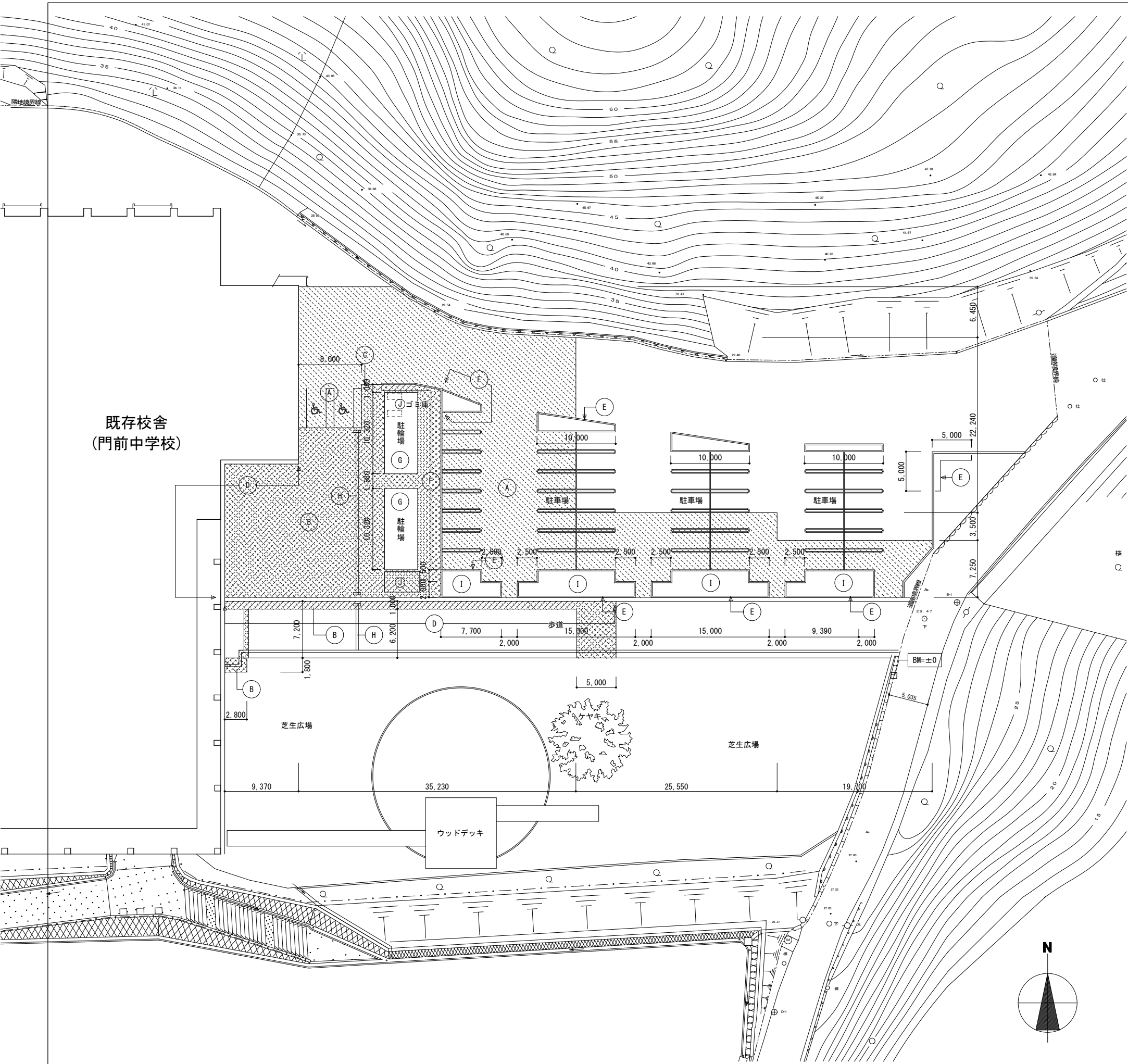
符号・種類	<div>WD101</div>	引違い框戸	枠見込:130	<div>WD102</div>	片引き框戸	枠見込:130
数・場 所	1	1階 和室（物入）		6	1階 和室（湯沸室） 1階 普通教室2.3.4 2階 普通教室5.6	
材 料	扉框：タモ単材 敷居：マツ積層材（35×120） 建具枠：t1.6スチール成型			扉框：タモ単材 敷居：マツ積層材（35×50） 建具枠：t1.6スチール成型		
仕 上	木部：CL塗装 スチール枠：SOP塗装			木部：CL塗装 スチール枠：SOP塗装		
金 物	引違い鎌錠、引手、戸車、ストッパー			引違い鎌錠、引手、戸車、ストッパー		
	付属金物一式			付属金物一式		
ガ ラ ス	t4.0学校用強化ガラス			t4.0学校用強化ガラス		
備 考	戸先指詰め防止緩衝材、敷居埋込アルミVレール			戸先指詰め防止緩衝材、敷居埋込アルミVレール		
姿 図						
符号・種類	<div>WD103</div>	4枚建引違い框戸	枠見込:135			
数・場 所	6	1階 普通教室2.3.4 2階 普通教室5.6.7				
材 料	扉框：タモ単材 敷居：マツ積層材（35×120） 建具枠：t1.6スチール成型					
仕 上	木部：CL塗装 スチール枠：SOP塗装					
金 物	引違い鎌錠、引手、戸車、ストッパー					
	付属金物一式					
ガ ラ ス	t4.0学校用強化ガラス ランマ部:t5.0フロート透明ガラス					
備 考	戸先指詰め防止緩衝材、敷居埋込アルミVレール					
姿 図						
符号・種類						
数・場 所						
材 料						
仕 上						
金 物						
ガ ラ ス						
備 考						
姿 図						



符号・種類		1-1	生徒ロッカー		1-2	生徒ロッカー		1-3	生徒ロッカー		1-4	生徒ロッカー		2-1	掃除用具入れ		2-2	掃除用具入れ	
数・場所		4	1階 普通教室（2～4）、2階 普通教室7		2	2階 普通教室5.6		1	1階 普通教室（1）		1	1階 普通教室（1）		6	1階 普通教室（1.2.4）、2階 普通教室（5.6.7）		1	1階 普通教室（3）	
材 料		天板（芯材：ランバーコア合板）、内部棚板：木製												木製芯材					
仕 上		天板、内部棚板天端、巾木、小口：メラミン化粧板貼 その他ポリ合板貼												扉：メラミン化粧板フラッシュ、外装その他：メラミン化粧板貼、内部ポリ合板					
金 物														丁番、取手、マグネットキャッチ、ステンレスパイプφ25 PL1.0ステンレス成型受皿、付属金物一式					
ガ ラ ス														換気口、掃除用具吊金物、雑巾掛					
備 考																			
姿 図																			
符号・種類		3	スライダー式曲面黒板				4	壁付ハンガーフック				5	ブロックキッチン						
数・場所		7	1階、2階 普通教室				7	1階、2階 普通教室				1	1階 湯沸室（会議室）						
材 料		アルミホーロー黒板								ライニング：芯材：耐水KMDF									
仕 上										ライニング：メラミン化粧板、ポストフォーム加工、キッチンパネル：ホーロー									
金 物		アルミ枠、チョークボックス、操作ハンドル、アルミ粉受、ビクチャーレール、附属金物一式				品番：YKS 135型アルミレール：2.0m 可倒式スチールフック：16個				水栓等付属金物一式									
ガ ラ ス																			
備 考		電動クリーナー付、50mm角暗線引き				下地補強 t0.4鋼板				タカラスタンダード株式会社「アビスカ」同等品									
姿 図																			
符号・種類		6	章典棚																
数・場所		1	1階 エントランス																
材 料		芯材：木製 枠：t1.2鋼板成形																	
仕 上		木部：メラミン化粧板貼 鋼板：塩ビフィルム貼、内部：ポリ合板貼																	
金 物		ステンレスレール、引き戸用鍵 t5.0フロートガラス（引手彫）、ステンレスハカマ																	
ガ ラ ス		t5.0フロートガラス																	
備 考																			
姿 図																			
株式会社 釣谷建築事務所		1級建築士 第119816号 吉田 典生				製作年月日 26.03				設計番号 25_42		図面番号 A-85		工事名称 西部地区小学校災害復旧工事				縮尺 1:100	
														家具図（既存校舎）					

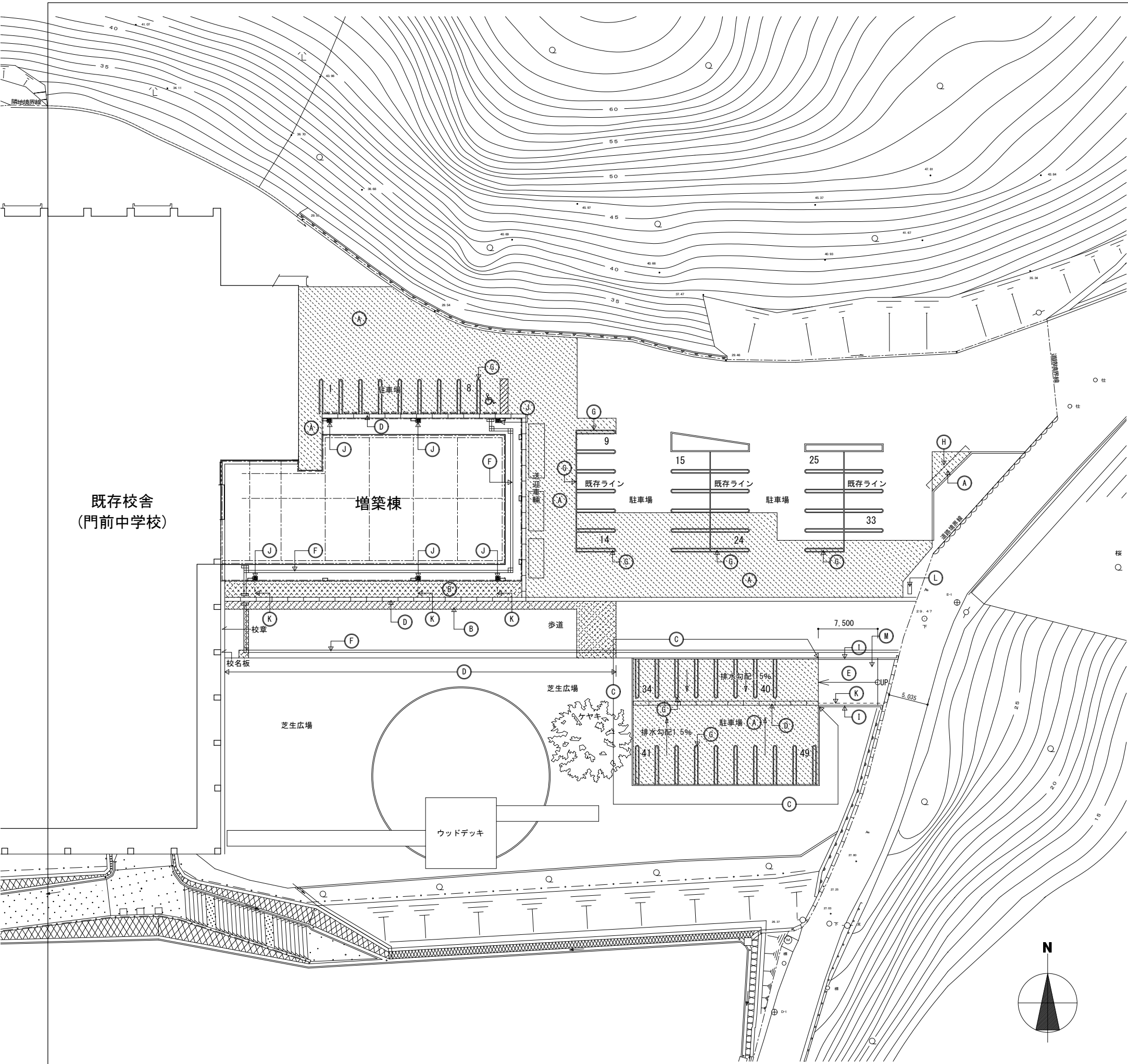
D-1 増築棟 屋上機械基礎詳細図 S=1/10		D-2 増築棟 EXP金物詳細図 S=1/5			D-4 室名, 責任者札 S=1/5			
D-3 上下式曲面黑板取付用下地詳細図 S=1/20		D-5 校内案内板 S=1/50		D-6 校名サイン板 S=1/30				
		D-7 増築棟廊下手洗い上部天井折り上げ詳細図 S=1/20						
株式会社 鈞谷建築事務所		1級建築士 第119816号 吉田 典生		製作年月日 26.03	設計番号 25_42	図面番号 A-86	工事名称 西部地区小学校災害復旧工事 図面名称 部分詳細図-1	縮尺 図示





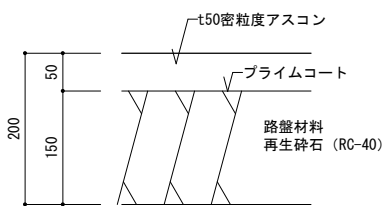
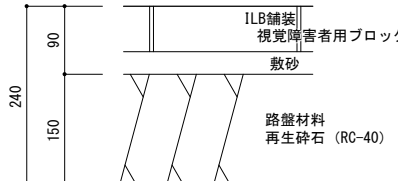
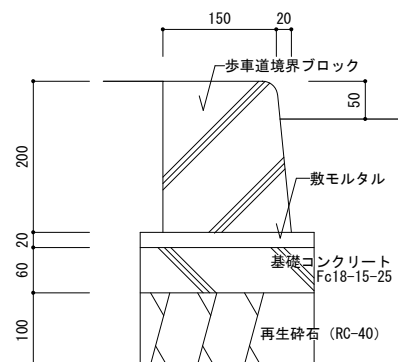
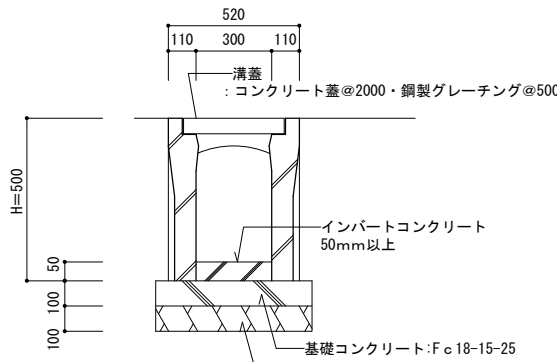
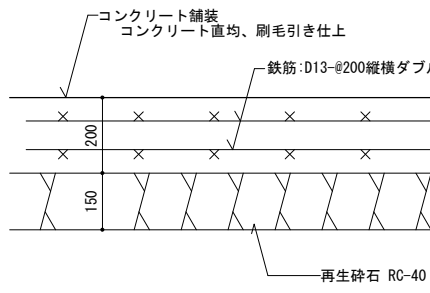
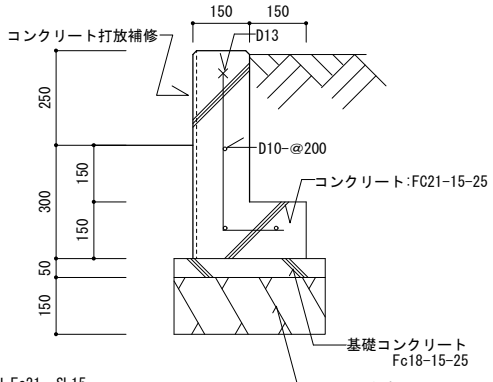
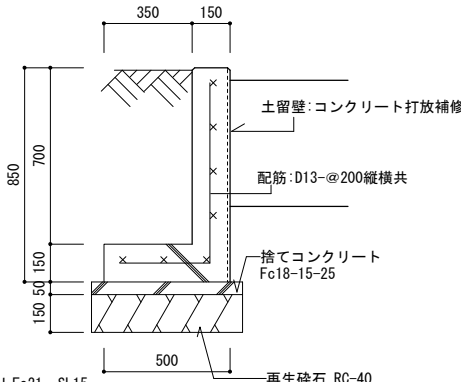
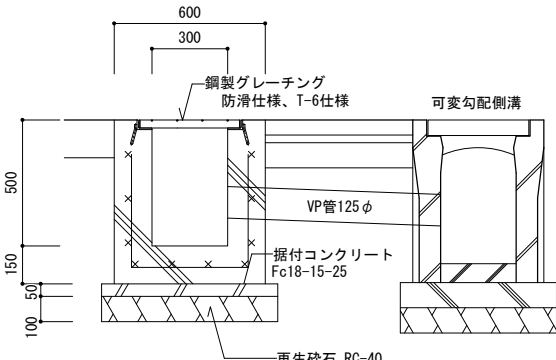
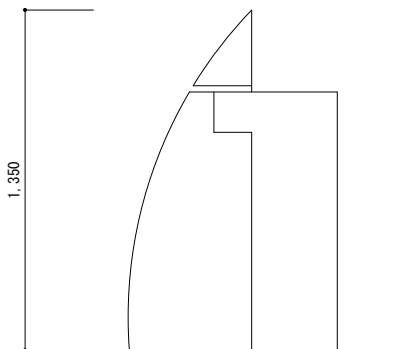

凡例

Ⓐ	アスファルト舗装撤去	
Ⓑ	インターlockingブロック舗装撤去	
Ⓒ	コンクリート縁石撤去	
Ⓓ	可変勾配側溝撤去	
Ⓔ	花壇縁撤去	
Ⓕ	防風塀撤去	
Ⓖ	駐輪場撤去 (木造)	
Ⓗ	障害者用誘導ブロック撤去	
Ⓘ	植栽撤去 (伐採、伐根) 中木 (メタセコイア) 6本 低木 (ツツジ) 株立 22本	
Ⓙ	既存移設: 倉庫 (2.6m×4.45m) 1棟、 アルミ製ゴミ庫 (1.8m×0.8m) 2ヶ所 ビニールハウス (5.5m×5.0m) 1棟 敷地内指定場所に移設	



凡例

Ⓐ	アスファルト舗装 t50密粒度アスコン、プライムコート 路盤:再生砕石RC-40 路床整正	
Ⓑ	インターロッキングブロック舗装 インターロッキングブロック既存撤去材再利用 敷砂、路盤:再生砕石RC-40	
Ⓒ	歩車道境界ブロック (コンクリート) 歩車道境界ブロック:200×150 (170)、据付モルタル 基礎コンクリート、再生砕石RC-40	
Ⓓ	可変勾配側溝 溝幅300、H=500、勾配:0.3% 溝蓋:コンクリート蓋、グレーチング蓋400×500 @5000	
Ⓔ	コンクリート舗装 t200コンクリート直均 刷毛引き仕上 鉄筋:D13-@200縦横ダブル 路盤:t150再生砕石RC-40	
Ⓕ	視覚障害者用誘導ブロック 誘導ブロック、注意喚起ブロック:コンクリートブロック300×300 敷砂 コロネード部分は磁器質タイルブロック	
Ⓖ	ライン引き 新設アスファルト舗装部分 W100 溶融式 駐車区画、車椅子マーク 車止めブロック (9台分18ヶ所)	
Ⓗ	花壇縁 立上り壁:コンクリート打放補修 コンクリートFc21-15-25 配筋:D10-@200 縦横共 端部D13	
Ⓘ	コンクリート土留 立上り壁:コンクリート打放補修 コンクリートFc21-15-25 配筋:D13-@200縦横共	
Ⓙ	雨水樹 樹寸法:300×300 細目鋼製グレーチング 400×400 防滑加工 T-6耐荷重 可変勾配接続:VP管125φ	
Ⓚ	埋設配管 可変勾配接続:VP管125φ	
Ⓛ	新校名サイン板 (詳細図 D-6)	
Ⓜ	既存門柱移設 (校内指定場所へ移設)	

<div><div>A</div><div>AS舗装（アスファルト舗装）</div><div>S=1/10</div></div> <div></div>	<div><div>B</div><div>ILB舗装（インターロッキングブロック舗装）</div><div>S=1/10</div></div> <div></div>	<div><div>C</div><div>コンクリート縁石</div><div>S=1/10</div></div> <div></div>	<div><div>D</div><div>可変勾配側溝</div><div>S=1/30</div></div> <div></div>	<div><div>E</div><div>コンクリート舗装</div><div>S=1/20</div></div> <div></div> <div>コンクリートFc21 SL15</div>			
<div><div>H</div><div>花壇縁</div><div>S=1/20</div></div> <div></div> <div>コンクリートFc21 SL15</div>	<div><div>I</div><div>コンクリート土留</div><div>S=1/30</div></div> <div></div> <div>コンクリートFc21 SL15</div>	<div><div>J</div><div>コンクリート雨水樹</div><div>S=1/30</div></div> <div></div> <div>コンクリートFc21 SL15</div>					
<div><div>M</div><div>既存門柱</div><div>S=1/30</div></div> <div>御影石 W800×H1350×D450</div>							
<div></div>							
<div> 株式会社 鈞谷建築事務所</div>	<div>1級建築士 第119816号 吉田 典生</div>		<div>製作年月日</div> <div>25. 12</div>	<div>設計番号</div> <div>25_42</div>	<div>図面番号</div> <div>A-91</div>	<div>工事名称</div> <div>西部地区小学校災害復旧工事</div> <div>図面名称</div> <div>外構計画詳細図</div>	<div>縮尺</div> <div>図示</div>

エレベーター仕様		
号機名		NO. 1
型式		—
用途		乗用兼車いす用
定格積載質量/定員		750kg/11人乗
定格速度		45m/min
運転方式		乗合全自動方式（乗り捨て方式）
制御方式		インバータ制御方式（マイコン制御、アナウンス付）
停止階		2箇所（1,2階）
かご寸法		間口1400mm 奥行1350mm 天井高さ2250mm
出入口寸法		幅800mm 高さ2100mm
戸型式		2枚戸中央開き
電動機		AC 3. 5kW
動力用電源		AC 3φ 200V 60Hz
照明用電源		AC 1φ 100V 60Hz
連絡装置設置場所		同時通話式インターホン 設置場所：1階職員室
監視装置		リモートメンテナンスインターフェース付 （リモートメンテナンスを提供するためには、別途保守契約を していただく必要があります）
管制運転	地震	有り（P波およびS波感知）（リスタート機能付）
	火災	有り（火報と連動した接点による自動式）
	停電	有り
	自家発	無し
建物用途別標準装備仕様		ドアングナル付マルチビームドアセンサー付
		ケアフルセンサー付
		ナノノイズ発生装置付
		戸開き時間延長ボタン付
乗場仕様	三方枠	1, 2階 大枠 鋼板塗装仕上（既設品活用）
	乗場戸	1, 2階 鋼板塗装仕上（5分ツヤ）
	幕板	1, 2階 無し
	敷居	1, 2階 硬質アルミ（既設品活用）
	ホールランタン	1, 2階 無し
	インジケーター	1, 2階 縦型デジタル表示（既設ケース活用） カバー：ステンレスバイブレーション仕上
	ホールボタン	1, 2階 抗菌凸文字ボタン（φ45）（S1AA認証） インジケーターに組込
	天井	スクエアタイプ（S-01 ）（天井照明色：白色）
	前側板	ステンレスバイブレーション仕上
	側板	化粧鋼板
かご仕様	戸	化粧鋼板
	出入口上部	ステンレスバイブレーション仕上
	床	樹脂タイル（2T）
	幅木	化粧鋼板（アルミナムシルバー）
	敷居	硬質アルミ
	操作盤	ボタン 抗菌凸文字ボタン（φ33）（S1AA認証） カバー ステンレスバイブレーション仕上（ボタン周囲部のみクリアフィルム付）
	インジケーター	カラー液晶表示（背景色：白）操作盤に組込
	車いす用操作盤	ボタン 抗菌凸文字ボタン（φ33）（S1AA認証） カバー ステンレスバイブレーション仕上（クリアフィルム付）
	気くばり操作盤	ボタン 無し カバー 無し
	鏡	ステンレス製
	ハンドレール	ステンレスパイプ：ステンレスバイブレーション仕上
	監視盤	無し
	耐震クラス	A1.4
	既設活用品	三方枠、乗場敷居
		インジケーターケース
		フェッシャプレート

NO. 1	
特記仕様	昇降機技術基準の解説 2016年版対応
	縦型操作盤 クリアフィルム貼り（1セット）
	横型操作盤 クリアフィルム貼り（2セット）
	音声案内装置付（緊急時4ヵ国語）（福祉のまちづくり条例対応）
	音声案内の入切スイッチをかご内操作盤ボックスに設置
	遮煙性能付乗場戸（大臣認定番号：CAS-0216）（火災、停電付）（1, 2階）
	点字注意銘板付（横型）
	車いす仕様付
	視覚障がい者仕様付（全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付）
	運転休止スイッチ（2階に取付）
	メンテナンスサービス提供用カメラ付
	車いす呼び戸開き時間延長
	一般呼び戸開き時間延長
	発音式ボタン（かご）
	非常放送・一般放送用スピーカー付（かご天井上）
	スピーカー用アッテネータをかご上に設置
	かご内荷摺り（ステンレスヘアライン仕上、床からH=300mm）
	かご内操作盤非常ボタンに誤操作防止カバー（アクリル製）付
	車いす操作盤（主・副）非常ボタンに誤操作防止カバー（アクリル製）付
	エコケーブル付
	絶縁トランス付
	警報ブザーをかご上に取付
	非常ボタン連動 無電圧接点支給
	煙感知器点検専用ドアスイッチ付
	公共建築工事標準仕様書適用
	4 mレール使用
	ステンレス材一式：SUS304
	敷居間ギャップ縮小化
	ビット冠水時退避運転（基本仕様）

標準型エレベーターの荷役制限について
・軽台車などで荷物を運搬する場合には、250kg以下/回。

労基法適用（本設用）：有（設置届・設置報告）・（無）

手垢汚れ防止用クリアフィルムについて
・クリアフィルムは、爪や指輪、バッグなどによる剥がれや傷、経年による摩耗など、 外的要因によるダメージは保証できません。

遮煙性能付乗場戸設置上の条件
・遮煙性能付乗場戸を設置するためには、自動火災報知設備が必要です。 設置義務の無い建物であっても、必ず設けてください。 ・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、遮煙性能付乗場戸設置階の エレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器設置し、 火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給してください。

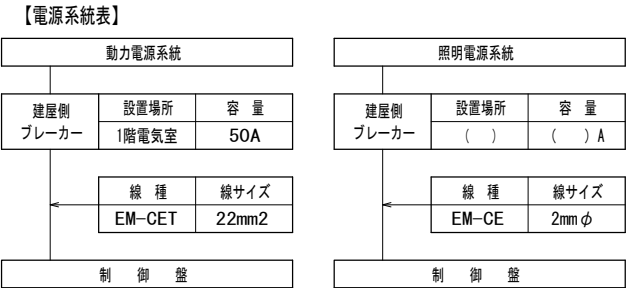
特定防火設備：防犯窓ガラス設置不可（防犯あみ入りガラス窓付きの場合は防火設備となります）
--

工事区分				
号機名	NO. 1			
建築関係	項目	工事名	EV	建築
	1	〈各階〉エレベーターホールの安全間仕切り（設置・移設）工事	○	
	2	ストックヤード等の仮設養生・撤去、清掃・処分工事	○	
	3	スロープ・ステージ、門型・トロリー等設置及び撤去工事	○	
	4	仮設分電盤の設置・撤去工事	○	
	5	足場・ゴンドラ等の組立・解体工事	○	
	6	塔内新設鋼材取付工事（中間ビーム）	○	
	7	昇降路壁（研り跡）の補修工事	○	
	8	〈各階〉敷居の再研磨	○	
	9	〈各階〉三方枠の仕上工事	○	
	10	足場・ゴンドラその他仮設材のリース	○	
	11	交通誘導員・警備員（搬出時のみ）	○	
	12	廃棄物処分費（EV本体を除く）	○	
	13	現場経費（申請・届出・調査・試験、保険・補償費、その他）	○	
	14	構造計算費	○	
	15	完成図書費	○	
	16	現場共益費等	○	
	17	躯体調査費（ウォールスキャナー）	○	
	18	別途関連工事の作業立会等（作業内容：火報連動試験、非常放送試験時立会）	○	
	19	各所小はつり作業	○	
	20	ビットスラブの強度計算及び強度が不足する場合の補強工事		○
	21	エレベーター廻り建材のアスベスト含有調査及び含有時の撤去等対策工事		○
	22	PCB含有機器がある場合の引き取り・運搬・処分費用		○

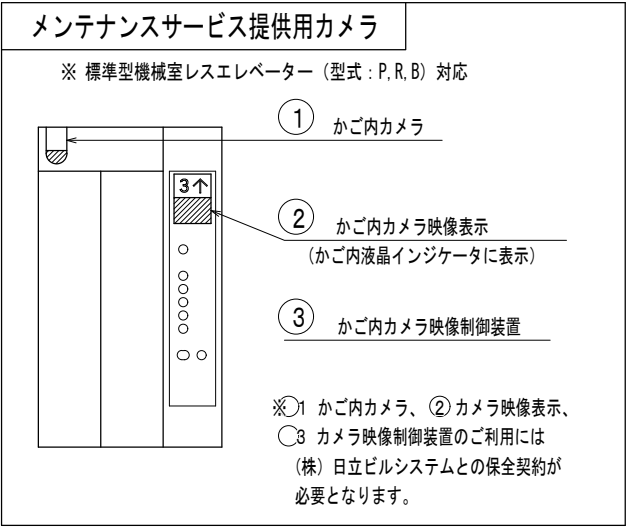
工事区分				
号機名	NO. 1			
電気関係	項目	工事名	EV	別途
	1	動力電源の配管・配線（延長・盛替え）工事	○	
	2	〈照明電源・インターホン・遠隔監視・火報・放送〉の配管・配線延長・盛替え工事	○	

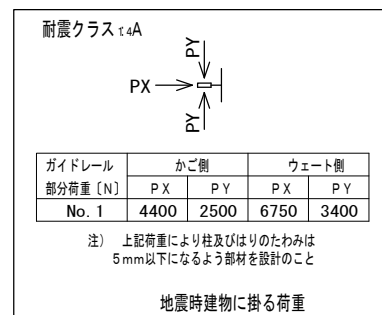
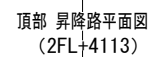
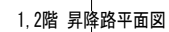
作業条件	
1	工事用の電力、水の供給をお願いします
2	工事作業員の休憩所、トイレの確保をお願いします
3	作業員の通勤、工具運搬用車両の駐車場の確保をお願いします
4	資材置場の確保をお願いします

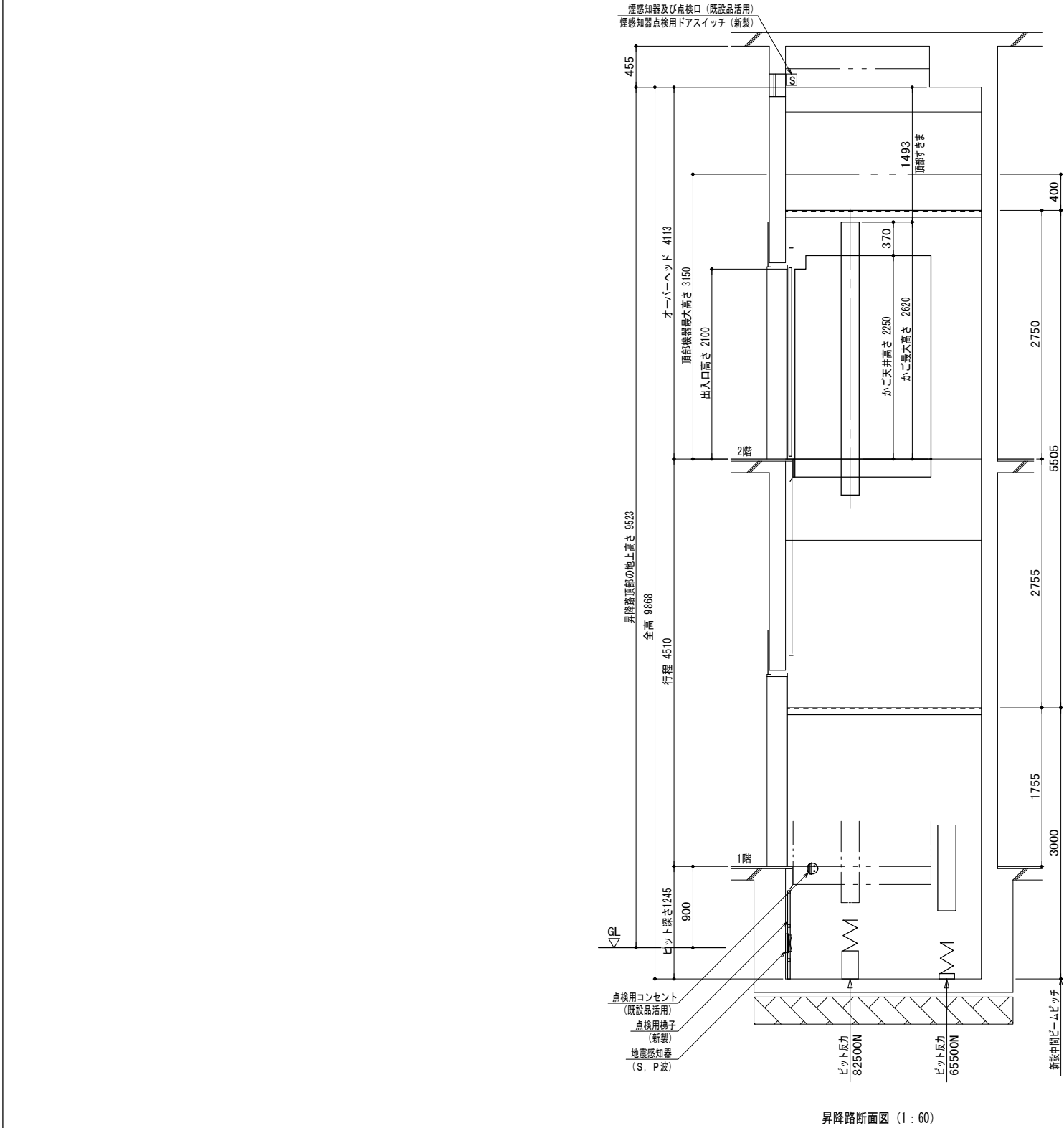
電気設備				
号機名	NO. 1			
動力用電源	AC 3φ 200V 60Hz 22mm2×1回路 (EM-CET) /台			
	線サイズ (mm ²)	14	22	38
	最大引込距離 (m)	137	208	346
	MCB容量	30A/台		
	トランス容量	4kVA/台		
	起動kVA	13kVA/台		
照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz 2mmφ×1回路/台			
アース線	2mm ² (D種) /台			
インターホン用配管配線	EM-CPEE 0.9-5P/台 (200mまで)			
リモートメンテナンス用配管配線 (電話線)	EM-CPEE 0.9-1P、配管サイズφ25/台 (MDF～昇降路間)			
インターホン連動用の無電圧 a 接点支給及び配管配線	印加電圧DC48V 接点容量0.1A以下			
火災報知信号無電圧 a 接点支給及び配管配線	印加電圧DC24V 接点容量1A以上/台			
一般兼非常放送用スピーカー用配管配線	EM-HP 1.2-3P／台			
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み 上記の配管配線はエレベーターの着工前までに本設配線で引込み			



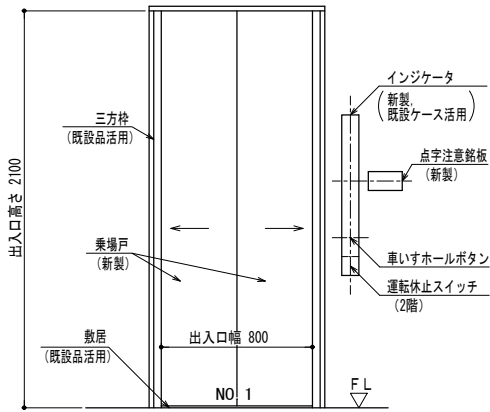
弱电設備設置場所			
自火報盤	インターホン	放送設備	監視盤
1階職員室			



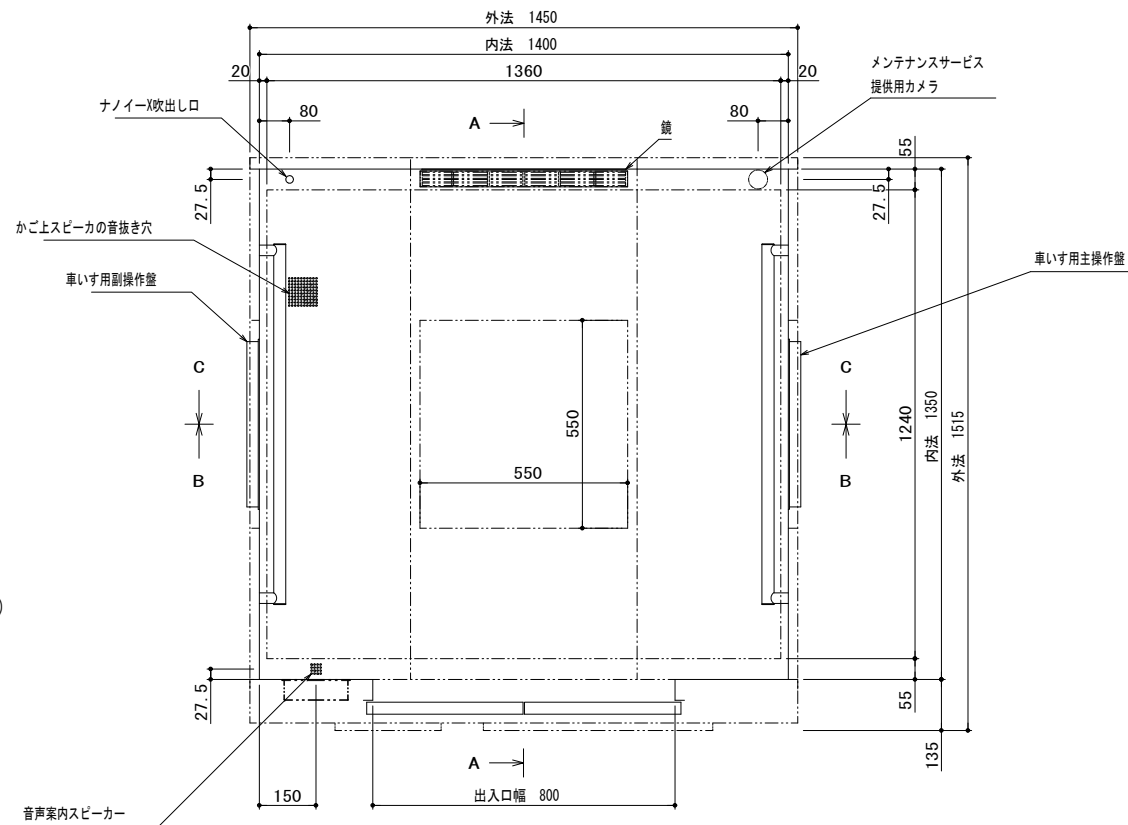
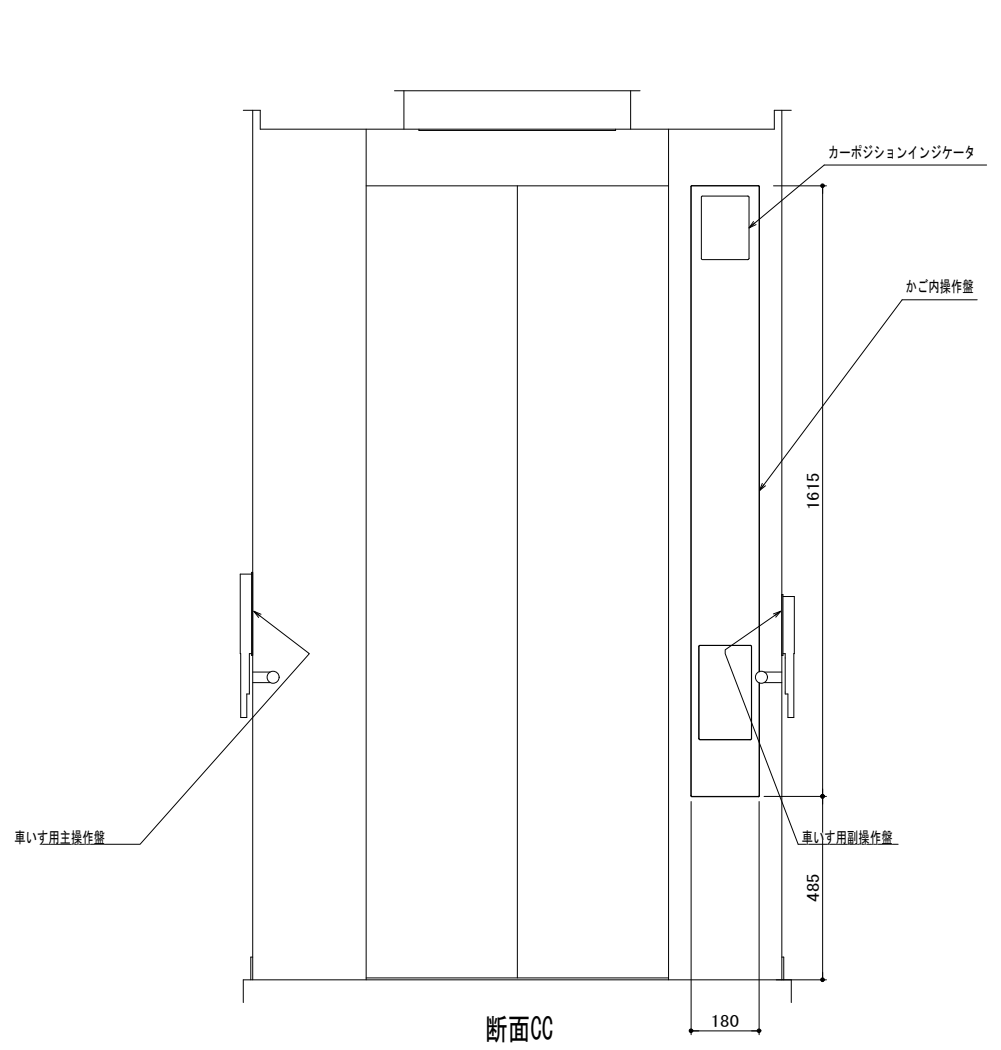




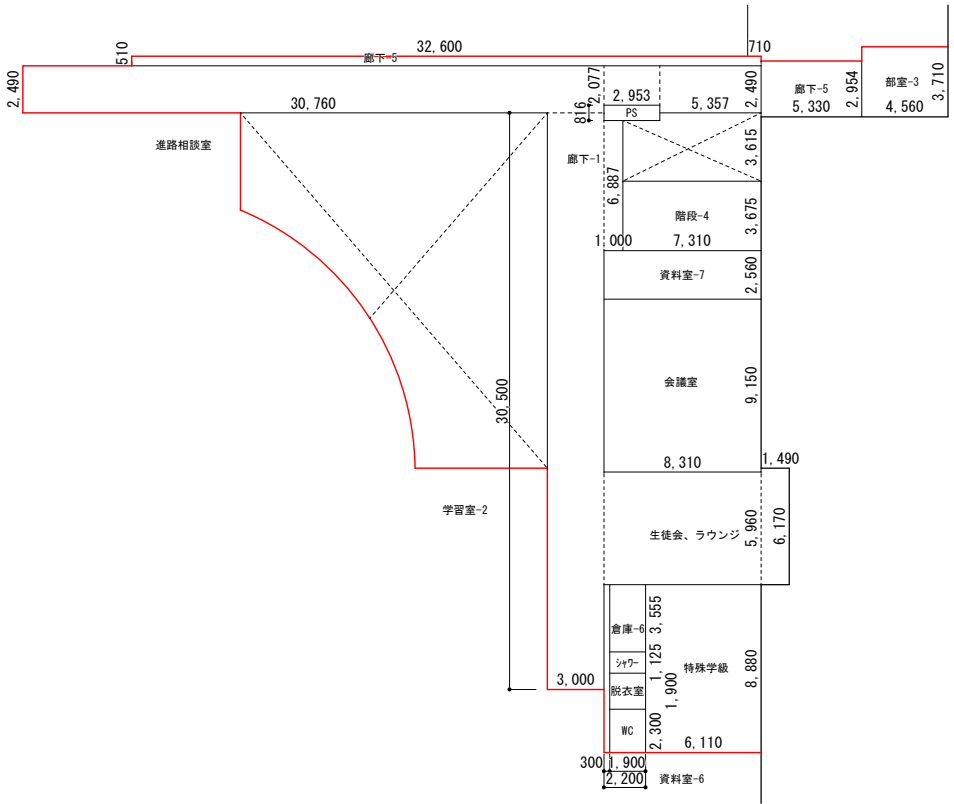
昇降路断面図 (1 : 60)



出入口正面図 (1 : 40)

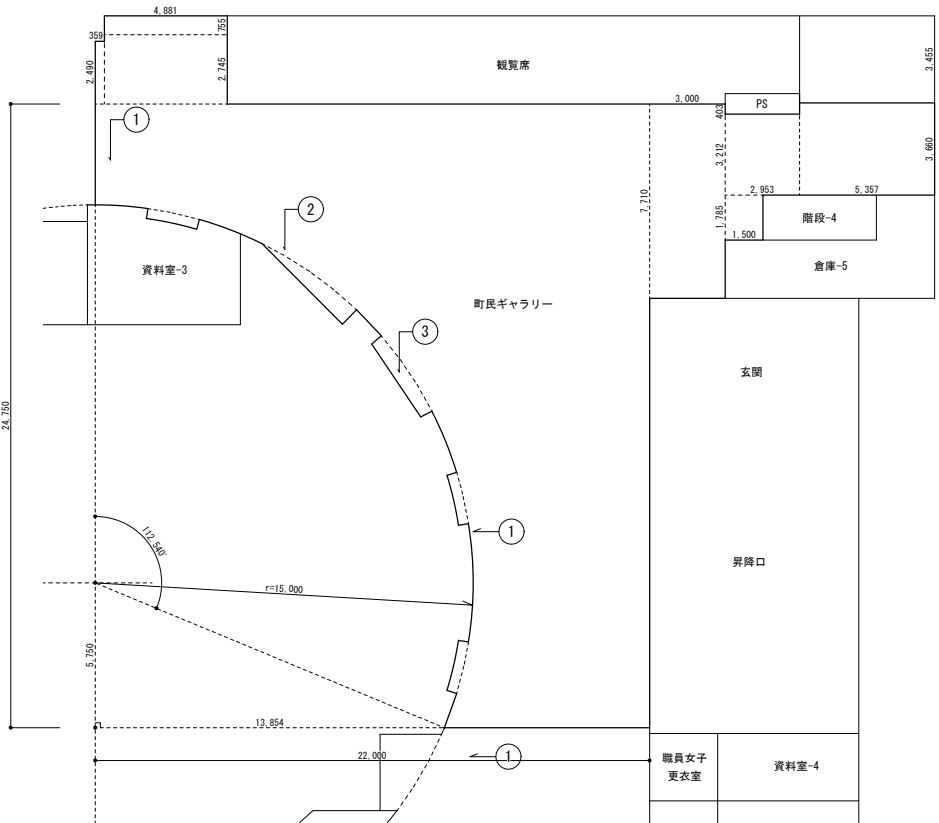


品 名	仕 様
前側板, 出入口上部枠	ステンレスパイプレーション仕上
幅 木	化粧鋼板 (アルミナムシルバー)
側板, 戸	化粧鋼板
天井	化粧鋼板
照 明	乳白色アクリルカバーLED照明 (天井照明色 : 白色)
停電灯	LED
換 気	ファン
床	樹脂タイル (2T)
敷 居	硬質アルミ
鏡	ステンレス鏡面 (両脇へアライン仕上)
ハンドレール	ステンレスパイプ (パイプレーション仕上)
光電装置	ドアシグナル付マルチビームドアセンサー
天井換気ルーバー	ABS樹脂 (グレー)
荷摺り	ステンレスヘアライン仕上 (床から300mm)
付属品	車いす仕様付, 視覚障がい者仕様付
	ケアフルセンサー付, ナノイーX発生装置付
	音声案内装置付
	非常放送・一般放送用スピーカー付
	メンテナンスサービス提供用カメラ付※ ※EVメーカー所有

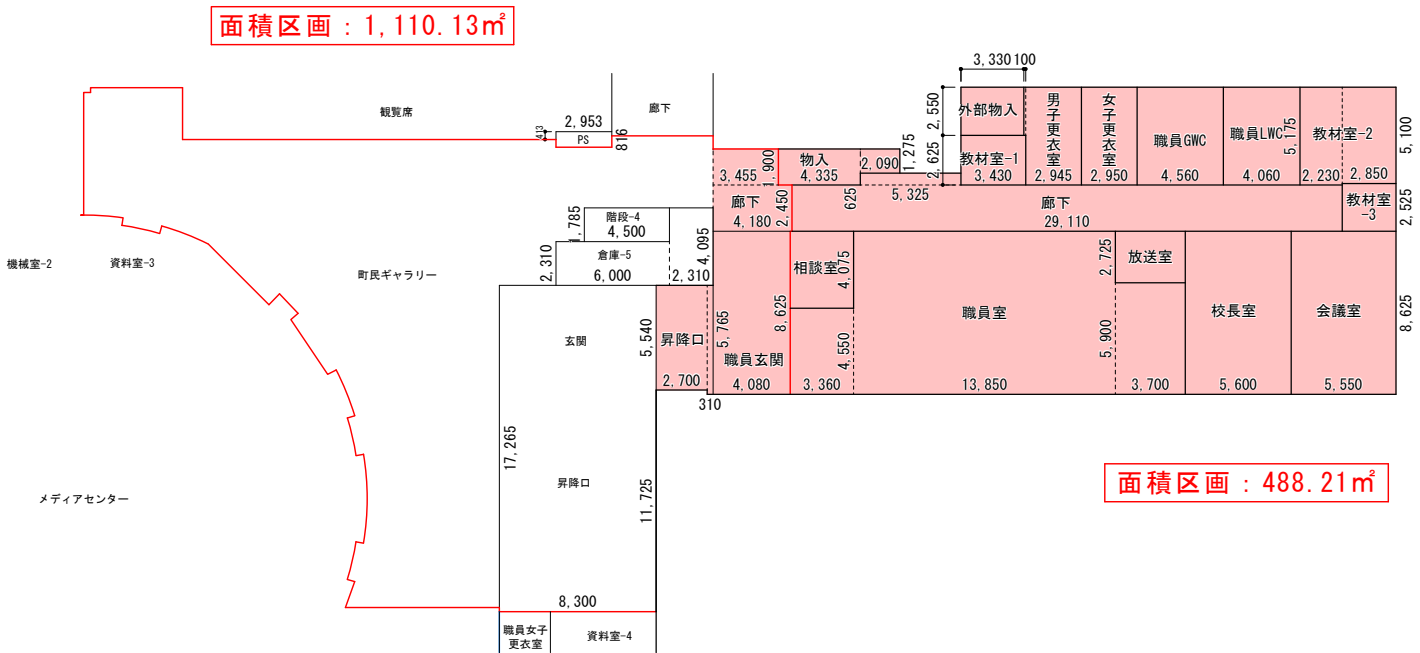


2 階

… 増築範囲



▲町民ギャラリー平面図1/300



1 階

面積区画 : 488.21m²

面積区画 : 1,110.13m²



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

設計番号
25_42

図面番号
法-01

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事

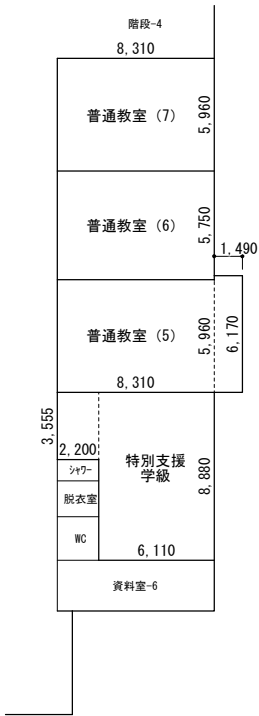
図面名称
各室面積表・防火区画面積表-1 (増築棟完成時)

縮尺
1:400

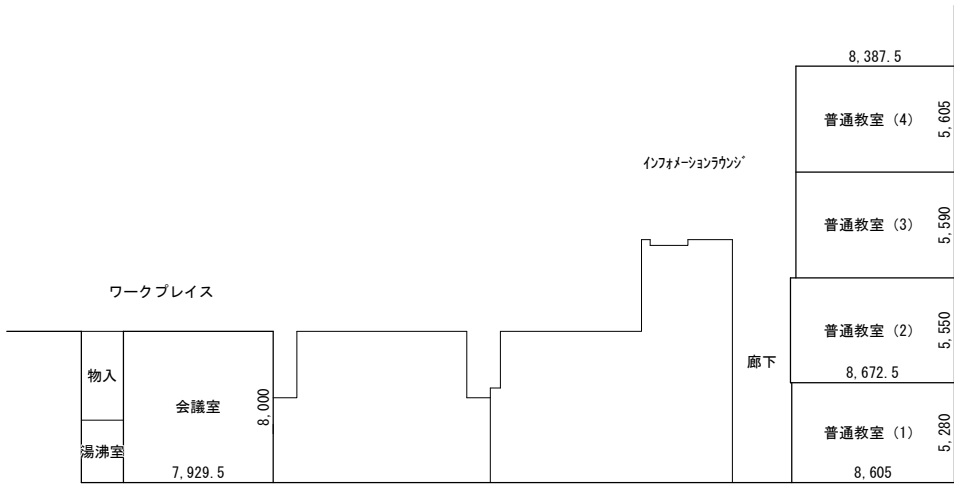
		室名	計 算 式		面 積	防火区画面積
1 階	増 築 棟	職員室	3. 360 * 4. 550	15. 288	156. 574	488. 205
			13. 850 * 8. 625	119. 456		
			3. 700 * 5. 900	21. 830		
		相談室	3. 360 * 4. 075		13. 692	
		放送室	3. 700 * 2. 725		10. 083	
		校長室	5. 600 * 8. 625		48. 300	
		会議室	5. 550 * 8. 625		47. 869	
		物入	4. 335 * 1. 900	8. 237	10. 902	
			2. 090 * 1. 275	2. 665		
		外部物入	3. 330 * 2. 550		8. 492	
		教材室-1	3. 430 * 2. 625		9. 004	
		男子更衣室	0. 100 * 2. 550	0. 255	15. 495	
			2. 945 * 5. 175	15. 240		
		女子更衣室	2. 950 * 5. 175		15. 266	
		職員GWC	4. 560 * 5. 175		23. 598	
		職員LWC	4. 060 * 5. 175		21. 011	
		教材室-2	2. 230 * 5. 175	11. 540	26. 075	
			2. 850 * 5. 100	14. 535		
		教材室-3	2. 850 * 2. 525		7. 196	
		廊下	29. 110 * 2. 450	71. 320	74. 648	
			5. 325 * 0. 625	3. 328		
		廊下	4. 180 * 2. 450	10. 241	16. 806	
			3. 455 * 1. 900	6. 565		
		職員玄関	4. 080 * 8. 625		35. 190	
		昇降口	2. 700 * 5. 540	14. 958	16. 745	
			0. 310 * 5. 765	1. 787		
	既 存 校 舎	玄関、昇降口	8. 300 * 17. 265		143. 300	
		階段-4	4. 500 * 1. 785		8. 030	
		倉庫-5	2. 310 * 4. 095	9. 459	23. 319	
			6. 000 * 2. 310	13. 860		
		町民ギャラリー	別式参照		363. 536	
2 階	既 存 校 舎	会議室	8. 310 * 9. 150		76. 037	
		資料室-7	8. 310 * 2. 560		21. 274	
		特殊学級	6. 110 * 8. 880		54. 257	
		倉庫-6	1. 900 * 3. 555		6. 755	
		シャワー（特殊学級）	1. 900 * 1. 125		2. 138	
		脱衣室（特殊学級）	1. 900 * 1. 900		3. 610	
		WC（特殊学級）	1. 900 * 2. 300		4. 370	
		生徒会・ラウンジ	8. 310 * 5. 960	49. 528	58. 721	
			1. 490 * 6. 170	9. 193		

		室 名	計 算 式		面 積	防火区画面積
2 階	既存校舎	階段-4	7. 310 * 3. 675		26. 864	
		廊下-1	別式参照		197. 116	
		PS	2. 953 * 0. 816		2. 410	
	既存屋内運動場	部室-3	4. 560 * 3. 710		16. 918	
		廊下-5	5. 330 * 2. 954	15. 745	32. 733	
			33. 310 * 0. 510	16. 988		

		室 名	計 算 式	面 積
1 階	既 存 校 舎	①	= 3. 141*15. 000*15. 000*8/360 - 3. 141*14. 600*14. 600*8/360 0. 8265	0. 83
		②	= 3. 141*15. 000*15. 000*17. 580/360 - 15. 000*4. 289/2 2. 3442	2. 34
		③	= 3. 141*15. 000*15. 000*13. 816/360 - 14. 496*3. 462/2 2. 0300	2. 03
		町民ギャラリー （一部除く）	= 24. 750*22. 000 - 3. 141*15. 000*15. 000*112. 540/360 - 13. 854*5. 750/2 + 4. 881*2. 745 + 4. 881*0. 755 + 2. 490*0. 359 + 7. 710*3. 000 + 1. 785*1. 500 + 2. 953*3. 212 + 5. 375*3. 660 + ①*3 + ②+③ 363. 5358	363. 536
		廊下-1	= 5. 357*2. 490 + 2. 953*2. 077 + 3. 000*30. 500 + 1. 000*6. 887 + 30. 760*2. 490 +0. 300*8. 880 197. 1157	197. 116
2 階	既 存 校 舎	廊下-1		

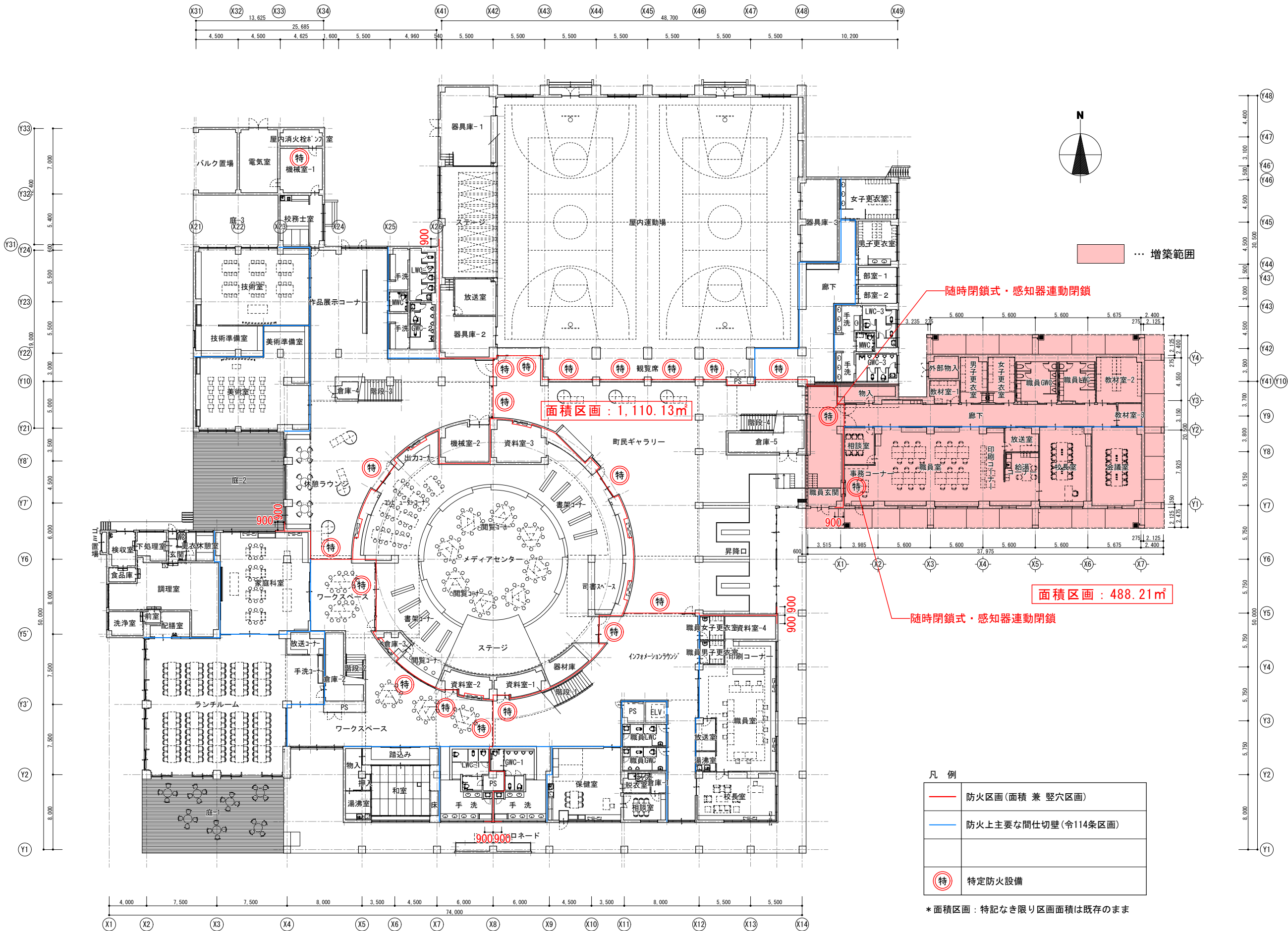


2 階



1 階

		室 名	計 算 式		面 積
1 階	既存改修(既存校舎)	普通教室 (1)	8.605	* 5.280	45.434
		普通教室 (2)	8.6725	* 5.550	48.132
		普通教室 (3)	8.3875	* 5.590	46.886
		普通教室 (4)	8.3875	* 5.605	47.012
		会議室	7.9295	* 8.000	63.436
2 階	既存改修(既存校舎)	普通教室 (5)	8.310	* 5.960	49.528
			1.490	* 6.170	9.193
		普通教室 (6)	8.310	* 5.750	47.783
		普通教室 (7)	8.310	* 5.960	49.528
		特別支援学級	6.110	* 8.880	54.257
			2.200	* 3.555	7.821



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

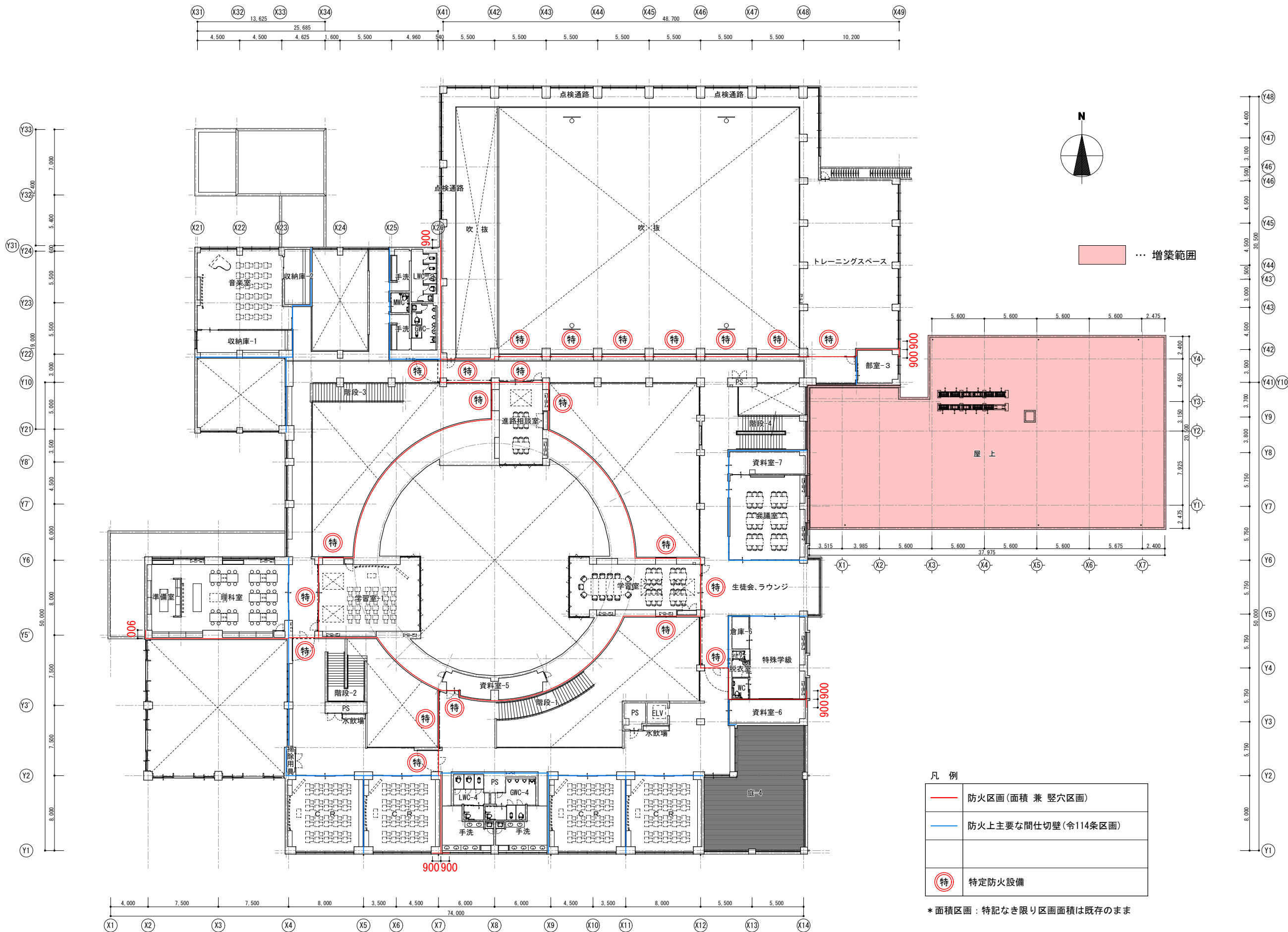
製作年月日
26.03

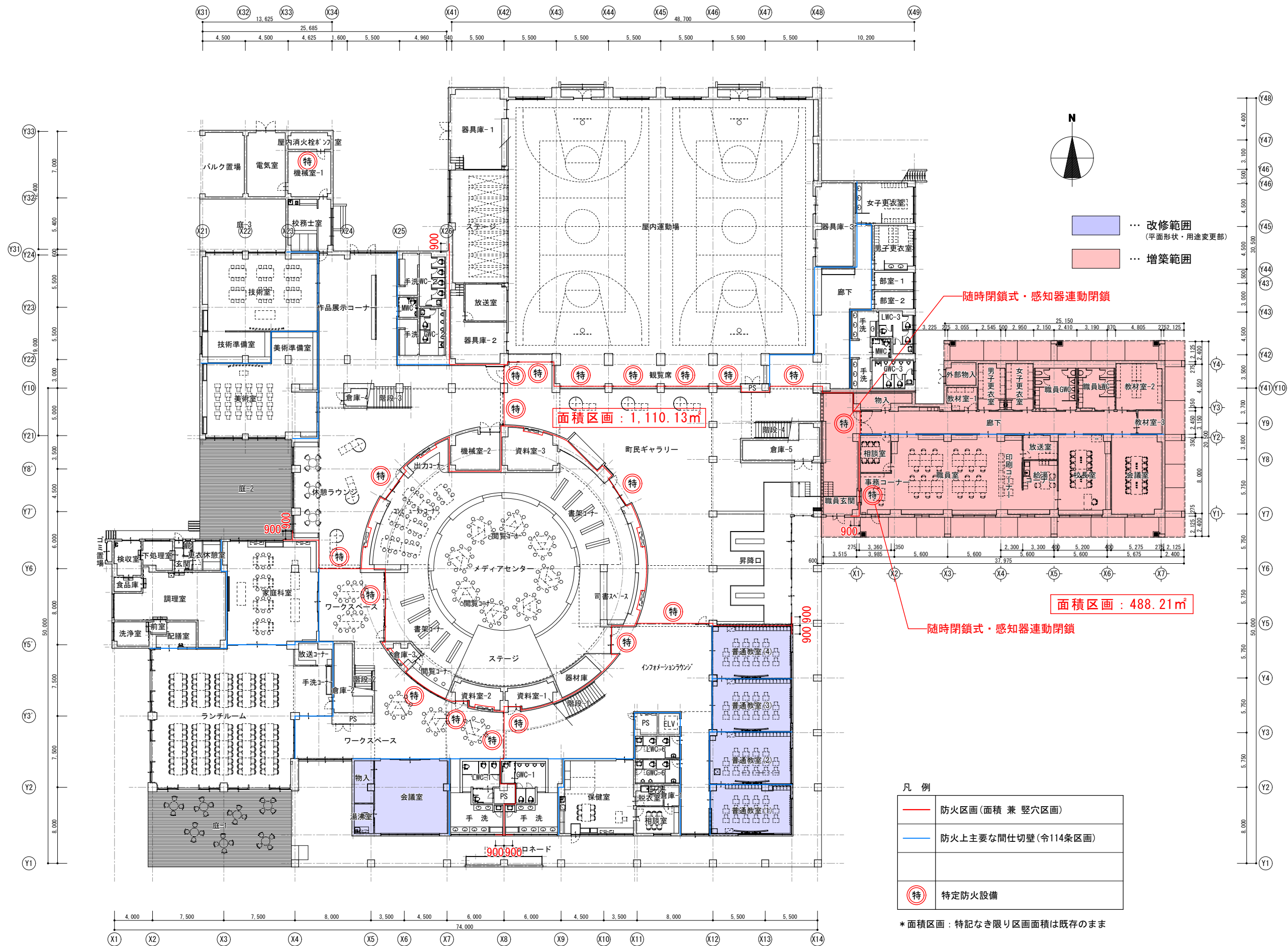
設計番号
25_42

図面番号
法-04

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
1階 防災計画図（増築棟完成時）

縮尺
1:400





凡 例	
—	防火区画(面積 兼 堅穴区画)
—	防火上主要な間仕切壁(令114条区画)
特	特定防火設備

* 面積区画：特記なき限り区画面積は既存のまま



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

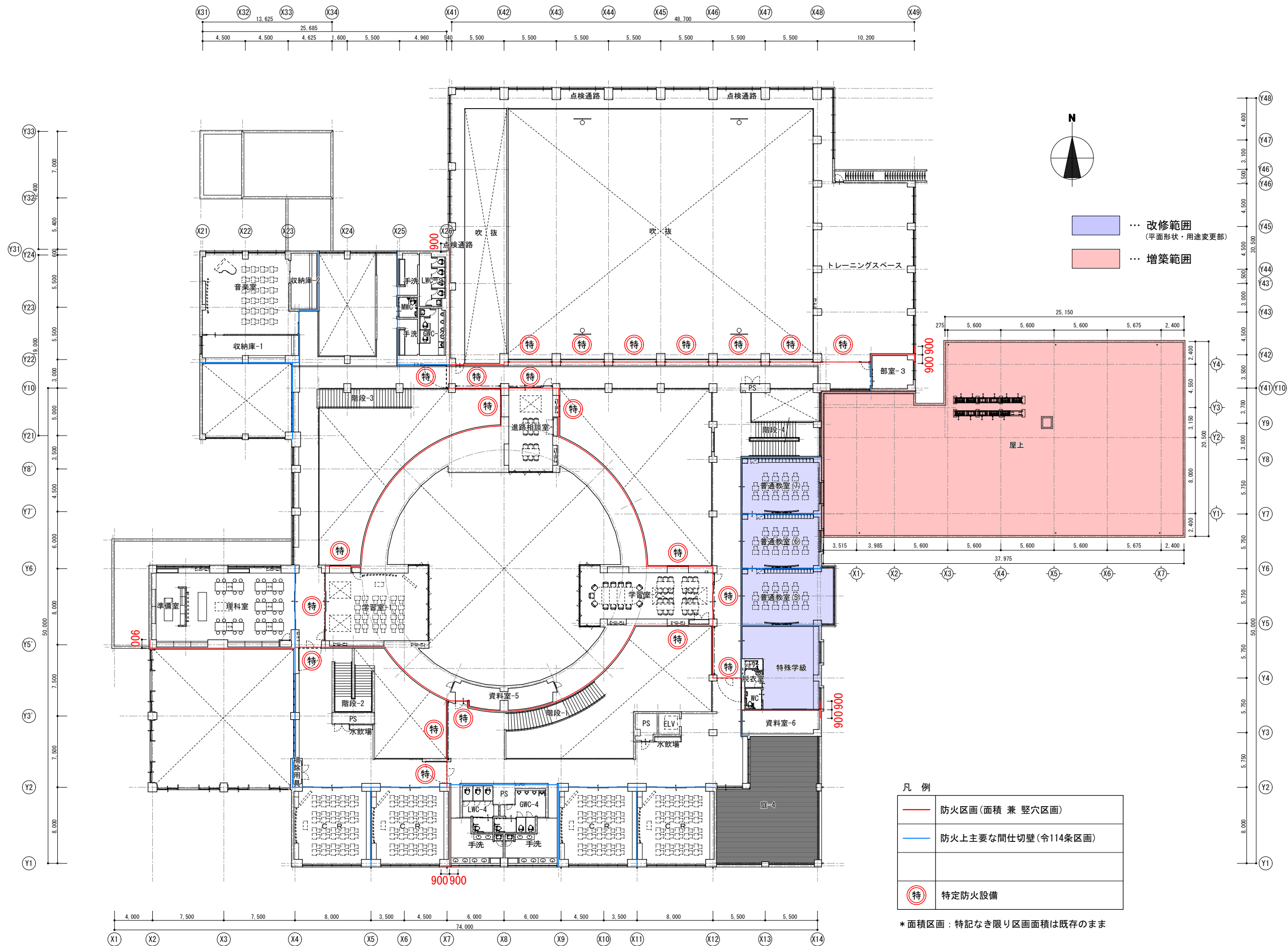
製作年月日
26.03

設計番号
25_42

図面番号
法-06

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
1階 防災計画図 (最終)

縮尺
1:400



株式会社 釣谷建築事務所

1級建築士 第119816号 吉田 典生

製作年月日
26.03

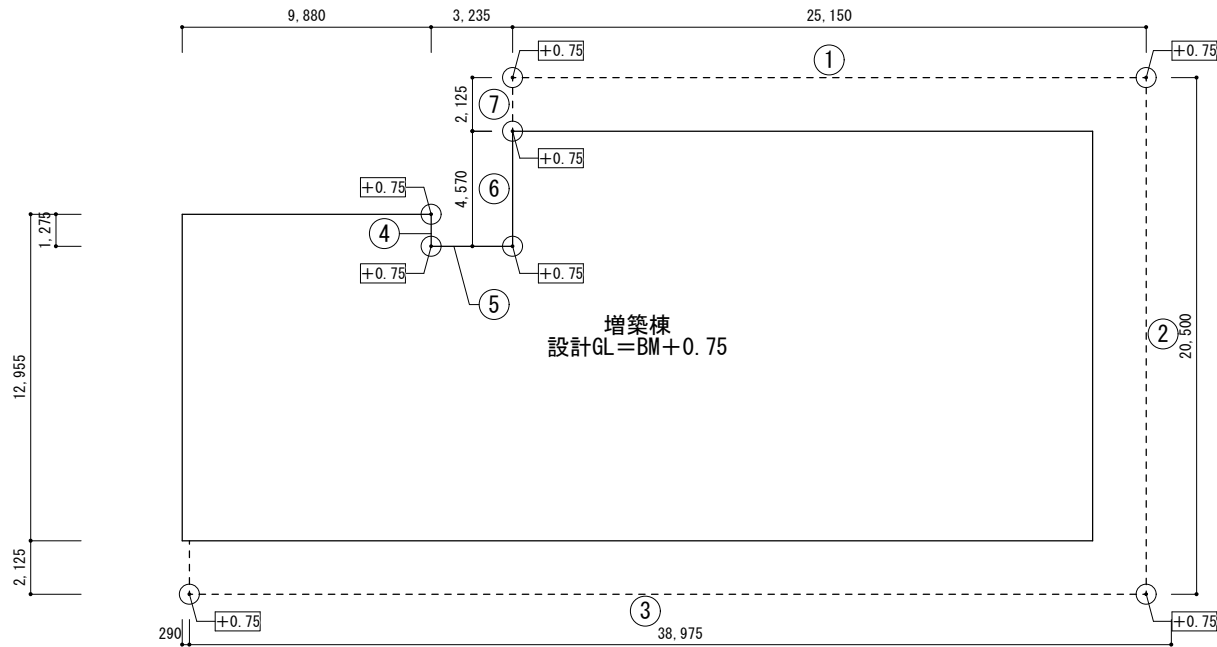
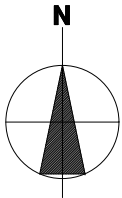
設計番号
25_42

図面番号
法-07

工事名称
西部地区小学校災害復旧工事
図面名称
2階 防災計画図 (最終)

縮尺
1:400

■ LVSの検証																															
階別	室名	居室・非居室	面積	採光									換気									排煙									
				必要面積	有効面積					判定	備考	必要面積	有効面積					判定	備考	必要面積	有効面積					判定	備考				
				(A/20)	対象建具	有効幅	高さ	採光補正係数	個数			有効面積	合計	(A/20)	対象建具	有効幅	高さ			個数	有効面積	合計	(A/50)	対象建具	有効幅			高さ	個数	有効面積	合計
増築棟 1階	職員玄関	非居室	35.19	/							/		/						/		/		/		/		/				
	昇降口	非居室	159.78	/							/		/						/		/		/		/		/				
	職員室	居室	156.57	15.66	AW-2	0.800	1.700	3	1	4.080	42.17	OK	D ≥ 1.6、H = 2.9	7.83	AW-2	0.800	1.700	1	1.360	7.65	NG	占有面積156.57/26=6(m2/人)	3.13	AW-2	0.800	0.700	1	0.560	3.15	OK	
					AW-3	1.500	1.700	3	2	15.300		$\langle(D/2.9) \times 10 - 1 \rangle \times 0.7 \geq 3$		AW-3	0.750	1.700	2	2.550			機械換気(HEA-3)360 × 2=720		AW-3	0.750	0.700	2	1.050				
					AW-4	4.470	1.700	3	1	22.797		採光補正係数 3		AW-4	2.200	1.700	1	3.740			20 × 156.57/6=521.9 ≤ 720…OK		AW-4	2.200	0.700	1	1.540				
	相談室	居室	13.69	1.37								NG	平成7年住指発第153号	0.68						NG	占有面積13.69/6=2.3(m2/人)	0.27							NG	建設省告示第1436号四項へ(5) …壁、天井仕上げ・下地→不燃	
																					機械換気(HEA-2)180 × 1=180										
													…OK								20 × 13.69/2.3=119 ≤ 180…OK									…OK	
	放送室	居室	10.08	1.01								NG	平成7年住指発第153号	0.50						NG	占有面積10.08/2=5.04(m2/人)	0.20							NG	建設省告示第1436号四項へ(5) …壁、天井仕上げ・下地→不燃	
																					機械換気(HEA-1)90 × 1=90										
													…OK								20 × 10.08/5.04=40 ≤ 90…OK									…OK	
	校長室	居室	48.87	4.89	AW-4	4.470	1.700	3	1	22.797	22.79	OK	D ≥ 1.6、H = 2.9	2.44	AW-4	2.200	1.700	1.00	3.740	3.74	OK		0.98	AW-4	2.200	0.700	1.00	1.540	1.54	OK	
													$\langle(D/2.9) \times 10 - 1 \rangle \times 0.7 \geq 3$																		
													採光補正係数 3																		
	会議室	居室	47.87	4.79	AW-3	1.500	1.700	3	1	7.650	7.65	OK	D ≥ 1.6、H = 2.9	2.39	AW-3	0.750	1.700	1.00	1.275	1.27	NG	占有面積47.78/12=4(m2/人)	0.96	AW-3	0.750	0.700	1.00	0.525	0.52	NG	建設省告示第1436号四項へ(5) …壁、天井仕上げ・下地→不燃
													$\langle(D/2.9) \times 10 - 1 \rangle \times 0.7 \geq 3$								機械換気(HEA-4)400 × 1=400										
													採光補正係数 3								20 × 47.87/4=239 ≤ 400…OK									…OK	
	教材室-1	非居室	9.00	/								/		/						/		/		/		/			/		
	教材室-2	非居室	26.08	/								/		/						/		/		/		/			/		
	教材室-3	非居室	7.20	/								/		/						/		/		/		/			/		
男子更衣室	非居室	15.50	/								/		/						/		/		/		/			/			
女子更衣室	非居室	15.27	/								/		/						/		/		/		/			/			
職員GWC	非居室	23.60	/								/		/						/		/		/		/			/			
職員LWC	非居室	21.01	/								/		/						/		/		/		/			/			
物入	非居室	10.90	/								/		/						/		/		/		/			/			
廊下	非居室	74.65	/								/		/						/		/		/		/			/			
外部物入	非居室	8.49	/								/		/						/		/		/		/			/			
				1級建築士 第119816号 吉 田 典 生									製作年月日 26.03			設計番号 25.42		図面番号 法-08		工事名称 西部地区小学校災害復旧工事										縮尺 NO-SCALE	
																				LVS計算表-1(増築棟)											



No.	計算式	高低面積	建物が接する長さ
①	(0.75 + 0.75) × 25.150 ÷ 2	18.863	25.150
②	(0.75 + 0.75) × 20.500 ÷ 2	15.375	20.500
③	(0.75 + 0.75) × 38.975 ÷ 2	29.231	38.975
④	(0.75 + 0.75) × 1.275 ÷ 2	0.956	1.275
⑤	(0.75 + 0.75) × 3.235 ÷ 2	2.426	3.235
⑥	(0.75 + 0.75) × 4.570 ÷ 2	3.428	4.570
⑦	(0.75 + 0.75) × 2.125 ÷ 2	1.594	2.125
合計		71.87	95.83

1FL	= BM + 0.9
増築棟平均GL	= BM + A ÷ L
	= BM + 71.87 ÷ 95.83
	= BM + 0.75
	= 1FL - 0.15

